西川貴教×YOMI the GazettE 有村竜太朗 heidi. Sadie ギルガメッシュ

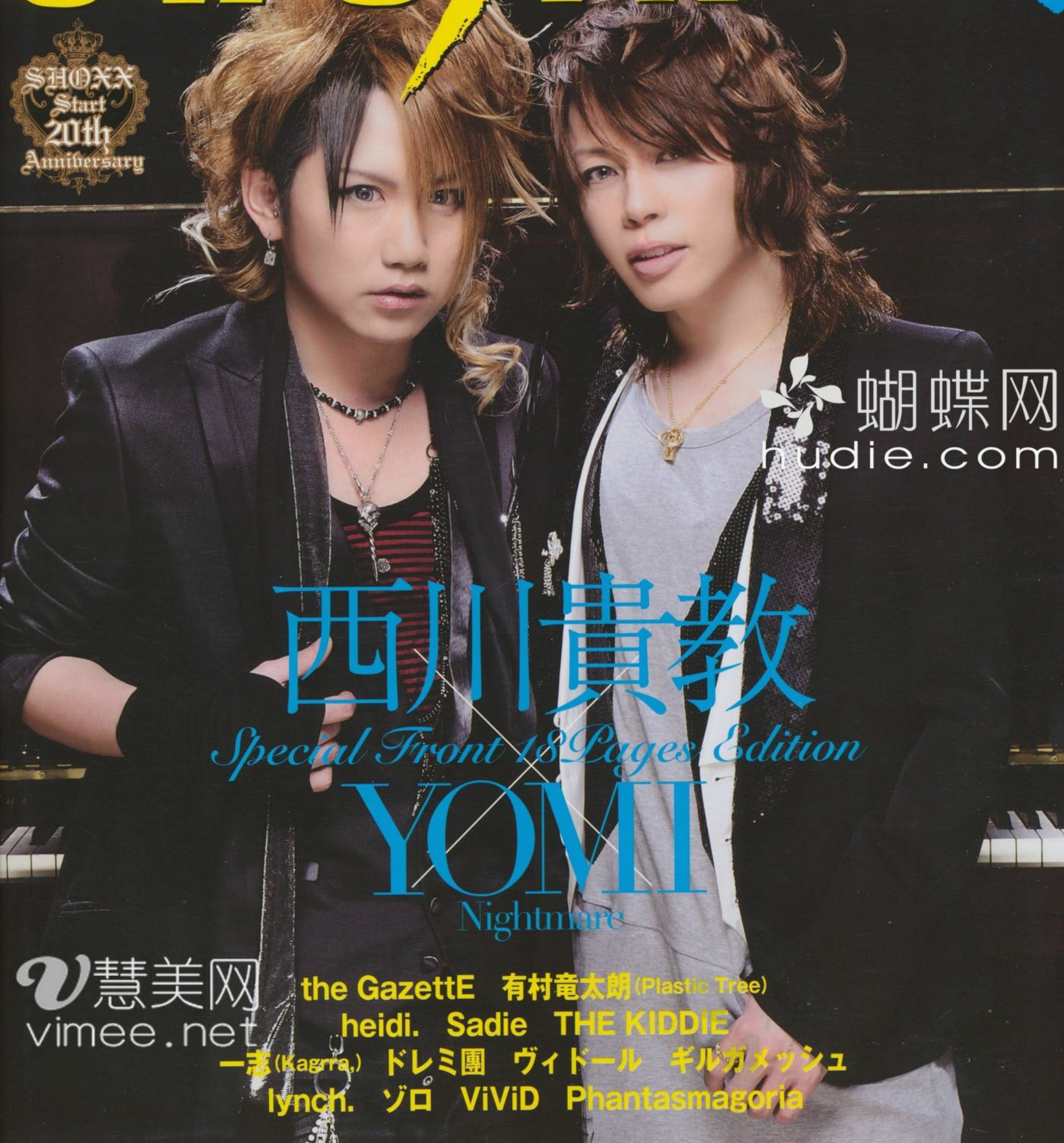
平成9年12月5日第三郵便物認可平成22年6月1日発行第208号（毎月1回1日発行）

SHOXX

6月号 Vol.208
2010 月刊 980YEN

特別付録
西川貴教
×
YOMI Nightmare
特大ポスター

SHOXX Start 20th Anniversary



蝴蝶网
hudie.com

西川貴教 × YOMI Nightmare

Special Front 18 Pages Edition

慧美网
vimee.net

the GazettE 有村竜太朗(Plastic Tree)
heidi. Sadie THE KIDDIE
一志(Kagrra,) ドレミ團 ヴィドール ギルガメッシュ
lynch. ゾロ ViViD Phantasmagoria

Instore Information
4月9日（金）ライカエジソン東京店 | 4月10日（土）自主盤倶楽部 | 4月17日（土）新宿 ZEALLINK | 4月25日（日）渋谷 ZEALLINK オフィシャルサイトで続々追加中！
Live Information
4月11日（日）at 高田馬場 AREA | 4月13日（火）at HEAVEN'S ROCK さいたま新都心 VJ-3 | 4月20日（火）at 高田馬場 AREA
オフィシャルサイト PC：http://www.goshujinsama.com/ Mobile：http://www.goshujinsama.com/i/
Future Link Japan
2010年5月23日（日）「1周年記念ですよ、御主人様～東京編～」
恵比寿 LIQUIDROOM
チケットぴあ（Pコード：344-246） ローソンチケット（Lコード：70412）
「1周年記念ですよ、御主人様～名古屋編～」
2010年5月8日（土）
名古屋 ell.SIZE
ットぴあ（Pコード：342-826） ローソンチ
単独演奏会
東名阪TOUR2010
～1周年ですよ、御主人様～
「1周年記念ですよ、御主人様～大阪編～」
2010年5月9日（日）
大阪 FANJ twice
チケットぴあ（Pコード：344-237） ローソンチケット（Lコード：53713）
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

3rd.single「-Sense-」発売中

Aタイプ（限定3000枚）【¥1,575】RONA0103A
1.Lost Sense (DVD)Lost Sense

通常版【¥1,260】RONA0103B
1.Lost Sense 2.CLEAR

4th.single「-Desert-」2010年4月7日（水）発売

Aタイプ（限定3000枚）
【¥1,575】RONA0104A
1. Lunar Desert(DVD)Lunar Desert

通常版
【¥1,260】RONA0104B
1.Lunar Desert 2.abyss

2th. ドラマCD
奇才楽団物語「白之章」
2010年5月19日（水）発売

Aタイプ【¥2,625】 通常版【¥2,415】
RONA0202A RONA0202B

慧美网
vimee.net

蝴蝶 hudie.com
vimee.net

BrainStein

8/6(Fri.) 渋谷 BOXX

4月&5月 各ライブハウス

詳細は Official

新世代の音の子供達＜ニュージェネレーション＞

BrainStein デビューシングル4枚同時リリース

蝴蝶网 hudie.com
V 慧美网 vimee.net

慧美网
vimee.net
hudie.com

Versailles
Philharmonic Quintet
慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

渋谷C.C.Lemon HALL
摩天楼オペラ
2010.05.06
「Birth of GENESIS」
「Emergence from COCOON」ツアーファイナル
渋谷C.C.Lemon Hall「Birth of GENESIS」公演当日のみ
TOWER RECORDS渋谷店にてシングル発売が決定!!
摩天楼オペラ
GENESIS
GENESIS / R
¥1,260(tax in) SASCD-057
2010年5月6日(木)15:00発売開始
注意事項
■上記シングルは5月6日TOWER RECORDS渋谷店のみでの販売となります。他店舗、ライブ会場での販売は一切いたしません。
■TOWER RECORDS渋谷店での予約・取り置き、通信販売等は一切行いません。
当日の販売開始時間以降に直接店舗にてお買い求めください。
■枚数に限りがございますので、購入枚数を制限させていただく場合がございます。
■5月6日TOWER RECORDS渋谷店 閉店(23:00)まで販売いたします。
商品は充分な数を用意いたしますが、予定枚数を終了した場合は完売とさせて頂きます。予め御了承ください。
■ご購入時に整列していただく場合がございます。近隣の迷惑にならないようにスタッフの誘導にご協力をお願いいたします。
あのメモリアルチケットが、なんと本物のチケットに!!!
2009年11月25日発売DVD「DAWN OF ANOMIE」(初回生産分)に封入されていたメモリアルチケットを、2010年5月6日渋谷C.C.Lemon Hallのライブ会場にお持ちいただくと、なんと2010年夏に行われる摩天楼オペラ次回ワンマンライブのチケットと引き換えることができます!次回ワンマンライブの詳細はチケット引換時に明らかに!!5月6日C.C.Lemon Hallにお越しの際には、お手元のメモリアルチケットをお忘れなくお持ちください!
注意事項
■引換時間
16:00〜17:00(物販先行時間)
17:30〜18:00(OPEN/START間)
終演後
■引換場所
C.C,Lemon Hallグッズ売場チケット引換受付
■引換の際にはC.C.Lemon Hall公演チケットのご提示が必要となります。
■メモリアルチケット1枚につき、次回ワンマンライブのチケット1枚と引換になります。
■チケットの整理番号は抽選(シャッフル)となります。
先行販売・一般発売分より優先されますが引換受付順とは関係ありません。
■メモリアルチケットは「DAWN OF ANOMIE」初回生産分にのみ封入されております。
追加生産分をご購入の場合や紛失等の理由によるメモリアルチケットの再発行はいたしかねますので予めご了承ください。
※次回ワンマンライブのチケットは、5月6日終演後ライブ会場にて先行販売いたします。
メモリアルチケットをお持ちでないお客様も一般発売に先駆けチケットをご購入いただけます。
Sherow Artist Society E-mail：mail@matenrou-opera.info Official Web Site：http://www.artist-society.com/
ファンレター等の宛先 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町14-6 黒松ビル301 Delacroix内Sherow Artist Society 摩天楼オペラ ○○(メンバー名)宛

蝴蝶网
hudie.com

アンド

-ECCENTRIC AGENT-

アンド生誕祭「AGENT総決起集会」開催決定!!

8月7日(土)高田馬場AREA
アンド生誕祭「AGENT総決起集会～激走～」
8月8日(日)高田馬場AREA
アンド生誕祭「AGENT総決起集会～暴走～」
7日&8日両日ご来場の方に丸秘プレゼント有!!
アンド生誕記念特別企画有!!

LIVE Schedule

4月22日(木)札幌KRAPS HALL
4月27日(火)渋谷O-EAST
5月11日(火)渋谷O-EAST
5月21日(金)渋谷O-EAST
6月09日(水)渋谷O-EAST
8月01日(日)名古屋E.L.L

Instore Event〈Mission.4〉

インストアイベント開催決定!!
5月30日(月)新宿ZEAL LINK
6月06日(日)池袋ブランドX
6月15日(火)HMV仙台一番町店
6月19日(土)渋谷ZEAL LINK
6月21日(月)名古屋HMV栄
6月24日(木)大阪I.D.PILOT DEADONE
6月26日(土)博多SKULL ROSE

平成22年アンド7大任務発令!!

Mission.1 「任務報告録」発売中!! 平成22年1月3日渋谷CLUB QUATTRO単独公演任務収録

Mission.2 3月10日(水)「煉獄」発売中!! A-Type【CD+DVD(PV)】EAR-013A￥1,890(tax in)
B-Type【CD+DVD(LIVE)】EAR-013B￥1,890(tax in)

Mission.3 都内某所限定 AGENT VIP ROOM 2010'「強化任務」任務完了!!

Mission.4 5月26日(水)NEW SINGLE「兇」発売決定!!
C/W 蘭 A-Type【CD+DVD(PV)】EAR-014A￥1,890(tax in) / B-Type【CD+DVD(LIVE)】EAR-014B ￥1,890(tax in) ※CDに関するお問い合わせ ONG DISTRIBUTION(TEL:03-5784-9662)

Mission.5 初・五大都市単独公演巡業任務「地獄轟」決定!!
●6月13日(日)東京・原宿アストロホール《SOLD OUT!!》 ●6月16日(水)宮城・仙台MACANA
●6月23日(水)愛知・名古屋ell FITS ALL [残少!!] ●6月25日(金)大阪・心斎橋ルイード [残少!!]
●6月27日(日)福岡・博多Drum SON [残少!!] ※各プレイガイドにて好評発売中!(詳しくはECCENTRIC AGENT本部をご覧ください。)

v慧…网 vimee

Mission.6&7 ×next×秘×××××
※6/13(日)深夜・ECCENTRIC AGENT本部(http://and-eccentricagent.com/)にて開示!

ECCENTRIC AGENT本部 [http://and-eccentricagent.com/]
アンドOFFICIAL my space [http://myspace.com/andweb]

蝴蝶网
hudie.com

WHITEBLACK

WHITEBLACK初のホールワンマン決定!

2010.7.22(木) 京都府立文化芸術会館

WHITEBLACK Final stage… A melody to ring eternally

開場16:30 開演17:30 前)￥3990/当)￥4515【全席指定/税込】

【チケット】4/27 KYOTO MUSE終演後、特設ブースにて先行発売! 5/15よりチケットぴあ、ローソンチケットにて一般発売開始!

【主催/企画】CROW MUSIC【製作】HEADLINE【協力】アームエンタープライズ株式会社【問】HEADLINE:06-6886-1390

◆TATSUYA best selection album
『Largest ever scream』 from TATSUYA & WhiteBlack, NUDE, 7 seven
2010.4.28 ON SALE! 15songs CMCD-154 ￥3150(税込)

◆WHITEBLACK BEST ALBUM
『Be Enwrap Super Trash』
2010.5.26 ON SALE! 15songs ￥3150(TAX IN) CMCD-155

◆VISUAL SCREAM Vol.5
『Flash A Live』
2010.6.02 ON SALE! 3songs ￥2625(TAX IN) CMVD-116

WHITEBLACK TOUR -Full explosion voice-

5/28(金) 浦和NARCISS
5/29(土) 浜松FORCE
5/30(日) 心斎橋club ALIVE
6/02(水) 目黒鹿鳴館(ワンマン)
6/03(木) 目黒鹿鳴館
6/05(土) 心斎橋club ALIVE(ワンマン)
6/06(日) 住之江名村造船所跡地
6/16(水) 静岡SUNASH
6/17(木) OSAKA MUSE
6/24(木) KYOTO MUSE
6/25(金) KYOTO MUSE
6/26(土) 長崎Be-7
6/28(月) 博多Be-1
6/29(火) 高松DIME
6/30(水) 広島ナミキジャンクション
7/01(木) 岡山CRAZY MAMA 2nd Room
7/05(月) HOLIDAY NAGOYA
7/06(火) 仙台MA.CA.NA
7/08(木) 高田馬場AREA
7/09(金) 浜松FORCE
7/13(火) 心斎橋club ALIVE
7/14(水) KYOTO MUSE

6/02(水) 目黒鹿鳴館(ワンマン)

WHITEBLACK BEST ALBUM『Be Enwrap Super Trash』発売記念東阪ワンマン公演
WHITE IMPRESSION NIGHT～第一夜～
開場18:30/開演19:00 前)￥3000/当)￥3500【問】鹿鳴館:03-3494-1801
【チケット】5/02より鹿鳴館店頭にて発売開始。5/03より電話予約開始。バンド予約有り。

6/05(土) 心斎橋club ALIVE(ワンマン)

WHITEBLACK BEST ALBUM『Be Enwrap Super Trash』発売記念東阪ワンマン公演
BLACK AGGRESSIVE NIGHT～第二夜～
開場18:30/開演19:00 前)￥3000/当)￥3500(1D別)【問】club ALIVE:06-6213-8585
【チケット】5/05よりI.D.PILOT DEAD ONE(06-6258-5186)にて電話予約開始(お一人様二枚)。
5/06よりチケット引換え、店頭販売開始。バンド予約有り。

2010.7.21(水) KYOTO MUSE

Legend of TATSUYA & CROW MUSIC Super premium night! **GOLD RUSH EXTRA☆**

TATSUYAと共にCROW MUSICに伝説を残した歴代バンドが一夜だけの復活! 二度とないこのイベントを絶対に見逃すな!!!!!

開場16:00/開演16:30 前)￥4000(1D別)【CAST】7 seven / NUDE / Crack brain / MYTH / LUAZY / WHITEBLACK / n'Doot
【チケット】4/29よりKYOTO MUSEメンバーズ受付開始。4/30よりKYOTO MUSE店頭、チケットぴあ、ローソンチケットにて一般発売開始。バンド予約無し!
【問】KYOTO MUSE:075-223-0389

慧美网
vimee.net

●銀八重桜 TATSUYA オリジナルモデル発売! シルバーアクセサリーブランド『銀八重桜』とTATSUYAがコラボレーション! TATSUYAデザインのオリジナルネックレスを遂に発売! 素材:シルバー / 価格:￥10500(税込) ※詳しくはCROW MUSIC HPまで!

CROW MUSIC 〒604-8832京都市中京区壬生下溝町38-1 201号 TEL&FAX 075-315-3921 チケット予約→crow-music-ticket@ezweb.ne.jp URL http://crowmusic.jp

CONTENTS

078 TOON-FACTORY トゥーンファクトリー
080 boogieman ブギーマン
082 人格ラヂオ ジンカクラヂオ
154 Phantasmagoria ファンタスマゴリア
156 凛 リン
160 一聖(BugLug) イッセイ(バグラグ)
162 DOG inTheパラレルワールドオーケストラ ドッグ・インザパラレルワールドオーケストラ
084 Dolly ドリィー
086 vistlip ヴィストリップ
098 -Virgil- ヴァージル
100 lynch. リンチ
102 「トウキョウ、モノクローム...」
104 陰陽座 オンミョウザ
106 犬神サーカス団 イヌガミサーカスダン
108 -OZ- オズ
110 Aioria アイオリア
112 キャンゼル
114 鹿鳴館伝説 ロクメイカンデンセツ
118 SHOCK WAVEアポロ

120 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
「東京指定」 トウキョウシテイ
ヴァルナ
UnsraW アンスロー
Administrator アドミニストレーター
VAJRA ヴァジュラ

127 ぽっくんの早耳情報
128 エクスペクトラッシュ
BrainStein ブレインシュタイン
ギャロ
LOST ASH ロストアッシュ
141 ぽっくんの主張
142 アーティストBOX
148 Mission in ぽっくん
150 プレコン WORLD
153 大島暁美のロックン-ロール日記

>> マークの説明 <<

ムービー 着メロ 着うた 着ボイス 待ち受け 写真フレーム 試聴 携帯連載

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか?」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか?」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか?」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか?」

Editorial in chief／Kuniaki "B" Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa
Art Director／Noriaki Ishimatsu (Keisyo Office)
Design Stuff／Yoichirou Fujii, Maki(mam)Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi, Iori Hayakawa(Bakery37.1), Nakane (amulet label), Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama, T.O.MAMMOTH graphics, Kyoko Yasunaga(ZOISite) ASAKA YAMAMOTO(glitter glow)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.209は2010年5月21日(金)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版・印刷／株式会社プロ[illegible]印刷株式会社
発行日／2010年6月1日
特別定価／980円 本体933円

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

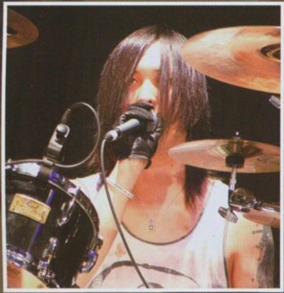
SHOXX

2010
6月号
Jun Vol.208
Cover Model：西川貴教×YOMI
Photo：Yosuke Komatsu(ODD JOB)
Design：Noriaki Ishimatsu(Keisyo Office)

014 **西川貴教×YOMI(ナイトメア)**
ニシカワタカノリ×ヨミ
Part 1：異色コラボ遂に実現。夢のフォトセッション
Part 2：ロング対談インタビュー

032 **the GazettE**
ガゼット
絶対的な存在感。最新ライヴレポート!!

038 **BEAT SHUFFLE LIVE 2010 Spring**
豪華5バンドが集結した一夜をレポート!



040 **有村竜太朗(Plastic Tree)**
アリムラリュウタロウ(プラスティック トゥリー)
立入禁止の蔵の中

045 **heidi.**
ハイジ
メジャー1stシングル、リリース

050 **Sadie**
NEW Sg「ドレス」リリースインタビュー&5周年記念LIVE レポート

055 **THE KIDDIE**
キディー
3月31日 LIQUIDROOM ebisu レポート

058 **一志(Kagrra,)**
イッシ(カグラ)

060 **Kra**
ケラ

062 **ヴィドール**

064 **ギルガメッシュ**

066 **ゾロ**

068 **SCREW**
スクリュー

072 **ドレミ團**
ドレミダン

074 **ViViD**
ヴィヴィット

v慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

YOMI
Nightmare

遠い記憶の中にある1日の情景

SHOXX史上、最強の異色コラボが実現。
ジャパニーズロック界屈指のヴォーカリスト西川貴教とV系ロックの雄
ナイトメアのヴォーカリストYOMIのドリーム企画。
西川を敬愛してやまないYOMIの熱いラヴコールで実現したこの企画。
知り合ってまだ数ヶ月とは思えない親密度で、
いつもより濃い目でお届けします!!

Photography:YOSUKE KOMATSU(ODD JOB)
Art Direction:NORIAKI ISHIMATSU
Hair Make-up:HIROSHI MIYAGI/SQUASH(西川貴教),MICHIKO MONMA(YOMI)
Styling:BUN(西川貴教),KENTARO HIROSAWA(YOMI)

V慧美网
vimee.net

西川貴教
A Day in the Life of a Teenager
SHOXX創刊20周年記念 スペシャル·コラボ企画
蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

In the beginning

vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

──イベントで共演したことが出会いのきっかけだと聞いてますが、そのいきさつについてまずは教えてください。

YOMI：まず、俺たちがニッポン放送主催のイベント（2009年11月）に出させてもらうことになったときに、"誰と対バンしたいですか？"って聞かれて"abingdon boys schoolさんと共演したいです"って答えたら、ホントに交渉していただけて、一緒にステージに立てることになった。それが最初のきっかけですね。

──っていうことは話をするようになって、まだ半年ぐらい？

西川：そう、そう。

──YOMIくんは、これまで西川さんのことをどんな視線で見てた？

YOMI：や、かなり遠い人です。

西川：（笑）なんで～？

──雲の上の人みたいな。

YOMI：僕がナイトメアを始めたのが、18才のときだったんだけど…。

西川：へえ。じゃあ、もう10年ぐらいたつんだね。

YOMI：はい。始めた頃は西川さんはもう、ソロで活躍されていて。

西川：うん、うん。

YOMI：だから、TVで見て、CDを聴いてたっていう感じだったんです。もう完全に遠い存在の人ですよね。

西川：（笑）。

──西川さんはナイトメアのことは？

西川：知ってました。雑誌でも見てたし、何となく気になったら、音も聴いたりするのが単純に好きだから。シドの明希がナイトメアの枢と仲がいいんだよね？。

YOMI：そうですね。

西川：で、あるとき、明希と枢と彩冷えるのケンゾと一緒に飲む機会があって、それがさっきのイベントで共演する直前ぐらいだっけ？

YOMI：そうです、そうです。

──そういえば、今日はスタジオに枢くんも来る予定だったと聞いたけど。

西川：そう、そう。

YOMI：飛び入りで来たいなって言ってたんですよね。

西川：でも、枢から連絡があってスタジオが遠いから来ないそうです。その程度かと（笑）。

──ちゃんと書いておきます（笑）。

西川：愛情をはかるバロメーター（笑）。でも、ひどいんだよ。この前も枢の誕生日会のときだっけ？

YOMI：そうです。そうです。

西川：ケンゾから"よかったら来てください"って誘われてて、"ごめん。行きたいんだけど、仕事を抜けられないから、あとで電話だけでもするわ"って言ったら、枢のほうから電話がかかってきて、"おめでとう"って言ったら、"え？ 何で知ってるんですか？"って言うから、"や、ホントは行きたかったんだけど"ってひとしきり盛り上がってて。

YOMI：（笑）。

西川：そしたら、"ちょっと電話を代わりたいっていうヤツがいるんだけど、代わっていいですか？"って枢が言って、出たのがYOMIで、てっきり"会えたらよかったのに～"っていう話かと思ったら、"相談があるんですけど"って。

YOMI：わははは。

西川："は？"って。そしたら"今度、SHOXXで対談をお願いしたいんですけど、大丈夫ですか？"って。

──（笑）そんないきさつが。

YOMI：枢も対談したいって言ってたので、ここは先に行かないとって（笑）。

西川：で、話を戻すと、枢とは初めて飲んだときに、"今度、一緒にやるんだよね"みたいな話をして、その後はライヴの[illegible]楽屋で仲良くなって。

YOMI：当日、俺、色紙を持って会場に行きました（笑）。

──（笑）西川さん、ここにサインをお願いしますって？

YOMI：はい。そのときに色紙に"YOMI、がんばれ、枢、がんばれ"って書いてもらって（笑）。

西川：[illegible]ントはサプライズ出演で[illegible]ナイトメアのファンがいっぱい見に来るから"逆に、俺のほうががんばれ"みたいな話なんだけど（笑）。ま、一応、伏線みたいなのはあったから、abingdon boys schoolが出ることを知ってる人もいたとは思うけど、こっちこそ、がんばらないとオマエらにがんばれって言ってるヒマはないっていう（笑）。

YOMI：いや、いや。ナイトメアの出演がabingdon boys schoolの次だったから、俺、出たくなかったですもん。

西川：（笑）なんで～？。

──プレッシャーですよ。

YOMI：もうブルブル袖で震えてましたもん。久々に震えましたよ（笑）。

西川：ウソつけ～（笑）。

YOMI：ホントですよ。SuGも出演したんですけど、彼らはもう若くてピッチピチしてるんですよ（笑）。

西川：うん、ピチピチしてたね。

YOMI：フレッシュさがあるんですよ。西川さんたちは音圧もスゴイし、テクニックも強力じゃないですか？ 全員がスゴイから、"俺らめっちゃ中途半端だあ！"って思って。

西川：そんなことないよ。

YOMI：そうですよ。だから、気合いしかないなと思って、久々に対バンしてた頃のインディーズの感覚というか、"ほかのバンドに負けられない"みたいな気持ちを思い出して、ホントにあのときは震えましたね。

西川：ホントに？ あのときは、僕も、最後までステージを見てて。

YOMI：ええ。

──最初、西川さんはYOMIくんにどんな印象を持ったんですか？

西川：話しかけにくい雰囲気を作るタイプじゃないから、すごく話しやすかった。我々もふくめてだけど、こういうカテゴリーの人たちってどう見せるとか、そういうことに関して一生懸命だから、それぱっかりピックアップされがちで、音楽に対してどれだけ真剣に挑んでるかは、なかなか世間の人に伝わりづらかったりするじゃない？

YOMI：ああ、そうですね。

西川：でも、彼はヴォーカリストならではの悩みを素直に聞いてくれたりするし、もちろん、雑談もいっぱいするけれど、基本、真摯ですよ。だから、みんなにはどういうふうに映ってるのかわからないけど、僕の中ではすごく真面目な印象があった。

YOMI：ありがとうございます。

──雲の上の人だった西川さんは？

YOMI：もう、先輩と実際、連絡をとらせていただいたりしてて、ホントにすぐメールを返してくれるんですよ。

西川：はははは。

YOMI：そんなの、西川さんが初めてだったんですよ（笑）。

──今までいろんな先輩に送ったけど、すぐに返信してくれたのは西川さんだけだったっていう？

YOMI：そう。で、こうやって話をさせてもらっても、俺が話しやすい空気を作ってくれるっていうか、器がデカいなと思いました。

──メールのやりとりって、たまにしてるんですか？

YOMI：そうですね。何かあれば。3月に幕張メッセでabingdon boys schoolのライヴを見せていただいたときもメールをしたんですけど。

西川：メールがひどいんだよね。

YOMI：はははは。

──ひどいって内容が？

西川：や、こんなことを女性の前で言うのもアレですけど、ライヴに行くっていうメールをくれたので、"せっかく来てくれるんだから、がんばるよ"って返したら、"わかりました。じゃあ、僕をボッキさせてください"って返信が来たから"う～ん"って（笑）。

──はははは。西川さんへのメールにも、そういうワードが入ってくるんだ？

西川：そう、そう。チョコチョコ入れてくる。

YOMI：そして西川さんはライヴで僕のメールの期待に完全に応えてくれました（笑）。

西川：（大受け）。

YOMI：完全に興奮しましたね（笑）。

西川：ありがとうございます。

──せっかくのこういう機会だから、ふだんは聞けないことを西川さんに質問しちゃってください。

YOMI：はい。ちょっと昨日からいろいろ考えてたんですけど。

西川：そうなんだ？

YOMI：あの、西川さんはいろんなヴォーカリストがいる中で、歌に定評があるじゃないですか？ 歌が上手いってどういうことだと思いますか？

西川：あ～、なるほどね。難しいよね。最低限、自分がこういうふうに歌いたいっていうのがあって、そのためのテクニックは必要だけど、[illegible]うまければいいかっていうと[illegible]じゃないからね～。

YOMI：（真剣に）はい！。

西川：たとえばライヴが終わって、人に"今日のライヴ、どうだった？"っ

西川貴教×YOMI Nightmare
Special Talk Session

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

西川貴教 × YOMI Nightmare

Special Talk Session

て聞いたときに〝歌がうまかった〟って言われるよりも〝いい歌だった〟って言われたほうがうれしかったりするから。それはテクニックじゃないところだったりするからね。

YOMI：なるほど。

西川：そこは大事なんだろうなと思っていて。やっぱり、バンドのフロントマンだから、見せたり聴かせたりするだけじゃなくて、バンドのグルーヴとかお客さんがどういうふうに揺れているのかも、フロントマンがインターフェイスとなって、ちゃんと把握してステージに立たないといけないなって。ソロだったら、また全然違うんだけど、自分ばっかり目立っても仕方ないし。

YOMI：はい。

西川：ちゃんと向き合って、ちゃんと背負ってっていうところだよね。でも、知り合ってすぐにライヴを見たけど、そういうところはちゃんと感じられたし、さっき堅かったって自分で言ってたけど、全然、そんな感じしなかったからね。

YOMI：や～、あのときはホントにやばかったですもん。

西川：ははは。何でだよ？

YOMI：(肩をいからせるポーズをして)もう、こうなってましたもん(笑)。最初の1～2曲なんか特に。

――そういえば、さっき、撮影でもYOMIくん、西川さんに〝堅いよ～〟って言われてましたね。

YOMI：(笑)そう、そう。最初、完全に気をつけの姿勢で(笑)。

西川：(苦笑)や～、でも、ライヴでは全然。すごく頼もしく感じたし、中途半端な感じでやられると、やっぱり見てる側も敏感に感じとっちゃうから、テレくさくなっちゃうんだけど、あれだけ振りきれてればね。ボーカリストって腹の座り方というか、度胸があるっていうのがすごく大事だから。そういう意味で、こっちも安心して見ていられるし、委ねられる。

YOMI：(真剣)。

西川：そういう空気を作り出せることってすごく大事だから。ホントは客席にまわって見たかったけど、なかなかそうもいかないから、モニターとか袖から見てたんだけど、そういうことをすごく感じられた。歌詞の内容とかディテールもちゃんと伝わってきたし。

YOMI：なんか、あのときは僕的には気合いが入り過ぎちゃって、空回りみたいな感じだったんですよ。

西川：ホントに？

YOMI：僕的には感情が入りすぎると、リズムやピッチのほうがダメになっていく感じがあるというか。

西川：あ～、でも、そうだよね。

YOMI：そこらへんのコントロールはどうしてるんですか？

西川：わ～、難しいよね。僕もずっと、できずにいたりするよ。でもね、我々がやってるのはオペラや声楽じゃないじゃない？ だから、いくときはいっちゃっていいと思うし……。だけど、今、言った感情が出すぎると、っていうのはまさにそうで、たとえば、自分の気持ちを伝える前に泣いたりすると、逆に伝わらなかったりすることってあるじゃない？ホントに儚く見えたり、切なく見えたりするのって、そういう気持ちをこらえてる瞬間だったりするから、それをちゃんと曲の中で作れるっていうこと。

YOMI：なるほど。

西川：で、それは実は歌ってないときのほうが重要だったりするから。メロディがあるときは意外と自由に自分の気持ちが吐き出せたりするんだけど、歌っていないときにどうしてるのか？バンドならイントロ、間奏、アウトロ。そこが大事かなぁって。

YOMI：いかに間をカッコよく見せられるかっていうこと。

西川：そう、そう。あと、隣でギターソロ弾いてようと〝俺を見ろ〟で全然、よかったりするから。

YOMI：あ～。

西川：どっちを見るのかの選択肢はお客さんが決めることだから、ギターソロのときにこっちが地べたをはいずりまわって、のたうちまわってても全然よくて、歌の頭でちゃんと自分が入ればいいわけ。だから、1曲、歌い終わったからって、全然テンションを落とさないとかね。それはイントロの曲に入った瞬間もそうだし。サビで急にアガるとか、そういうんじゃなくて、ずっとテンションをキープするっていう。そういう気持ちでいられたらいいなとは思っていて。

YOMI：難しいですよね～。

西川：そう。でも、バンドの呼吸感ってあるじゃない？ ナイトメアは10代の頃からやってきてるから、いいときも悪いときもずーっと一緒にいたと思うし、それが演奏にちゃんと出てるし、バンドのそういう姿を見て、逆にすごく勉強になったけどね。ウチのバンドは構想は長かったけど、実際に立ち上げてみんなに聴いてもらったり、ライヴを見てもらうようになってからは、まだ3～4年だけど、目を合わせただけでわかる、そのバンドのタイミングみたいなものってあるでしょ。たぶん、YOMIの後ろ姿を見てドラムもベースもギターも入ってるんだろうし、そういうところを見てると、〝こういうバンドにならなきゃいけないな〟って、すごく感じたし。

YOMI：あの、この前の幕張のライヴは音源を聴いてたから、ほとんど知らない曲はなかったんですけど、俺が感じたのはドラムのパターンが音源と、ところどころ違うなって。

西川：うん、そうだね。

YOMI：(歌に)入りづらそうだなって思ったところもあって。

――そういうところに目が行くって、ボーカリストならではの視点ですね。

西川：うん、ただ、そういうのも長くやって培ってくれればね。でも、ホントにあのイベントはヨーロッパツアーが終わってすぐだったから、ナイトメアを見てすごく刺激になった。自分たちに足りないものを目の前で見せてもらった感じがしたから。

――めっちゃ、ほめられてますね。

YOMI：や、西川さんに足りないものは完全にないです！

西川：(笑)そんなことないよ～。

YOMI：や、なんで神様は西川さんに、こんなにいろいろなものを与えて、俺には与えてくれなかったんだろうって(笑)。

――(笑)そこまで思わなくても。

西川：ねえ。おかしいよ(笑)。

YOMI：ホントにメールでも言わせてもらったんですけど、理想のヴォーカリストですよね。下ネタも言えて(笑)。

西川：わはは。そこ？

YOMI：ずーっと音楽業界の第1線で活躍されていて超人です。

西川：いや、いや、でも、そうや[illegible]言ってもらえるようにがんばらないと。YOMIとは一緒に話してて楽し[illegible]、刺激的だし、そういう関係でいられ[illegible]ことが自分にとって大切だから、[illegible]いう付き合いをずっとしていきたいね。だから、純粋にライヴ見たいと思う[illegible]音源出たら聴きたいし、そういう仲間と一緒にいたいからね。いろん[illegible]プの人がいると思うけどね。俺には俺の世界があるからっていう人もいるだろうし。

YOMI：ああ、そうですね。

西川：僕はそういうタイプではないし、ヒップホップとかパンクとかいろんな音楽やってる後輩がいて、みんな、それぞれ、自分たちの色を持ってるから目が行くというか。ライヴを見てもヴォーカルを見なきゃって意識しなくても、YOMIは自然と視界に入ってくるし。

YOMI：でも、ウチらのバンドは基本、ヴォーカルを立ててないスタイルなんですよ(笑)。

――どっちかっていうとYOMIくん、いじられキャラだもんね。

YOMI：だから、変に見えちゃう部分もあるんですよ。絶対。

西川：そうなのかな？

YOMI：どうしたらいいですか？

西川：はははは。

YOMI：(真剣)今のスタイルのままでいいんですか？

西川：いや、全然、いいよ。っていうか、自分が先輩たちにしてもらったこともそうだけど、自然にしてて、なんか、いじりたくなっちゃったり、触れたくなっちゃったりするのは愛嬌なんですよ。そこはチャーミングなところだから、大事なの。俺もここまでやってこれたのは愛嬌のおかげだから。大事ですよ。

YOMI：あ～。

西川：自分はまわりのおかげだと思ってるから。だって、[illegible]なれないヤツは山ほどいるから。〝何やってもかわいげねーな〟って言われ

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

る人もいるじゃない？　そう考えると、すごくいいと思うけどな。

YOMI：でも、僕的にはヴォーカリストっていうのは、めっちゃカリスマ的なものを持ってるっていうのが理想で、自分もそういうふうになれるようにがんばってきたんですけど、実際、ステージでいじられたりすると、MCもおちゃらけるじゃないですか？

西川：（笑）。

YOMI：そうなると、カリスマ感だったり、オーラだったりが……。

西川：ない、ない。ゼロになる（笑）。

YOMI：そう、そう。で、俺、もうMCなんてしたくない！　みたいになったことがあって（笑）。今も若干したくないんですけど（笑）。今まで、いっぱいしゃべるヴォーカリストはオーラがないと僕的に思ってたんですよ。でも、西川さんは、唯一、その～（口ごもる）。

西川：（大受け）

YOMI：西川さんが僕の考えを打ち砕いてくれたというか、〝あ、こんなにしゃべっても、こんなにオーラがあるヴォーカリストがいるんだから、俺の考えは間違っていた〟と。だから、自分も西川さんみたいにMCはMC、曲に入ればカッコいいヴォーカリストになりたいし、その切り替えをもう少し勉強しなきゃいけないなと思ってます。

――西川さんは逆にMCでメンバーをいじり倒してますよね。

西川：そうね。それで自分で自分をどうしようもない状況に追いこんだりしてますからね（笑）。ウチのバンドはそこで自分から切り込んでいくっていうタイプの人が1人もいないのね（笑）。

YOMI：へえ。

西川：エばっかりしゃべってない？　俺もしゃべりたいっていうタイプなので、みんなが面倒くさいと思うところは引き受けて。

YOMI：なるほど。ウチのバンドは、セットリストとか決めるときに勝手に僕が何個もはさまれてて（笑）。

西川：へえ。

YOMI：そんなに俺、何をしゃべるの？みたいな。

西川：（手を叩いて受ける）

YOMI：勝手にMCって言うけど、俺がしゃべるんだけどって。そんなにしゃべることないですよ（ハンギレ）。

西川：（受けまくる）。

YOMI：〝ここ、MCね〟みたいな。

西川：ははは。大変だなあ。でも、今の感じで話してれば全然いいと思うしね。自分が昔、ラジオで20分とか、ひとりでしゃべっていた時には入り口と出口だけ決めておいて。

YOMI：ああ、なるほど。

西川：最初はこの話から始めようって決めていいて、最後はこれで終わるっていう。そういうコースだけ大まかに決めておけば途中でそれてもいいし、MCで言うと、決めておけば最終的に出口が見えなくなって、〝OK！　じゃあ、次の曲〟みたいなことにならなくて済むっていうのは考えたことがあったな。

YOMI：今はもう、その場で考えてしゃべってるんですか？

西川：何も考えてない。

YOMI：へえ～。

西川：目に入ったものに触れ続けるから、メンバーをいじる（笑）。あとは、その日にあったこととか。

YOMI：俺、話すことを今でも紙に書いてるんですよ。

西川：ホント!?

YOMI：だいたいなんですけど。

西川：組み立てをね。エラい！

YOMI：だから、僕的にはコースができてるんですけど、メンバーに振るとそれていくから、僕もわかんなくなっちゃって、どうしよう？　どうしよう？って。

西川：なるほどね。あとは強引さじゃないけど、別に話が繋がってようが、繋がってなかろうが、そこはグイッと自分でなぎ倒していくっていうか、押し倒す。

YOMI：あ～。

西川：得意系でしょ？（笑）。

YOMI：そ、そうですね。まぁ、夜は得意なんですけど、夕方はまだちょっと～。

――18時30分とかは早いらしいですよ。

西川：できる！　絶対イケる（笑）。

YOMI：そうですかねぇ。

同じ土俵の上だから
後輩に“がんばれ”とか絶対に言わない。
俺が、がんばる（笑）

――――西川貴教

――逆に西川さんから、YOMIくんに聞いてみたいことはある？

西川：そうだなぁ。仙台で10代の頃に出会って、今に至るわけじゃない？　あと、何年かしたら、家族以上に一緒にいることになったり、ヘタしたら、もう家族みたいになってるかもしれないと思うけど、そういう仲だからこそ言えることもあると思うし、バンドの距離感のとり方はどうしてるのかな？って。

YOMI：はい。

西川：ホラ、家族みたいになっちゃうと、言わなくてもいいやと思うこともあるし、でも、それでも言わなくちゃ伝わらないこともあったりするから、そういうのって自然にそうなってるのか、バンドの中でこうしようって決めたりすることがあるのかな？って。

YOMI：あの、基本的に僕たちは話し合いができないんですよ。

西川：へえ～。

YOMI：5人だけで話し合いができないんです。立会人というか、事務所の社長なりマネージャーがいないと、全体の意見がまとまらない。

西川：（驚く）そうなんだ？

YOMI：自分はこうしたいんだっていう意見を誰も強めに出さないというか。

西川：へえ～。ライヴ見てると〝俺が、俺が〟っていう感じに見えるから、よけいに意外だね。

YOMI：はい。ほかのメンバーに気を使いすぎてるのかもしれない。

西川：やっぱり、ライヴの見え方とは違うんだね。ダチョウ倶楽部みたいなものなんだ？　どうぞ、どうぞって（笑）。

YOMI：（笑）そう、そう。そんな感じですね。

西川：面白い。あの、弟分のバンドの仙台貨物ってあるじゃない？　ガッツリ真剣にやってるのがいいなと思うんだけど、ああいうアイディアって、どういうところから出てきたんだろうね？

YOMI：えーっと、聞いた話なんですけど、インディーズの頃は衣装とか、それこそ、雑誌の広告も自分たちでお金を出さないといけないんですよ。でも、お金がなかったので、仙台貨物はデモテープを売ったりして、それでそういうのを稼いでたらしいですね。

西川：なるほどね～。

YOMI：あと、機材車もなかったので、買おうみたいな話になってたから。

西川：素晴らしい。それは素晴らしい話だね。

YOMI：どうも聞いた話によると、そうらしいですよ。アルバイト代みたいな感じで始まったらしいです。

西川：それは素晴らしいね。見習うべきですよ。我々の世代がギリギリぐらいなのかもしれないけど、以前はインディーズとメジャーの垣根がきっちりあって、そこを超えてメジャーに行くみたいなところがあったけど、今はわりとお客さんが入っているインディーズのバンドには、すでに事務所があったりして。そうなると、何かしてもらうことが当たり前になってることも多いじゃない？

YOMI：あ～。

西川：や、別に〝苦労しなさいよ〟っていうことじゃなくてね。しないでもいい苦労はしないほうがいいから、そんなことは勧めないんだけど、しておいたほうがいい苦労もあるじゃない？　自分たちのチケットをさばくことがこんなに大変なんだとか、何をしたらもっとライヴに来てくれるのか？とか、どうしたらもっと曲を聴いてくれるのか？とか、みんなで考えたりね。もちろん、演奏やいい曲を作ることは大切で……。だけど、〝あのバンドのフライヤーいいな〟とか〝あのバンドが無料でこんなもの配ってたから、ウチはこうしてみよう〟とかね。そういうのが積み重なって今があると思うから。自分がいざメジャーになって、定期的にライヴしたり、音源出すようになってきたりしたときに、こういうジャケットにしたいとか、こういう衣装を着たい、こういうステージセットにしたいっていうのが、そこで自ずと繋がってくるから、そういう部分を最初から人に委ねちゃうと、モノを想像したりとか、こういうことをやりたいって人に発信することが大変になると思うから、最初にやっておいたほうがあとあと自分のためになると思うしね。

YOMI：なるほど。

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

西川：でも、今、すごくいい話したね。絶対、記事にしないで（笑）。ウソ、ウソ（笑）。ぜひ、YOMIくんが言ったような、いいことはバンドやってる人はマネしたほうがいいと思うし、もっと我々もがんばらなきゃと思いますよね。
YOMI：あと、自分は西川さんみたいに、ずーっと歌をうたってたいなと思うんですけど、それってすごく難しいことじゃないですか？
西川：うーん、そうですね。
YOMI：長く歌っていけるコツみたいなのってありますか？
――第1線でいつまでも歌っていける理由みたいなことだよね。
西川：やー、自分ではそういう立場にいれてるのか、わからないですけどね。
YOMI：いや、いや、いや。
西川：でも、当たり前だけど、謙虚な気持ちと……僕の場合は、ただただ同じことを続けるのが苦手なんだよね。
YOMI：そうなんですか？
西川：1つのことを始めると、アイディアがいくつか浮かんでくるんだけど、何か1つのものを形にするときにいろんな色を混ぜちゃうと、わかりづらくなるじゃない？ たとえば赤のものに同系統の色を混ぜるんならいいけど、全然違う色だとね。でも、やっぱり、浮かんだアイディアは実現させたいし、例えば、今だったら自分はバンドだったり、音楽以外の舞台だったりをやったりすることで、それがどんどん影響し合っていって、今度、T.M.Revolutionに戻ったときにクリアになって気持ちよく活動できたりする。だから、ときには自分を全然違う立場に置き換えてみるとかね。自分にとって、やりたいと思ってたことじゃないことだったとしても、人から勧められたことをやってみたりすると意外と〝なるほど。こんなふうに物事が見えるんだ〟って思ったりとか。
YOMI：ええ。
西川：たとえば音楽だとデモ作って、アレンジして、レコーディングしてっていう過程がもうわかってるじゃない？ でも、舞台とか全然、違う世界に入ってみると1年生みたいな。いい大人なのに、演出家から〝それは違う！〟とか言われるわけじゃない？ 言われたときはカチーンみたいな（笑）。
YOMI：はははは。
西川：でも、そこで〝俺はこういうスタイルだから曲げたくない〟って言うんじゃなくて、〝わかりました〟って1回、自分を殺してやってみる。そうすると、〝なるほど。そういうことを言ってたのか〟って思って、自分の表側じゃなくて裏側が気づかない内に磨かれたりとかして。それが何年後かに活きてきたりすることもあって、そこが奥行きに繋がっていくから、今、自分がやってることは全部、歌のためだと思ってやってるとムダなことなんてないなぁって。
YOMI：なるほど。
西川：だから、いろんな人と出会って、いろんなことを感じて、それが全部、YOMIの奥行きに繋がっていくと思うから。
YOMI：はい。
西川：出会いなんか特にそうだよね。〝コイツ、嫌い〟って思った人に会ったら、その人みたいにならなきゃいいんだよね。〝こういうところがイヤだな〟と思ったら、自分をかえりみて、そういう態度やそういう言い方を自分はしてなかったかな？ って。思い当たるところがあったら直せばいいし、〝ムカつくバ～カ〟と思いながら、全部、自分のモノにしていけばいいし。
YOMI：（真剣）。
西川：枢の話、聞いてても、見えてないところで、すごく辛かったり、悔しかったり、悩んだりしたことが山ほどあったと思うわけ。でも、それをちゃんと昇華して、その上で俺と出会ってさ。だから、枢も最初は俺に勝手なイメージみたいなのを持ってたみたいで、フツーにしてると〝こんなふうにされたのは初めて〟みたいなことを言われて。
YOMI：そうです。僕たちは西川さんとか、GLAYさんとかよりも1つ手前の世代の方々と一緒に共演させていただいたんですけど、〝飲め〟って言われたら、もう完全にイカないといけない。
西川：はははは。

でもちゃんと僕がお願いした
色紙に“がんばれ”って
書いてくれましたよね(笑)。

―――――― YOMI（ナイトメア）

YOMI：だから、先輩って言うと、そういうイメージしかないんですよ。
西川：僕にとっては直近で先輩ですって言えるのはBUCK-TICKのメンバーだったりするんですけど、最高なんですよ。この前もa.b.s.のファイナルの幕張で、BUCK-TICKの「ドレス」を歌うから、ゲストで来てくださいって、櫻井さんにお願いしたら、ホントに来ていただいたりして。まわりには恵まれてたから。そういう出会いがなかったのは辛かっただろうなと思って。これからもいい影響や刺激を与え合える関係でいたいなと思うけど。
YOMI：はい。だから、ウチらは後輩には絶対にそういうことはしないっていう話をしたりするんですよ。僕も西川さんみたいな先輩の立場になったときに後輩に刺激を与えられるようになってたいですね。
西川：やー、でも、YOMIの世代は、もう、そんなことはないと思ってた。
YOMI：いや、いや、同世代のtheGazettEやシドと飲んだりすると、そういうことあったよねって。
西川：まぁ、確かにそういうことが当たり前だったからね。打ち上げで飲んでて、いつのまにか後半は殴り合いになってたりとか。僕も大阪でバンドやってた頃はイヤな思いもいっぱいしたし、T.M.Revolutionから知った人には僕にそういうイメージがないかもしれないけど、バンドを抜けて何年かして、ひとりで上京して、がんばって這い上がってきて同世代のLUNA SEAやL'Arcのテッちゃんとか同じ土俵で戦えたことが励みにもなったりしたしね。だから、ナイトメア祭り、シド祭りで、theGazettE然り、みんなが切磋琢磨して戦ってる感じが今、見ててすごく面白いですよ。それぞれが違うこと考えて、自分たちの色を持ってるし。
――西川さんにとっても、後輩の存在が刺激になってるんですね。
西川：そう。だから、よく〝じゃあ、何か後輩にひとこと〟とかメッセージを求められるじゃないですか？ 絶対にヤだ。同じ土俵の上だから、そんなの関係ないもん。
――同じところで戦ってるわけだからっていうね。
西川：だから、〝がんばれ〟とか絶対に言わない。俺ががんばる（笑）。
YOMI：ははは。でも、ちゃんと色紙に書いてくれましたけどね（笑）。
西川：（笑）でも、そういう気持ち[illegible]いないとお互いに楽しくないじゃない？ 刺激し合えるからこそ、〝こういうことをやろう〟とか〝これ、やったらアイツら驚くんじゃないの？〟[illegible]て。そういう発想も生まれるか[illegible]い。
――ところで、さっきガンプラで遊んでるショットを撮っていたとき、YOMIくんは西川さんにガンダムSPEEDとコラボレーションしたガンプラ付きスペシャルBOX仕様のCDをプレゼントされて「すっげー」って喜んでましたけど。
YOMI：ありがとうございます。
西川：（笑）。
YOMI：僕もガンダムのテーマ・ソング歌いたいんですけど（笑）。
――そんなYOMIくんを西川さんがどこかに遊びに連れていくなら、どこに連れていってあげたいですか？
YOMI：お願いします（笑）。
西川：あ！ でも、どこかでツアーがかぶったら面白いよね。同じ場所は難しいかもしれないけど、近いところだったら、移動日を利用して合流するとかさ。
YOMI：ああ、いいですね～。
西川：地方で会うの面白いな。
――お互いのスケジュールが合うといいですね。
YOMI：そうっすね。
西川：僕、舞台の関係で今年はツアーの本数が少ないんだけど、来年はかなり、やろうと思ってるので、どこかでタイミングが合うといいな。
YOMI：いいですね。
西川：どっか意外なところで会って遊びに行きたいね。
YOMI：そうですね。西川さん、どこがいいですか？ 旭川とか？
西川：（笑）いいんじゃない？ じゃあ、その作戦会議をふくめて近々、ゴハンでも行こうか。
YOMI：はいっ！

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

A Day in the Life of a Teenager

v慧美网
vimee.net

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

the GazettE

STANDING LIVE TOUR 10

THE END OF STILLNESS

Live at ZEPP TOKYO 2010.3.17

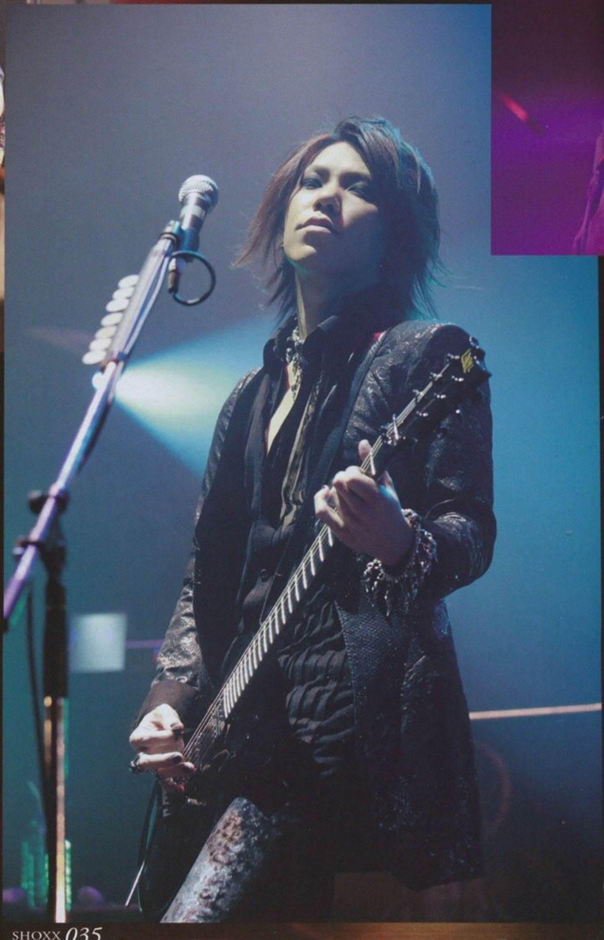
Photography:MASAYUKI KUSAKARI
Report:YUKI SUGIE

慧美网
vimee.net

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

V慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



the GazettE

V慧美网
vimee.net

STANDING LIVE TOUR 10

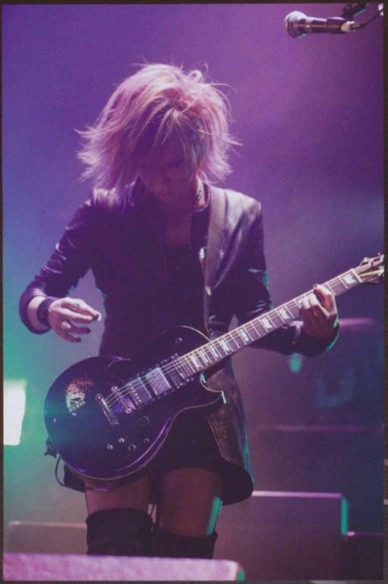
THE END OF STILLNESS

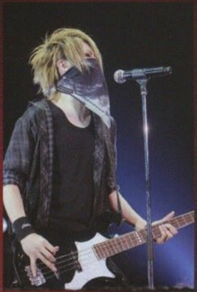
Live at ZEPP TOKYO 2010.3.17

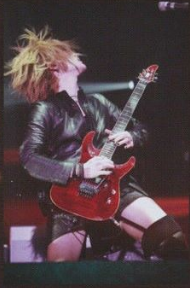
蝴蝶网
hudie.com

the GazettE

STANDING LIVE TOUR 10
THE END OF STILLNESS
Live at ZEPP TOKYO 2010.3.17







ここが5人の真骨頂。白熱のライヴ完全レポート!!

歓喜と熱狂に彩られた、爆音の渦。それらはthe GazettEの手により我等へともたらされた。今春は[HERESY PRESENTS STANDING LIVE TOUR 10 THE END OF STILLNESS]で全国を廻った彼らだが、既に7月21日にはニューシングルの発売が決定。武道館2デイズが皮切りとなる全国ツアー[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -1-]、秋には[TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -02-]が次いで敢行されるという。時は来たれり!

静けさの終わりに、一転して訪れたもの。それは歓喜と熱狂に彩られた、生々しき爆音の渦だった。

昨年末以来、満を持するかたちでtheGazettEがこのたび行ったのは、事実上今年に入ってからの初ライヴとなった［HERESY PRESENTS STANDING LIVE TOUR 10 THE END OF STILLNESS］だ。FC会員向けの今ツアーは、集中的な関東近郊サーキットを軸にしつつ、しっかりと地方公演も取り入れてある、という若干イレギュラーな行程。だが、なにしろ久し振りのオールスタンディング・スタイルのライヴということで、メンバー側としてもそこに掛ける意気込みには、並々ならぬものがあったらしい。

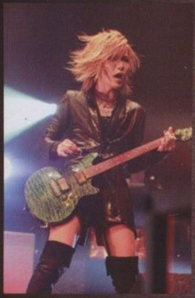
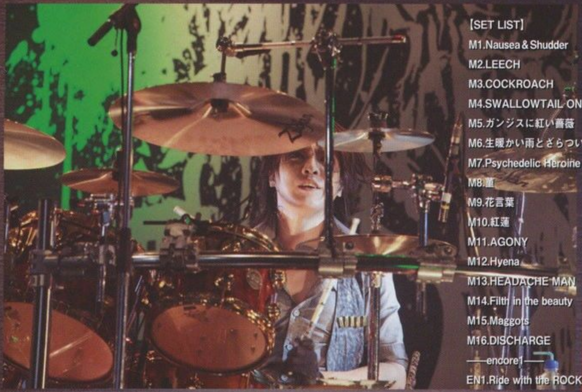
本誌では、3月17日のZEPP TOKYO公演を取材させてもらったのであるが、まず1曲目の選曲からして、彼らのこのツアーに対する姿勢が良く表われていた。SEが鳴り響く中で戒がスティックを構え、葵、麗、れいた、ルキがドラム台の方に身体を傾け、互いにアイコンタクトをとりあって、ぴったり呼吸を合わせながら始める曲といえば…そう、この時点でもうオーディエンスも次の瞬間に何が起こるかは、よく分かっていたはず。

期待に胸を膨らませたファンたちが発する大きな声援を断ち切るかのように、心地良い緊張感の漲った音が弾け出すと、始まったのはスリリングかつアッパーな勢いの詰まったtheGazettEにカッコ良い曲「Nausea & Shudder」だ。やら、熱く盛り上がれる曲は数あれど、個人的な意見を書かせてもらえば、これほど見聞きしていて〝痺れる〟曲は他に無い。

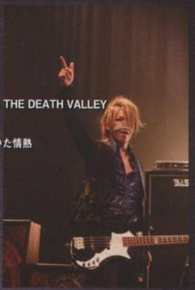
同時に、この曲ほどその日のバンドのコンディションがそのまま反映される曲も、そうあるものではない。そういった意味では、彼らにとっては諸刃の剣的なポジションにあたる曲だとも言えそうだが、その分だけこの曲が見事に決まった時の爽快感といったら無いのだ。

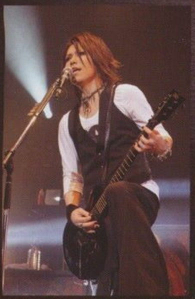
かと思うと、次なる「LEECH」では初っぱなからヘッドバンキングの嵐が大発生。さすがはスタンディング形式かつFC主催ということもあり、生粋の精鋭部隊が揃っているライヴだけあって、観客側の

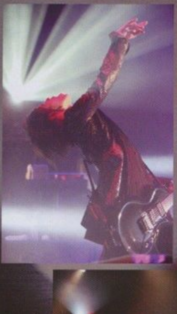
慧美网
vimee.net

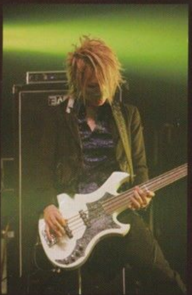



【SET LIST】
M1.Nausea＆Shudder
M2.LEECH
M3.COCKROACH
M4.SWALLOWTAIL ON THE DEATH VALLEY
M5.ガンジスに紅い薔薇
M6.生暖かい雨とざらついた情熱
M7.Psychedelic Heroine
M8.菫
M9.花言葉
M10.紅蓮
M11.AGONY
M12.Hyena
M13.HEADACHE MAN
M14.Filth in the beauty
M15.Maggots
M16.DISCHARGE
——encore1——
EN1.Ride with the ROCKERS
EN2.Ruder
EN3.SILLY GOD DISCO
EN4.関東土下座組合
EN5.LINDA～candydive Pinky heaven～
——encore2——
WEN1.「春ニ散リケリ、身ハ枯レルデゴザイマス。」









アガりっぷりにも全く容赦というものが無い。〝この親にしてこの子あり〟ならぬ、この場合は〝このバンドにして、このファンあり〟といったところだろうか。

ところで、今回のライヴでは定番曲「COCKROACH」や、the GazettE流の軽快なR&Rチューン「SWALLOWTAIL ON THE DEATH VALLEY」を聴いている中で、ひとつ気付いたことがあった。

かねてから、戒が肉体改造も含めたかたちでのドラム音質向上につとめている、という話は本誌でもお伝えしてきていたが、どうやらその〝効果〟が徐々にライヴ内容にも反映されて来ていたようなのである。しかも、それはアレンジ的に複雑な楽曲たちよりも、むしろ明解なビート感を持った曲たちでこそ、より顕著なものとして感じることが出来た。

建築物の構造しかり、料理の味しかり、往々にして大事なのは土台だ。これは音楽についても当然言えることで、サウンドの土台＝ドラムが堅牢なプレイをみせるバンドには、いわゆる名バンドが多い。古くはThe Whoやレッド・ツェッペリンに始まり、このシーンで言えばかつてのLUNA SEAなど、頼もしい土台があるからこその奔放で自在な音像、というものがバンド全体によって具現化される例は実際にある。the GazettEも、もしかしたら今バンドとして、いよいよその領域にまで足を踏み入れつつあるのかもしれないわけで、もし本当にそうだとすれば…これはとても喜ばしいことだ。

かくして、今回のライヴは基本的にはバンド感やライヴ感を、ひたすら臨場感たっぷりに味わえるセットリストになっていたのだが、それでいて途中には春という季節を意識したシーンというのも、さりげなく組み込まれていた。詞のイメージと重なる薄紫色のライティングの中で歌われた「菫」と、葵の弾くアコギが曲の切なさと響き合っていた「花言葉」。これらのくだりからは、the GazettEの持つ叙情性というものが感じられたに違いない。

とはいえ、それでもthe GazettEのライヴにおける醍醐味が、それとは真逆に位置する次元にあるというのも、これまた紛れもない事実だろう。怒濤のように「AGONY」から始まった本編後半は、遂に客席フロアが無礼講な〝祭り〟状態となり、「DISCHARGE」までの6曲をノンストップ！という流れにはなんだか壮絶なものがあった。

〝今回のツアーは、俺らと[illegible]どれだけ楽しめるのかっていうのがひとつのテーマでね。自分たちの楽曲[illegible]どれだけ興奮出来るのか？ってい[illegible]の限界セットリストを組んでやってるんで、毎日毎日ツライですけど[illegible]非常に身になるツアーになってると思います。〟

アンコールでのMCにおい[illegible]、フロントマン・ルキがこう言ったのにも頷ける[illegible]ライヴになっていた、と[illegible]わけだ。

なお、このアンコール時には[illegible]ルキがれいたに向けて水を吹きかけたり、その飛沫が葵にまでかかって葵が逃げ惑ったり、その様子を戒と麗が微笑ましく眺めていたりと、メンバー達が無邪気にじゃれあうアットホームな雰囲気を多々垣間見ることが出来た。たわいのないことかもしれないけれど、その和やかな光景からは、あらためてthe GazettEがいかにバンドとして健全であるか、ということを感じることが出来た気がする。こういうバンドは、間違いなくこれからも安泰だ。

〝最後に、一緒に歌って下さい。〟

この夜はWアンコールもHERESY会員向けライヴということもあり、「春ニ散リケリ、身ハ枯レルデゴザイマス。」。これにはオーディエンス側も狂喜乱舞し、場内は最後の最後まで大きな歓声に包まれた。

しかしながら、今回は今回。次回は次回だ。今後の彼らは7月21日にニューシングルを発表し、そこから7月の武道館2デイズが皮切りとなる全国ツアー「TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -01-」が決定。また、8月4日にPVクリップ集『FILM BUG II』をリリースするほか、さらには10月からもツアー続編となる「TOUR 10 NAMELESS LIBERTY SIX BULLETS -02-」を行うことが既に発表されている。オフィシャルH.P.で2010年the GazettEの活動告知映像が見られるが、この最後に記された「12.26」「東京」とは何を意味するのか。未だ見ぬ明日は、着実にもうすぐそこまで来ているのだ。

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

【セットリスト】1.ever　2.陽炎　3.MADROID　4.心眼　5.迷彩

【セットリスト】1.ADORE　2.59.　3.an illusion　4.A GLEAM IN EYE　5.EVILLY　6.alien tune　7.pluse_

【セットリスト】1.LOVE IS DEAD　2.REDEEMER　3.Garnet　4.Going on!　5.MIRROR　6.Bullet

BEAT SHUFFLE LIVE SIDE 2010 Spring

蝴蝶网
hudie.com

Live at 渋谷AX 2010.3.26

3月26日渋谷AXにて、D'espairsRay・lynch.・Sadie・The LEGENDARY SIX NINE・人格ラヂオと言う、豪華5バンドが顔を揃えたBEAT SHUFFLE主催イベント『BEAT SHUFFLE LIVE SIDE 2010 Spring』(FM NACK5/FM79.5mhz)が開催された。The LEGENDARY SIX NINEに至っては、この日が音源リリース後初ライヴにして、最後という、貴重なステージともなったこの日の模様を、ここにレポートします。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:YUKA SUGIE

気付けば吹く風も暖かさを孕み、街も色づき始める春。そんな淡い季節にして、あまりにも濃密かつ濃厚、刺激過多なイベントに遭遇してしまった。

まず鋭く切り込んだのは、メンバー全員、奇抜な仮面を装着してギョっとさせたD'espairsRay。ド頭からヴォーカル・HIZUMIが〝新曲踊ろうぜ！〟とアオった「LOVE IS DEAD」、そのダークでヘヴィでダンサブルなサウンドは、かなりのパンチ力だ。海外でも評価の高い彼らだが、躍動的で挑発的な音像、そしてメンバーは、フロアを面白いように巻き込んで、覚醒させていく。鍛え抜かれたライヴバンドとして、イベントのトップバッターとして、きっちりレベルの高い幕開けを飾った。

続くはlynch。激しく疾走するサウンド、暗く美しい旋律が織り成すのは、独特の色彩だ。特に、泣きのギターも聴けた「an illusion」、メロディアスに際立った新曲「A GLEAM IN EYE」で顕著だった叙情感は、突き抜ける激しさ同様、彼らの武器だと感じた。ヴォーカル・葉月が〝全員でいこうぜ！　祭りってそういうもんだろ！〟と吠え、お腹にズシっとくる重低音が降り注いだ後半戦。その確かな手応えは、最後に〝最高！〟と叫んだ葉月の笑顔に、よく表われていたように思う。

あくまで私見だが、なんだか意表を突かれたのはSadie。イベントともなれば、攻撃性剥き出し、怒涛のヘヴィネスサウンドで攻めに徹する印象の強い彼らだが、サビ始まりで、なおかつキャッチーなメロディとシンプルなビートが貫く「ever」での幕開けは、いつにも増して鮮烈に映った。その上でヘヴィにラウドにたたみかければ、フロアが体感する攻撃力も倍増。ヴォーカル・真緒はデスシャウトやスクリームで威嚇して、相変わらずMCらしいMCは一切なし。そのストイックな潔さは、深く深く刻まれた。

そして、問題のThe LEGENDARY SIX NINE。どうやっても物騒な予感だったが、精鋭の傭兵部隊かのような威圧感は、想像を遥かに越えていた。しょっぱなの「Death Disco」から、グルーヴィーにウネるサウンド、TWIGYの扇動が圧倒。Ni~yaがまさかの機材トラブルに見舞われたが、怯むどころか、それを起爆剤にステージもフロアもとんでもない暴発ぶりだ。続く「Cruel」で登場したHAKUEIは、呑み干したビール缶をフロアに投げ、一気に毒の華を咲かせる。ヒップホップ界とヴィジュアル界、双方のカリスマがシンクロすることで生まれるのは、前代未聞のケミストリーだ。さらに、MCタイム。HAKUEIに促され、アノRUKAが彼なりの長文に感謝の念を託した。一味違う彼に驚いたのは、筆者だけではないだろう。TW

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

The LEGENDARY SIX NINE

【セットリスト】1.Death Disco　2.Cruel　3.砂ノ街　4.DIRTY

人格ラヂオ

慧美网
vimee.net

【セットリスト】1.お人形さん　2.太陽　3.バンギャル症候群　4.体温　5.額縁

IGYのメロウなラップ、HAKUEIのハイトーンが儚さ、透明感を彩って惹き込んだ「砂ノ街」。そして艶っぽい歌声、豪胆な演奏が曲の新たな表情を引き出した「DIRTY」。その凄味を体感するのが後にも先にもこの機会だけかと思うと、もったいないようで、一安心なようでもある。

そんな騒乱の後には誰であろうと出にくいだろ！　とお節介な心配をしていたものの、まったく異種のオリジナリティであんぐりさせたのが人格ラヂオ。どこか懐かしくて思わず口ずさみたくなる歌謡曲的ポップナンバーに合わせ、フロアも先程とは別人のような楽しみ方をしているではないか。「お人形さん」ではEX○LEのごとき千手観音ダンスを披露したり、「バンギャル症候群」ではBEAT SHUFFLEのDJ浅井氏が、なんとゴスロリなバンギャルに扮してダンサーとして登場と、まさかの禁じても連発。さらに強烈なのは、悠希のMC。どぎつい下ネタぶりも含め、その臆することのない毒舌軽妙な話芸は、R-1グランプリでも勝ち抜けそうなほどだ。かと思えば、静と動のコントラストで情景を描いた「体温」、壮大なバラード「額縁」ではバシっとスイッチを切り替えて、歌の力で勝負。楽しめませて、あげく感動させて、彼らが大トリを務めたワケが完全に理解できた。

個性も存在感も強すぎる5組ならでは、このある種の奇跡体験は、当分鮮明に脳裏に刻まれそうだ。

蝴蝶网
nudie.com

慧美网
vimee.net

立入禁止の
蔵の中

蝴蝶网
hudie.com

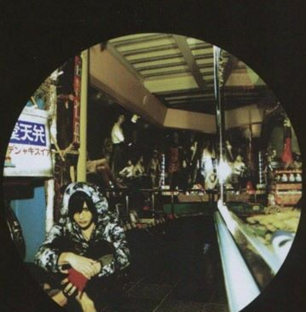
有村竜太朗

V慧美网
vimee.net

歌うこと自体は必ずしもマストではないんです。

有村竜太朗

立入禁止の蔵の中



蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

時は巡り、今年も穏やかな季節がやって来た。Plastic Treeと竜太朗にとって、昨春からここに至るまでには多くの紆余曲折があったものの、今や彼らの周囲には前途洋々たる空気が満ちているように見受けられる。5月に行なわれる[Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演]と題された東名阪での記念公演でも、きっと彼らはバンドとしての真髄を味わせてくれることだろう。

Photography: SHINJI TANAKA (Luz-p.o.)　Design: ASAKA YAMAMOTO (glitter glow)
Hair & Make-up: DAISUKE "BOB" TANAKA (JET SPEEDeR)
Interview: YUKI SUGIE
Location thanks: 怪しい少年少女博物館 (☎0557-51-8800 http://ayashii.pandora.nu/　詳細はP127へ)

——今年も春がやって来ました。思い返すと、この1年の間で竜太朗くんとPlastic Treeは、とても大きな波を乗り越えてきた気がします。

「そう…ですよねぇ。去年の今頃だとまだ現メンバーも固まってなくて、バンド内でもそこから進むのか、それとも一旦ちょっと留まるのか、っていう間を行き来してましたから」

——とはいえ、あの時点でもすでに竜太朗くんは〝バンドとして曲作ってライヴをやりたい、っていう一心だから。たとえ一輪足りなくても、走ってりゃ何とかなるでしょ、って思ってるんですよ〟と言葉にしていましたよね。

「うん、今思えば半ば強がりだけど(笑)。だから僕自身はバンドの活動自体を止める気はさらさらなくて。どういう規模で、どういう流れの活動になるかは分かんないけど、Plastic Treeを続けたいなぁっていう気持ちだけは、ずっと持ってました」

——あれから1年経って、Plastic Treeは思っていた以上に〝先〟へ進んだのではないでしょうか。

「やっぱり、ケンケンが入ったっていうのは大きかったですよね。これだけ長年バンドやってて、こんなこと言うのも非常におこがましいんですけど(笑)、なんか新人さんみたいな気分でバンドをやれる感じが新鮮なんですよ」

——名実ともにバンドとしてリスタートして、メンタルな部分にまで良い影響があったというのは喜ばしいことです。

「去年の夏ツアー(『梟一座★夏行脚』)の段階で、もうバンドとしてのコミュニケーションはちゃんと取れてたし。それは演奏面だけじゃなく、普段のお喋りとか、そんなたわいないことも含めて」

——大事なことですよね、それも。

「ただ、リスタートとは言っても僕らの場合、今までにPlastic Treeとして作ってきたものや、いろんな人と一緒に作り上げて来たものもいっぱいあるわけで。そういう意味では、全くのゼロからのスタートっていうんではなかったし、今まであった土台の上に、さらにこの4人で〝もっとPlastic Treeを良くしよう〟っていう気持ちで、新しくいろんなものを積み重ねていくことが出来ました」

——年明けのツアー[Re:chord]でも、ライヴバンドとしてのさらなる充実ぶりが顕著に伝わって来ていましたけれど、竜太朗くんから見て、ケンケンくんが加わったことでPlastic Treeが特に変化した部分があるとしたら、それはどんなところだと思いますか。

「何だろう? 平均身長が下がったとか」

——そう来ましたか(笑)。第三者からは、バンド内に漂う空気感が変わったように感じるのですけれど。

「それはあるかもしれませんね。ひとつの試練を4人で乗り越えたことで、何かが変わったっていうのはあると思います」

——あとは余談的な部分で言えば、ステージ上でのMCなどからは、ケンケンくんが竜太朗くんにとって、良いオモチャになっている場面もしばしば見られるような気が(笑)。

「違います! あれはケンケンを出来るだけ前に出そう、前に出そうっていうところでの、僕の優しい配慮と戦略の表れです(笑)」

——とりあえず、ここはそういうことにしておきましょうか(笑)。いずれにしても、ああいうやりとりも傍目には微笑ましかったりするわけで、今のPlastic Treeは見ている側としても、いちいち楽しいし、興味深いですよ。

「ホントですか? だったら良かったです。僕自身も、何だかここしばらくなんか楽しくて、〝やっぱりバンドって良いなぁ…〟とよく思います」

——例えば、この間のツアー[Re:chord]で言えば、本編の最後でインストゥルメンタル「―――暗転。」が演奏されたシーンなどは、長年このバンドを観てきていた中にあっても、とても鮮烈かつ刺激的なくだりでしたからね。たとえ竜太朗くんが歌わなくとも、4人で織りなすPlastic Treeの音がそこにある、という事実に驚かされたんです。

「自分の中では「―――暗転。」って、他の曲で言えばギターを持ってない曲のアウトロ、とかに近い感覚なんですよ」

——ギターを持たない曲のアウトロと言うと、竜太朗くんは全身を使って、大きく動きながらパフォーマンスしていることが多いですよね。

「そうそう。だから、そういう意味では歌うとか歌わないとか、ギターを持ってるとか持ってないとかも関係なく、その空間全てを使って、その時に表現したいことを表現することが、僕にとってはライヴにおいての核となる部分なんですよね。要するに、歌うこと自体は必ずしもマストではないっていう」

——ヴォーカリストの口から、そういう言葉を聞くケースは異例ですよ。しかし、その意味はあのライヴを観ていれば理解できます。

「極端なことを言うと、無音だっていいんです。それが活きる場面があるなら、別に余計な音を立てる必要はないだろうし。元々そういう考えを持ってる中で、僕の場合はたまたま表現手段のひとつとして、普段はいちばん多くチョイスしているのが歌ですね、っていうだけの話ですから。もちろん歌がいちばん好きなことではあるけれど」

——深いですねぇ。

「だからね、本来はギター持って歌うなんていうのは、歌のクオリティのことだけを考えれば避けたほうがいいんですよ。何も持たないで歌うより、ギター持ったほうが絶対難しくなるわけでしょ。元々、そんな歌だって上手くないのに(苦笑)。だけど、ギターをかき鳴らしながら歌ったほうが、もっと感情が伝わるんじゃないか?って思うから、ギター持っても歌うし、時には傘持っても歌うし、ギターを持って楽器隊に正面からぶつかってくこともあるし…って、単純にそういう話ですよ」

——同時に、竜太朗くんが素直に〝ぶつかっていきたい〟と思えるほど、この1年の間に楽器隊が素晴らしいアンサンブルを見せるようになったのも、また事実なのではないです?

「あー、それもあるか。楽器隊っていうか、バンドとしてこの近年の中では、ここ1年が最もみんなの気が張ってた、っていうのは確かにあります」

——そうでもないと、ケンケンくんが正式加入してから半年足らずでフル・アルバム、なんて到底作れませんよ。〝気持ちの持ちよう〟ってホント大事ですよねぇ」

——そう考えると、去年と今年ではお誕生日3月6日を迎えた時の心境も、だいぶ違ったのではないです?

「んー、あー…えっとですね、今年はいつも以上に、あんまり誕生日のことは意識しなかったです。何て言うんですかねぇ…そこは自分にとって特別節目っていうわけでもなくて、ずっと全てが引き続いて動いてる感じなんですよ」

——ちなみに、3月6日当日は何を?

「何してましたっけ? あぁ、そうだ。撮影(本誌増刊『glitter pop No.3』の表紙巻頭分)だったんだ。現場でケーキもらって、メンバーやスタッフがみんなして祝ってくれました。結局、仕事でも入ってないといつも誕生日って地味に終わってっちゃうから(苦笑)、それは嬉しかったです。理想を言えば、誕生日もライヴっていうのがいちばん良いんですけど。誕生日も、盆もクリスマスも正月も、やれるなら全部ライヴっていうのが良いです」

——竜太朗くん、マネージャーさんが横で若干イヤそうな顔をしてますよ!?

「そうなんですよ! みんなわりと、盆暮れ正月とかイヤだって言うんですよね。俺は絶対、休んでるよりライヴやってるほうが楽しいのに。しょうがないから、誰も付き合ってくれない時は、弾き語り喫茶みたいなところでも歌おうかな。アピア(70年代より続く弾き語りの殿堂)とか良いかもしれない(笑)」

——さてさて。話はがらりと変わりますが…今回掲載されている写真についても、少し語っていただければと思います。このたびは伊豆高原まで足を伸ばされたそうで。

「〝怪しい少年少女博物館〟っていうところがあるってスタッフから聞いて、[illegible]うだったからそこで撮って来ました」

——竜太朗くん、現場では相当盛り上がっていたらしいですね。

「実に興味深かったです」

——それにしても、〝怪しい少年少女博物館〟という名称だけだと何をテーマにした博物館なのかが今ひとつ見えにくいのですが、今回の写真を見る限りでは、レトロ

慧美网 yimee.net 蝴蝶网 hudie.com

で昭和テイストな雰囲気が濃厚に漂って来ますね。

「何か、いろんなものがごっちゃになってるんですよ。まぁ、基本は昭和的エログロナンセンス、な感じで。撮影が終わってから、外にあるお化け屋敷にも入ったんですけど、そこも実に良く出来てて。凄い面白いしで、夢中になってあっちこち見てたら、みんながもう帰りかけてて、危うく置いていかれるとこでした（苦笑）」

——具体的には、どういう点が竜太朗くんの心を鷲掴みにしたのでしょうね。

「まず、その〝怪しい少年少女博物館〟っていう名前からしてヤバいでしょ！ その名前を聞いた時点では、あくまで個人の趣味程度に集めたものが置いてあるのかな、っていうくらいに僕は考えてたんですけど…。でも実際行ってみたら、モノの坩堝なんですもん。よくこれだけ集めたな、って感心しました。しかも、あれだけ雑多に見えて、どっかちゃんと一貫してるとこがある、っていうのもまた楽しくってね。なんか、とっても煌めく世界でした」

——では、そうしたお気に入りのシチュエーションの中において竜太朗くんは被写体として〝どう〟撮られようと？

「えー、それは特に何も考えてなかったなぁ。伊豆高原ですからね、前ノリして温泉入って、早起きして朝風呂入ってから行ったから、暢気に心地良く湯上がり気分でした（笑）。最近は、遠出をしての撮影っていうのもなかなかないし、去年の湖に続いて、また良い機会をもらえたことに感謝してます」

——ところで、今現在の竜太朗くんは、何をしていることが多いのですか？ 2月末にツアー［Re:chord］が終わって以降の動き、というのを知りたいです。

「最近は、そこまで忙しいっていう感じではないけど。相変わらず曲作りとかは地道にしてるけど、とにかく去年『ドナドナ』（アルバム）を出すまでがあまりに慌ただしかったから、それと比べたら少しゆったりしてます」

——今後の大きな展開としては、5月に東名阪で［Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演］と題された記念公演が行なわれますけれど、こちらについてはどんな経緯で開催が決まったのです？

「あれは正くんが言い出したんだっけなぁ…ふと気が付くと、今年であれから15周年なんだよっていう話になりまして。それで、せっかくだから何かライヴでもやれたらいいねっていう話になって、最初はもっと小ぢんまりとやろうと思ってたんです」

——要は、FC限定ライヴくらいの規模で考えていたとか？

「はい、そのくらいのイメージですね。場所的には、あの頃『Strange Fruits-奇妙な果実-』を出した後にやったワンマンが昔の（新宿）ロフトだったんで、当時とは移転しちゃって場所は違うけど、新ロフトでやるのもいいんじゃない？っていう話もありました」

——ただし、それだとごく限られた人しか観られなくなってしまいますよね。

「っていうのがあって、今回みたいなかたちになりました」

——いかんせんライヴ・タイトルがタイトルですから、当然『Strange Fruits-奇妙な果実-』の楽曲たちは演奏していただけるとして、それ以外でも今度のライヴでは過去のあんな曲や、こんな曲が蔵出しされて来ることを、つい期待してしまいたくなりますね。

「どうなるんでしょうね（笑）。僕ら自身も、今から楽しみなんですけど、まだ具体的にどういうかたちでやっていくかは話し合ってないんですよ」

——おそらく、Plastic Treeのオリジナル曲は今や200曲前後あるはずですからね。中には、今現在だと幻の曲同然になっているものもありますよね。それと、個人的には「クリーム」を当時のアレンジで聴いてみたい、という願望もあったりしますよ。

「あ、ソレけっこう大事なとこですね。ちゃんとメモっときましょう。えーと、「クリーム」を昔のアレンジで、と（笑）。それから、僕も個人的な希望でいけば、当時の空気感を今のプラで再現してみたい、っていう気持ちもあります」

——当時を再現ですか。となると、衣裳はアレですか??

「そこはさすがに当時のまま、っていうわけにはいかないですけど（笑）。だって、今やどこにあるのかも分かんないもん。実家の押し入れの奥深くにある可能性はあるけど、母親が捨ててなきゃいいなっていうくらいの話ですから（苦笑）」

——衣服の長期保管って、けっこう難しいですしね。

「ウチ、何でも母親がすぐ捨てたがるんですよ。昔、三毛猫（病院＝竜太朗がやっていたセッション・バンド）で使ったパジャマも速攻捨てられちゃったし。〝何なのこれ。血なんかついちゃって気持ち悪い！〟って（笑）」

——分かりました。衣裳については適宜用意していただくとして、あとは何といっても曲を思い出す、という作業がこれまた大変そうです。

「でも、曲は実際リハとかやり出したら、自分が考えてる以上にすぐ思い出すんじゃないかと予想してるんですけどね。なんせ、当時何回も何回もライヴでやってた曲たちばっかだし」

——歌詞まわりも大丈夫ですか？ すっぽり抜けていたりしません？

「それはほら、歌詞なんて今の曲でも抜ける時は抜けちゃいますから（笑）」

——何という開き直り（笑）。

「あのね、違うんですよ。当時って、レコーディングする前からライヴでやってる曲が多かったから、「twice」なんかにしても、1年くらい歌詞がちゃんと決まんないままライヴでやってましたから。たぶん今でも頭の中で、昔の歌詞と音源になってる歌詞が混在してそうなんですよね。そういうとこ、ちょっと気を付けないと（笑）」

——当時から知っている方々にとってはもちろん、当時を知らない方々にとっても、それぞれ楽しんでいただけるレアなライヴになることを期待しております。

「こればっかりは、ずっとバンドを止めずにやって来たからこそやれる企画、というかライヴだとも思うんで。ここは、このバンドに関わってきた一人として、僕も楽しみながらやらせてもらおうかな、っていうのが今の心境です」

——何しろ、『Strange Fruits-奇妙な果実-』はPlastic Treeにとっての原点と言える作品ですからね。そこから15年、というこの節目を大いに謳歌していただきたいものです。

「実はこの間、正くんとも話してたんですよ。今になって聴いてみるとあのアルバムって、ムチャクチャだけど、何かヘンなバンドだよなって思うよね、って。ただ、何かやろうとしてることだけはよく分かる、みたいな。だから、やっぱり今でも僕らにとっては可愛い存在なんです。ラウドっぽい曲もあれば、ポジパンっぽい曲もあって、ギターロックとかR&Rもあれば、フォーク的なのもあって、ニューウェーヴっぽいのもあるっていう。今のプラに繋がってく要素や、いかにもプラが好きそうなものがいっぱい詰まってて、何だかんだ基本は全部あそこに詰まってたなって思えます」

——今となっては、入手不可能なアイテムになっていることが惜しまれますね。

「そういう事情もあるから…だからこそ今回は〝追懐〟っていうかたちで、みんなとその原点に還りたいなぁと」

——最後に。その〝追懐〟というプロセスを経て、竜太朗くんがそこから先に目指していきたいのはどんな次元ですか。

「あのー、すいません。毎年全く代わり映えしなくて大変申し訳ないんですけど（笑）、結局はいつもと一緒です。音作[illegible]CD出して、いろんなとこ行ってライ[illegible]れればいいなって、今すぐ思い浮かぶの[illegible]れだけですね」

——それでは、個人・有村竜太朗とし[illegible]年やっておきたいことはあります？

「私生活ですか…そっちはバンド以上に[illegible]わり映えしない日々の連続なんでね。[illegible]別に何もないなぁ～」

——昨今、猫様との距離感はいかがで[illegible]

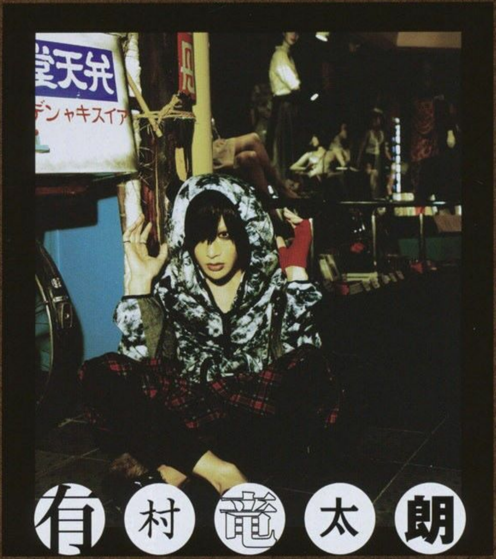
「たまに親バカが過ぎる時はありますけ[illegible]良い距離感でやってますよ。だってね、抱[illegible]こ出来る猫じゃなくて、抱き合える猫[illegible]いなくないですか？」

——抱き合える??

「寝てると、横に来るだけじゃなくて[illegible]向こうからギューって体重かけて抱きつ[illegible]てくるんですよ。あれは…マジでヤバいで[illegible]す。何か、今まであんまり感じたことのない感情になっちゃいます」

——絵に描いたような溺愛ぶりで（笑）。

「って考えると、良い距離感というか俺が奴隷化してるのかなぁ…（笑）」



慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

heidi.

FOR THE INSTANT

聴いてくれる全ての人に、大きくなっていくheidi.を感じてもらえたら

前向きに飛び立とうとする想いと、疾走感溢れる楽曲が印象的だった前シングル『翼』から丸1年。heidi.が待望のニュー・シングルを5月26日にリリースする。
タイトル曲「予感」は、テレビアニメ『会長はメイド様!』のエンディングテーマでもあり、彼らはこの楽曲でメジャーシーンに羽ばたく。
初回限定盤/通常盤合わせての全4曲は、新しくありつつも、heidi.らしさを色濃く感じる楽曲たちだ。

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

Photography:SHIGERU TOYAMA(starmine)
Hair & Make-up:KAORI KOYAMA(kurara system)
Styling:YOSHIAKI TAKAYAMA
Interview:NAOKO TAKEICHI

——タイトル曲の「予感」は、2009年末の渋谷C.C.Lemonホールでのライヴでは披露してるんだよね。
ナオ：そう。もうその時点で、テレビアニメ『会長はメイド様！』のエンディングテーマになるってことも発表してましたしね。だから、作ってからはすっげぇ空いちゃってるんですよ。
——「予感」は、既存のheidi.を感じながらも、いつもよりも蒼い感じというか、青春っぽさを感じたんだけど、そのあたりの意識はあったりした？
ナオ：確かに「予感」は、タイアップありきで作った曲だったんですけど、曲を作る時は、そこまでアニメのストーリーを意識してはいなかったんですよ。俺としては、すごく意識したというか、重要視したのは歌詞のほうだったんです。今回「予感」に関しては、よっしー（義彦）と共作的な感じで書いたんですけど、それぞれがまず1曲通して歌詞を書いたんです。俺は原作を読んで書き進めていった感じだったんですけど、よっしーの歌詞をメインに持って来たかったから、よっしーの書いたモノと擦り合わせていったんです。いつもと同じ作り方ではあったんですけど、やっぱり、難しさはありましたよ。タイアップ曲でありつつ、これが自分たちのメジャーデビュー・シングルにもなるわけですからね。どれだけ双方に寄せられる曲が作れるかっていうところでは、やっぱり相当悩みましたね。
義彦：僕は苦戦しつつも、逆に素直な歌詞が書けたなって感じでしたね。何か元になる物語を軸に歌詞を書くっていうこと自体は初めてだったんで、最初は戸惑いもあったんですけど、そういうのがなかったら書けてないようなことかを、素直に書けたりもしたんで、自分の中の引き出しがひとつ増えた感じですね。自分的には、登場人物の性格や行動を分析しながら歌詞を書いていったんです。
——曲の構成として面白いなと思ったのが、頭のAメロ終わりからサビに行く前に1行だけ差し込まれるメロがあるでしょ？　Bメロと言うには短すぎるところ。
ナオ：そこはね、確かにフックになってると思うんですよ。Bメロと言うより、サビに行く時のワンクッション。跳び箱で言うところの踏み台って感じかな。
——なるほどね。またサビ後の展開も面白いんだよね。そのワンクッションよりもちょっと長いフレーズが刺し込まれて、さらに新たなフレーズに続いていく。同じブロックを繰り返す規則的な展開ではなく、物語が進んでいくと同時に曲も場面を変えていくというか。Aメロ×2から、B～サビ～D～Eって感じで、Dのお尻に、私が蒼いと感じた疾走感あるギター・ソロがかぶさっていくっていうね。
ナオ：規則的な展開ではないですよね、この曲は。最後のほうはサビを繰り返してますしね。けど、作ってる時は、メリハリを付けたかったんですよね。この曲、尺（長さ）自体は結構短いんですよ。だからこの短い曲を、どうやって飽きさせずに聴かせるかっていうところは考えてましたね。その結果、こういう展開が自然と生まれたんだと思いますね。
——楽器のバランスも考えられてるよね。頭のAメロはベースとドラムが中心となって歌を押し出しててギターは控えめで。
コースケ：うん。そこもね、すごく自然に出来たかな。基本、歌で成り立ってる曲なんで、そこをどう目立たせるかって感じだったんですよ。あと気をつけたのは疾走感。サビを強く印象づけたいっていうことが俺の中にもあったからね。
桐：うん。そこはいつもの楽曲作りと同じく、歌をとにかく目立たせたいっていうことと、メリハリを意識したって感じでしたね、それぞれ。原曲の段階ですでに、その方向性は感じ取れたんで、そこに味付けして、〝ここ、こんな感じにしてみたら？〟っていうやり取りをして。
ナオ：形にするまでは結構苦労したけど、演奏面ではそれぞれが[illegible]と解っててくれたこともあって、[illegible]理想通りに形に出来た曲でもあり[illegible]ね。
——歌が真っ直ぐに届く感じだよね。
義彦：そうですね。最[illegible]最後まで気持ち良く歌えましたね、[illegible]曲は。歌詞も曲もすごくストレート[illegible]し、自分自身が素直にこの曲を受け止められたってこともあって、素直に[illegible]たかなで[illegible]す。特にサビは歌メロ[illegible]が重要だったんで、そこは気をつけて歌いましたね。そういう意味では、歌い[illegible]も、今までにはなかった自分の引き[illegible]だったのかなって思いますね。
——原作の内容はどんな[illegible]なの？

FOR THE INSTANT

義彦：恋愛の漫画なんですけどね。発展するかしないか…ってとこまでの巻だったんですよ。
一同：えっ!?
コースケ：〝発展するかしないかってとこまでの巻〟って？
義彦：俺が読み終わったのが5巻までだったの。
桐：そういうことか（笑）。今、8巻くらいまで出てるアニメだからね。まだよっしーが読んだ先には続きがあって、そこを知らなかったってことだよね（笑）。
義彦：そうそう。まだ男の子のほうが一方的に好き、みたいな感じだったの。だから、「予感」の歌詞は、1巻から5巻までをまとめたモノなんです。つまり。
桐：【Wikipedia】ならず【Hikopedia】的情報だね（笑）。
義彦：6巻まで読んでたら、また違ってたかもしれない（笑）。だから、最後のサビは、〝この物語はこの先、こうなっていくだろう〟って、自分なりに想定で書いた歌詞だったんで……歌詞でした。
一同：何で最後、言い換えたの？（笑）
義彦：いや、別に意味はないです（笑）。
桐：あははは。でも、最後のサビは、〝こうなってほしいな〟っていう願望でもありつつだよね。
義彦：そう。〝こうなっていくに違いない〟的なね。
——そういう意味で「予感」なの？
コースケ：上手い！　…そういうこと？
義彦：え!?　そういうこと？　タイトルはナオさんが付けてくれたんですよ。
ナオ：いやぁ、そこまでの繋がりは、ぶっちゃけ考えてなかったです（笑）。が、しかし、そういうことですよね（笑）、つまり。恋愛のアニメですし、この先どうなっていくか解らないところに恋の面白さがあるっていう、そういう予感ですよね（笑）。でも、何を考えて「予感」というタイトルにしたのかと言うと、そこはアニメに関係なく、俺たちheidi.にとって大事なメジャーデビュー・シングルだし、聴いてくれる全ての人に、大きくなっていくheidi.を感じてもらえたらいいなぁって願いを込めて、「予感」ってタイトルを付けたんです。
——なるほどね、深いね。でも、そういう風な目線で聴くことも出来る曲だよね。歌詞も、今の4人に置き換えて聴ける。
桐：うん。そうですね。違和感なく重ねられるし、初めてライヴでやった時も、お客さんの反応もすごく良くて、〝純粋にいい曲ですね。大好きになりました〟っていうお手紙をもらったりもしたんです。
コースケ：よっしーも言ってたけど、本当にストレートに響くと思います。
——そうだね。そして、2曲目にマストで入る曲「谺」。これまたイントロから引っかかった。印象的なピアノのリフがね。なぜ、ギターでなくピアノで？
ナオ：バンド以外の音の印象を強く残せる曲をやりたいなって思って作った曲だったんです。最初はもっと明るいイメージだったんですけど、結果、だんだん暗くなって、わりと俺の得意なパターンになっちゃったんですけど（笑）。「予感」とのバランスも取れたheidi.らしい1曲になったんじゃないかなって思いますね。
コースケ：俺もこの曲を聴いた時は、heidi.らしい1曲だなって思いましたね。ピアノの音があれだけ強く感じられるから、新しさを感じると思うんだけど、新たな挑戦とheidi.らしさが上手く絡み合った1曲になったと思いますね。サビの開け具合もすごくheidi.らしいと思うしね。暗さもいい（笑）。
桐：どんよりした雰囲気と勢いがすごくマッチしてる曲だと思いますし、ピアノも自然に聴こえてくれると思います。
義彦：歌ってて懐かしさを感じた曲でしたね。雰囲気で歌える曲って久々だったんで、歌い切った時、自分的に満足感のあった1曲でした。どんよりしながらも、最後は光に向かっていくっていう強さを感じましたし……感じました。
一同：あははは。だから、何で言い直すんだって（笑）。
義彦：話を着地させるのって難しくない？（笑）　あれ？　俺だけ？
一同：…………。
義彦：あ。俺だけか……俺だけでした（笑）。
——あははは。ド頭で問題定義する、ナオ節の特徴もしっかり出た歌詞だよね。
ナオ：ですね。まさに、自問自答の歌詞で。投げかけても自分にしか返ってこないんだってことを書きましたね。
——コースケ曲「一刻」は？
コースケ：シンプルな1曲だと思う。ドラムも手数が多いけど、すごくシンプルだしね。もっとパンクっぽい原曲だったんですけど、そこをナオと煮詰めてheidi.色に染めていったんです。サビは最初からメロディアスだったんで、そこを中心に広げてったんですよね。突っ走って終わる感じの原曲の勢いは、しっかりと残ってると思いますね。これも、heidi.らしくあり、新しい1曲なんじゃないかなと思いますね。
義彦：歌詞は、僕自身をheidi.に置き換えて、heidi.の曲を求めてくれるお客さんに向けて、手を差し伸べるみたいな、背中を押せるような強い歌詞を書きたくて、そこをテーマに書いていった歌詞でしたね。
——強さを感じたんだよね。歌にも。
義彦：そうですね。サビは特に伝わるように強く歌いましたね。この、今の一瞬を強く感じてほしいという想いが歌に出てるんじゃないかなって思いますね。
——桐曲「アーバンガーデン203」は？　まさに桐節だなって思ったけど。
桐：ですね。ちょっと祭りっぽい感じのテンポ感がありますからね。昭和っぽいというか。どっかで三味線のフレーズを聴いたことがキッカケになって作った曲で、三味線っぽいフレーズをギターでやったらどうなるんだろう？っていう好奇心から生まれた曲でしたね。ノリのいい曲なので、ライヴでは盛り上がってくれるんじゃないかなと思いますね。
コースケ：ベースも主張できるタイプの曲なんで、やってて楽しかったですね。
義彦：この曲は、タイトルのマンション名のような「アーバンガーデン203」からも解るように（笑）、春から新生活を送っているみんなへの応援歌です。自分の言葉で背中を押す歌詞って、今までそんなになかったので、そこも自分的にはチャレンジではありましたね。
ナオ：新しい生活を始めるみんなを、良いところに住ませてあげたいなと思って、ちょっとワンランク上のマンションっぽいタイトルを付けたんですけどね（笑）、「アーバンガーデン203」って。新生活を送るみんなと同じく、heidi.も、この曲からメジャーに行くわけですが、メジャーに行ったからって何がどう変化するってことではないし、やっぱりずっとheidi.色っていうのは曲げずに突き進んでいくと思うので、変わらずheidi.をよろしくお願いします！

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

Sadie 5th Anniversary

www.sadie-web.com

New Maxi Single & Single Collection Album

2010.04.28 in store

限定盤

New Maxi Single

「ドレス」

XQGM-91005(MRS-0031) 限定盤2曲+PV「ドレス」¥1,890(tax in)
XQGM-1005(MRS-0032) 通常盤3曲+¥1,575(tax in)
通常盤のみ、全7種トレーディングカード1種ランダム封入
※限定盤、通常盤 同時購入特典用応募券封入

通常盤

5th Anniversary Single Collection Album

「Singles」

XQGM-1006(MRS-0033)8曲+ボーナストラック2曲¥2,520(tax in)
※初回プレス限定特殊パッケージ仕様
「迷彩」「a holy terrors」～全曲マスタリング「赤蝶々」現メンバーによる再録音!!

慧美网
vimee.net

発売元:MajesticRecords 販売元:BounDEE,inc.

Lord Camelot. BLANCHE ARIA FERNANDES Majestic Records FACE MUSIC

Infomation : **FACE MUSIC Co.,Ltd** 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-27-506 TEL06-6543-3338 www.facemusic.jp

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

Sadie

ドレス

本当に大切なのは"裸の心"

最新作「ドレス」(4月28日リリース)は、
活動5年間で身に付いた自信が表れているように思える。
同日にはシングルコレクション「SINGLES」も
発売されるだけに、新旧比較して、
彼らの成長を感じ取ってみてはいかがだろうか。
今回のインタヴューでは、「ドレス」の概要を、
3月に地元・大阪にて行なわれた5周年記念ライヴの様子と
ともにお伝えする。

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA/MAKOTO KANEHARA(3/22LIVE)
Report&Interview:ERI MIZUTANI
Hair&Make-up:YOKO TOKURA

慧美网
vimee.net

美月

剣

蝴蝶网
hudie.com

v慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

亜季

V慧美网
vimee.net

――まずは、先日行われた5周年記念ライヴの感想を、お一人ずつ。

真緒：『rewind the SADNESS』というタイトルが付いていただけに、本当にこの5年間の軌跡というものが、この1本のライヴで証明できたのではないかなと思います。とは言え、36曲はしんどかった！（笑）。でも、今回、自分の中で限界を超えるというのをテーマにしていたので、無謀と言われても頑張って良かったなと思いますね。

――そこまで真緒さんを奮い起たせた、原動力とは？

真緒：オーディエンスの声ですね。それがあったからこそ、最後までやりきることができたのではないかなと。

――演奏している最中、この5年間がフラッシュバックしましたか？

剣：思い出しました。だからこそ、色んな感情が36曲で出てきたのであって。中でも、「陽炎」は印象に残っているんです。この曲、もがいていた時期に作っただけあり、自分の中では特別な曲でして。だから、この曲を演奏するときは、いつも応援してくれているオーディエンスに向けて、気持ちを返すように演奏しているんです。僕って、プラス思考な反面、マイナス思考なところも強くあって。それで心折れそうなこともあったりするんです。でも、5周年ライヴでは、オーディエンスの方々の応援もあって、Ｓａｄｉｅのギタリストとしての役割が見えたんですよね。まだ１００点満点とは言いきれないけど、自分で納得するところまでは到達できたのではないかなと思います。

景：この5周年ライヴは、普段と違って振り返ることが多かったライヴでしたね。加入当時の思い出とかも蘇ってきましたし。僕は、途中加入ということもあり、最初のＢＩＧ ＣＡＴでのライヴには参加していないんですけど、この場所からＳａｄｉｅがスタートしたのだと思うと、何だか感慨深かったです。いつも演奏している「迷彩」も、この日は違うように感じられたし。さっき真緒くんも言っていたけど、36曲、しんどかったけど、その限界である姿をお客さんに観て欲しかったんです。なので、達成できたときは本当に感無量だったし、自信にもなりました。

――限界を超えての新たな目標は？

景：足りない部分を常に修正し、更なる限界を目指していけたらなと思います。

亜季：正直、5年前、あの場所に立ったときは足が震えた。けど、それが今回はなかったんです。5年経って、余裕ができたのだなと思いましたね。5年間やってきたこと、ずっと景と合わせてきたこと、みんなと合わせてきたことを信じて弾くっていうことが、こんなにも大事だったんだなと。あと、個人的にですけど、体力的な問題は全くなく。

美月：さすが（笑）。まぁ、初めてライヴをやったとこと同じところでワンマンができるのはもちろん嬉しいんですけど、やっぱり、違うんですよね、同じ場所でも。曲によって時代が見えるというか。僕、バンドってＳａｄｉｅが初めてで。ツアーやるのもレコーディングするのも何もかもが初めてだったんです。何もわからない状態から始めて今まで必死にやってきて…。ここがゴールではないにせよ、１つの区切りとして良いライヴができたなと思います。自分たちを観に来てくれるオーディエンスだけでソールドアウトができたことも単純に嬉しく思いますし。

――個人的には、最後、ステージをはける際に言った美月さんの言葉がとても印象に残っていまして。

美月：いやいや、そんなエエこと言ってないですよ（笑）。でも、やって良かったという気持ちを素直に出したらああいう言葉になったんですよね。

――全ての音が鳴り止んだ瞬間、何か見えたことはありましたか？

真緒：色んな苦労や喜びを味わった5年間を経てきて、もう1度、この場所から進んでいけるって思いました。

亜季：ライヴでの、一瞬、一瞬の濃度をもっと濃くしていきたい、今はそう思っていますね。

――そして、ここからまた、Ｓａｄｉｅは突き進んでいくわけですが、最新作「ドレス」は、どのようなコンセプトの元に作り上げていったのでしょう？

亜季：コンセプトというよりは、「ドレス」という単語を真緒からもらって、そこから膨らませていったという感じなんですよね。

真緒：ドレスが表すものというのは〝裸〟なんです。ドレスというのは、あくまで、肩書きでしかなくて。俺が1番伝えたかったのは、〝生きている中での虚勢を脱ぎ捨て、本当に大切なものは裸の心なんだ〟ということ。そういう意味を込めて、「ドレス」と提示したんです。もちろん、5周年というのを経て、もう一度初心に戻るという意味も込められています。

――脱ぎ捨てる、すなわち、自分というものを曝け出す、というのは怖くはなかったですか？

真緒：もちろん、それはあります。ただ、色々とやっていくうちに恐れるものは何もなくなってきたんですよ。それが、この5年やってきた自信でもあるかなと。なので、今回はそこを証明したいっていう気持ちもあるんですけど。

美月：表題曲である「ドレス」を作るにあたっては、真緒くんと2人で具体的な音にしていったんですけど、今までのシングルを羅列したときにミディアムな曲がないことに気付いたんです。なので、世界観がありつつも、新しいものを提示したいと思い構築していきました。ただのミディアムにはなっていない分、作っていて、久しぶりに面白いなと思った曲ですね。

――広いところに向けて発信しようという意欲が伝わってきましたよ。

美月：あぁ、そうですね。確かにそれは、ここ最近、みんなが強く思っていることなんですよ。そこが「ドレス」を作っているときも自ずと出たんじゃないかなと思います。

剣：この曲、落ち着いたテンポ間の中に伸び伸びと広がるサビが乗ることで、今までの楽曲とはタイプが異なると思うんです。そこが、今の僕の発想にはないものなので面白さを感じましたし、アレンジしていても楽しかったです。自分としては、ギターで大きなノリを出したかったんですよね。なので、ヴォーカルやメロディラインを傷付けることなく、オブリガード的なフレーズを交えてみたりしました。最終的には、全ての音がまとまって真緒のヴォーカルを引き立たせることができる一部になれたらという感覚で仕上げていきましたね。

景：テーマでもある、裸の強さ。でもそれは防御力がゼロということだと思うんです。僕の中で、裸の防御力は心しかないと思っていて。なので、迷いや隙を作ってはいけないなと思ったんですよね。そういう気持ちを持って叩きつつ、Ｓａｄｉｅの持ち味である、激しさを出していきました。結果、自分の心の内は出せたと思います。

――次の「Forbidden」は、剣さんが原曲を持ってきたそうですが。

剣：いかにもギタリストが作りましたっていう曲になってますよね（笑）。僕がこの曲で気をつけたことというと、他のみんなにない部分を出したというところなんです。自分にしか出せないメロディっぽさを活かした曲になっていると思います。あとは、「GRUDGE OF SORROW」や「The Trend Killer」を出した辺りの頃のギターアプローチに近い雰囲気を出してみたんですよね。イントロでリフが転がっているんですけど、その上を流れるシーケンス的なギターフレーズ然り、全体を通して美味しい感じが出せたと思います。

――メロディックなサビが印象に残りました。また、「stormy heaven」では、2曲とは対照的にまとめてきたのも面白いなと感じましたし。

亜季：「ドレス」というシングルを考えたとき、真緒が持ってきた表題曲に全てが集約されていると思ったので、こちらの曲に関しては、ライヴありきという形で作っていったんです。ただ、そこでライヴノリだけを求めたのではなく、イントロに残されているミドルな片鱗が、「ドレス」のカップリング曲として成り立っているのではないかなと。

――この作品を聴いて、Ｓａｄｉｅは面白いバンドだなと再確認することができました。また、今作発売後にはツアーが始まりますが、現段階での意気込みを聞かせてもらえますか？

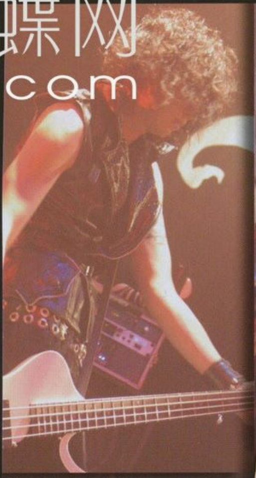
真緒：5年という節目を無事に迎え、ここからまたスタートじゃないけど、こ心機一転、このツアーに挑もうかなと。また、ファイナルは初の[illegible]ワンマンということで、この[illegible]得たものを遺憾なく[illegible]いきたいなと思っています。

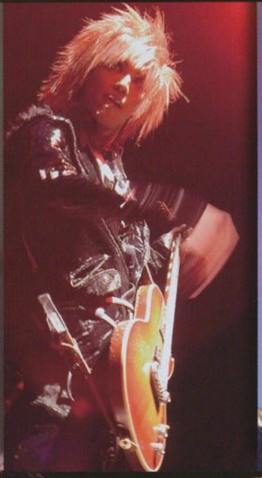
景

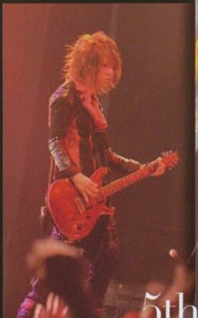
慧美网 蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

セットリスト
1.[illegible]彩
2.eve[illegible]
3.un[illegible] the chaos
4.Ice Romancer
5.Crimson Tear
6.obvious ballade
7.妄想被虐性癖
8.confusion
9.brain core
10. アゲハの亡骸
11.obstacle progress
12.Scarlet
13. 淡き群青
14.Parsite scene
15.Barking the enemy
16.赤蝶々
17. CHILDREN OF DESPAIR
18.溺れる魚
19.ドレス
20.Empty room
21.サヨナラの果て
22.愛しさは孤独の支配者
23.Swallow Rain
24.サイレントイブ
25.GRUDGE OF SORROW
26.M.F.P
27. VIRTUAL FAKEMAN
28.MAD-ROID
29.Regret
30.CHAOTIC WORLD
31. Struggle against betrayal
32. Grieving the dead soul
33.サイコカルチャー
34.心眼
35.陽炎
EN1.a holy terrors







Sadie

5th Anniversary Special GIG「rewind the SADNESS」

Live at OSAKA BIG CAT 2010.3.22

大阪BIG CAT。ここは、Sadieとして、彼等が1番初めにライヴを行った場所だ。当時はまだ、オープニングアクトとしての出演。それだけに、いつか自分たちの力だけでこのハコを満杯にしたいと思ったに違いない。

時は巡り、5年が過ぎた。彼らは今、Sadieだけを求めにやってきた観客を目の前にして演奏を繰り広げている。〝ソールドアウト〟、その響きは、彼らにとって、何よりのプレゼントだったことだろう。

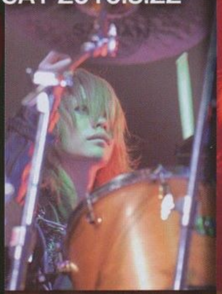
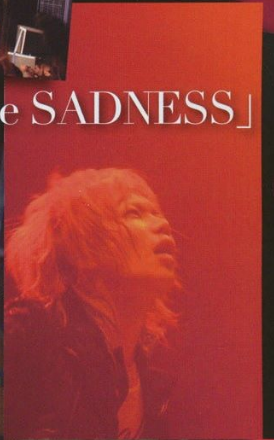
初心を忘れずに、という考えを大事にして突き進んできた5年間。そのひとつひとつを思い出すかのように、ライヴは展開されていった。一瞬にして吐き出されていく狂気に満ちた音圧、その音に合わせるように、フロアはヘドバンまみれに。そうかと思えば、清涼感のある音も漂う。改めて、この5年で、バンドの振り幅が広がったことを感じさせられた。

そして、そのまま力を落とすことなく、ライヴは中盤へ。何せ、この日は、36曲やると宣言してしまっただけに、メンバーの体力が心配されたのだが、そんな心配は杞憂にすぎなかった。それどころか、やればやるほど、エネルギーが満ち溢れているではないか。それをまざまざと見せ付けられたのが「溺れる魚」と「ドレス」のセクションだ。1番古い楽曲と、1番新しい楽曲を並べることで見えたもの、それは、Sadieというストーリーが如何にして進んでいっているかということだろう。変化を恐れずに進化を遂げる、常にメンバーが言っていることだが、それがここで如実に表れていた。

だからこそ、後半で演奏された「Regret」も素晴らしく。NEXTとして作られたこの曲が、今ではライヴには欠かせない人気曲となっている。観客のあのノリ、そう、それが全ての答えなのだ。最初は違和感を覚えていたものでも、後から振り返ってみるとバンドを代表するものに化けていたりする。彼らの曲で言うなら「陽炎」だってそうだ。曲が始まった瞬間、ここにいる全員が口ずさみ、体を揺らしている。その満足そうな顔を見て、自分たちのやってきたことは正しかったと思ってほしい。

〝何回も、続けられないって出来事もあったけど、続けて良かった〟と、最後の最後で本音を漏らした美月。一見、華やかなことだらけに見えるバンド業界。だが、その輝きを得るためには、とてつもない苦労を乗り越えなくてはいけない。〝……失ったものもあるけど、得たものは、みんなです！〟

たかが5年、されど5年。ここに来るまでは平坦な道ばかりじゃなかったということが、その一言に凝縮されていた。

(問)FACE MUSIC
〒550-0015大阪市西区南堀江1-18-27-506
TEL:06-6543-3338(平日11:00~20:00)
http://www.sadie-web.com/

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

Hi-FiVE

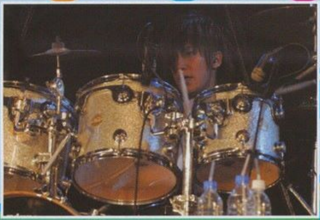
Live at LIQUIDROOM ebisu 2010.3.31

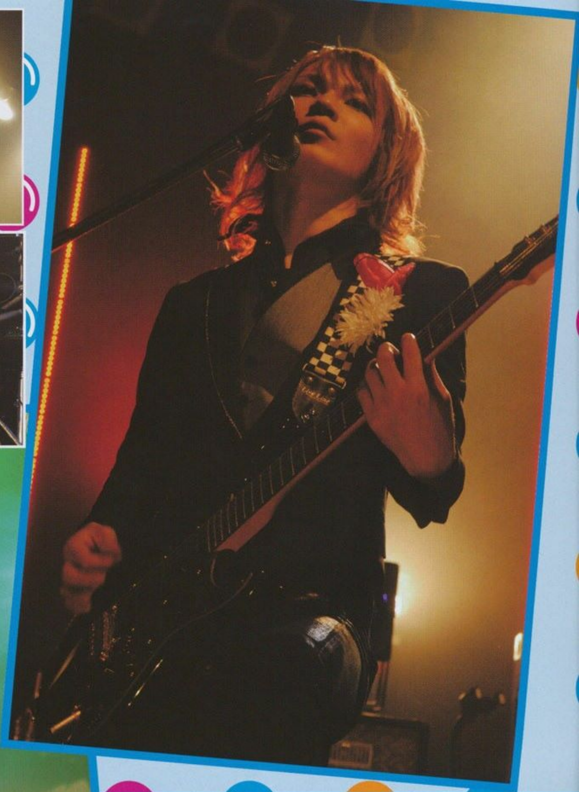
誰もから好かれるテイストの楽曲を、自分たちの個性を交えて表現している、THE KIDDIE。そんな彼らの初のワンマンツアー【Hi-FiVE】も、今日が遂にファイナル。全5本を廻ってきた彼らは何を学び、何を身に付けたのだろうか。そして今後を指し示すものとは。当日発表された嬉しいお知らせ、"重大HAPPY"も含め、その全貌をレポートする!

Photography:MIWA OHYA　Report:ERI MIZUTANI

THE KIDDIE

慧美网
vimee.net





蝴蝶网
hudie.com

慧美网
vimee.net

間違いなく、彼らの曲は聴く人をハッピーにする力があると思う。感動させようとして作っているものではなく、自然な形で優しさが表れているから、そう感じるのだろう。先日リリースしたシングルベストアルバム『SINGLE COLLECTION』にも、そういった優しさや温かさが溢れている。だからこそ、聴き終わった後、誰もが心が穏やかな気分になれるのだ。きっと、この日リキッドルームに足を運んだ人たちは、何度もこの作品を再生したはず。そして、聴けば聴くほど、ハッピーになれるということを感じたに違いない。

もちろん、実際に、彼らの演奏している姿を見ると、更に元気がもらえるのだから不思議だ。この日の彼らは、オープニングから絶好調であり、ステージに登場したそのときから、今日はいつになく気合いが入っているなと思った人も多いことだろう。すると、揺紗が大きく両手を広げたのを合図に、「soar」が始まった。安定したリズムに乗って爽やかに伸びゆく歌声。それはまるで、雨上がりの空にかかる美しい虹のよう。そこから、〝ジャンプ！ ジャンプ！〟の掛け声で「in one sense」に切り替わると、会場全体で楽しむ様子が見られた。また、ここで挟み込まれたメンバーコールでは、ソロ回しも含め、各々の個性を堪能することができたのだった。

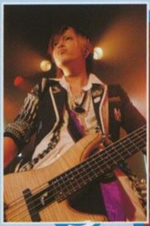
〝ツアーファイナルへようこそ！〟今日でツアーが終わってしまうのが残念といった様子の揺紗。すると、フロアも同じように、残念そうな顔をしてみせた。それを受けたメンバーは、自分たちの想いを「NEW WORLD」と「imitation」に力いっぱい乗せていく。更に、「夢現ライト」を演奏すると、〝もっと声を聞かせてくれ！〟とフロア後方に向かって呼びかけた。その瞬間、辺りはたちまち暴れモードへ。どうやら、彼らのライヴを見ていると、自然と元気がもらえるだけでなく、自由に体が動いてしまうらしい。とは言え、このまま、元気な曲だけ並べるのではなく、切なメロの新曲「HANA」を持ってきたことで、その場の空気をピリリと引き締めていたのはさすがと言えよう。こうした、ゆったりした曲調は、タイプ違いのギタリストがいるからこそ栄えるのかもしれない。佑聖と淳、2人の奏でる音がまるで一緒のものだったら、ここまでの感動はない。また、それをしっかりと受け止めるそらおとユウダイの音も見事なもので。こうして絶妙なバランス感覚があるからこそ、彼らの曲は愛されるのだ。

後半に入る前、〝初めてのワンマンツアーで緊張していたけど、みんなの笑顔見ていたら緊張がほぐれた〟と言った、そらお。どうやら、元気をもらっているのはお客さんだけではないようだ。そうして勢いの付いたまま、「elite STAR＋」に移ると、更に大きな手拍子が会場を彩っていった。『SINGLE COLLECTION』に収録されている新曲「TORA/UMA」、そして「So high」と「青」を一気に演奏すると、彼らは満面の笑みと軽やかな足取りで、ステージを後にした。

アンコールでは、本編のカジュアルな装いから一変、黒のジャケットに身を包んで登場。すると、ここで、〝重大HAPPY〟、もとい、〝重大発表〟が伝えられたのだった。〝こうしてここに立てているというのは素敵なこと。色んな人にお世話になって、みんなに応援してもらって、ここに来られたんだと思います。初ライヴでも言ったけど、僕たちは変わり続けます〟そうして、一呼吸置くと、〝7月14日、メジャーデビューします！〟と告げたのだった。沸き上がる歓声、それを全身で受け止めたメンバーは、今日1番の笑顔を見せてくれた。

メジャーデビューシングル「smile.」は、ここにいる全員で一緒に歩いていこうという思いが随所に散りばめられていた。活動を開始したときから、ファンのみんなと共に上に進んでいきたいと考えていた彼らだけに、この曲はファンへの最高の贈り物となったはずだ。大ラス、「NOAH」では、フロアにいたみんなと、今日ここに来られなかった子たちのメッセージフラッグが、曲をより引き立てていた。〝みんながいるから、ここまで来られた。これからも付いて来て下さい。ありがとう！〟その言葉に、これからも変わり続けることを恐れず、どこまでも羽ばたいていこうとする、強い意志が感じられたのだった。

【セットリスト】
1.soar　2.in one sense
3.NEW WORLD
4.imitation
5.one and only
6.夢現ライト
7.サヨナラセツナ
8.HANA　9.Blow up
10.elite STAR+
11.TORA/UMA
12.翼グラフティ
13.So high
14.青　EN1.smile
EN2.BLACK SIDE
EN3.恋して★DISCORD
EN4.NOAH



yimee.net 蝴蝶网 hudie.com

(問)〒162-0831東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld
☎03-3268-8804（平日12～18時） http://kiddie.jp/

蝴蝶网
hudie.com

不定期連載

一志ノ歴史街道神楽途

第九回『月に斑雲 紫陽花に雨』

葛藤と矛盾。一志はその間にある軋轢を、鬼という存在にメタモルフォーゼすることで、凌駕しようとしているのかもしれない。不定期連・第九回『Kagrra,一志ノ歴史街道神楽途』。今回は、6月16日に発売されるという新曲「月に斑雲 紫陽花に雨」にまつわる誕生秘話や、今だから話せる過去、そして結成10周年を迎える今の心境について、一志がとても率直な言葉で語ってくれた。

唯美网
vimee.net

——約1年ぶりとなる、不定期連載「Kagrra,一志ノ歴史街道神楽途」ですが、今回の写真では久し振りに第三の眼が開いたようですね。

「鬼になりきりました（笑）。というか、Kagrra,・一志としての自分をスーパーデフォルメした姿がこれ、っていうことになりますね」

——今年Kagrra,は10周年という節目を迎えるわけで、それに伴って一志くんとしても、自身の根源にあるものを改めて表現したい、という心境になったのかもしれませんね。

「それはあります。ここしばらくの流れからいくと、なかなかこういう特殊というか、強烈なヴィジュアルを表に出すっていうことが出来てなかったんで、ここで久し振りにやれて良かったなと。やっぱり、このシーンでやってる以上はいつまでもヴィジュアルショックなこと、やってたいですからね（笑）」

——最近のKagrra,しか知らない読者の方々の中には、これを見て驚く方もいるのでは??

「あぁ、確かに近年はKagrra,というと綺麗で落ち着いた楽曲をやってる、っていうイメージはかなり強かったと思います。でも、この10周年っていうタイミングもあって、最近わりと昔の曲もライヴでやるようになって、ちょっと怪しい雰囲気のものとか、妖艶なイメージのものなんかをやってると、むしろそういう部分にこそKagrra,の真骨頂ってあるんじゃないか?って、僕は感じてるんですよ」

——ちなみに、かつて第三の眼が最初に開いたのは『gozen』（2002年発売のアルバム）の時でしたっけ。

「ええ。あの時眼があったのは額だったんですけど、今回はその眼がここ（胸部）に来たんです」

——この眼、かなり大きいですよね?

「大きさもあるし、見てもらうと分かると思うんですけど、周りの血管がクビのほうまで伸びてます。で、頭からは角も出てるっていう（笑）。自分にとっては、こんな鬼がいたらカッコ良いなっていう姿を、そのままやってみた感じですね」

——ここまで作り込むには、やはり時間も掛かりました?

「全部で5時間くらいでした」

——疲れそうですねぇ。

「でも、意外と昔はライヴでも撮影でも、だいたいそのくらいの時間かけてヘアメイクするの普通でしたからね。そんなに長くは感じなかったです。それに、表現したいことを実験するためだったら、そこは手間ひま惜しまないでやりたいですから。そういう気持ちも、常に忘れないでいたいですよ」

——さすがの一言です。ところで、〝歴史街道神楽途〟では、Kagrra,の既存曲を1曲ピックアップして、それを題材にした写真を撮り、語っていくというのが通例ですが、今回の場合は少し違うかたちになるそうですね。

「そうなんですよ。写真のほうは、今回あくまで〝鬼〟がテーマで、インタビューではまたちょっと別の話をしたいと思ってるんです。実を言うと、まだちゃんと完成はしてないんですけど、次に出す曲についての話をしたいなと」

——6月16日に発売される、シングルの表題曲「月に斑雲　紫陽花に雨」（つきにむらくも　はなにあめ）についてですね。この取材にあたり、事前に1分半くらいの仮状態音源は聴かせていただきましたが、なんでも、音/歌詞ともにここからさらに練っていくことになるそうで。

「今ちょうど、作ってるとこですね。タイトルも最初は仮で「紫陽花」とだけつけてて、正式に決まったのはごく最近になります」

——6月に出る、紫陽花の歌ですか。またとない風情のある曲になりそうです。

「これは原曲を楓弥が持ってきたんですけど、最初に聴いた時からどこか湿度を感じるような曲だったんですよ。どちらかと言えば、切なくてインナーなタイプだったと言うか。それで、出す時期もちょうど梅雨の頃だし、だとしたら紫陽花をモチーフにして描いていくのがいいだろうな、と思ったんですよね」

——この「月に斑雲　紫陽花に雨」というタイトルは、〝月に叢雲花に風〟という諺を意識したものになりますか。

「その、〝月に叢雲花に風〟っていう諺は、本来あんまり良い意味が含まれてるものではないんですね。それで、僕が「月に斑雲　紫陽花に雨」の中で伝えたいと思ってるのも、実はあからさまに前向きな内容とかではなく、葛藤や矛盾についてなんです」

——葛藤と矛盾。それは、具体的に言うと何についてのものなのでしょう。

「曲を作った楓弥自身も、この曲については〝切なさ〟とか〝涙〟っていうキーワードを提示して来たんですけど、これまでにも悲しみや切なさを表現した曲自体は、いくつもありましたよね。今回は、それとは違ってもっと心の内面をえぐるような詞にしたくて、その中で出て来たのが葛藤や、矛盾っていうものだったんです」

——なるほど。完成形の歌詞にまで残るかは分かりませんが、少なくともわたしが聴かせてもらった歌の中には、〈私はワタシなのだろうか?〉という一節がありました。これって要は、自我さえ揺らいでいる状態ではありません?

「今まで、こういうことは書いたことなかったと思います。でも、このところは気が付くとこんなことばっかり考えてますねぇ（苦笑）」

——その背景には、一体何が??

「例えば、自分のライヴ映像を家で観たとしますよね。そういう時、どうも不思議な気分になるんですよ。そこに映ってるのは自分であって、自分でないみたいな感覚っていうんですか」

——人前に立つ自分と、日常の中の自分。その間に距離感があると?

「ってことなんでしょうね。しかも、そこにあるギャップがイヤだなって思う自分がいると同時に、一方ではオンとオフの両方があって然るべきだって考えてる自分もいて、そこにあるのもまた矛盾と葛藤なんですよ」

——複雑ですね。

「基本的なスタンスとしては、いつもステージ上での自分に、普段の自分を少しでも近付けようとしてるんだと思うんですけど」

——ただ、あまりにそこを突き詰めていこうとすると、心身ともに疲弊してしまう可能性がありませんか。

「そう、そうなんです（笑）。あーでも、その面では昔のほうがバランスは取れてたのかもなぁ」

——そういえば、一志くんはメンバー募集経由でメンバー同士が初めて会った時、かなり派手な格好で颯爽と所沢の街に現れた、というエピソードがありましたね。

「その頃もそうだし、学生の時から格好はずっと誰が見てもヴィジュアル系でしたから（笑）。Kagrra,を始めてからも、『桜』（2001年発売のアルバム）を出すまでは髪もコレ（と言いながら、姫カットのジェスチャーをする）でしたしね。そうなると、必然的にどこに行っても目立っちゃう、みたいな。結局、そうなると今度は日常生活のほうが難しくなって来ちゃうんですよね。何もしてないのに怖がられるとか、怪しまれたり（笑）」

——いやはや。何だか、堂々巡り的な話になって来ました。

「また、そういう葛藤って実は歌詞を書いてる時にもあるんですよ。家で詞を書いてる時の自分は、一志ではなく普通の自分ですよね。だけど、その詞を歌うのは一志なわけで、そうなると家で詞を書く時にもモードを切り替えてからじゃないと、ダメなんです。何か本を読むなり、ちょっと自分の中からアドレナリン的なものが出て来ないと、どうもしっくり来なかったりして」

——繊細な和の心や、独特の美意識を含んでいる一志くんの詞は、そうやって書かれているものも多いのですね。

「要するに、どんな時でもちゃんと自分らしくいるって、意外と大変なことなんだと思います。これは今だから言えることですけど、ここに来て『雫』（2007年発売のアルバム）の頃の自分の写真とか見ると、つい〝うーん…〟ってなっちゃいますもんね」

——あの頃は、俗にいう脱ヴィジュアル方向に物事が動いていたところがありましたよね。

「もちろん、あの時はいろいろ善かれと思ってやってたのも事実だし、別に否定する気はないですよ?　ただ、今のKagrra,・一志からすると、〝ちょっと違いな〟って思うのは間違いないです」

——あの当時は、音楽的な部分や詞の内容の面でも、試行錯誤や新たな挑戦を繰り返していた印象です。

「見た目が普通っぽくなるのに合わせて、詞も現実的なことや、そういう言葉遣いで書いたりとか…しましたね。メジャーの世界で揉まれながら、もっと認知されたい、もっと認知されなきゃならない、っていうところがどうしても強く出てたというか」

——もっとも、ここは考えようだと思うのですよね。確かに、あの時期のKagrra,は第三者から見ても、やや迷走していたきらいがありましたけれど、あの時期にたくさんのトライ&エラーを経験したことは、絶対に経験値として今のKagrra,にフィードバックされているのではないです?

「それはあると思います。あれこれ試した挙句、〝普通の格好して、普通の曲をやるんなら、何もこのシーンでなくてもいいんだよな。だけど、それでも自分たちはこのシーンでやっていきたい。だったら、もっとKagrra,としての本筋を突き詰めよう〟っていうところに、考えは行き着きましたから。たぶん、この先そこからバンドとしてブレることは、まずないはずです」

——10年もバンドが続いて来れば、時には山も谷もあって当然です。様々な場面で得た全てを自らの力として、今年のKagrra,には、改めてバンドとしての底力と風格を見せつけていってほしいと思います。

「バンドって難しくて、5人いれば考え方も5様ですよね。だから、時にはそれをまとめるのが大変な時もありますけど、逆にちゃんと5人の想いが合致した時には、1+1+1+1+1=5じゃなくて答えは0にも100にもなるパワーを生むと思うんですよ。今年は、そういうかたちでバンドとしての力を発揮していきたいです」

——まずは、何よりシングル『月に斑雲　紫陽花に雨』の完成を楽しみにしておりますね。

「ちゃんとKagrra,な[illegible]て言える作品を届けられる[illegible]げまで頑張ります。それと、[illegible]結成記念[illegible]（6月3日）に渋谷O-EASTでやる『鬼[illegible]咆』と、夏のツアー『行脚[illegible]百鬼夜行~陰~』でも、それぞれKagrra,[illegible]しての真髄を見せたいんで[illegible]シーンにKagrra,あ[illegible]ころを、今年はしっかりみんなに伝え[illegible]いきたいと思ってます」

Photography:TAKAO OGATA
Hair & Make-up:ASAMI YAMADA(PS COMPANY),YUKA UMINO(PS COMPANY)
Special Make-up:ASAMI KIKUCHI,MAYUKO MATSUMOTO(BANTAN DESIGN INSTITUTE)
Interview:YUKI SUGIE

慧美网 vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

LIVE TOUR 2010 FINAL
『日本全国満開宣言』～咲きまくり警報発令～
野音開きだよ 全員集合!! Part2

2010.4.3 HIBIYA OPEN-AIR CONCERT HALL

Kra

4月3日・日比谷野外大音楽堂で行なわれたKraの"LIVE TOUR 2010 FINAL『日本全国満開宣言』～咲きまくり警報発令～野音開きだよ 全員集合!! Part2"。このタイトルに相応しく満開の桜に彩られたが、野外だけあって予想不可能なお天気の急変も…。が、来年の結成10周年に向けて、これからますます盛り沢山な活動を続けていく彼らにとっては、今回もまた良い思い出のひとつになったことだろう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:MIYUKI MURAYAMA

『雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ』と言えばもちろん宮沢賢治の詩だが、この日のＫｒａのライヴでは、景夕がＭＣで言ったとおり、メンバーも観客も、雨にも風にも負けない強さを貫いた。

都心では、桜が満開になったばかりの春の始め。空にはまだ青さが残る夕暮れどき。前回の野音ライヴの模様の映像が流れ、会場のボルテージを上げていったところで、まずは楽器隊がステージに登場。いよいよライヴがスタート！と思った瞬間……突然景夕が、客席の中央へ後方から走り込み、「例え」のサビをアカペラで歌い出した。あまりに突然のことに驚かされながらも、一斉に客席中の目が景夕に注がれる。悠々と歌い上げると、景夕はそのまま客席を通ってステージへと駆け上がり、バンド・サウンドと混ざり合った。度肝を抜くオープニングに、観客はすっかりしてやられつつ、そのテンションは一気に急上昇。そこから「bird」まで立て続けに6曲、ノリのいい、元気いっぱいの曲が続いた。観客はジャンプし、力いっぱい景夕の振り付けを真似ながら、身体いっぱいでライヴを楽しむ。もちろんメンバーも全力。中でも舞は、特にテンションが高い様子で、いつも以上に最初からトバしていたようだった。

この日は、今回のツアーよりも曲数が多いということで、いつもよりかなり短めに最初のMCを切り上げた景夕。雨が降らなかったことをMCで喜びつつも、〝雨の歌、聴いてって下さい〟と、「愛のフレーバー」を始めた時は、その後の展開など誰も知る由もなかった。ブラスを効かせたサウンドでムーディに聴かせた後は、ピアノを加えて「街の灯」と、大人っぽい雰囲気の曲が続く。

みるみるうちに日が暮れ始め、照明の光も映え出した。薄暗がりの中で始まった「唄」では、景夕が叫ぶようにドラマティックな歌声を聴かせ、一転シリアスな空気がステージに広がった。そんなステージに引き込まれる中……少しずつ雨が降り出して来たことが気にかかって来る。雨脚はその後も徐々に強まり、和の空気を漂わせた「鬼戯ノ唄」が始まる頃には、観客もタオルを手にしたり、ちょっと落ち着かない様子。けれどもステージでは、桜に赤い文字が浮かび上がる映像と共に、桜からイメージするような狂気をにじませて、おどろおどろしい世界が繰り広げられていた。メンバー4人の集中力は途切れることはない。さらに「恋歌」では、ピンクの照明に彩られながら、ステージセットのピンク色の布が柔らかく風になびき、春の夜の匂い立つような雰囲気でいっぱいになる。そこへ切々と儚げに歌われる恋心。夢のように儚いギター・ソロが流れる。とっぷり暮れた夜空に、アウトロでは景夕の歌声だけが響き渡った。

〝雨ですね〟と、いよいよ本降りになって来た雨の中で話し始める景夕。今日の予報では雨天は予想外だったため、ただただ濡れるばかりの観客たち…。

〝濡れててもしょうがないね。曲、行こうか！〟

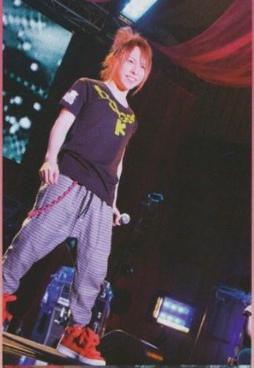
景夕が一言、「サァカス」へ。〝雨の曲〟と雨でしっとりした会場をもう一度盛り上げるため、メンバーはひたすら力強くプレイ。靖乃の叩き出すリズムから、迫力たっぷりに「LOST NUMBER」が始まると、メンバーの真剣な想いが迫力ある音にも表れる。さらに、そんなメンバーに煽られたのか、観客も次から次へと繰り出される曲に合わせ、ときに激しく跳ね、ときに大きく動き、共に歌い、雨に濡れながらも思い切りライヴを楽しむ。もう、そうなればもう雨など関係ない。そして最後は「ショータイム」。ひたすら叩き、ペダルを踏み続ける靖乃。リズムをハジき出し、叫ぶ結良。舞がステージを降りて、客席の間の通路を駆け抜けたかと思えば、結良もステージを降りている。景夕は何度も何度も叫び、観客を煽り続ける。隔てるものの何ひとつない広い野外の空間の中で、いつしか雨が止むと共に、一体感が芽生えていた。

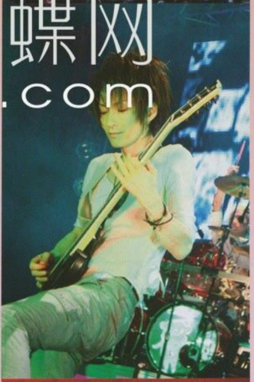
たっぷり20曲を聴かせた本編に加え、アンコールでも6曲をプレイ。久々だったこのツアーの楽しさや、2010年のこれからの活動への意気込みを語るメンバーの表情は明るく、楽しい雰囲気のままライヴは終了した。深々と頭を下げる景夕が去った後は、年末までのリリースやライヴといった様々な告知がなされた。そんな今年これからの活動はもちろん楽しみだが、この夜のライヴも特別な思い出として、2010年の歴史に刻まれていくことだろう。

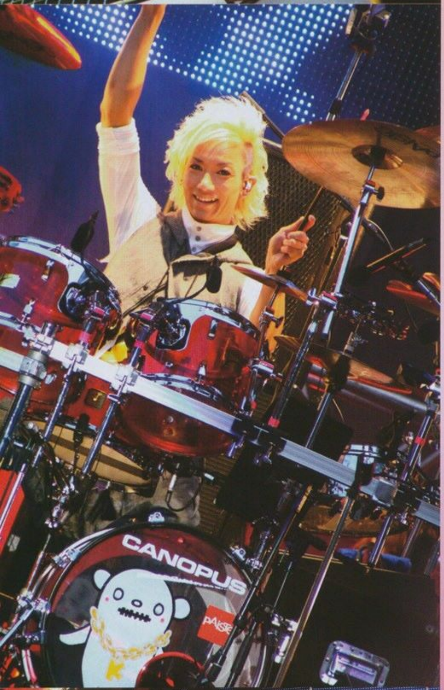
慧美网 蝴蝶网 hudie.com

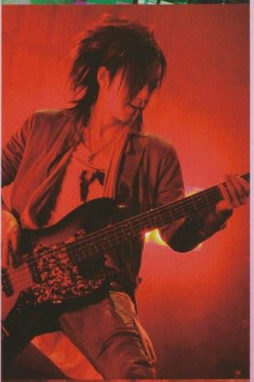
【set list】
SE
1.例え(アカペラver.)
2.雨の告白
3.無拓と無択と
4.世界で一番頼りない恋の歌
5.くく
6.bird
7.愛のフレーバー
8.街の灯
9.唄
10.judge
11.鬼戯ノ唄
12.恋歌
13.サァカス
14.ミセス
15.LOST NUMBER
16.ヱン
17.恋情フィソロフィー
18.artman
19.Cab.D
20.ショータイム

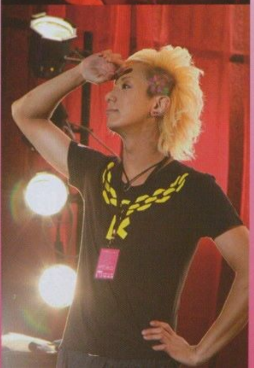
<encore>
21.天の川逃避行
22.モノクローム
23.少年と空
24.World
25.アシッドメルヘン
26.エキストラキングダム




蝴蝶网
hudie.com

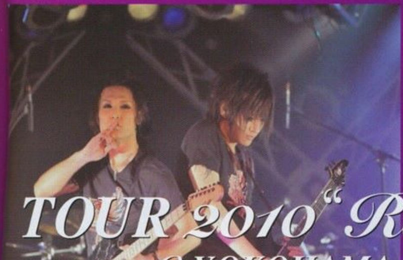




慧美网
vimee.net


蝴蝶网
hudie.com

ヴィドール



TOUR 2010 "Real Monadism" START!!

2010.3.26 YOKOHAMA SUNPHONIX HALL

3度目の正直!?　全国ツアー、スタート

3月26日、"TOUR 2010『Real Monadism』"の初日を、新横浜SUNPHONIX HALLで迎えたヴィドール。ツアー初日は、どのバンドにとっても緊張感を伴うもので、彼らも例外ではない。事実、過去に同会場で迎えた数回の"初日"では、そんな表情を見せていたこともあった。けれども、この日の彼らはそれを超える気合いと気持ちがステージにも表れていた。彼らはここから全国を廻り、迎えるファイナル、5月1～2日・赤坂BLITZ 2デイズではどんな姿を見せてくれるのか、楽しみになる初日の夜だった。

彗美网
yimee.net

Photography:SAWAE HARA / Report:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
hudie.com

　昨年行われた2本の全国ツアーでは、全てこの横浜が初日となっていたが、〝ツアー初日〟という緊張感からか、決して全面的に良いと言えるライヴではなかったというのが残念ながらの事実。この日は3度目の正直となるのか、2度あることは3度あるという結果に終わるのか――期待と不安の入り混じる心持ちで会場へ足を運んだ。
　SEが始まると、メンバーを呼ぶ声が辺りに充満する。横浜のオーディエンスはいつも熱い。そんな声を掻き消すかのように重苦しく始まったのは、「Darwinism」。真っ赤に照らし出されたステージ上のメンバーには緊張感が漂っている。オーディエンスの頭が揺れ動き、最初から打てば響くような反応を見せた。さらに勢いよく「Eirene」へ突っ込めば、スピードに乗ったサウンドの中、テロが一打一打力いっぱい叩く、シンバルの音が鳴り響いた。そして、スピーディに「Blue star」へ。ギルはもう積極的に動いている。鍵盤から迫力と気合いのこもったステージで、ライヴへの期待が膨らんだ。〝会いたかったぜ！ 会いたかったか？〟とオーディエンスに呼びかけるジュイの声から「リマインドストーリー2 ～初恋～」。初々しいような恋心が歌声に表れ、サウンドはイキイキと歯切れよく、曲の印象を忠実に伝えた。
　最初のMCで、前回／前々回の同じ会場でのライヴに触れ、今日は120％の力で全員満足させると告げると、気合いが入ったところを見せるジュイ。そういう心構えで臨んでいることが、この日はやはり内容にもしっかりと表れていたように思う。「IKAROS」から「Nausea」へと、立て続けに勢いをつけていくと、ラメとテロのパワフルなリズムでますます激しさを増して行き、フロアはヘドバンで入り乱れる頭で満たされる。「Lost voice」では、ジュイが一語一語豊かな響きの声で聴かせ、迫力いっぱいの歌を届けてくれた。
　弦楽器隊がステージを去り、ジュイと、ピアノの前に座るテロが残る。ジュイは、横浜での過去2回のライヴには歌でしか返せないことを告げると、その想いをこの歌に込めた。彼が選んだのは、「ラストラバーズ」。タイトルコールを聞いて、思わずあがった歓声も、テロがピアノを奏で始めると一気に静まる。ジュイは、全てを歌に託し、豊かな声で歌い上げ、テロも集中力を内に秘め、静かな表情で鍵盤と対峙する。拍手の中、感謝の言葉を述べるジュイには、歌い切ったという充実感が感じられた。
　再び5人揃ったところで、「EVE」から後半戦スタート。ピアノ1本でのしっとりとした空間の後だけに、バンド・サウンドの鋭さが耳を突く。それに負けることのない歌をしっかりと歌い上げていくジュイ。ラメは身体でリズムを感じながら、前へ進むようなサウンドを牽引していく。淡々とした中に悠々とした大きな流れを感じさせた「Dreamboat」、そして「Lib[lo]ve」では、静かな明るさがだんだん増して来る。イキイキとしたサウンドは澄み切った印象を与え、ジュイを筆頭に、全員のライヴへの集中力が音として表れているように感じた。
　歌詞の一節から、ジュイがオーディエンスへ笑顔を求めると「Focus」へ。オーディエンスが元気よくジャンプして、会場全体が活気に溢れたところで、〝もっともっとトバして行こうぜ！〟と「Tree」へ続き、いよいよクライマックスへ。「新聞マスコミ関係者の方へ…」の弾むようなサウンドを、オーディエンスもメンバーも身体で感じ、ライヴを楽しむ。そんな中でも、シュンはクールにソロをしっかりとキメる。最後、「ゴシカロイド」では、ジュイとラメが笑顔で絡んだり、シュンとギルが視線を交わしたりと、自然にメンバーがライヴを楽しんでいる雰囲気が伝わって来た。それもまた、この日のライヴに手応えを感じてこそだろう。〝揺らせ！〟の一言で今日いちばんの盛り上がりを見せて、本編は終了。
　2度のアンコールは、本編以上のテンションの高さを感じさせながら、歌を丁寧に聴かせた「Puzzle ring」や、メンバーもオーディエンスもおおいにハジけた「ワイセツ人形」など、充実した内容。〝最高に幸せでした。ありがとう、横浜〟と最後に告げたジュイは、まさに3度目の正直で、ここ横浜で納得のライヴをすることが出来た。そして、その後もアンコールを求め続けるファンの熱い声が、この夜のライヴの成功を如実に物語っていた。

慧美网
vimee.net

【set list】
1.Darwinism
2.Eirene
3.Blue star
4.リマインドストーリー2 ～初恋～
5.IKAROS
6.煽恋～Long amour de la distance～
7.Nausea
8.Lost voice
9.SinAI
～Pfコーナー「ラストラバーズ」～
10.EVE
11.Dreamboat
12.Lib[lo]ve
13.Focus
14.Tree
15.新聞マスコミ関係者の方へ…
16.ゴシカロイド
<encore I>
17.Puzzle ring
18.シャットダウン
<encore II>
19.ワイセツ人形
20.人魚

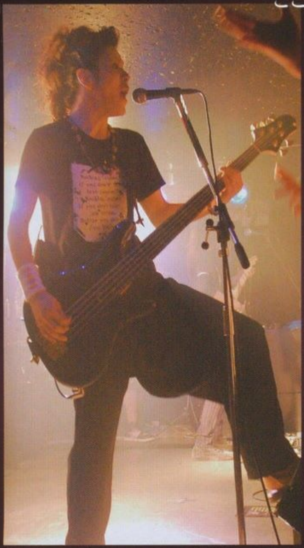
TOUR 2010 This is "NOW" FINAL!!!!! 2010.4.4 MOTOYAWATA ROUTE14

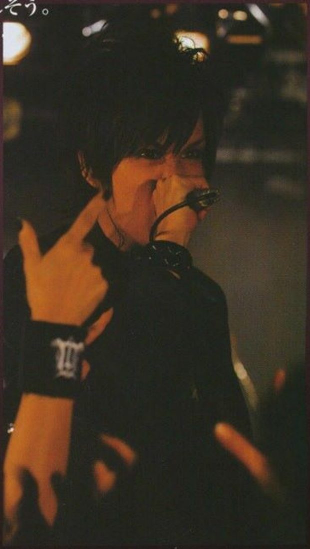
girugämesh

ライヴに行きたいと思わせた『NOW』の充実感

全国47都道府県を廻ったツアー以来、
約1年以上ぶりとなる全国ツアー『TOUR 2010 This is "NOW"』を終えたギルガメッシュ。
会場全体が熱気に包まれた本八幡ルート14での2日目、ツアー・ファイナルの模様と、
ライヴ後のインタビューをお届けしよう。すでに夏のツアーも決定しており、
ここでは自分たちの"過去"を超える、さらなる熱いライヴが見られそう。
夏に予定されているニュー・シングルの発売と共に、期待大だ。

Photography:MIWA OHYA Text & Interview:MIYUKI MURAYAMA





【set list】
now(intro)
1.bit crash
2.NO MUSIC NO REASON
3.BEAST
4.GAME
5.ALIVE
6.CRAZY-FLAG
7.DanceRock Night
8.S.T.F.U.
9.I think I can fly
10.nobody
11.Break Down
12.driving time
13.smash!!
14.DIRTY STORY
15.evolution
<encore Ⅰ>
16.獄窓
17.お前に捧げる醜い声
<encore Ⅱ>
18.BORDER
19.睡蓮
20.arrow

ギルガメッシュの故郷とも言えるライヴハウス=本八幡ルート14。ツアー・ファイナルとなったこの日は、動員がひと桁だった時代が嘘のように、会場内は人、人、人。その上、掲げられるたくさんの手によって、前も何も見えない状態。そしてライヴが始まった途端、大きく床が揺れ出す。PA卓まで激しく揺れているのが目に入ると、さすがに大丈夫なのか少しばかり焦った。"見やすいわけでも、やりやすいわけでもない"(左迅)という会場だが、メンバーも観客もひたすらテンションは高い。みんなで一緒に、手を掲げ、叫び声を上げ、歌い、踊る。そこにあるのは、体を通して自然に伝わって来る一体感だ。

後ろから見ているだけで汗がにじみ出すような空間の中でも、ライヴの勢いに流されてしまうことはなく、中盤にはじっくりと曲を聴かせ、観客もまたじっと耳を傾けていた。MCも含め、練られた構成が、きちんと形になってステージで展開されているところにも、現在の彼らの成長ぶりがはっきりと表れていただろう。

最後を飾った、光が満ち溢れる「arrow」まで、メンバーは全力でプレイし、ファンは全力で応えた。笑顔と汗が、彼らの絆をもっと深めていく。左迅の感激の面持ちと、ファンからかけられた"ありがとう!"という言葉が、このライヴの成功を物語り、過去にここからスタートしたように、また新たな始まりを感じさせた。

◆

―ファイナルのライヴは[illegible]も熱かったですね。

Яyo：いやぁ、ドラムは[illegible]かったんですよ。

―え?

Яyo：俺の真後ろにエア[illegible]があるんで(笑)。だからベースアンプの前ぐ[illegible]いから、ムン…って空気が[illegible]んです[illegible]。2日目はさすがに暑かったですけど。

―なるほど。他のみなさん[illegible]

左迅：暑かったし、ハコ[illegible]の作りがやりづらかったし[illegible]。でも、ギルガメッシュがいろいろ歴史を辿って来たライヴハウスなんで、すごい意味があるライヴだったし、やりづらいとかは考えないでやりましたね。

Яyo：でもやっぱり、やりづらいだろ?

左迅：やりづらかったです(笑)。

一同：(笑)

愁：単純に、楽しかったですね。演奏は気にしないで、楽しむだけ楽しみました

v慧美网 vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

0404 Back Stage!!!!!

ライヴ後の1杯はサイコーです

いざ、ステージへ!!

禁煙直前カット!(笑)

禁煙とは無縁の(笑)、至福の1本

ツアー、お疲れ様でしたっ!

ね。

弐：やりにくくても、その場でどういう風に見せたらいいかも分かってるし。だから楽しかったです。

―お客さんからも見にくかったとは思うんですけど。

Яyo：俺、たぶん最前列のお客さんからしか見えてないと思う(笑)。

―でも、会場全体の一体感があって、いいライヴでしたよね。

Яyo：ドラムのところから見ても、揺れがすごかったです。お客さんが一斉にジャンプすると、柵が歪むんですよ(笑)。

愁：あれ、ヤバかったな。

弐：ステージにある台に乗ったら、軽く地震ですからね。

左迅：一体感はあったと思いますね。

―日本を廻るツアーは久しぶりでしたが、いかがでしたか。

Яyo：久々に廻って、地方のお客さんの笑顔もいっぱい見れたんで、今年はもっとライヴをやりたいなと思いました。

左迅：前半は、自宅と行ったり来たりで、全然ツアーっぽくなかったんです。でも名古屋から仙台までは出ずっぱりで、やっとツアーっぽくなって来たなぁってところで終わったんで、残尿感ですね(苦笑)。

弐：めちゃめちゃ楽しかったですね。久しぶりに地方のお客さんの顔とか見ると、(地方に)来てくれてありがとうっていうのが感じられたんで、すげぇ嬉しかったですね。最高でした。

愁：47都道府県ツアーでやって来たことを、濃縮して10何本でやらなきゃいけなかったんで、それはそれは頭を使いました。途中で何度もスタジオに入って、曲間のことやら何やら微調整して。全ヶ所違うライヴをしようと心掛けたんで、お客さんにとっても面白いツアーになったと思います。

―ライヴをイメージして作った『NOW』を、実際やってみてどうでした?

Яyo：想像以上に盛り上がった曲もあったんですけど、そうじゃないのもあったんです。それで、スタジオにいっぱい入って、話し合いもして煮詰めましたね。

左迅：ライヴを見てるスタッフから意見を聞いたり、ライヴの映像を観たりして、改善していって。

―特に印象に残ってるライヴは?

愁：僕、大阪とか名古屋ですかね。全体的にお客さんの入りが思った以上に良くてですね、特に大阪ってこんなにファンがいたんだ!って思うぐらいいっぱい入ってたんで。大阪であれだけファンを呼べたのが、すごく嬉しかったですね。

弐：俺も大阪かな。ライヴも楽しかったし、男の人もすごい多かったし。すげぇ楽しんでる男の人がいたんですよ。その人は汗ビショビショで、Tシャツが首周りとかすげぇ広がってグチャグチャになってて(笑)。それを見てこっちもテンションが上がりました(笑)。

Яyo：名古屋も、今まではハートランドよりでっかいところでワンマンをやったことがなかったんで、名古屋のこんな大きいハコで、こんなにお客さんが入るんだ!って驚きましたね。

―地方では、ワンマンを初めて観るファンもいたんじゃないですか。

Яyo：ギルガメッシュを観るのが初めてっていう子も多かったんですよ。

愁：非常に多かったです。福岡は半分ぐらいそうでした。『NOW』を聴いて、ライヴに来たいっていう衝動にかられた子が多かったってことですよね。だからすごく手応えがありましたね。

―さて、ライヴ以外にツアーならではのお楽しみは何かありました?

弐：(即答で)ホテル! ホテルだと隣の部屋とかに(メンバーが)いるんで、すぐ相談とか出来るし、それがツアーの醍醐味だと思いましたね。このギターのここを変えられね?とか、そういうやり取りが早かったりして、ツアーはいいなと思いましたね。

Яyo：俺、オマエと喋ったっけ?

弐：喋ってねぇ。

一同：(笑)

―どうして?

弐：(Яyoは)部屋に入ったら出て来ないイメージがあるんですよ。

―Яyoくんは部屋で何をしてたんですか。

愁：ブートキャンプじゃないの?

Яyo：ツアーの途中から始めたんですよ。前半で名産を食いすぎて肥えちゃったんで、マズいなと思って。ホテルに入ったら、ベッドをどかして、フロントで掃除機借りて埃を全部吸ってから、1日2回ぐらいプログラムをやってました。その後に温泉に行くのが日課になってましたね。

―そんなに各地で食べたんですか。

愁：今回は贅沢ツアーでしたね。

左迅：相当贅沢だったよね。札幌でカニは食うわ。

愁：ラーメン、寿司…全部食ったな。

Яyo：ジンギスカンも行ったろ? 仙台では朝から晩まで牛タンだし。

愁：考えたら、今、腹鳴ったもん(笑)。あと、名古屋でЯyoと行ったひつまぶしね。

Яyo：ああ! 高いんだけど、美味しいんだよね。これなら2500円出せちゃうっていう味だよね。

愁：ご褒美だな。

―そこも充実したツアーだったようですね。そういえば今回から機材車も新しくなったんですよね。

愁：でも、内装が前と変わらないんですよ。

一同：ああ〜!!

左迅：(車体の)塗装が変わったぐらいですよ。

Яyo：車が来る日に、楽しみ楽しみって言ってたら、(届いたら)全く一緒で(苦笑)。

愁：でも、神戸でパンク事件があった以外は、順調に走りました。

―ところで今回のツアーでは、会場ごとに夏のツアーを1ヶ所ずつ発表していくという試みもあり。

愁：各地の終演後に、そことほぼ同じ地方のライヴハウスを発表する形にしました。面白いかなって思って。

―夏のツアーの会場は、以前ワンマンをやった会場でのリベンジをするために選んだとか。

愁：はい。だから初日はアストロホールなんです(注：2005年12月のワンマンがソールドアウトしなかった)。ファイナルのO-WESTは、1日目が自主時代(2006年3月)で、2日目が事務所入って『13's reborn』を出した後のO-WEST(2006年12月)のリベンジなんです。ちゃんと2回分消化しようかと思って(笑)。

―単なる2デイズじゃないと。

愁：違うんです。2回埋まらなかったんで、2回やらないと(苦笑)。

一同：(笑)

愁：名古屋と大阪もそうですね。前にやって埋まらなかったところです。過去の清算と言うか、一度すっきりさせてから次のステップに行き[illegible]なと[illegible]って。

―心残りと言うか、引っ掛かってるところがあるわけですか。

愁：もう、トラウマっすよ(苦笑)。

左迅：だって今もO-WEST、怖いもん(苦笑)。またソールドアウトしなかったらどうしようって[illegible]

Яyo：どうする[illegible]んなかったら。

左迅：そしたらもう[illegible]そこで[illegible]二度とやらねえ!(苦笑)

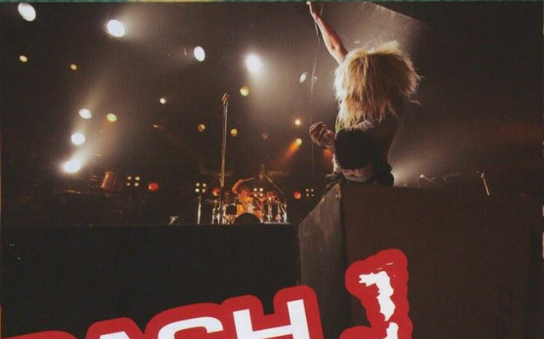
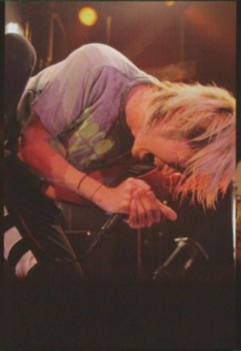
一同：(笑)

慧美网 蝴蝶网 hudie.com

ZORO
vimee.net
hudie.com
Pearl

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
1.GOLD CARD
2.東京セレクション
3.warp
4.FIGHTER FIGHTER
5.パノラマHOP
6.RIOT
7.Kung-fu dance＜創＞
8.F・O・G
9.雨ライフ
10.Spankingnoiz//100v.9MHz=DM?JURIAN.cot
11.DYNAMITE FLAVOR
12.ハラ■■ show time
13.CUBE
＜encore＞
14.GAGA
15.Dizzy TRICK
16.KID
17.NANA
18.COSMO「S」フューチャー
19.KITSUNE

[CRASH]

2010.3.21 ebisu LIQUIDROOM

3月3日にリリースしたシングル『GOLD CARD』を引っ提げて行なわれていた、ゾロにとって初めてとなるワンマン・ツアー[CRASH]が、3月21日・恵比寿リキッドルームにてファイナルを迎えた。2010年に入って、"ある変化"が起きていたという彼らのライヴは、このツアーでさらに磨きがかかったようで、見事な"進化"を見せた夜となった。成長著しい彼らの一夜をレポート！

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Report:YUKA SUGIE

2010年に入り、ゾロのライヴ・スタイルにはある変化が起きていた。これまでライヴの頭と最後に挟んでいた〝決め台詞〟を、撤廃したというのだ。3年目に突入し、彼らなりの節目に思うところがあったとはいえ、せっかくファンに浸透している〝お約束〟を、なぜ今、なくしてしまうのか。

その疑問をすっきり解消してくれたのが、今回の初ワンマン・ツアー最終日だった。

幕開けは、最新シングル表題曲の「GOLD CARD」。突き抜けてキャッチーなメロディ、〝バンドでここまでやるか!?〟と思うようなデジタルロックなサウンドは、まさにゾロの得意技だ。大胆に加工された龍寺の歌声にもパンチがあるが、いきなりものすごい熱量を放って盛り上がるフロアは、メンバーの狙い通りか、それ以上の反応を見せているということになる。

裕哉のビートが疾走感をアオる「東京セレクション」では、〝もっと跳んで！〟〝踊れっ〟と、フロアをけしかける龍寺が、これまでに増して頼もしく扇動的な印象だ。

続く「warp」では、キュートな笑顔と裏腹に5弦ベースでゴリゴリに牽引するたつひに、オーディエンスも思わずコブシで応戦。序盤にして、尋常じゃない熱気が会場を支配していく。

そうした中でも、「パノラマHOP」ではタイゾとたつひが向き合い、笑顔でコンタクトをとってみたり。ライヴならではの息の合わせ方を、余裕をもって楽しめているように見えた。

かと思えば、龍寺のハードコアな咆哮をキッカケにフロア一面がヘドバンで埋め尽くされた「RIOT」では、曲名通りの騒乱状態に。まるでジェットコースターのような起伏に富んだ構成によって、否が応でも受け手のテンションも上がってしまう。

一転、ファンクなノリとスケール感が心地よく響いた「Kung-fu dance〈創〉」(ちなみにアルバム『CORE』発売後、初のライヴ披露！)、思わず叙情に浸った「F・O・G」、メンバーそれぞれが音と言葉に想いを託したメロウな「雨ライフ」と続けた中盤。踊れるデジロックが得意技ではあるだろうが、そういったパブリックイメージを覆すほど、グッと深くまで惹き込んだその手腕はなかなかのもの。龍寺自身、このセクションでは感情移入のあまり涙を見せたそうだが、それだけ曲ごとに入り込んで、なおかつガラッと雰囲気を一変させることが出来るというのは、ライヴにおいて最大の強みだ。

バンドの本質が磨かれた、初ワンマン・ツアー、ファイナル

さらに、ワンマンならでは、楽器陣の声も聴けたMCタイムでは、揃って観客を沸かせるという快挙も。すっかりトークの腕を上げた3人に、龍寺が若干の焦燥感を覚えるほどだったが、しゃべりが達者で困ることはナシ。各々の緩めなキャラクターを活かしたほのぼのタイムは、潤滑油にもなる。

デジポップな「Spankingnoiz//100v.9MHz=DM?JURIAN.cot」で再び弾みのついた終盤戦は、タイゾがイントロからタッピングで圧倒、テクニカルなプレイだけでなく華麗なターンでも魅せた「DYNAMITE FLAVOR」、そのの心地よいドライヴ感にフロアもアツさを上乗せしていった「ハラ■■ show time」と、一体感は増すばかり。

トドメは、〝今の自分にサヨナラを！全員死んでください!!〟と、龍寺が過激に言い放っての「CUBE」。フロアにはクラウドサーフするオーディエンスが続出し、カオスでクラッシュなままに、本編は幕を閉じた。

その熱を受けてのアンコールでは、『僕たちは〝lone wolf（一匹狼）〟でいたいし、異質な存在でいたい。でもそれは、みんながいてこそだから。これからもずっと傍にいてください！』と、龍寺があらためて決意表明。

オーディエンスの答えは、フロアを揺らし、大合唱で圧倒したラストの「KITSUNE」にしっかりと滲んだ。

そして。気付けば、[illegible]慣れ親しんだ台詞があったことさえ忘れていた。そういった演出がなくても、オーディエンスのハートを終始がっつり〝[illegible]〟できている今、彼らにはもう必要ないのだろう。それはきっと、バンドの本質が磨かれてきたからこその、変化というよりは進化だ。成長著しい異端児が次にどう出るか、楽しみでもあり、戦々恐々でもある。

慧美网
vimee.net

変わるなら、今しかないから——

新生SCREWがいよいよ本格的に動き出す。まずは、5月12日に『Cursed Hurricane』を、そして6月9日に『ANCIENT RAIN』と、2ヶ月連続でシングルをリリースする。第1弾となる『Cursed Hurricane』は、これまでのSCREWの印象とはうって変わった、新たなイメージを打ち出した意欲的な作品に仕上がった。このリリースと前後して、積極的に全国でライヴを展開していく彼ら。新たな5人をぜひ体感してほしい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

——『Cursed Hurricane』は、この5人になって初の作品になりますが、これまでにない新しいものを打ち出したいという気持ちもありましたか。

ジン：ルイが入って、新しくなったSCREWの打ち出し方を考えた時に、ダークな印象より希望が見える、明るいロック的な要素が入った曲を出していこうってなったんですよ。それで、「Cursed Hurricane」を作りました。

和己：候補曲は結構な数があったんですけど、その中でもこの曲が抜けてましたね。歌い方がだいぶ変わって、すんなり入って来る印象があります。

鋲：変わるなら今しかないって思って。メンバーが替わって初のCDなので、何かしら変わってるほうがいいじゃないですか。

——そこで、どんな風に変えようと?

鋲：歌詞をはっきり歌おうと。ここまで一文字一文字を意識して滑舌よく歌ったことがなかったので。

——だとすると、レコーディングは大変だったんじゃないですか。

鋲：(自分の今までの)クセを取ったというか、もう手術みたいでしたね(苦笑)。肉体改造的な。だから表題曲はやっぱり時間がかかりました。

——楽曲に関しても、ギターの音色など明るさを表現しているようにも感じました。

マナブ：デモの時点で、明るさが出るようなギターが入ってたので、そういうのを大事にしつつ、あとはお互い弾きたいものを弾いた感じですね。チューニングも今回から変えてみたので、パッと聴いた音の変化もありますね。

和己：新しいSCREWは“変わらなきゃいけない、変わりたい!”っていう想いが、チューニング1つにも出ていて。サビとか、すごく突き抜ける感じがするし、歌との兼ね合いもすごく良いし。新しいSCREWが始まる予感を感じる曲だと思います。これから大きく変わっていくんだなって。

——ドラムもそのあたりを意識しました?

ジン：明るいんですけど、ポップっていう意味の明るい感じにはしたくなくて、ラウドな感じを出してますね。明るいながらも、ヘヴィだったりラウドだったり…っていうところが自然と出た感じですね。

——ルイくんは、SCREWとして初めての制作でしたが、いかがでしたか。

ルイ：とにかく歌を前面に出す意識があったんで、わりとシンプルに、でどこで自分の色を出すかに集中して作りました。曲全体としてすごく聴きやすいと思うんですよ。今までのSCREWのいい部分はシェイプされて、その上に新しいものが乗っかってると思いますね。

——歌詞は、前向きなメッセージもありつつ、荒々しい言葉も混ざってますね。

鋲：いざ出陣!っていう感じですね。コンセプト的なこともあるんですけど、そのコンセプトに上手く自分の気持ちを混ざって、分かりやすい歌詞になったと思います。

——その「コンセプト」というのは?

鋲：『Cursed Hurricane』と、6月に出る『ANCIENT RAIN』と、その後のも含めて、2010年に出る作品を1つの物語にしようと思ってるんです。全ての歌詞を繋げようかなって。大きなプロジェクトを考えてます。

——その、プロジェクト全体のコンセプトとは?

鋲：それは最後に言おうと思ってるんです。最初に言っちゃうと、固定観念が出来て、こうなんだって思われちゃうじゃないですか。そうじゃなくて、詞を読んで想像を膨らませていってもらいたいですね。

——なるほど、楽しみにしています。そしてカップリングの「小夜啼鳥」がマナブくんの曲ですが、これは歌をじっくり聴かせる曲ですね。

マナブ：良い曲になればいいなっていう感じで作っていきました。新しい引き出しを開けて…とかそういうのはなく、自然に“良い曲”を作りたいなと思って出来た結果がこんな感じですね。難しくは考えずに。

和己：ギター・アレンジに関しても、この曲は特にこだわりはないですね。曲に合ったアレンジはもちろんしてるんですけど、自然に出て来たんで、それを振り分けて弾いてます。

——ただ、ベースは歌うようなフレーズで主張しているような。

ルイ：作曲者から好きにやってと言われたので、4曲の中では個人的にいちばん時間をかけましたね。フェイドアウトするところは、アドリブでフレーズを作ったりして。だからこの曲がいちばん自分の色が出てると思います。

——ドラムは、どっしりした感じで。

ジン：曲の雰囲気とは言葉が合わないんですけど、もっさり感と言うか…テンポ

蝴蝶网
hudie.com

感を出すんじゃなく、雰囲気に溶け込めるフレーズを考えたドラムですね。

――サウンド全体の空気感があって、そこに綺麗な歌が乗っているわけですね。

鋲：マナブってCメロ名人なんですけど、そこを抜いたら最近の曲は雰囲気が近いところがあるんで、これは気合いを入れてサビのメロディをつけなきゃいけないなって思って。その流れで上手く行きましたね。レコーディング中も、最後のサビのメロディが変わったりして、さらに良くなって。名曲誕生っていう感じですね。

――〝初回盤B〟に収録される「Dainsleif」は、勢いたっぷりの、これまでのイメージに近い曲ですね。

和己：ライヴを考えて作ったんですけど、単純に楽しめると思うんで、聴いてもらいたいですね。

――レコーディングでも、勢いを重視してプレイした感じ？

マナブ：原曲をスタジオで合わせてると、ライヴでこうしたいから、もっと分かりやすく…とか、どんどんノリやすい感じになって。ライヴで勢いを発揮する感じですね。レコーディングの時は、いちばんノリ重視でいきました。リズムが大事になったし、リズム遊びが中心になってる曲ですね。

――この歌は、今までの鋲くんの歌のイメージに近いです。

鋲：これを聴くと、安心してもらえるんじゃないですか。バックはノリ重視でシンプルだと思うんですけど、歌に関してはこだわりがあったりします。2回目のAメロもカッコいいし、Bメロは今までに歌ったことのない感じで歌ってるし。ライヴで盛り上がれそうだし、カッコいい曲になったと思います。

バンドのシフトをどういう風にチェンジしていくか

和己：バンドのシフトをどこにどういう風にチェンジして行くのか考えた時に、もちろん今までのいいところも残ってなきゃいけない。それは大前提にあるんで、それが出ている曲です。

――通常盤に入る「JELLYFISH」は、スピード感はありつつ、サビはすごく明るくて。

ジン：最近のSCREWの正統な曲を崩したくて。こういうイレギュラーなセクションがあったりするのも初期にやってたなって。〝ザ・鋲〟っていう感じで、久しぶり！って感じもあって。いい意味で懐かしさもあり、新しさもあり、っていうところが狙えたと思います。

鋲：〝若っ！〟って感じですよね（笑）。サビは、すごく分かりやすくて、聴いてるこっちが恥ずかしくなるぐらいのメロディで。この曲が後々「S=r&b」に代わるぐらいの曲になればいいなって願いもあるので、それぐらい分かりやすい曲にしました。

――ライヴでみんなで楽しめる感じが伝わって来ますね。

ルイ：「Dainsleif」と「JELLYFISH」は、ノリ重視だったんで、ライヴを意識して録ったんですけど、余計なことは考えず、全体とのグルーヴで判断しました。今後ライヴでの定番曲になっていってほしいですね。

和己：耳にサッと入って来るメロディだと思うんで、ライヴで初めて聴いても単純に楽しめると思います。

――歌詞も分かりやすくて、明るいサウンドにぴったりな内容ですね。

鋲：いろんな感情が混ざってるんです。弱さだったり強さだったり、大人っぽさだったり子どもっぽさだったり。そういう感情をひっくるめた応援歌ですね。ケセラセラの精神で、まぁ何とかなるだろうって。

――そして、ライヴに関してですが、4月初旬から6月まで、スケジュールがびっちり入っているんですね。

和己：東京以外でこの5人でやるのは初めてなんで、挨拶代わりに行って来たいです。

マナブ：これだけライヴが詰まっているんで、日々反省しながら出来るし、すごくいい機会ですね。

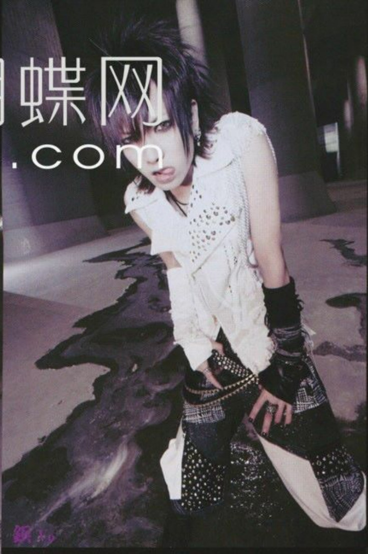
――4月29日の「[illegible]WAVE 2010」にも出演しますし。

和己：いっぱい全国を廻っている間なんで、いちばん良い形が見せられるんじゃないかなって思ってます。

――この5人のSCREWを、さらに多くの人にお披露目[illegible]ね。

ルイ：自分が加入してからのSCREWを初めて見る人が多いと思うし、〝やっぱりベース、こいつでよかったな〟って思ってもらえればいいですね。

和己 Gt



鋲 Vo

マナブ Gt

RUI Ba

ジン Dr

慧美网
vimee.net

蝴蝶网 hudie.com

[LIVE SCHEDULE]

Date	Place
04.22 (THU)	札幌 KRAPS HALL
04.27 (TUE)	Shibuya O-EAST
04.29 (THU)	JCB ホール
05.01 (SAT)	福岡 DRUM Be-1
05.03 (MON)	大阪 BIG CAT
05.04 (TUE)	名古屋ボトムライン
05.08 (SAT)	仙台 darwin
05.10 (MON)	Shibuya O-EAST
05.30 (SUN)	SHIBUYA AX
06.03 (THU)	大阪 MUSE
06.04 (FRI)	名古屋ボトムライン
06.16 (WED)	金沢 AZ
06.18 (FRI)	仙台 darwin
06.19 (SAT)	新潟 LOTS
07.25 (SUN)	高田馬場 AREA

[IN STORE EVENT SCHEDULE]

Date	Place	Information
04.30 (FRI)	福岡 SKULL ROSE	092-741-0501
05.02 (SUN)	大阪 I.D.PILOT DEAD ONE	06-6258-5186
05.15 (SAT)	渋谷 ZEAL LINK	03-5784-9666
05.16 (SUN)	自主盤倶楽部	03-3371-3851
05.23 (SUN)	Brand X	03-3980-6780
05.29 (SAT)	新宿 ZEAL LINK	03-5379-7155
06.02 (WED)	大阪 I.D.PILOT DEAD ONE	06-6258-5186
06.05 (SAT)	名古屋 HMV 栄	052-243-6366
06.12 (SAT)	新宿 ZEAL LINK	03-5379-7155
06.17 (THU)	HMV 仙台一番町	022-213-0321
06.20 (SUN)	新潟 RISKY DRUG STORE	025-241-9200
06.26 (SAT)	自主盤倶楽部	03-3371-3851
06.27 (SUN)	渋谷 ZEAL LINK	03-5784-9666
07.03 (SAT)	Brand X	03-3980-6780
08.06 (FRI)	札幌 GURUGURU	011-251-4480
08.19 (THU)	福岡 SKULL ROSE	092-741-0501

[TOTAL INFORMATION]

PS COMPANY Co.,Ltd. / Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福 3-41-9-2F
TEL : 03-5355-3822 (平日 12:00 ～ 18:00)
※ファンレター等はメンバー名を明記の上お送り下さい。
また、お問合わせに関してはメールではなく直接お電話でお願いします。

[OFFICIAL WEB SITE]

http://www.indie-psc.com/screw/

PSmobile

唯美网 vimeo.net

第1弾シングル　2010.5.12 Release　～疾風迅雷の進撃～

Cursed Hurricane

[初回盤 A] CD＋DVD
-CD-
01. Cursed Hurricane
02. 小夜啼鳥
-DVD-
「Cursed Hurricane」
MUSIC CLIP
PSIM-30018 / ¥1,890 (tax in)

[初回盤 B] CD
01. Cursed Hurricane
02. 小夜啼鳥
03. Dainsleif
※撮り下ろしブックレット付き
PSIM-30019 / ¥1,890 (tax in)

[通常盤] CD
01. Cursed Hurricane
02. 小夜啼鳥
03. JELLYFISH
PSIM-20017 / ¥1,575 (tax in)

第2弾シングル　2010.6.9 Release　～降り続く太古の雨音～

ANCIENT RAIN

[初回盤 A] CD＋DVD
-CD-
01. ANCIENT RAIN
02. Barbed wire
-DVD-
「ANCIENT RAIN」
MUSIC CLIP
PSIM-30020 / ¥1,890 (tax in)

[初回盤 B] CD
01. ANCIENT RAIN
02. Barbed wire
03. その声が聴こえなくなってあの子がもう視えなくなった
※撮り下ろしブックレット付き
PSIM-30021 / ¥1,890 (tax in)

[通常盤] CD
01. ANCIENT RAIN
02. Barbed wire
03. 蹂躙ノ煙
PSIM-20018 / ¥1,575 (tax in)

[Indie PSC. ON LINE SHOP]
5.12 発売「Cursed Hurricane」、6.9発売「ANCIENT RAIN」、それぞれ、初回盤 A (¥1,890)・初回盤 B (¥1,890)・通常盤 (¥1,575) の3タイプ同時購入で、サイン入り写真を3種類の中から1枚差し上げます。
こちらの特典は無くなり次第終了となります。PS mobile へ今すぐアクセス!

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

ドレミ團

Don't Let Me Down

Sai

hudie.com

Live at 渋谷クラブクアトロ

2010年1月23日。ドレミ團は、この日からベーシスト・ユウを迎え、新たな航海に出た。メジャーデビューというニューワールドへの旅立ちと、新たな仲間との再出発。幾度ものメンバーチェンジを経験してきた彼らだが、今回の新たな旅立ちほど、バンドにとって大きな変化を感じたことはなかったのではないだろうか？　2010年3月31日。『Sai』と名付けられたそのライヴの意味を書き残そう———。

Photorgaphy:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）／Report:NAOKO TAKEICHI

〝刹那的なメロ。三拍子。温かい空間〟

そんな、彼らを彷彿させるものたちは、懐かしい場所に帰ってきたような感覚にさせる。２０１０年３月31日。渋谷クラブクアトロ。この日この場所にも、いつも感じる、そんな感覚が寄り添っていた。彼らを待つオーディエンスの放つ空気はどこか他と違う。包み込むように暖かく、愛しさに満ちている。これも、昔から変わらない。いや、徐々に強くなっているように思う。彼らが困難を乗り越える度に、彼らに向けられる愛しさは温度を高め、彼らもまた、困難を乗り越える度に、オーディエンスの存在に深く感謝し、愛しさを募らせる。まさに、相思相愛。そんな関係性がドレミ團とオーディエンスの間には存在する。だからドレミ團の現場は温かい———。

開演前に会場の中に流れるビートルズの楽曲たち。それもいつもと同じ。なんだろう、それも安心する要因のひとつ。

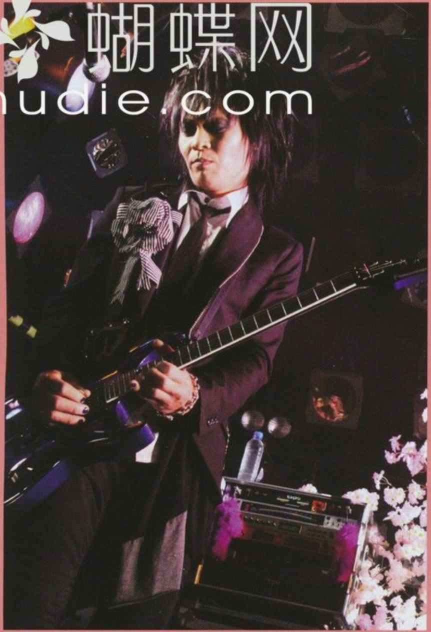
『ドント・レット・ミー・ダウン』が、ドレミ團というバンド名の根源にあるからだろうか？　そんなビートルズの楽曲たちが途切れ、いつもの彼らのＳＥが会場にひろがった。オーディエンスは歓声を上げ、ステージに一歩体を近づけた。

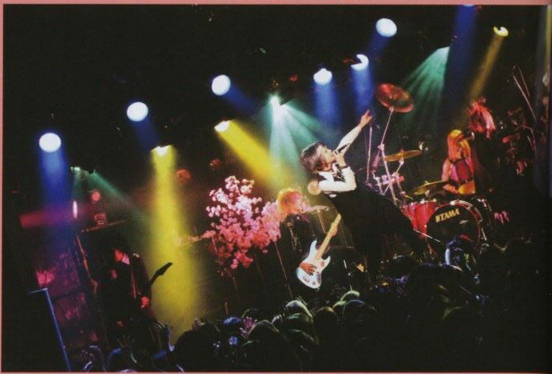
ゆっくりとメンバーがステージへと姿を現した。零華、ＫＥＮ、ユウ、龍、そしてマコト。彼らの心の中で発せられた〝お待たせ！〟の言葉が声になって届いてきた気がした。実に、ユウを正式メンバーとして迎え入れた１月23日のリキッドルームでのライヴから約２ヶ月。ライヴバンドである彼らにとってライヴの無い２ヶ月の沈黙期間は、苦痛に値する長さだったに違いない。それゆえに、１曲目はドカンと勢い良く溜まっていた感情をぶつけてくるだろうと読んでいた。が、しかし。ドレミ團歴８年ともなる私としたことが、そんな予感をまんまと外した。

彼らはこの日、絶品の唄モノ曲「恋ごころ」を１曲目にぶつけて来たのだ。一音一音大切に紡がれる音に、しっとりと歌い上げるマコトの唄が乗る。オーディエンスはイントロが始まると同時に歓声を止め、食い入るように聴き入った。

この曲から幕を開けるとは。彼らの揺ぎない自信とバンド力を感じた瞬間だった。そして、２曲目の「夢幻洋灯〜まぼろしらんぷ〜」からは、２ヶ月

蝴蝶网
hudie.com





の沈黙が待ち遠しかったと言わんばかりに熱いナンバーを立て続けに届けてくれた。サビで〝don't let me down〟の掛け声が入る「タイムマシン」では、いつものようにオーディエンスが声を重ねた。さすがバンド名の根源にもなっているとあって、〝don't let me down〟の声は、〝ドレミ團〟と聞こえてくる。それもあって、個人的にこの曲はドレミ團のテーマ曲という位置づけにある。もちろん、マコトによって綴られた歌詞の内容も含めてである。

〝どれだけのユメ叶えられるのだろう。どんなに涙流しても構わないよ。過ぎ去った日々の欠片もう一度探しにゆこう。きっと何か見つかるから――〟

彼らが唄う意味が、この歌には詰まっているのだ。この日、この曲のときにユウが一歩前に出てベースを弾いた。そんなユウの左肩に手を置いて唄ったマコト。下手に移動したユウの横に、そっと体を近づける龍。周りがホコッと明るくなるユウの無邪気な笑顔が周囲を染め変えた。ドレミ團が変わった――。そう思った。コロコロと懐く子猫のように、上手を守るKENの傍に行き、ベースを絡めるユウに、なかなか胸の内を素直に出さないクールなKENが笑顔で絡む場面があったり、零華と視線を合わせ、音を絡め合う場面など、いままでにない空気が生まれていたのだ。

〝ドレミ團というバンドを8年やってきたんですけど、ドレミ團はご存知のとおり、何ごともなくどんどん動員が増えていったというバンドではございません。ここに居るみんなに支えられてここまでやってきました。辛い事があったときは、登っていくしかないと思っています。振り出しに戻って、そこから上がっていけると思っています。そんな想いをみんなに届けたくて歌にしました――〟

そんなマコトの言葉の後に届けられたのは、この日会場限定で販売された「Sai」。このライブのタイトルにもなっていた、〝31日〟という日にかけた1曲だった。この曲のラストで彼らはこう叫ぶ。

〝この空は何処までも続く…流れ去る記憶の中で。その足跡は消えないから〟

この日から始まったドレミ團を感じた。またここから、この5人で、そして、ドレミ團を愛してくれているファンと共に歩んで欲しいと、心から思った夜だった。

【セットリスト】
1.恋ごころ
2.夢幻洋灯～まぼろしらんぷ～
3.銃声
4.タイムマシン
5.黒イ華篆ト一縷ノ望ミ
6.ガァルハント
7.我慾厭世観
8.デカダンス・ゴーゴー
9.傘月
10.パレヱド
11.ナミダ雲
12.雨のプラットホーム
13.スイミン天獄
14.ザ・ファウスト
15.ブラインド　アンドロイド
16.青春ロールオーバー
17.戀想遊戯
18.Sai
EN1.マイラヴ・マイライフ
EN2.ワカバノキヲク
EN3.あおぞらジェネレイション

（問）〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル3F「青空倶楽部」 http://www.doremidan.com/

vimee.net

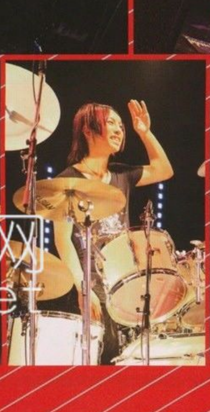
3月30日LIQUIDROOM ebisuにて行われたワンマン・ライヴ『SIGNET TO THE FUTURE』を、前回（2009年11月7日）O-WESTにて行われた、自身初のワンマン・ライヴ『THE ViViD COLOR』同様、見事ソールド・アウトさせ、大成功の内におさめたViViD。信じられない事に、結成からまだ１年も経っていない彼等だが、その実力と人気は昨今の若手バンドの中で群を抜いている。今回は、そんな人気急上昇中の彼等のワンマン・ライヴ『SIGNET TO THE FUTURE』の模様をレポートします！

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report:YUKA SUGIE

Live at LIQUIDROOM ebisu
2010.3.30

ViViD

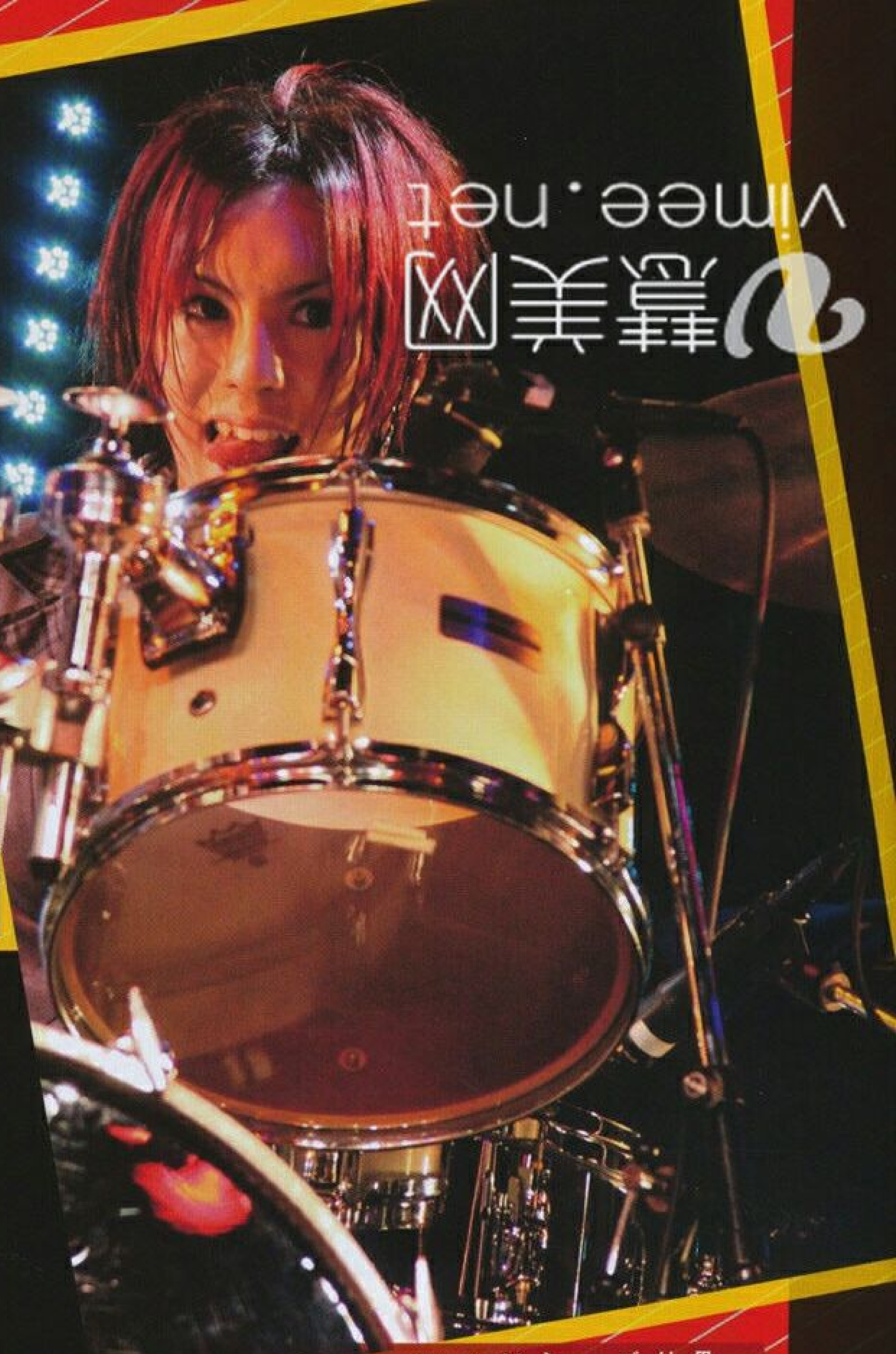
SIGNET TO THE FUTURE



蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
1.Across The Border 2.butterfly 3.Chroni狂 4.69-II 5.W.B.A 6.睡蓮人 7.夢ノミチシルベ 8.トワイライト 9.feast of the moon 10.J-guild 11.Distance of mind 12.Take-off 13.RiL EN1.星ノ雨 EN2.キミコイ EN3.Dear



並じゃない器だとは、初ワンマンでも思った。2度目は、そんな前回をきっちり凌駕した。やはり、彼らはタダならぬバンドなのだ。

とにかく、プレイスタイルやステージングに関して、いわゆる"地味な人"がいない。しかも、無軌道にめちゃくちゃなアピールをするわけではなく、自分が前に出る場所、他のメンバーを際立たせる場所を理解した上での派手さ、華やかさを心得ているのだ。衣装にしても、5人揃っての統一感ある装いながら、着こなし方はそれぞれ。きっと、個々、自分の見せ方をよく解っているのだろう。そうした個の色の鮮やかさに磨きをかけた上で、バンドとしての一体感もグンと増したように思う。

大事なオープニングは、最新シングル表題曲「Across The Border」。のっけからアツすぎるフロアのテンションに呑まれることなく、しっかりと地に足をつけて、音を、声を響かせている印象だ。お互いの押し引きの絶妙バランスが保たれたソリッドなバンド感に、進化を感じずにはいられない。続く「butterfly」では、怜我、零乃それぞれのギターソロが見られたり、Ko-kiが山場を作ったりとスリリングな見せ場で惹きつけつつ、シンが笑顔を見せたり、零乃と怜我が向かい合ってみたり、イヴと怜我が背中合わせになってみたりと、率先してライヴを楽しんでいる様子も。

メンバーがそうならフロアも俄然楽しいわけで、「Chroni狂」ではシンにのせられるままにタオル回すわ、跳ねまくるわ、ただでさえパンパンに詰まったフロアは、気付けばサウナ状態だ。

中盤では、それまでのジャンクでエモーショナルなミクスチャーモードから一転、彼らの叙情的な歌心を穏やかに提示。冒頭、シンがマイクレスで独唱した「睡蓮人」では、彼のズバ抜けた歌力をあらためて思い知らされた。しなやかなポップ感が心地よい「夢ノミチシルベ」では、歌うようなベースラインが華を添えたし、零乃を唸らせたという怜我のブルージーなギターソロ、「星ノ雨」に次いで最強」とイヴの高評価を得た零乃のアウトロソロと、ギタリストそれぞれの魅力も開花。さらに「feast of the moon」では、1人1人にスポットが当たるソロ回しに予想以上の大歓声が。メンバー個々の求心力は、ここでも確認できた。

"こんなに素敵な場所を作ってくれてどうもありがとう。いつも俺たちのことを輝かせてくれてありがとう。こんなにたくさんの人が愛してくれて…、ホントにありがとうございます！"シンのありったけの想いを受けての終盤。フロント4人がドラム台に集結して結束感を高めた「Distance of mind」、シンとフロアとのコール&レスポンスが重なることに熱を帯びていった「Take-off」、ステージとフロアが融和して生まれる熱量に圧倒された「RiL」と、息つく間もなく走り抜けた。

そして、鳴りやまない声援に応えてのダブルアンコール。ここで、次なるワンマンライヴを8月8日@渋谷AXで行なうことが発表された。

"みんながいるから、夢に見た舞台に立てます。全員連れて、てっぺん獲るから、どこまでもついてきてください！"

涙声に、万感の想いを滲ませたシン。"俺も後ろでボロクソ泣いてて、みんな喜んでくれないと思ってたから、ホント嬉しいです！"

Ko-kiも、涙を隠そうとしない。そんな2人を受け止めるように零乃が言う。

"危うくもらい泣きしそうになったけど…俺は、武道館に立つまでは泣かないから！"

頼もしいリーダーに続き、イヴは面白ネタを交え、怜我は天然モードで、それぞれに感謝と決意を語ったが、5人の自然とフォローしたり寄り添える距離感もまた、微笑ましく見えた。

そんな彼らがもっとも愛しい存在＝ファンへ最後に贈ったのは、「Dear」。武道館のラストでもぜひ、この曲を聴きたいではないか。

夢も希望も見失いそうな今という時代だからこそ、臆面もなく夢を語る彼らを頼もしいと思うし、それだけの根拠はある。希望の芽がどう伸びるか、まずは夏の陣に期待をかけたい。

(問)PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.
〒168-0064 東京都杉並区永福3-41-9-2F
http://www.indie-psc.com/vivid/

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

[illegible]のヴィジュアル玉手箱、SHOXXからスピンオフ!!

SHOXX glitter pop グリッターポップ No.4

V系雑誌SHOXXから生まれた
徹底的にヴィジュアルにこだわった
新メディア『glitter pop』!!
36ページのスペシャルブックと
ポスター10枚を封入した
スペシャル玉手箱の夢のコラボメディア!!

大好評第4弾!!
4月28日
全国書店にて発売!!

なんと!!
特大ポスター
10枚付き!!

ViViDのメンバーの
個人ポスターが
5枚付きます。

＋(プラス)

takuya×輝喜/LM.C
SuG/DaizyStripper
TOON-FACTORYのポスター付き

takuya(アンティック-珈琲店-)
×輝喜(アンティック-珈琲店-)
オリジナル・フォト・セッション
8ページ大特集!!

最新撮り下ろし特集

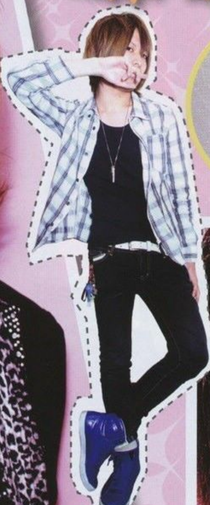
ViViD

Special Front 12 Pages Edition

★LM.C ★SuG
★DaizyStripper
★TOON-FACTORY
★HERO

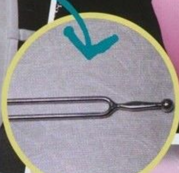
SHOXX 2010年6月号増刊号
雑誌コード:04538-06　1,500円(税込)　A4ワイド版
本体36ページ　オールカラー　ポスター10枚付き
発売日(4月28日)を過ぎても店頭に商品がない場合は
インターネット及び携帯サイトからもご注文、ご購入いただけます。
http://www.ongakusenkasha.co.jp

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net



Vo.ひかる

Gt.雫



Gt.夢叶

TOON-FACTORY

抜き打ちチェック！

TOON-FACTORYの私服・私物大公開♪ ～2010年春編～

怪しい物は入ってません!?

前号では、卒業シーズンということで、制服での撮影を試みたTOON-FACTORY。ピチピチの彼らゆえ、リアル制服がまだまだ板についていたのでは？　そんな制服企画が好評だったということで、今回は、雫の希望に応え、"突撃持ち物検査"を試みてみました！　自ら持ち物検査を企画するとは……なんとも不思議な生き物。さて。鞄の中で、特に大切にしているモノとは？　抜き打ち検査、始まりです！

Photography:MASAKAZU KOBAYASH (SHOXX)
Interview:NAOKO TAKEICHI

慧美网 vimee.net
hudie.com 蝴蝶网

蝴蝶网 hudie.com

—今回は雫の希望で抜き打ちの持ち物検査をしたとか……。

雫：そうっす。

一同：どうして？

—どうして？っていうか、他のメンバーも今それを聞くの？　どうして？

雫：ホントっすよね（笑）。いや、ファンの子って、そういうの知りたいんじゃないかなって。わかってないすね、みんな、そういうファン心理を。

一同：おぉ～（感心）。

—でも、抜き打ちとはいえ、雫はわかってるわけでしょ、持ち物検査やるって。ってことは、ヤバいモノは予め抜いておけるっていう利点がある。

雫：いや。なんも抜いてないっすって！

—あ、本当だ、耳かきとか入ってる。

雫：え？　耳かきってヤバいグッズじゃなくないっすか？

—ちょっといい雰囲気になったときに、"ちょっとコレやって"みたいな使い方してるんでしょ？　膝枕耳かきみたいな。

一同：うわぁ～、そうなんだぁ（笑）。

雫：違うっす違うっす（焦）。ただ、俺、耳かきが好きなだけっすよ！

—だからそういうことでしょ？

雫：違うっす！　まぁ、耳を掃除するのは好きっすけど、耳かきを集めるのが好きなんすよ。それを知ってるファンの子がくれたんすよ。ま、他にもリップとか爪切りとか目薬入ってますけど、これは身だしなみっす。モテグッズ。これは必需品すよ。あとは、ipodと油性ペン。いつでもサインを書けるように（笑）。そんな中でも、1番大事というか、マストアイテムは【音叉（おんさ）】。如何なる時もギターを弾けるようにね。ギタリストなんで、僕。あ、あと、全然好きじゃないんすけど、この前友達に無理矢理連れて行かれたメイドカフェの会員カードも入ってたっす。

—無理矢理ねぇ～。

一同：無理矢理ねぇ～（笑）。

—（笑）。次はゆーいち。さすがドラマー。スティック持ち歩いてるの？

ゆーいち：いや、たまたまだったんですよ！　ドラマーらしくてカッコイイっすよね！　この偶然、良かった（笑）。あとは、ipodと携帯と携帯の充電器とお財布。荷物って重いと辛いじゃないっすか。俺、電車の中では立つ派なんで、必要最低限の荷物しか持たないようにしてるんですよ。無駄は省く。これ、鉄則です！　中でもお気に入りマストアイテムはイヤフォン。俺、ウサギ飼ってるんですけど、ウサギって、よくコードとかかじっちゃうんですよ。それで、その度に買いに行ってたら、だんだんイヤフォンマニアになっちゃって（笑）、イヤフォンにこだわるヤツになっちゃったんです（笑）。これは今のお気に入り。イヤフォンって黒が多い中、このチョコレート色が珍しくて即効買っちゃったんです。

—次はひかる。

ひかる：はい。普通の携帯とiPhoneの2台持ちなんですけど、iPhoneの方は主に写真とか映像を保存しておく用ですね。あとは、漫画の単行本。電車で移動してるんで、移動中暇だから、暇つぶしグッズとして漫画とPSPが入れてあります。あとは、山下智久くんと一緒の香水と、TOON-FACTORYのCD。TOON-FACTORYのCDは宣伝用に持ち歩いてます。白盤は、たぶん、TOON-FACTORYの映像かな。この日、レガくんに渡そうと思って持ってたんです。怪しいモノはないです！

—お気に入りマストアイテムは何？

ひかる：リラックマのコンタクトケースです！　ちょっとパチもんに見えるんですけど、ちゃんと正規品なんですよ！　リラックマです！　ファンの子からもらったプレゼントです。愛用させてもらってます！

—次は夢叶。まず、お気に入りマストアイテムは何？　コレ？　手帳？

夢叶：そうです。手帳です！　ゆーいちさんに付いて来てもらって、ロフトに行って自分で買いました（笑）！　使ってたのが、なんかしっくりこなくって、可愛い手帳ないかな？と思って買いに行って、この子をみつけて買ってきました。可愛くないです？　可愛いけど、なんか可愛くない感じが可愛いなと思って。めちゃめちゃ惹かれたんですよね。でも、買ったわりには、スケジュールは全部携帯のメモに書き込んじゃうんで、ほとんど使ってないけど、せっかく買ったので、お気に入りマストアイテムとして、毎日鞄に入ってます（笑）。あとは、ギターの弦とヘアーアイロンと、ipodです。今、僕の中でK-POPが熱くて、韓国のKARAっていうアイドルグループの曲をヘヴィローテーションで聴いてます！　あとは、花粉症っぽいんで、柔らかティッシュと、油取り紙です（笑）。これは身だしなみグッズとしていつも鞄に入ってます！　後はカラコンとか鏡、ミントとか。

—じゃあ、オチはレガ。

レガ：オチっすか、俺（笑）！　まぁ、そうっすよね、そういう位置付けっすよね、俺（笑）。

ゆーいち：大丈夫だよ、レガ。独りじゃないよ。俺だってヨゴレだ。ダチョウ倶楽部的な位置だから。

一同：（爆笑）。

—そもそも。むき栗って……。

レガ：いや。特にむき栗好きってことではないんですけど、たまたま友達にもらったんですよね（笑）。あとは、iPhoneと充電器とTOON-FACTORYのCDとビデオカメラ。いや。別に何を撮るって訳じゃないんですよ！　いや、本当に！

—いちいち否定する方が怪しいし。

レガ：いや、俺、そこまで変態じゃないですから！　でも、なんかあったとき、必要かなって（笑）。TOON-FACTORYのCDは、宣伝のためです！　何処でいつ必要になるかわからないので、1人でも多くの人にTOON-FACTORYの音を知って欲しいっていう表れからですね。中でもお気に入りマストアイテムは、香水です。俺、ファンレターのお返事に、自分のいつも付けてる香水をふいてるんです。封筒を開けたとき、ふっと匂いがしたら、近くに居るみたいで嬉しくないです？　もう2年以上続けてますね。この香水は中学の頃から愛用してます。

—匂いってすごく記憶に残るし。それ嬉しいかもね。ところで、TOON-FACTORY企画の主催ライヴはどうだったの？

ひかる：3ヶ月連続で僕たち発信で主催ライヴをさせてもらったんですけど、すごく楽しめたライヴでした。おかげさまで来てくれたみんなにもすごく好評で、初めてで不安もあったし、いろいろと手探りなところもあったけど、結果、すごくいいライヴが作れたんじゃないかなと思ってます！　自分たちにはないバンドさんの色を感じることも出来たし、自分たち発信の企画だっていうことで、他のイベントライヴとはまた違った感覚で挑めたし、本当にいい勉強になったと思います。

—主催ライヴも無事終了したということで。今後の動きは？

ひかる：次は4月25日のワンマンライヴですね。今はそこに向けて頑張ってます。アルバム曲をじっくりと楽しませる空間であればいいなと思ってます。

レガ：俺、いろいろと考えてることがあるんですけど、お客さんって、ライヴでCDのままの音を求めているのか、ライヴでしか聴けないライヴバージョンを求めているのか、どっちなんですかね？

雫：俺は、ライヴはライヴでしかないバージョンで聴きたい派かな。自分たちのライヴでもそうしたいと思ってるし。ワンマンとかだったら特にそういうスペシャル感みたいのって期待するだろうし、やる方もそういう楽しませ方も出来るのがワンマンの楽しみなのかなって思う。

ゆーいち：俺は基本CDに忠実に叩く方でもあるから、聴く側のときも、比較的CDのままを求めるかな。

夢叶：あ、俺もですね。どうやって弾いてるんだろ？とか、そういうことも気になるから、そのままも見てみたいし、聴いてみたいんですよね。

—そうだね。まずはスタンダードなのも見たいし聴きたいよね。CDのまんまだと感動したりするときもあるしね。私も、個人的には、最初はスタンダードで見たいかも。ゆくゆくアドリブを加えていくのは有りだと思うけどね。

レガ：いろんな意見がある訳だ。

ひかる：そうだね。とにかく、観に来てくれるみんなを楽しませることを1番に考えて、自分たちも思いっきり楽しめたらいいなと思ってます！　CDとは違うバージョンでも見せられる曲も用意出来ればなと思ってます！

雫：あ！　俺、もしかしたら、ワンマンでマジックやるかも！　やってみせる）どうっすか？　すごくないっす？

一同：う、うん……。

—そうでもないかな。

レガ：（スネる雫に向かって）すごいよ！　すごい頑張ってたもん、雫のこと。

—レガはオチ役とリーダーとしてのフォロー役もあって大変だね（笑）。

レガ：それが俺っす！

一同：男らしい～（拍手）。

vimee.net

（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102
http://www.toonfactory.jp/

——boogiemanは今、ワンマン・ツアー〝「4-Four」〟の最中ですね（注：取材は3月下旬）。

万作：今回のツアーを一言で言うと、〝短い〟です（笑）。ライヴがあっという間に終わってしまうと、よく言われるんですよ。でも、あっさりした感じではないと思います。boogiemanの持ち味を凝縮したライヴになっている自信はあるので。手応えも感じているし、いい形で次に繋げていきたいですね。

晃：boogieman自身もそうですけど、観に来る人たちの世界観の理解度が深くなっていることを感じています。今までは、こちら側が提示して、〝そっちはそっちで好きなように楽しんでくれればいいよ〟みたいな感じだったんです。今回はバンドが扇動して、それにオーディエンスが応える形になっているので、ライヴの在り方がいい方向に変わったな…というのがあって。それは、今回のツアーの大きな収穫だと思います。

ユアナ：最近は、どんどん新しい曲が出来てて、毎回メニューを替えているんです。それが面白いし、刺激になって。毎晩新鮮な気持ちでステージに立てるのは、いいことだなと改めて思いました。

ジュンノ：俺は、すごく喜怒哀楽が激しいんですけど、総括的に楽しもうと思って臨んでいます。小生意気ですけど、俺が楽しければ、客も楽しいだろうということを知ってる部分があるので。もう、全ての瞬間を楽しんでいます。

ユウイチロー：初めてのハコ（会場）が多いし、新曲も織り交ぜながらのセットリストなので、新鮮な気持ちでライヴをやれています。ただ、東京近郊のライヴが主体なので、あまりツアーをしている気がしなくて（笑）。ねっとりとboogiemanを全国に知らしめていきたいな…という願望が生まれました（笑）。

——ぜひ廻ってください（笑）。ツアーに続いて、4月28日にニュー・シングルがリリースされます。「キジョウノ空論」は、翳りと爽やかさを併せ持った曲で、また新しい顔を見せていますね。

晃：boogiemanの流れからすると新境地ですけど、原曲はかなり前からあったんです。でもその時は、まだ出す時期じゃないなと思ってストックしてて。いい時期に出せたかなと思っています。

ジュンノ：「キジョウノ空論」の歌詞は難しい言葉は使ってなくて。読んだ人がイメージしやすい歌詞だと思います。その上で、解釈はそれぞれに任せたいですね。ただ、客観視してることは分かってほしいかな。俺から発信したものだと捉えられると、ちょっと語弊を招いてしまうフレーズもあるので。

——爽やかな曲に、毒のある歌詞を乗せているのが印象的でした。

ジュンノ：そこは意図しました。爽やかなバンドでもないし（笑）、そういうところも踏まえて、サラッと聴けるところと、〝重いなぁ。突き刺さるなぁ〟というところを出すようにしました。

ユウイチロー：この曲のドラムは大変でした。フレーズも難しかったし、音を作っていくのも苦労したし。

晃：あの……ドラムのことですけど、僕が話していいですか？

——いいですよ（笑）。

晃：今までは、ループの大きなノリがあって、そこに生ドラムが絡むアプローチでしたけど、この曲はそれをやめたかったんです。生のノリをガンと出したかったので、ドラムには相当こだわりました。イントロのパターンとかは、僕がずっと口で言ってて（笑）。Aメロのフック・ビートとかは、歌メロと絡めつつ、いろいろ考えました…（笑）。

ユウイチロー：晃くんからいろんなアイディアをもらいつつ…ようやく辿りついた「キジョウノ空論」になりました（笑）。

万作：ベースに関しては、今まで積み重ねてきたものを、一度全部壊そうというのがありました。そろそろ、そういうことが必要な時期かなと思って。意識の面も含めてバンドが上にいくために、そうするべきだなと思って。もっと自由にしないといけなかったりするので。「キジョウノ空論」のベースは、譜割を含めて全てを無視する感じで。必要なところだけにスコスコッと音を入れていって、余計なところは一切弾かない形にしました。その上で、繋がった音の中での遊び方とか、音の切り際、ジュンノのブレスに合わせた音のリリースとか、そういうところにこだわって。だからすごく楽しかったです。

ユアナ：ギターに関しては、いつもどおりでしたね。晃から出てきたリクエスト

boogieman

意識的に、上へ行くための「キジョウノ空論」

boogiemanとしての確立度をさらに高めたい

前作から約5ヶ月ぶりのリリースとなるboogiemanの新作は、ライヴでもすでにお馴染みの「キジョウノ空論」をタイトルに冠したシングルだ。boogiemanというバンドが意識の面でも上に行くために、厳しい姿勢で取り組んだという今作。さらなる"先"を見据えた5人へのインタビュー。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

……例えば、イントロはドラムとピッタリ合わせてほしいというようなことはしっかり押さえて。あとは、晃の出かたを見たり、2人で話し合ったりして決め込んでいきました。

晃：この曲は僕の中では、ドストレートなギターですね。ブロックごとに表情を変えて…というような頭はなくて。もうオクターヴ・メロを、ガンガンに弾いてる感じです。

ユアナ：ギター・ソロは、自分らしいかなと思います。この曲は、すでにライヴでもやってて。だからライヴで弾いてるソロを、そのまま録ろうと思っていたんですけど、ハモリたくなったんです。ソロ後のBメロに綺麗に繋げるために、上げきったほうがいいなと思って。ただ、やってみたら難しくて（笑）。"うわっ！"と思いつつ、やり遂げました（笑）。

ジュンノ：この曲は、晃が原曲を持ってきた時に、"これは絶対にすごい曲になるな"という確信があったんです。と同時に、すごいプレッシャーを感じて。その瞬間に、俺の時計の針は止まりました（笑）。"どうしよう？"と思って（笑）。レコーディングする時も緊張感を保っていたいなと思って。よく言えばストイックな状態でスタジオに入ったんですけど、"プチン"とハチ切れました…張り詰めすぎてしまって（笑）。全然納得のいく歌が録れなかったんです。より良いものを作ろうという意識は常にあったので、すぐに再構築して、録り直しました。緊張感に関してはboogieman史上最大だったと思います。一言で言えば、"DEAD OR ALIVE"でしたね。もうダメなら、俺はダメなんだ…というくらい自分を追い込んで取り組みました。

――今回も全員が厳しい姿勢で取り組んだんですね。それにboogiemanは、進化と拡散を続けていて。これからも停滞することはなさそうですね。

万作：ないと思います。今後に関して言うと、バンドとして、そろそろ一つ形にしたいな…というのがあって。次は大きな作品にしたいと思っています。ただ、それは今までの集大成ではなくて、先に繋がるものになると思います。それも通過点でしかないというか。そうやって常に先を見るスタンスは今後も変わらないと思うので、boogiemanが同じ場所に止まることはないですね。

晃：今後は、boogiemanという[illegible]の確立度をさらに高めたいというのがあって。簡単な言葉で言うと、boogiemanはマニアックじゃない[illegible]今までは、そういうのが好きな人[illegible]支持されていたんです。でも、マニアックな音楽に興味がない人や、そういう音楽があることを知らない人も巻き込んでいけるくらい大きな存在になりたいんです。ただそのために、ドシンプルでキャッチーな曲をやったりする気は全くな[illegible]。自分たちの個性を活かしたまま、そういう存在を目指したいと思っています。

ユアナ：今後は、僕らしさを強めると同時に、より多くの人に伝わる音楽を創っていきたいです。オリジナリティと、ポピュラリティを併せ持った音楽。聴いたことのない新曲がラジオで流れた瞬間にboogiemanだと分かったり、ライヴ会場の外で聴いてもboogiemanだなと分かったりとか。それくらい、僕らにしか出来ない音楽を創りたいですね。

ユウイチロー：今は新曲をどんどん作ってて、レコーディングもしてて。だから早く大きな音源を出したいですね。そうすれば、boogiemanが幅を拡げつつ、より世界観を深めていることが分かってもらえるだろうし、ライヴの流れのバリエーションも増えるだろうし。そうやって、どんどん先へ進んでいきたいと思います。

ジュンノ：今後は、バンドとして、より一枚岩になりたいですね。全ての面で一枚岩になった中で遊ぶのが自分の役割かな…というのがあって。今後は、遊んでいこうと思っています。boogiemanのメンバーは、俺に好きなようにさせてくれるんですよ。それだけに、自分の中には、常に緊張感があって、今後はそういう状況を、楽しみます。それが、ファンを楽しませることに繋がるわけだし。そこはもう、身を削って突き詰めていきたいですね。身を削りすぎて、ステージの上でゼロになってしまうこともあるかもしれないけど、[illegible]それも本望なので、そこを目標にしてやっていきたいと思っています。

vimee.net 慧美网
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶図 hudie.com

人格ラヂオ

“復活”を照らす、柔らかな「太陽」

――2007年末に出た『朧月』以来の音源となるシングル『太陽』が、ようやく完成をみました。表題曲「太陽」は那オキ氏の作曲によりますが、まず今回この曲調に驚かされましたよ。

那オキ：そうね。今これを持って来るか、っていう感じだってことでしょ？（笑）

――直接的に言えばそうなります。そして、たぶんその裏には何か明確な意図があったのでは？と、推測も出来るわけですけれど。

那オキ：あのですね。今年に入ってから、ウチら事務所に入ったじゃないですか。で、そこの人間が今回タイアップを獲ってきてくれたんですよ。鹿児島の中古車屋さんのCMをね。キッカケはまず、そこからだったんです。

――CMで流されることが前提での曲作りだなんて、ラヂオとしては初ですよね。

那オキ：うん。流されるっていうか、もう流されたんですけどね。で、まずはそのために1曲用意してくれって言われて、その時に出来たのが、この「太陽」だったんです。というか、「太陽」のサビのみ、かつ原形、みたいな。

――そこから、この完成形に至るまでにはどのくらい手を入れたのですか。

那オキ：とりあえずメロディは一緒ですけど、歌詞はかなり違います。ホントなら、当初はこういうシングルっていうかたちじゃなく、僕らとしては何よりアルバムを出したいっていう気持ちのほうが強かったんですけどね。ただ、いろいろ考えると、その前にシングルを出しておくっていうのもアリだなということになって、そこで改めて“じゃあ、この「太陽」をもっと拡げていきましょうか”ってなったわけです。

――そういう流れでしたか。

那オキ：結局、今このタイミングって人格ラヂオとしては“復活”っていうかたちになるわけじゃないですか。それを考えると、この曲ってサビだけの段階から勢いはある曲だったんで、もっと力強い面を出しておこうかっていう想いも、そこにはありました。あと、個人的には実はもうひとつ考えてたこともあったんだけどね。

――その考えていたこととは一体？

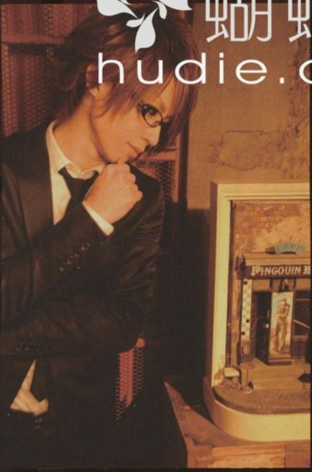
那オキ：僕らって、今までヴィジュアル系っていう枠の中でやって来ていながら、

慧美网 vimee.net

そのわりに〝いかにもヴィジュアル系っぽい曲〟ってなかったと思うんですよ。
——確かに。
那オキ：ってことで、今回は〝だったらもう、自分の中のヴィジュアル系っていうものを1回ちゃんとカタチにしてみよう〟っていう想いが出て来てね。いまだにヴィジュアル系っていうのが何なのかよく分かんないから、自分に対してそこを明確にしておきたいなと。
——面白い試みですね。しかも、ここで音像化されているヴィジュアル系的な雰囲気というのは、どこか〝一昔前〟的な匂いを持ったものだったりもしませんか。
那オキ：だって、ある意味ヴィジュアル系って昔のものじゃない。いちばんの隆盛を極めてたのは、もうだいぶ昔の話だからね。そういう面でここには、当時のコテコテな空気感は、意識して入れたんですよ。とはいえ、そういうものをウチが今やることで、ひとつの斬新さっていうものも出せたと思うんで、決してただの懐古的なものにはなってないはずです。
（…と、ここで遅れていた悠希がおもむろに登場）
悠希：でもさ、そう言いながらもCM用にサビを録った段階では、王子、〝こんなにヴィジュアル系っぽくて大丈夫かな？〟って、ちょっと心配してなかった⁉
那オキ：あー、そうだね。
悠希：俺は逆にそういうことって全く感じてなかったから、〝全然いいんじゃない？〟って思ってた。ただ、あのCM映像と合わさった時の不似合いさだけは参ったけどね（苦笑）。観た時、思わず〝ポッ…〟ってなっちゃった（笑）。
——そこはお察しいたします。
悠希：あと、ライヴでやるっていうことを考えると、このトシになって今さらこれをステージ上でやっちゃうのか⁉っていう躊躇は、当初どうしてもあったかな。だけど、実際この間のツアーでやってみたら、そんなのはこっちの考えすぎだったみたい。バンギャルたち、いきなりのにすげー食い付いてたよ（笑）。
——バンギャルの方々にしてみれば、こういうものこそ大好物なんだと思いますよ。
悠希：けどさ、それやるのは俺たちなわけじゃない。それって、せっかく大好物のティラミスが出て来たのに、最初っからマヨネーズかけられてる！みたいな状況だと思うんだよね。しかも、その人はマヨネーズがキライっていう中で。
那オキ：俺はマヨネーズは好きだけど、ティラミスか…人格がこの曲やるっていうのは、そういうことなんだ（苦笑）。
悠希：でもね、そんなの何も関係なかったみたい。バンギャルたちはティラミスにマヨネーズでも、全然美味そうにワッシャー！って凄い勢いでかっ込んでたもん。あれは絶対、味音痴に違いない（笑）。
——とはいえ、世の中にはミスマッチという言葉もあるくらいで、例えばチョコポテチや、ペッパー入りスイーツなど、意外な組み合わせから、予想外に魅力的なものが生まれるケースも多いですよ。
那オキ：そうか。まぁ、そうですよね。うまくまとめてくれた（笑）。
——ところで、この「太陽」の歌詞については、今回どのようにまとめていかれましたか。タイトルだけを見れば、「朧月」の次に出たものが「太陽」であるというあたりも、少し気になるところです。
悠希：あ。〝月〟の次に〝太陽〟ってこと？ホントだね。それは今気付いた（笑）。
——つまり、これは偶然であると。
悠希：偶然です、全くの。何でか、最初にCM用のを作った段階で、すでに〝太陽〟っていう言葉はあったんだよなぁ。それで、仮で付けてたタイトルがそのまま正式タイトルになって、そこから詞を完成させたっていう、そういう流れだったからね。
那オキ：タイトルが先って、初めて？
悠希：だね。
——そもそも、この曲に対して〝太陽〟という言葉が沸いてきたのは、どんな背景からだったのでしょう？
悠希：曲調、かな。あとそうだ、最初はオヤジギャグ的な部分もあったんだよね。
那オキ：♪〜したいよう〜♪って、太陽とそこを掛けてたもんね（笑）。
——完成形がそうならなくて、心底良かったです（苦笑）。
悠希：だけど、その韻を踏むのヤメてからも、この歌詞は何転もしたね。途中、内容的には小汚い街で小汚い女が朝帰りして来るみたいな、ちょっと荒んだ詞になったこともあったんだけど、結局はもっと柔らかい太陽のイメージに近付いた気がする。
——柔らかい…ですかね？サビには、〈不快な太陽〉という一節もありますよ？
悠希：じゃあ、ここで描いてるのは荒んでない真っ当な女性像ですっていうのはどう？
——あのー。〈崩れた顔で繰り返す 苛立ちと淋しさで〉というのは、充分に荒んでいると思うのですが。
悠希：いや、でも前はもっとこれより荒んでたからさ。そうだな。前の主人公が誰にでも股開くような女だとしたら（笑）、こっちはもっと一途な感じ。
那オキ：やっぱり、このタイミングに出るものだっていうのもあって、表現は少し柔らかくしてあるんですよ。
——個人的には、この曲と詞からはカミュの『異邦人』（小説）にも通ずる、ある種の不条理を感じます。
悠希：それにほら、こういうネガティヴな要素が入ってる詞のほうが、ヴィジュアル系っぽさは増すじゃない（笑）。
——それは一理あります。
悠希：そういう意味では、今回その復活っていうことを少し意識した雰囲気になってるのは、「サクラ」（カップリング曲）のほうかも。
——こちらは、詞・曲ともに悠希くんが本来持つ繊細な叙情性に溢れていますよね。
悠希：前から、春を描いた曲に「サクラ」ってタイトルを付けたいっていう気持ちはあったんだけど、なかなかこれだ！っていう曲が出来なくてね。ここに来て、ようやく「サクラ」ってつけてもいいなと思えたのが、この曲だったんですよ。
——斬新なマヨ添えティラミスに対し、こちらは仕立ての良い和菓子といった風情で、この組み合わせであればリスナァの皆様にも納得していただけるに違いありません。
那オキ：どっちにも、それぞれのかたちで〝らしさ〟は入ってると思います。
悠希：まぁでも、このシングルはシングルで良いとして、やっぱりここでアルバム出さないとダメだよねぇ。
那オキ：夏か、夏すぎまでには何とか出したいとは思って動いてはいるんですよ。
悠希：この間、とある人に言われちゃったからね。まぁ、冗談と[illegible]ではあったんだけど、〝人格さんも[illegible]そろそろブログだけじゃなく…〟って。俺、あれにはちょっとカチン！って来ちゃった。
那オキ：もっとも、そう思われても仕方ない現状ではあるからねぇ（苦笑）。
悠希：だから、今年はやりますよ。なんなら、枕営業も厭わない[illegible]あ、でもチェンジはなしで（笑）。

蝴蝶网
hudie.com

荒んでない、一途な女性像なんです



白日の下に晒されるのは、果たして何なのか…。
ここに来て、奇跡的ともいえる復活を果たした
人格ラヂオが、なんと2年半ぶりの
シングル『太陽』を発表する。しかも、
年内には7年ぶりのアルバムを出す
予定まであるというから驚きだ。
とかく、突飛な言動やネット界隈での
活躍ぶりばかりが話題になりがちな昨今ではあるが、
彼らの本分が音楽であることには何ら変わりがない。
眠れる獅子、ここに覚醒！

Interview:YUKI SUGIE

慧美网
vimee.net

3月にアメリカ、テキサス州で行われた「SXSW 2010 MUSIC SHOW CASE」に出演したDolly。バンド初となるこの海外ライヴは、決してホームと言えない状況下に於いても、満足のいく良いライヴができたことで、改めて"音楽は楽しいもの"という再発見があった。また、現在配信中である最新音源『Play』もDollyの新たな一面を魅せる意欲作。こちらも好評で彼らの確かな自信になっているはず。試練の時を経て、再び4人は歩きはじめている。

Interview:TAKAYUKI　MURAKAMI

――3月にアメリカのテキサス州で行われた、"SXSW 2010 MUSIC SHOW CASE"に出演されましたね。

蜜：4人になったＤｏｌｌｙが再スタートするにあたって、"新しい事に挑戦したい"という気持ちがあって。5人とか4人とかじゃなくて、もっと大きくＤｏｌｌｙを見たときに、前に進んでいないと意味がないので。Ｄｏｌｌｙは常に前を向いていることを、ファンを始めとした、みんなに見てもらいたかったんです。そういう意志表示も含めて、海外でのライヴという、初めてのことに挑戦することにしました。僕らはＤｏｌｌｙが作る音楽に自信を持ってやっていて、日本の中だけじゃなくて、いずれは世界に向けて発信したいという想いがあったので。

亜樹：よく、"音楽に国境はない"という言葉を、耳にするじゃないですか。でも、"本当のところは、どうなんだろう？"みたいな感じがあって。僕は、英語は喋れないので、向こうに行ってからも分かり合えなくて（笑）。むしろ国境を感じる…みたいな（笑）。だけど、ライヴをしたらすごく盛り上がって、みんなＤｏｌｌｙの音楽を楽しんでくれて。言葉どおり、音楽をやっているときは全く垣根がないことを実感できました。

はち：現地のスタッフも印象的というか。最初は、"ああ、日本のバンドだね"くらいな感じだったんですけど、ライヴが終わったら、スタッフの皆さんも"Ｄｏｌｌｙ、すごくよかったね！"と盛り上がってて。もう本番前と、あからさまに態度が違うんですよ（笑）。アメリカには、いいと思ったものは、どんどん受け容れる土壌があるんですよね。ライヴに関わる人みんなが純粋に音楽を楽しむことを肌で感じられて、"ああ、音楽は楽しいものだな"と改めて思いました。

聖：ライヴ前は、見た目とかで人が集まるかなと思っていたんです。きっかけは実際そうだったのかもしれないけど、ライヴが始まってからは、ずっと音楽に反応してくれてて。それに、すごく感動しました。アメリカでライヴをやって結果を出せたことは、本当に嬉しかったし、いろんなものを貰えたライヴでした。

蜜：僕らはアーティストであると同時に、クリエイターでもあると思うんですね。音楽を作るときは、最初に僕の頭の中にイメージを創りあげて。それ[illegible]いろんな人の力を借りて徐々に具現化されていくので、今回は、それと同じ[illegible]感覚があります。自分達の音楽[illegible]海外で[illegible]受け容れられると信じてたし、[illegible]アメリカでライヴをしたら、予想[illegible]……いや、予想を超えたかな。アン[illegible]ルも掛かったので。それを実[illegible]この[illegible]で確めた時に、自分が描いて[illegible]イメージが具現化されたような[illegible]です。それが、強く印象に残[illegible]。

――リスタートを海外ライヴ[illegible]のは、大正解でしたね。皆さん[illegible]リカに行っている最中、配信シングルの「Play」もリリースされました。

蜜：今後に向けて話し合ったときに、4人になったことで出来なくなった音楽を探すのではなくて、4人だからこそ出来る音楽を探していこうという話になって。そのときに、シンセを、本格的に採り入れたいね…ということになって。そこからどんどん拡がっていって生まれたのが、「Play」という曲です。

聖：ここに至るまで休んでいた期間があったので。また帰ってくることを、強くアピールしたくて。今までにやったことのない曲調なんですが、これからやっていきたいものを詰め込んだら、自然とこういう形に仕上がりました。

蜜：「Play」の曲と詩に込めたのは、"躍動していく"という想いです。決して熱い感じに受け取ってほしくはないんですけど（笑）。なんて言うか……"生きてることの証明"というか。この曲の歌詞では、この社会をデータ化されたアングラ世界みたいなものに比喩して描いてて。その中でプレイするか、しないかという選択を主人公がするという。そういうところに、躍動して[illegible]ました。僕は、"プレイす[illegible]こと"と解釈しています。[illegible]あくまでリスナー[illegible]この曲に対しての答えは聞き手に[illegible]幾通りもあると思います。

――押しつけがま[illegible]前[illegible]きさが心地いいです。皆さ[illegible]ング[illegible]するにあたって心掛[illegible]たことは[illegible]

亜樹：この曲は、シンセ[illegible]打ち込みが多用されてるんです[illegible]い曲の場合、今までは機械的[illegible]印象があったんですけど、「Play」は曲全体のグルー

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

Dolly

不確かな明日への確かな4つの願い。“プレイすることは生きること”

ヴを大切にしました。ドラム以外にリズムのシーケンス・トラックが1曲を通して入っているんですけど、それと共存しながら生ドラムのよさも出す事を心がけました。分かりにくいと思いますけど、ゴースト・ノートも多用してて。自分でも、いいグルーヴが出たと思います（笑）。

はち：亜樹と同じように、僕もグルーヴを一番意識して。ライヴ感覚で、楽しみながらレコーディングしました。アプローチ的には、ベースとドラムで攻めている感じを作って、その上でタイトなギターや無機質なシーケンスが鳴っているパターンになってて。これまで、リズム隊のこういう在り方は、あまりなかったんですよね。キッチリ合わせよう…ということばかり意識してて、純粋に楽しもうという感じではなかったんです。今回は、そういう挑戦ができて、すごくよかったです。

聖：今までは歪んだ音で弾くことが多かったんですけど、曲調を考えると歪みを落としたクランチトーンだなというのがあって。自分のイメージどおりの音を出すために、いっぱいいっぱいになりました（笑）。プレイ的には、シーケンスが入ってはいるんですけど、ギターでコードを引っ張っていく必要があったので。ストレートなギターを弾くことと、音階が見えるようにすることを一番大事にしました。あとは、ギター・ソロも曲に合ったものにしたいなと思って。クランチトーンで弾くのは結構大変でしたけど……（笑）。全面的に新しいことに挑戦しつつ、いい感じに仕上がって満足しています。

——シングル・ギターになったことにこだわらず、場所によってステレオ感を活かしているのもポイントです。

聖：音源とライヴは別物と捉えて、納得のいくものにしたかったので。自分の中でテイストの違うギターが同時に鳴って欲しいところはダビングしました。ただ、本当に必要なものに絞ったというか。余計なものは、一切入れてないです。

蜜：歌に関しては、いつもそんなに苦労することはなくて。この曲もスムーズでした。艶を出したいところは艶やかに歌って、サビ・パートは逆に感情を入れることを意識したくらいでしたね。サビのインパクトを強くするために、そこまでは敢えて気持ちを入れすぎない感じにして。おとなしいという訳ではないですけど、自分の中では少し無機質な感じをイメージして歌っています。

——新しいことに挑戦する意欲が実を結んで、「Play」は新たなスタートにふさわしい1曲になりましたね。

聖：自分達も手応えを感じています。「Play」は、ライヴ感が出て、気持ちいい曲だし。早くライヴでやって、みんなで盛り上がりたいですね。それに、この曲を形にしたことで、確実にやれることの幅が拡がったので。これからのＤｏｌｌｙも楽しみにしててください。

はち：「Play」は、Ｄｏｌｌｙのロジカルな部分が、分かりやすく表現できた曲です。「Play」を聴いたことのない人でも、直ぐに曲の表情が見え、自然と体で楽しめる物になったと思います。ライヴを観ている人が純粋に音楽を楽しむ……そんな曲ができるようになったので、これからは、難しく考えず、誰でも楽しめるバンドになっていけたらいいのかなと思って。そこに向けて、いい形の最初の一歩を作れたと思っています。

亜樹：「Play」を作ったときから、1曲に対するアプローチを、今まで以上にすごくみんなで話し合うようになって。この曲を作ったことで、これからのＤｏｌｌｙが明確にイメージできるようになったし、4人の中でのドラムの位置が以前よりも見えやすくなりました。これからのＤｏｌｌｙに期待して欲しいのと同時に、僕自身も今後のＤｏｌｌｙを楽しみにしています。

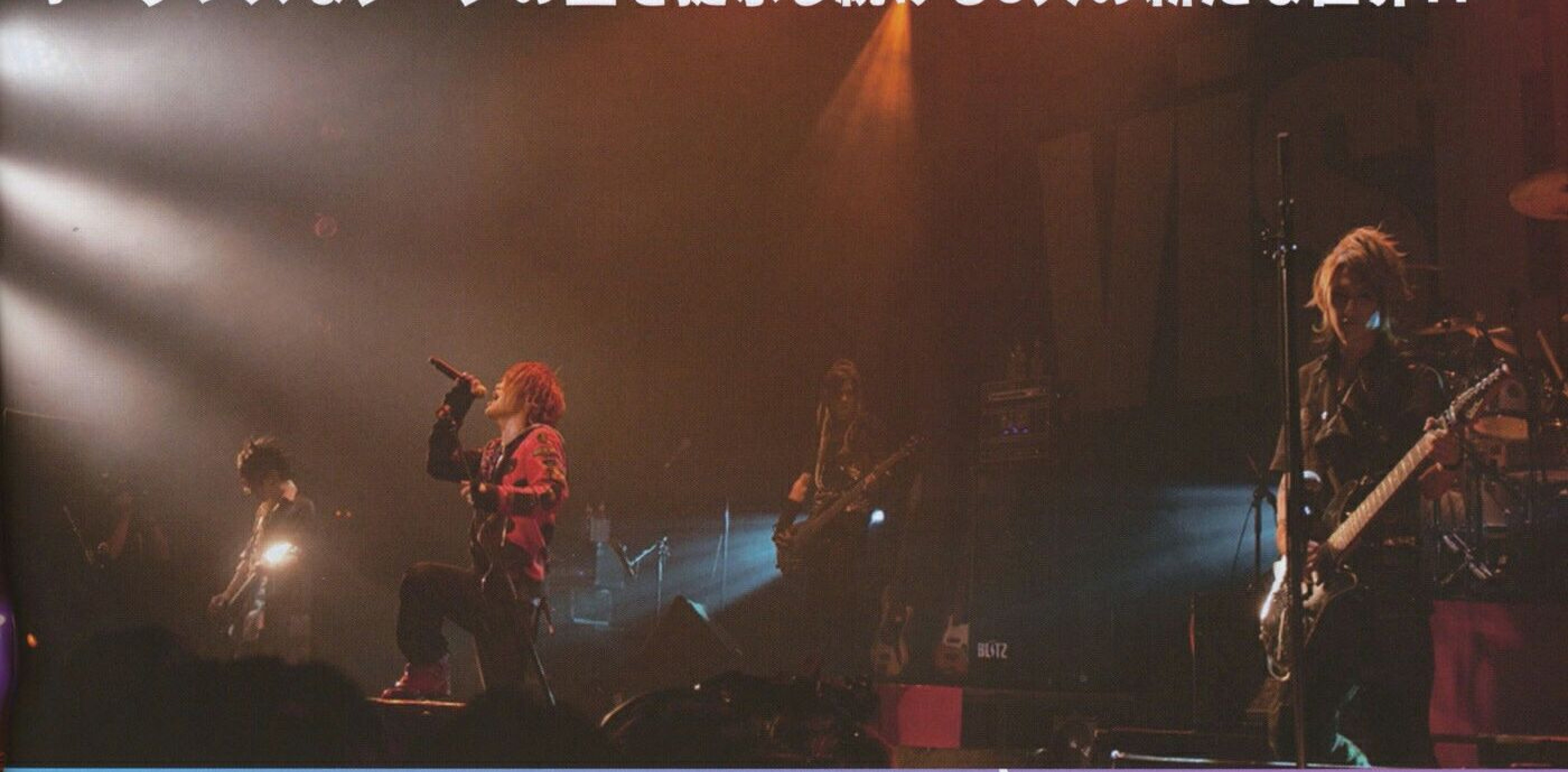
蜜：今回のシングルを作るにあたって、歌詞と同様に自分達の中にも[illegible]な選択肢があって。ファンの人達がＤｏ[illegible]ｌｌｙに対して持ってるイメ[illegible]寄り添ったものを作る[illegible]は簡単だったんですけど、そうじゃない[illegible]て。それが、本当の意味で[illegible]ｙが選択すべき[illegible]。その結果、いい意味で[illegible]も、"ここからＤ[illegible]こっていくんだろ[illegible]ファンのみんなに[illegible]と。それと同時に[illegible]Ｄｏｌｌｙに対し[illegible]共有出来る気がして[illegible]

慧美网
蝴蝶网
hudie.com

vistlip

vistlip oneman live tour [GATHER TO the THEATER] Live at 赤坂-BLITZ 2010.3.19

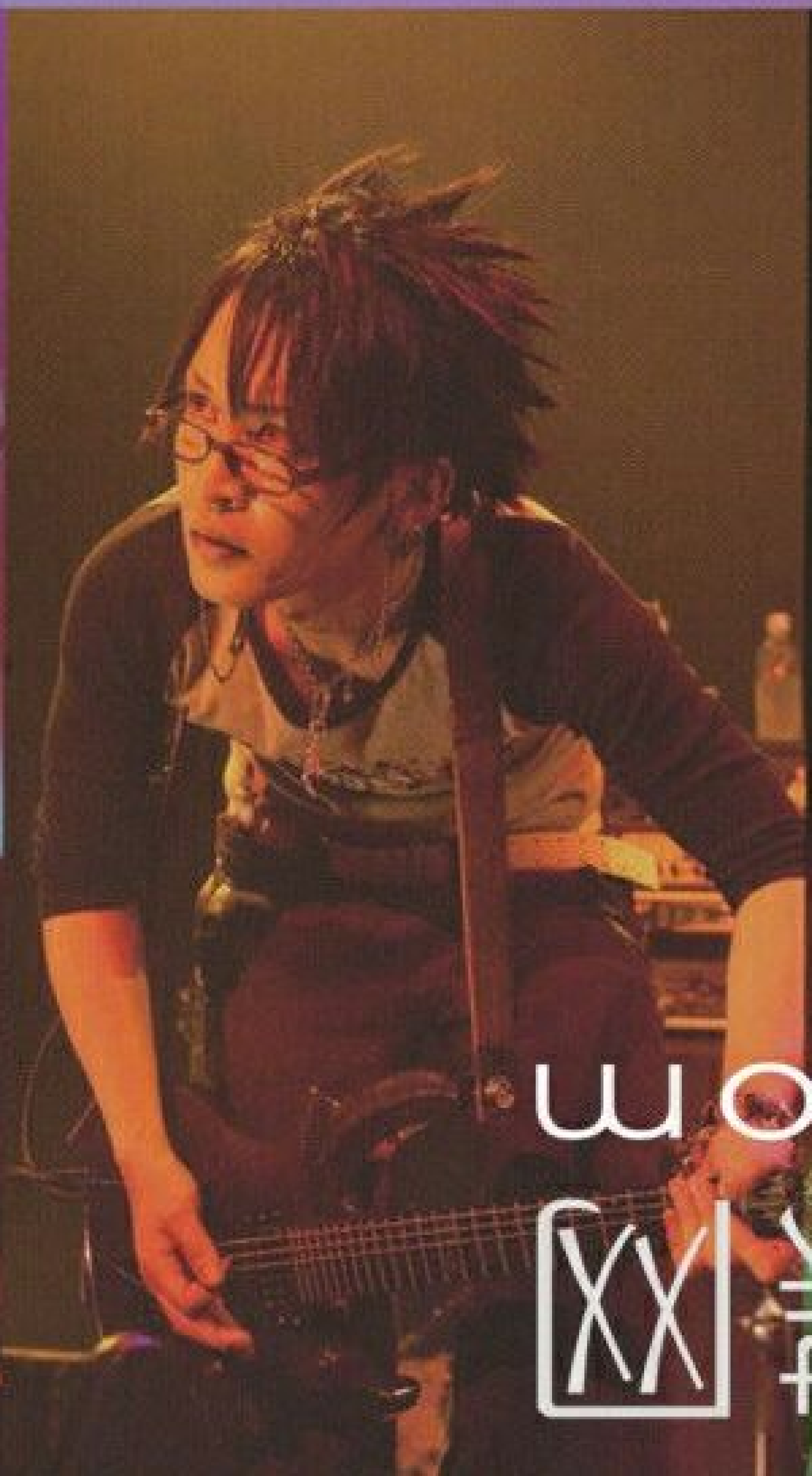
ボーダレスなシーンの型を提示し続ける5人の新たな世界!!



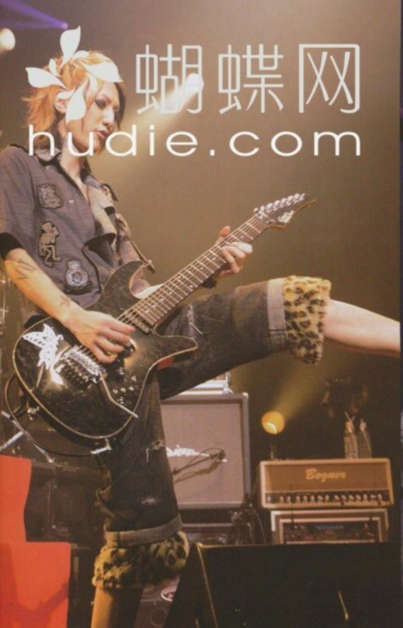
今すぐ時代の音をキャッチしろ!!

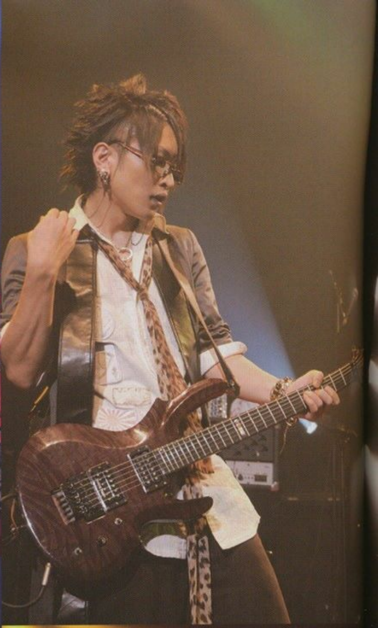
3月19日、vistlipが赤坂BLITZのステージに立った。vistlip oneman live tour【GATHER TO the THEATER】のファイナルとなったこのライヴを、全力で駆け抜けた彼ら。力いっぱいひたむきにステージに向かう姿には、ここからもっと先へ歩み出そうとする彼らの強い意志を感じた。ここから夏に向けて、リリースやツアーが決定している。この勢いでもって、どこまでも力強く突き進んで行くことだろう。

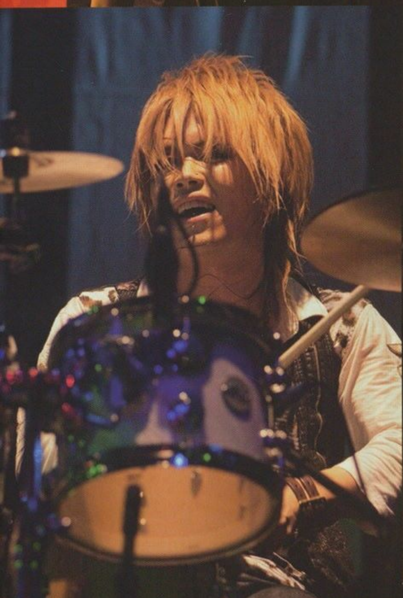
Report:MIYUKI MURAYAMA

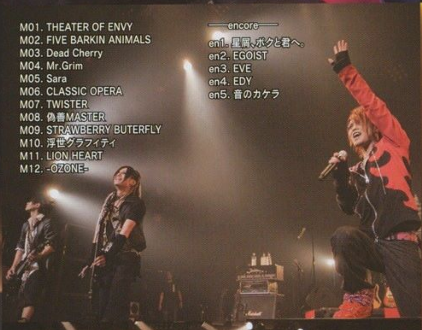


蝴蝶网
hudie.com



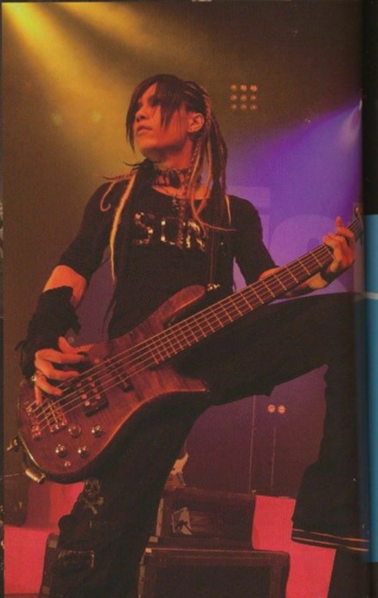






M01. THEATER OF ENVY
M02. FIVE BARKIN ANIMALS
M03. Dead Cherry
M04. Mr.Grim
M05. Sara
M06. CLASSIC OPERA
M07. TWISTER
M08. 偽善MASTER
M09. STRAWBERRY BUTERFLY
M10. 浮世グラフィティ
M11. LION HEART
M12. -OZONE-

——encore——
en1. 星屑、ボクと君へ。
en2. EGOIST
en3. EVE
en4. EDY
en5. 音のカケラ



vistlip初のワンマンライヴツアーのファイナルを迎えたのは、赤坂ブリッツ。紗幕の向こうにメンバーのシルエットが浮かび上がり、歓声と共に期待が高まって行く。幕が上がって始まったのは「THEATER OF ENVY」。広いステージと広い会場のせいか、メンバーからも観客からも、何となく緊張感が感じられるものの、最初からスピードを上げて勢いよくスタートを切った。そこから本編12曲は、あっという間。スピーディーにライヴは展開した。

本編の大きなヤマとなったのは、中盤のバラード「CLASSIC OPERA」。それまで激しく攻めの一手で押しまくっていたが、ストリングスのイントロが始まると、会場全体を一気に引き込んで行く。情感たっぷりの歌とドラマチックなサウンドが、じっと聴き入る観客の心を盛り上げ、さらにYuhのムーディなギターソロが色を添え、智がファルセットを交えて切々と歌い上げる。観客を圧倒するように聴かせた後、最後に智が〝愛してる…〟とつぶやくと、オーディエンスの心の中は切なさ一色に染まり、あとは沈黙だけが残された。

そして一転、元気よく「TWISTER」から、新曲「STRAWBERRY BUTTERFLY」も初披露し、会場は熱く、観客のノリは激しく、クライマックスに向けて再び走り出す。ステージ上のメンバーも、Yuhのギターソロや、海のシャウトとラップなど、各々の個性を盛り込み、メンバー各々がその存在感を発揮する。それは音楽にとどまらず、瑠伊とTohyaはMCで笑いも取り、自ら楽しみつつ、観客を飽きさせることがなかった。そして気づけばラストの「-OZONE-」。最後は明るい光の下、気持ちのよい解放感に包まれながら、本編が終了した。

アンコールでは、「星屑、ボクと君へ。」をしっとりと聴かせた後、エンドロールが映し出される。これでライヴが全て終わったかと思わせると、再び紗幕にシルエットが浮かび上がり、Tシャツに着替えたメンバーが現れるという、まるでオープニングの再現のような演出がなされ、観客をおおいに沸かせた。

演奏を全て終えた後、全員で手をつないで大きくジャンプ。このツアーを完結させたが、もちろんこれは次の始まりにすぎない。ここからまた、もっと遠くへ続く道を彼らは歩き出す。

慧美网
vimee.net

vistlip

5th single 10.5.12 RELEASE!!!!!!

STRAWBERRY BUTTERFLY

vister【CD+DVD】

01.STRAWBERRY BUTTERFLY
02.Night Parade

DVD:
「STRAWBERRY BUTTERFLY」
VIDEO CLIP

MJCD-23084 ¥1,890(tax in)

lipper【通常盤】

01.STRAWBERRY BUTTERFLY
02.Night Parade
03.NEXT

MJCD-23085 ¥1,260(tax in)

発売元:マーベラスエンターテイメント　販売元:ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント

one man live tour
Re:BIRTH TO SEVEN SHOW CASE

6.11 仙台darwin
6.13 札幌KRAPS HALL
6.18 金沢AZ
06.23 福岡DRUM SON
06.25 大阪MUSE
06.26 名古屋OZON
07.07 渋谷O-EAST

LIVE

04.22 札幌KRAPS HALL
04.27 渋谷O-EAST
05.10 渋谷O-EAST

詳細はオフィシャルサイトにて

www.vistlip.com

www.myspace.com/vistlip　www.mmv.co.jp

NEW MINI ALBUM

2010.6.9 Release

hudie.com

JOIN

1.君のための　2.Queen's chessman　3.～be connected～(SE)
4.Shake×Beat×Our　5.ゆびきり

5曲入りCD 1890円(税込) NNCR-0031 発売元:NINE

カル・ヴァリ

PV SINGLE 店舗限定先行発売　2010.5.19 発売 1050円(税込)

「君のための」

1曲入りDVD(ビデオクリップ)
販売店舗:ライカエジソン東京店/ライカエジソン大阪店/ライカエジソン名古屋店/ライカエジソンドットコムラフォーレ原宿店/自主盤倶楽部/ブランドX

カル・ヴァリ 東名阪ワンマンツアー決定!!
～BREAK!! NEW GROUND CIRCUIT～

2010.7.1 名古屋HOLIDAY
OPEN/18:00 START/19:00
前売¥3.000/当日¥3.500(ドリンクチャージ別)
チケット発売日 4/10　チケットぴあ(P:103-951)
ライカエジソン名古屋店(販売初日は電話予約のみ 11:00～受付)
問い合わせ:名古屋HOLIDAY 052-249-2161

2010.7.2 大阪難波ロケッツ
OPEN/18:00 START/19:00
前売¥3.000/当日¥3.500(ドリンクチャージ別)
チケット発売日 4/10　ローソンチケット(L:52890)
ライカエジソン大阪店(販売初日は電話予約のみ 11:00～受付)
問い合わせ:難波ロケッツ 06-6649-3919

2010.7.9 高田馬場AREA
OPEN/18:00 START/19:00
前売¥3.000/当日¥3.500(ドリンクチャージ別)
チケット発売日 4/10　ローソンチケット(L:74611)
ライカエジソン東京店(販売初日は電話予約のみ 11:00～受付)
問い合わせ:高田馬場AREA 03-3361-1069

Live schedule

4/22 新潟JUNK BOX mini
4/23 仙台HooK
4/28 高田馬場AREA
5/02 新宿HOLIDAY
5/06 高田馬場AREA
5/14 高田馬場AREA
5/22 大阪MUSE
5/23 名古屋MUSIC FARM
5/30 池袋RUIDO K3
6/07 仙台HooK
6/09 新潟JUNK BOX mini
6/11 金沢AZ
6/13 名古屋HEART LAND
6/14 高田馬場AREA
6/21 広島NAMIKI JUNCTION
6/22 博多DRUM SON
6/24 松山SALON KITTY

Instore event

6/12 ライカエジソン名古屋店
6/19 ライカエジソン東京店
7/03 ライカエジソン大阪店

慧美网 vimee.net

little HEARTS. ON LINE STORE OPEN!!

little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。 http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。

◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

vimee.net
little HEARTS.

little HEARTS. presents 『MY little HEARTS. Vol.3』

今回も LIVE やっちゃいます♪

日程：2010年6月4日（金）
時間：OPEN17:30/START18:00
会場：仙台 HOOK
出演：Kaya/ 東京ミカエル。/ SKULL/ 我羈道 /ACTWEED
価格：¥3,000（前売り，DRINK 別¥500）
チケット発売：2010年4月25日（日）
little HEARTS. 店頭、通信販売
ローソンチケット（L コード：26709）

我羈道

インストアイベント　レポート

THE KIDDIE

3/23 THE KIDDIEトーク＆握手会を開催しました!! 沢山のお客様がお越しになられました。ありがとうございます！
今回は、そらおさんが司会役でした!!お客様の色々な質問があり、メンバーはそれぞれドラえもんの中のキャラクターで言えば誰？や、SかMどっち？!!（笑）等々、様々な質問にお答えいただき大変盛り上がったイベントとなりました!!

インストアイベント　レポート

The LEGENDARY SIX NINE

3/27The LEGENDARY SIX NINEの握手会が開催されました!!沢山のお客様にお越しいただきました！RUKAさん、HAKUEIさん、一人一人のお客様とじっくり握手をなされておりました！お客様も大満足のご様子でした。
ありがとうございました。最後に店頭のパネルにサインも頂戴しました♪

インストアイベント　レポート

MoNoLith

4/4MoNoLithの『緊急開催！MoNoLithの記憶力、絵心クイズ！！little HEARTS.編＋握手＆サイン会』が、行われました！トークではお客様からの質問、『萌えっとする女性の仕草は?』とのお答えは…、『首を傾げる仕草』が大人気でしたね♪絵も little HEARTS. にて展示中です♪♪

little HEARTS. にて
アーティストグッズ販売中
新アイテム続々入荷しております。
お冷える
Mix Spearker' s,inc.
取り扱い中です♪♪

little HEARTS. SPECIAL 企画

第1、第3【日曜日】
スタンプ倍 Day
通常¥1,000→1スタンプのところ
¥1,000→2スタンプ！！

インストアイベント情報

4/23(金)16:00　【愛狂います。】トーク＆撮影会
5/4 (火)18:00　【お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】】トーク＆握手会
5/9 (日)13:00　【Mix Speaker's, Inc.】トーク＆握手＆サイン会
5/9 (日)18:00　【PIECE】未定
5/16(日)14:00　【rice】ミニアコースティックライブ＆トーク＆握手会
6/8 (火)18:00　【ネガ】トーク＆握手＆サイン会
7/6 (火)18:00　【己龍】トーク＆握手＆サイン会

little HEARTS.

イベント決定次第、little HEARTS. の HP にて続々更新中！！

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■[illegible]より徒歩1分

hudie.com

little HEARTS.
ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】
http://littlehearts.jp
〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3 11 15
仙台フォーラス7F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休
little HEARTS.
4/21 平成維新
SINGLE
『Prism.』
A-TYPE
B-TYPE
各￥2,100
トレーディングカード1枚封入
(全5種類＋当たりカード)
A/コメントDVD、アーティストフォト
B/アーティストフォト個人SET
4/28 Sadie
SINGLE
『ドレス』
初回盤￥1,890
通常盤￥1,575
ALBUM
『SINGLES』
￥2,520
5/12 vistlip
SINGLE
『STRAWBERRY BUTTERFLY』
初回盤￥1,890
通常盤￥1,260
4/21 Zip.er
SINGLE
『dream catcher』
A-TYPE/B-TYPE
各￥1,575
4/21 M
SINGLE
『燦燦』
初回盤￥3,675
通常盤￥3,150
初回/アーティストフォトA
通常/アーティストフォトB
4/21 Clear Veil
SINGLE
『White Stain』
A-TYPE/B-TYPE
各￥1,365
A/アーティストフォトA
B/アーティストフォトB
W購入コメントDVD
4/21 ベルベット
MINI ALBUM
『闇』
￥2,100
4/21 東京揺籠
SINGLE
『One way-星に願いを-feet.LUXA』
￥1,890
コメントDVD
アーティストフォト
4/21 Unsraw
MINI ALBUM
『GUILTY』
￥2,625
コメントDVD
アーティストフォト
4/28 DragonWAPPPPPPER
SINGLE
『Blue』
￥1,260
アーティストフォト
4/28 lynch.
SINGLE
『A GLEAM IN EYE』
￥1,000
コメントDVD
アーティストフォト
4/28 お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】
FULL ALBUM
『Col·Tempo』
限定盤￥3,675
通常盤￥3,150
各タイプ
直筆メッセージ入り
チェキランダム1枚
4/28 boogieman
SINGLE
『キジョウノ空論』
￥1,260
4/28 DEPAIN
SINGLE
『螺旋』
￥2,100
アーティストフォト
4/28 ヴァルナ
MINI ALBUM
『Distopia』
￥3,150
5/5 -OZ-
SINGLE
『viridian』
￥2,100
5/12 MADE IN GLAD
SINGLE
『cherish』￥1,260
アーティストフォト
5/12 SCREW
SINGLE
『Cursed Hurricane』
A-TYPE/B-TYPE
各￥1,890
通常盤￥1,575
5/12 the fool
SINGLE
『Go mother fucker』
￥1,500
サイン入りアーティストフォト
5/12 THE SOUND BEE HD
ALBUM
『蜂』
￥2,500
5/12 Administrator
SINGLE
『喚情レイテンシー』
￥1,575
コメントDVD
アーティストフォト
4/28 Brain Stein
SINGLE
『儚さにとどまれば』
『An swer for...』
各タイトル
初回盤￥1,500
通常盤￥1,260
5/26 メガマソ
SINGLE
『トワイライトスター』
A-TYPE￥1,890
B-TYPE￥840
通常盤￥1,050
5/26 Galmando Qual
SINGLE
『Doors』
￥1,500
5/26 ネガ
ALBUM
『NEGATIVISM』
初回盤￥4,200
通常盤￥3,150
A/コメントDVD、アーティストフォト
B/アーティストフォト個人SET
6/2 凛
SINGLE
『As Is Forever Exists.』
A-TYPE￥2,100
A-TYPE￥1,690
C-TYPE￥1,670
A/コメントDVD、アーティストフォトSET
B/アーティストフォトB
C/アーティストフォトC
6/2 花少年バディーズ
MINI ALBUM
『Balloon』
A-TYPE￥2,100
B-TYPE￥2,100
6/2 exist†trace
SINGLE
『未定』
￥1,260
6/9 SCREW
SINGLE
『ANCIENT RAIN』
A-TYPE￥1,890
B-TYPE￥1,890
通常盤￥1,575
6/9 HERO
SINGLE
『Not Found』
初回盤￥2,100
通常盤￥1,575
6/9 FEECHE
SINGLE
『Turbulence』
￥1,365
6/23 己龍
SINGLE
『水無桜』
A-TYPE/￥3,675
B-TYPE/1,890
C-TYPE/1,890
通常盤/￥1,575
6/23 A&D
SINGLE
『BLACK HEAVEN』
初回盤￥1,890
通常盤￥1,260
蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

銀座ふろず屋本店 妄想店舗『柿ノ元』

凛

-the end of corruption world-

LIVE SCHEDULE 2010

「As if Forever Exists」
● 5.23(日)難波HATCH
「Over the Edge'10 @ OSAKA」
● 6.06(日)大阪住之江名村造船所跡地
「STRAIGHT LIFE」
● 6.15(火)渋谷 AX
● 6.18(金)渋谷 O-EAST
● 7.03(土)渋谷 O-EAST
「ソドムの晩餐　第一夜」
● 7.18(日)渋谷 O-EAST
「LOOP ASH 10th ANNIVERSARY ループ開き -2010-」
● 8.09(月)名古屋 BOTTOM LINE
● 8.15(日)埼玉会館
● 8.31(火)梅田 SHANGRILA

■凛オリジナルストラップ ¥1,000【ULI-1】
■凛オリジナルミラー ¥1,000【ULI-2】
■凛ポラロイド写真 ¥1,000【ULI-3】

■凛写真セット 1-A　¥1,500【ULI-4】

■凛写真セット 1-B　¥1,500【ULI-5】

■ 2010.3.14 ESAKA MUSE「地下線 7 周年記念祭～セッション編～」
写真セット（7 枚組）¥2,000【UCP-6】

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック!!　http://www.under-code.jp/

neu

■シュシュ ¥1,000【LNE-2】
■チェキ(メンバー選択可)
(みつ / タクミ / 華遊 / ヒィロ / Яel)
¥1,000【LNE-3】

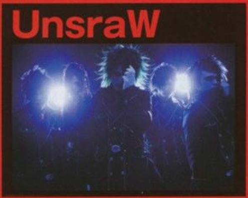
■ピルケース
¥1,000【LOZ-26】
■ポスター
¥1,000【LOZ-27】
■携帯ストラップ
¥1,500【LOZ-28】
■シュシュ
¥1,000【LOZ-29】
■リストバンド(ピンク／黒)
¥1,000【LOZ-30】
■ Natsuki デザイン ミラー
¥1,200【LOZ-31】
■ Aki デザイン ステッカー 2 枚組
¥500【LOZ-32】

OZ

Natsuki
Aki
Tama
Nao
Zukki

【INFORMATION】〒 153-0064　東京都目黒区下目黒 2-23-7 日栄ビル 3 階
有限会社 LOOP ASH　ホームページ→ http://www.loopash.com/

UnsraW

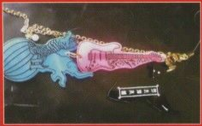


ミラー
¥1,000【SUN-7】

ポスター
¥1,000【SUN-9】

マフラータオル ¥1,500【SUN-8】

ダウト



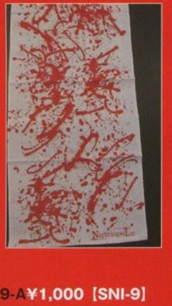
ストラップ
¥1,300
【SDO-26】

ポーチ
¥1,300
【SDO-27】

タオル ¥1,500【SDO-22】

蝴蝶网
hudie.com

NightingeiL



手ぬぐい
¥1,000
【SNI-3】

写真 9-A ¥1,000【SNI-9】

写真 11-A ¥1,000【SNI-10】

Ap(r)il

写真 2-A
¥800【SAP-11】

メンバー全員入り
チェキ (4 人)
¥1,600【SAP-13】

写真 2-B
¥800【SAP-12】

Administrator

写真 4-A
¥1,000【SAD-7】

写真 4-B
¥1,000【SAD-8】

集合チェキ
¥500
【SAD-6】

R 指定

タオル
¥2,000【SRS-5】

写真 3-A
¥1,500【SRS-6】

写真 3-B
¥1,500【SRS-7】

Speed-disk

※ 注意事項
・バックナンバーの受け付けは終了となりました。
・今月号のグッズの締めきりは
5/21到着分までとさせていただきます。

慧美网
vimee.net

● SPEEDDISK のイベント
★ SPEED DISK PRESENTS 〜『森羅万象 tour'10#2』
・4 月 20 日 (火) 仙台 darwin
・4 月 22 日 (木) 札幌 KRAPSHALL
・4 月 27 日 (火) 渋谷 O-EAST
Cast：UnsraW/R 指定 /Administrator
Guest：アンド /ViViD/vistlip/SCREW/Dolly/【_Vani;lla】
※ 各会場によって出演者がことなりますのでご注意ください。
Open/Start：4/20 → 16:30/17:00　4/22 → 17:00/17:30
4/27 → 16:00/16:30
チケット代 All standing 前売 ¥3,800 当日 /¥4,300(税込)

★ SPEED DISK PRESENTS『桜華乱舞 TOUR'10』
・5/13 名古屋 ell.FITS ALL
OPEN 17:00/START 17:30 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：Administrator/ ダウナー /DOG in The パラレルワールドオーケストラ /DragonWAPPPPPPER/xTRiPx/Re:dis

・5/14 大阪 FANJ twice
OPEN 17:00/START 17:30 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：UnsraW/Administrator/A & D/ イヴ / ダウナー /DragonWAPPPPPPER/xTRiPx

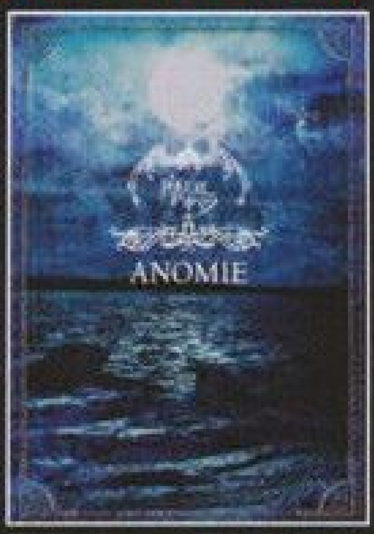
・5/20 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：Administrator/DOG in The パラレルワールドオーケストラ /DragonWAPPPPPPER/xTRiPx/BugLug 他

★ SPEED DISK PRESENTS 〜『森羅万象』
Cast：UnsraW
Guest：アンド / ケミカルピクチャーズ /Sel'm/TIME SECTION #6/DELUHI/DuelJewel/vistlip
Open/Start：16:00/16:30
チケット代 All standing 前売 ¥4,000 当日 /¥4,500(税込)
SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい。
http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

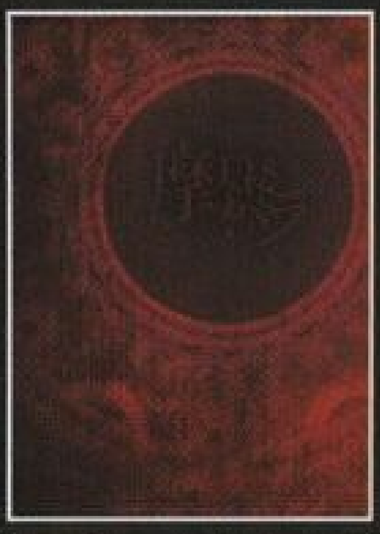
摩天楼オペラ

■ PHOTO SET A　¥1,000 [SASPIX-124]

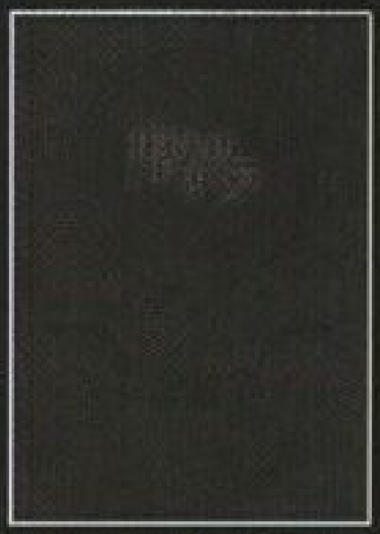
■ PHOTO SET B
¥1,000 [SASPIX-125]



■パンフレット「AMONIE」
¥2,500 [SASPH-102]



■パンフレット「HISTORY」
¥2,500 [SASPH-103]



■パンフレット「OFF SHOT」
¥2,500 [SASPH-104]

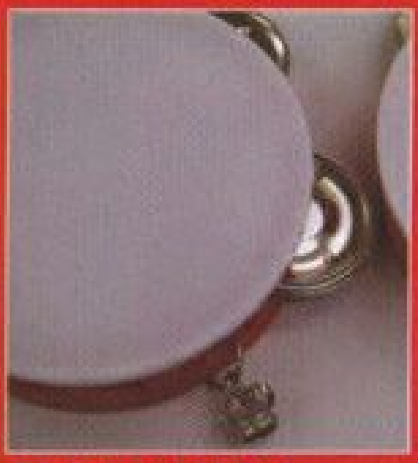
■ PHOTO SET C　¥1,000 [SASPIX-126]

■ポーチ ¥1,500 [SASGDS-104]

■ミラー ¥1,500 [SASGDS-103]

vimee.net
囧美畫

Hi:BRiD



■タンバリン
¥1,000 [FHI-6]

■ミラー
¥1,000 [FHI-3]

■タオル ¥1,500 [FHI-4]

■携帯ストラップ ¥1,500 [FHI-5]

Hi:BRiD 3rd ワンマンライブ
【World of Hybrication Vol.3】
2010/4/23（金）
渋谷 O-WEST
open18:30 / start19:00
前売￥3,000 / 当日￥3,500（D 別）
☆入場者特典決定☆
1.DVD：Live at 2009/10/18 Shibuya eggman
「World of Hybrication Vol.2」ダイジェスト版
2. 会場限定販売ワンコイン CD　MSHD-006
￥500（Tax in）
★チケット★
2010 年 2 月 6 日（sat）より
プレイガイドにて一般発売開始！
・ローソンチケット
0570-084-003　L コード：79904
・チケットぴあ
0570-02-9999　P コード：339-653
・自主盤倶楽部　03-3371-3851
（1/27 より先行発売）
問）サイレン・エンタープライズ
03-3447-8822（平日 12:00-18:00）

marder suitcase

愛狂います。

■ケセラ A セット　¥1,000 [NAI-7]

■ケセラ B セット　¥1,000 [NAI-8]

■浪漫。携帯ミニストラップ
¥1,000 [NAI-11]

■浪漫。ステッカー
¥500 [NAI-11]

■チェキ【えみる ルビ さらん 玲音】
（メンバー選択可）¥500 [NAI-12]

■ケセラ C セット　¥1,000 [NAI-9]

D'ESPAIRSRAY

■10周年記念パンフレット
¥4,200【DR-1】

・62 ページ・10 周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、
メンバー個人対談あり。
※ 会場限定のポストカードはついておりません。※ 通販は数に限りがございます。

TOON-FACTORY

■柿ノ元限定サイン入り写真セット
（計 6 枚　実物にはサインが入ります）
¥1,000 [WSG-5]

在庫極少

■マフラータオル【ブラック】
¥1,600 [WSG-1]

在庫極少

■マフラータオル【ピンク】
¥1,600 [WSG-2]

■申し込み方法
商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料 700 円を下記口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入ください。
■郵便振替番号　00180-9-603494
■金額欄　定価に送料を加えた金額をご記入ください。（複数種お申し込みの方は定価の合計金額＋送料 700 円をご記入ください）
■加入者名　株式会社　音楽専科社
■通信欄　柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社　音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228　東京都中央区銀座 6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203　FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

SHOXX 創刊20周年記念

SHOCK WAVE 2010

おかげさまで完全SOLD OUT!!

出演
(アルファベット順)

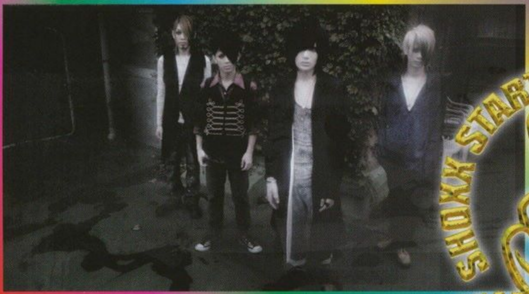
SCREW (OPENING ACT)
Alice Nine
LM.C
ムック
Plastic Tree

●お宝本販売!!
物販コーナーでレアなバックナンバーや、絶版になった写真集、SHOXX FILEなどを、販売します。購入者特典あり。

●SHOXX 思い出のフォトグラフィー
20周年に掲載された莫大な写真の中からセレクトして展示。あの名場面、珍場面写真を展示します。

●ワクワク抽選会
何があたるかはお楽しみ。今から編集部スタッフが走り回って“なにかステキなもの”を集めています。

●お土産付
入場者全員に20周年の記念品をプレゼントいたします。



SHOXX START 20th Anniversary CONGRATULATIONS!

SHOXX創刊20周年記念の企画はまだまだつづく!!
次の指令を震えて待て!

4月29日JCBホールにて賑々しく開催!!

主催：CLUB CITTA'／企画：(株)音楽専科社／制作：CITTA' WORKS／総合問合わせ：クラブチッタ(044-246-8888)
オフィシャルHP：http://www.ongakusenkasha.co.jp/

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

ケミカル・ピクチャーズ
http://chemical-pictures.net
男
5ヶ月連続リリース決定！
2nd.3rd.4th.5th.6th.
Maxi single
『世界を撃った男』
9/29発売！
@高田馬場AREA
チャーズ主催
ション Pattern 1』
TART17:30
OOR\3300
代別途)
2010年5月15日(土)高田馬場AREA/2010年5月21日(金)渋谷O-EAST/2010年6月3日
日(水)高田馬場AREA
TOTAL INFORMATION :《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 OFFICIAL WEB http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

hudie.com
慧美网
vimee.net

Interview : ERI MIZUTANI

vimee.net

Virgil

御主人様専用
奇才楽団

hudie.com

——今作の概要を説明して下さい。

ロア：CDドラマ第2弾『白之章』は、3ヶ月連続リリースの3部作目としてリリースするわけなんですけど、「ゼクス之章」に引き続き、Aタイプ・Bタイプでの発売となります。AタイプにはCDドラマ「白様の＊お勉強しませう」と、PV。そして、Bタイプには同じく、「白様の＊お勉強しませう」と白作詞・作曲の「HEART DOLL」という曲が収録されます。そうそう、何と、CDドラマには、声のゲストとして、高城元気さんと、置鮎龍太郎さんが参加してくれています。豪華ですよね。さすがにこれは嬉しさのあまり、私も我を忘れ、はしゃいでしまいました（笑）。

ゼクス：僕も、置鮎さんに会えるのを楽しみにしていたんですけど、何と、収録の当日に携帯を落としてしまいまして、収録に立ち合えなかったという……。

ロア：可哀想なので、これ以上は聞かないであげて下さい（笑）。

——では、曲の話に参りましょう（笑）。白さんが作曲を手掛けた「HEART DOLL」は、どんなイメージで作っていったの？

白：『白之章』を出すことが決まったときに、せっかくだからということで僕が曲を作ることになったんです。でも、そのときは、テーマとか何もなかったので自由に作っていたんですけど、何曲か持ってきた段階で、ロア様から今回収録されるドラマCDの内容を聞いたんですね。それなら、そこに添った曲を作った方がいいなと思い、作り直していったんです。それから、僕なりに解釈して詞も付けていって。その結果、ドラマCDともリンクした曲になったと思います。

ロア：素直に、良い曲ができたなって思いましたよ。

——ロア様の考えとも一致していたわけだね。

ロア：私としては、この作品で、友情や葛藤を描きたかったのです。自分の人生というのは決められているものかもしれないけど、周りがいることで影響を受け、支え合うことで、より自分の人生が良くなっていく。仲間がいるからこそ人は進んでいけるということが言いたかったのですよ。そうしたら、そこを見事に白が汲み取ってくれて。

白：奇跡的でしたね。あと、曲調に関して言うと、僕っていう人間を思い切り出した感じにはなっていますね（笑）。

——白さんの中で、絶対に外せないことというと何だろう？

白：ポップでメロディアスっていうのは僕の中では外せない部分ですね。あとはそこに、切なさやロックも入れて仕上げていきました。すごく盛りだくさんになっているんですけど、自分の思いを絡めて書いていったんです。

ロア：老若男女から聴いてもらえる作品になったのではないかなと思いますね。

——全体を通しての聴き所というと？

ロア：誰よりも、白が目立っているというところでしょうか。

ゼクス：まさにそのとおり（笑）。僕なんか、白様の邪魔をしないということだけを心掛けて弾いていきましたから。

タクミ：僕は白様の柱と化しましたよ。

大地：僕も同じくですね。どうせ僕は、白様の下僕なので。

ロア：これらの発言を聞いてもわかるように、白がいるから、Virgilは成り立っているのですよ。

白：そんなことない、そんなことない！も〜、何言ってるの！曲の話に戻りますよ（笑）。あのですね、今回は、シンプル、且つ力強いサウンドというのを目指したんです。更に、色々と同期を入れすぎないというのにも挑戦して。

——初心に帰るといったところかな。

白：ですね。その方がメッセージ性も強まるかなと思ったので。あとですね、ロア様が初めての歌い方に挑戦してくれたんですよ。

ロア：そうでした、初めてミックスヴォイスというものに挑戦してみたんですよ。

白：そこも聴き所だと思います。

ロア：いえいえ、そんな。

——謙遜しております（笑）。で、ドラム録りは？

白：僕からタクちゃんに言ったことは、サビを聴かせたいので、Bメロをできるだけ落としてってことだったんです。だから、こうしてワビサビのあるリズムになったんですよね。

タクミ：ここのドラムはこうしようっていうのを、レコーディングの前に2人でかなり話し合ったんですよ。なので、4テイクぐらいで録り終えました。

——いつもながらに優秀な。

白：ですね。あと、ベース録りに関しては、メロディを全面に出してもらいたかったので、そこまで動かなくていいかなって思ったんですけど、箇所・箇所で美味しい音を詰め込んできてくれたので嬉しかったですね。

ゼクス：色んなフレーズが思い浮かぶ曲だったので、ストレートなんですけど、気持ち良い音が出せました。

ロア：ゼクたん、ああいう曲好きですしね。

ゼクス：好きなこともあって、得意だと思います。なので、難なく弾けました。

白：僕が思っている以上のものを持ってくれたので大満足です。そして、ギター録りはというと、大地には、ベースと同じように、極力シンプルでと伝えました。そんな中、聴き所というと、Bメロでの僕と大地の掛け合いと、サビの大地のカッティングですね。

大地：白様が動きやすいように、どれだけ良い土台になれるかというのに重点を置いて作っていったんですけど、なるべくストロークの回数を減らして白玉の回数を増やすということを意識したんですけど、それだけだとつまらないので、自分らしいカッティングのリズムを入れていったんです。

ロア：そして歌は、できるだけギターの音を潰さないように歌っていきました。そうしないと白様から蹴られるので（笑）。

——時折、CDからメンバーのすすり泣きが聴こえてきたりしてね。

白：入ってないです！（笑）。

ロア：そして、肝心のドラマの方はと言いますと、自問自答と葛藤、そして、友情を描いた内容となっております。きっと、誰しもが経験することなのではないかなと思い、台本を書いていきました。

——まさかの展開も用意されていて、最後までハラハラしながら読んだよ。

ロア：人は決して1人じゃないということを伝えたかったので、そこが聴いてくれる人たちに伝われば幸いです。

——ちなみに、全員、台詞は完璧に覚えてから録りに挑んだの？

大地：もちろんですよ。

——お気に入りの台詞は？

大地：えっ、僕ですか？ そうだな、"総本部長！ 大変です！"とか（笑）。

——今、ものすごい、声うわずっちゃっていたけど（笑）。

大地：本番は大丈夫だったんです（笑）。

タクミ：僕は、今回テンパりましたね、ちゃんとした台詞があったので。

ロア：私、初めてタクミがお腹から声を出しているのを聞きました（笑）。でも、みんな頑張ったおかげで、楽しい作品になったと思います。ねっ、ゼクたん！

ゼクス：そうですね、僕も頑張りました。意外と台詞が多くて大変だったんですけど、ロア様の指導に添って演じたおかげで良くなったのではないかなと。何か、レコーディング以上に楽しかったです。

ロア：そうですね、それは私もそう思いました。

——たまに違ったことすると面白いよね。

ロア：ええ。それに、こうして演じるときって、ライヴに近い感覚でできているんですよ。だからこそ、レコーディングと同じくらいの面白さを感じたのかもしれません。それにしても、白は何をやらせてもうまいなと。さすが、完璧な男。

白：僕は、みんなの足を引っ張らないように頑張っただけですから（笑）。

——さすが主役、言うことが控えめ。

白：そんな、やめて下さい〜。

——（笑）。まぁ、その、気になる続きは、CDで確かめてもらうとして。

ロア：そうですね。ほんとこれは、聴いてこそ面白いと思うので。この作品を聴くことで、更に、Virgilの世界観が味わえると思います。

——さて、これにて、3ヶ月連続リリースは無事に完結と。

ロア：はい。そして、この後には初の東名阪ワンマンツアーが控えております。構想はボチボチと考えているんですけど、今はまだ、お楽しみといったところでしょうか。

——ここでは、CDドラマの再現もあったりするのかなぁと期待していたりするんだけど。

ロア：ご要望とあれば、そこも考えておきましょう（笑）。とにかく、面白いことをたくさん用意しておくので、ぜひ、ライヴにも遊びに来て下さい。

1周年記念ですよ,ご主人様!!
東名阪ワンマンツアー直前。5人の春は暖かい。

人は決して1人じゃないということを伝えたかった。

3ヶ月連続リリースも遂に最終章。トリを飾るのは、白を主役にしたCDドラマがメインの『白之章』（5月19日リリース）。もちろん、ここには、ドラマだけでなく、白作詞・作曲の「HEART DOLL」も収録されている。第1弾、第2弾とはまた違った味わいの作品なだけに、聴き応え充分だ。また、待望の単独演奏会が東名阪で行われるので、こちらもぜひ、足を運んでいただきたい。

vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

lynch.

リアリティを追求したドキュメンタリズム

運命や宿命さえ否定しながら、lynch.は今その徹底的な実力主義と実行能力で、未来を奪取しようとしている。4月28日に発表されるシングル『A GLEAM IN EYE』からは、彼らの描く生々しいドキュメンタリズムと、他の追随を許さぬ精神性の高さ、そしてロックバンドとしての熱さと強さを感じ取ることが出来るはずだ。すなわちそれは、孤高の存在たる証明にほかならない。

Interview : YUKI SUGIE

微美図 vimee.net
蝴蝶図 hudie.com

OVER THE DIMENSION

蝴蝶网
hudie.com

——今回のシングル『A GLEAM IN EYE』は、かなりの難産だったそうですね。

葉月：たぶん、今まででいちばん時間的にもタイトだったし、内容的にもここまで手こずりながら作ったのは初めてでした。

玲央：実はですね、今回表題曲になってる「A GLEAM IN EYE」の他に、当初は別にシングル曲として考えてたものが存在してたんですよ。でも、途中で葉月が〝どうしても曲を変えたい〟って言い出したんです。

——その際、葉月くんが曲を変えたかった理由というのは？

葉月：平たく言うと、以前にやってた曲は、前の『SHADOWS』からこぼれた曲だったんですよ。で、それをイジっていけばイケるんじゃないか？って思ってたんですけど、途中で〝やっぱりなぁ～〟ってなっちゃって。〝果たして、このままやっていって『SHADOWS』を超えられるだろうか？〟っていうとこで、新しい曲を作ることにしたんです。

——具体的には、どんな要素を楽曲の中に盛り込みたいと考えていたのですか？

葉月：言葉で表すなら、聴きやすさですね。ただ、この〝聴きやすさ〟ってけっこう曲者じゃないですか。

——特に、lynch.のようなバンドがそこを意識するにあたっては、慎重にならざるをえないところはあるでしょうね。

葉月：そうなんですよ。元々コアだったバンドがそこを追求し出して、同時にいろんなものを失っていってしまうケースはよくありますからね。で、長年ついてたファンが去ってく、みたいな（苦笑）。

——怖い話です。

葉月：だから、ちゃんと音としての聴きやすさも実現しつつ、lynch.じゃなきゃ出せない音も両立させたかったんで、そのバランスを取るのには相当時間を掛けました。

玲央：この曲では、lynch.としての〝次〟を見せることが出来たと思います。最初は〝lynch.としてここまで行ってもいいのかな？〟っていう不安は多少あったんですけど、今ここで次を提示するにはやっぱりこれだろうって、最終的には僕もそう決断できました。

——ドラマーである晁直さんからすると、この「A GLEAM IN EYE」は、どのように向き合うべき楽曲でしたか。

晁直：僕の解釈としては、『ADORE』（2008年春のシングル）を出して以降、ある意味lynch.として求めてきたものは、ここまでずっと一貫してる気がするんですよ。で、そういう中で今回この曲が出て来た時には、〝どれだけここまでやって来たことを最大値で表現できるか〟っていうことがテーマでした。

——聴いた印象としては、その他に新機軸的要素も感じましたけれどね。例えば、曲中におけるタムの使い方やフレージングなどは、今までにあまり見られなかったもののような気がします。

晁直：あぁ、そこは若干意識してやったとこでしたね。曲が真っ直ぐな分、タムの手数は少し多めにしてあるんです。

葉月：しかもタムって、そのうち1コはスネア使ってたでしょ？　あれは見てビックリした（笑）。

晁直：要は、自分の欲しいサイズのドラムが、タムとしてはなかったんですよ。ただ、たまたまライヴで普段使ってるスネアが、考えたら今回の場合はちょうど良いサイズだったんで、そのまま使っちゃったんです。

——一方、ギター隊の場合は今回ツアーと並行しながらのレコーディング、という過酷な状況だったそうですね。

玲央：ホント時間がなかったんで、そうするしかなかったんですよ。ツアー（2月に行なわれた［COUNTER CULTURE］）先に、僕も悠介もお互いプロトゥールスを持って行って、ホテルでずっとプリプロやってました。

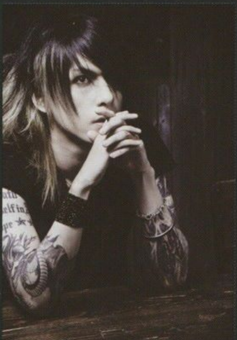
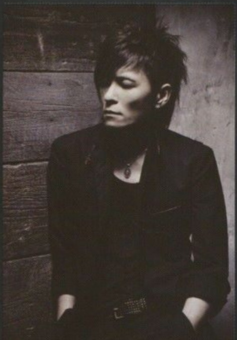
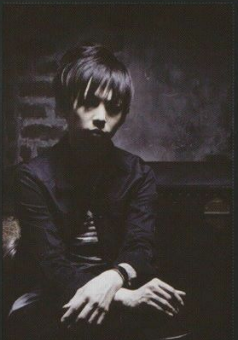
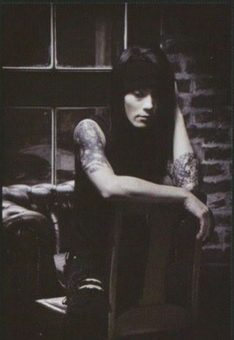
——悠介くんの場合、この曲の中で特に重視したのはどんな部分でしたか。

葉月：あのイントロじゃない？

悠介：あぁ、そうですね（笑）。実は、今年ひとつ決めてることがあるんですよ。去年は『SHADOWS』でやっと自分らしさを出せたんで、逆に今年は今まで自分が持ってなかった要素も少しずつ取り入れてく挑戦をしたい、って思ってるんです。

——つまり、その一端があの小技の利いたイントロに出ているのですね。

悠介：基本的には、僕あんまり小難しいことって苦手なんですよ（苦笑）。でも、今回は敢えて要所要所でそういうことをやってみました。

葉月：あのワーミー踏んでるフレーズが入ったことで、曲のインパクトが増したと思いますよ。あれがなかったら、もっと地味な曲になってたと思う。

悠介：ってことで、今年はここから、ちょいちょい新しいことを身に着けていきたいと思ってます！

——悠介くんの変化は、相方である玲央さんにも何らか影響を及ぼしましたか。

玲央：えぇ、ありました。彼が上で細かいことをやるっていうのは分かったんで、自分はこの曲では基本バッキングに徹したつもりです。とはいえ、プリプロをやってくうちに、僕もだんだん遊びたくなって来たところはあったんで（笑）、ソロとか部分的にちょろちょろっとそういう音を入れたところもありました。

——結果、ここにはまた新たな質感のギター・アンサンブルが完成しましたよね。

玲央：葉月がこの曲を作ってる間、何回かバンドっぽくしたいっていうことを言ってたんですけど、ギターの音はもちろん、全体的にも今回はそれが実現できたんじゃないかと思います。それぞれ、〝俺が俺が！〟じゃなくって、バンドとしての一体感が生み出せたというか。4人が主張しながらも、しっかりと調和の取れた音が作れて良かったです。

——そんな充実の音像となった「A GLEAM IN EYE」に対し、葉月くんは今回どんな想いを持って、この歌詞をつけていったのでしょう。

葉月：この間、名古屋で主催イベントをやった時にひとつ発表をしたんですよ。〝7月19日に名古屋ダイアモンドホールでワンマンをやります〟って。その時、みんなが凄い喜んでくれてですね。そんなお客さんたちの姿を見てたら、なんか〝みんなを引っ張ってくのは自分なんだな。みんなを連れて新しい場所へ行こう〟って、妙に青春ドラマみたいな熱い気持ちになっちゃったんですよ（笑）。それで、その日帰ってそのままの気持ちを言葉にしたのが、この詞です。

——所信表明がわりの詞なのですね。

玲央：タイトル的には、〝reflex〟（＝反射）とかじゃなくて〝GLEAM〟（＝輝き）なのもひとつのポイントだと思います。

——確かに。これだけ強い想いのこもった詞が出て来たということは、歌う時にも感情が溢れてきたのではないです？

葉月：この曲は、とにかく好きなように歌いました。強いて言うなら、シャウトにはこだわりましたけど。汚いシャウトにはしたくなくて、スタイリッシュにいきたかったんです。野性的ではなく、都会的なシャウトってヤツですか（笑）。

——洗練されているシャウト、ですね。

葉月：ただ、都会的とは言っても綺麗に歌うっていうことではないんですよ。むしろ、ピッチとかは意図的に外してるし。今どきは後から機械でピッタリとピッチ合わせも出来るんですけど、比べても生の歌のほうが、ピッチ合わせしたものより全然良かったんです。

玲央：lynch.は常にリアリティと共にありたいって思ってるんですけど、音的にも詞の面でも、まさに今回はドキュメンタリーなものが出来たっていうことだと思います。

——今回カップリングになっている「All this I'll give you」も、表題曲とはまた違うベクトルを持ったヘヴィ・チューンですが、こちらも明らかにドキュメンタリーな内容ですものね。

葉月：今回のシングルは、我ながら最高の出来ですよ。今までだと、その時々の限界までは行ってたけど、自分にとっての理想までには追いついてなかった、っていうのが事実でしたから。その点、今回みたいにここまで何の思い残しもないのは初めてです。

——このシングルのタイトルと関連して、先ほど話に出たダイアモンドホール公演には［A GLEAM IN NITE］というタイトルが冠せられているようですが、こちらは名古屋バンドとしての意地と誇りを掛けたライヴとなりそうですね。

玲央：実際、インディーズ・アーティストでダイアモンドホールのワンマンを成功させた例って、ほとんどないんですよ。みんな、名古屋ではボトムラインを超えられないって言うんです。僕らの場合、年末に5周年記念ワンマンとしてボトムラインをやったっていう前提もあるので、今回はライヴの面でも〝次〟に挑戦することにしました。今年、ここからのlynch.は、そのライヴに向けてバンドとしての全精力を傾けていこうと思ってます。

v慧美网
vimee.net

「トウキョウ、モノクローム…第13回」

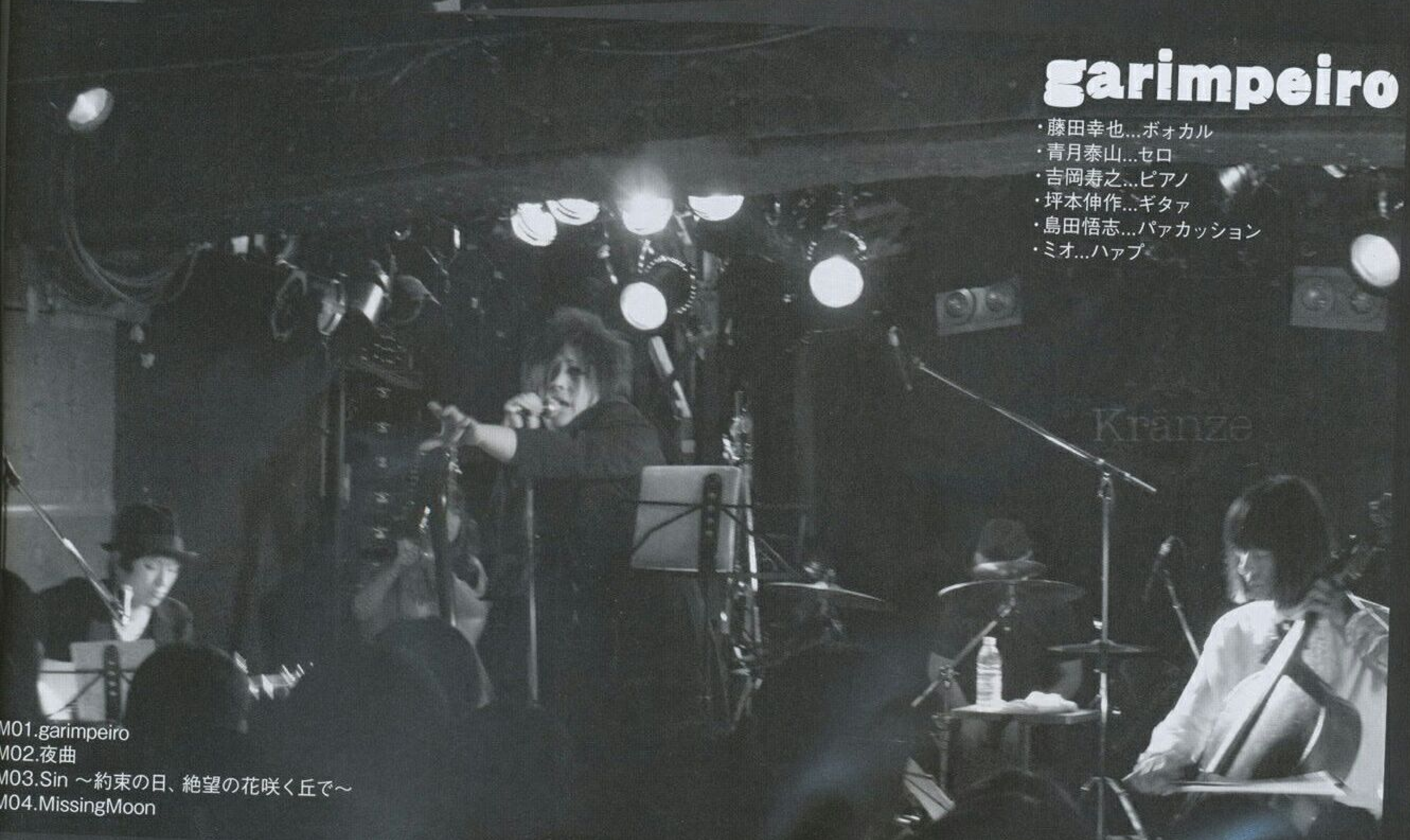
新宿LOFT 2010年03月14日（日）

掟（ルール）なき音楽会。潜入レポート！！

ENDLESS

- SHIGE...Vo&Gt
- TETSU...Key
- サポートメンバー-
- TAIZO NAKAMURA...Ba
- HAYATO...Dr
- TAKEO YAMAUCHI...Gt

M01.Darlin'
M02. 浮遊楼
M03.TABOO（新曲）
M04.ノスタルジア
M05.夜光
M06.Monochrome Sky



garimpeiro

- 藤田幸也...ボォカル
- 青月泰山...セロ
- 吉岡寿之...ピアノ
- 坪本伸作...ギタァ
- 島田悟志...パァカッション
- ミオ...ハァプ

M01.garimpeiro
M02.夜曲
M03.Sin ～約束の日、絶望の花咲く丘で～
M04.MissingMoon

蝴蝶网
hudie.com

Kαin

- YUKIYA...Vo
- SHIGE...Gt
- ICHIRO...Ba
- ATSUSHI...Dr
- AKIHITO FUJIWARA...Mp

M01.証-akashi-
M02.search for...
M03.stigma
M04.die4you
M05.あいのうた
M06. Again
M07.ICHIRO_006
M08.羽根
--encore--
En01.回帰線

彩度を落とした場所に本当(リアル)が見える

3月14日、おなじみの新宿ロフトで、おなじみのイベント『トウキョウ、モノクローム…』が行われ、KαinやENDLESSといったKranze所属バンドが出演し、熱いライヴを繰り広げた。幅広い音楽性を持った出演者によるライヴを楽しむと同時に、ステージに掛ける幸也の姿勢、ファンに対する幸也の想いを目の当たりにし、幸也というアーティストの存在を改めて振り返ることとなった。

Report:MIYUKI MURAYAMA

恒例のイベントとなっている『トウキョウ、モノクローム…』。13回目を迎えたこの日も、Kαinを筆頭に、Kranze所属バンドのファンには嬉しい一夜にとなった。

最初に登場したのは、これが去年の7月以来のライヴとなるというENDLESS。MCでTETSUが話していたように自身の緊張のせいか、ファンも若干とまどいがあったのか、まったりしたムードが漂う。そんな中、披露された新曲「TABOO」では、疾走するリズムに切ないメロディーが駆け抜け、力強くも哀しい感情が迫って来るように感じられた。「ボーッとしてたら終わっちゃうよ(笑)」というSHIGEの言葉に触発されたようにだんだん会場の空気も暖まり、「ノスタルジア」、「夜光」と、さらにエモーショナルな楽曲を続け、メンバー紹介を挟むともう最後の曲。「Monochrome Sky」で、心がはやるような小気味よいリズムに乗せて、熱くライヴを締めくくった。

転換中には、バーステージでもライヴが展開。左ききのゴーシュが、豊かで繊細なチェロの音色を響かせ、さらにはぬくもりのある素朴な歌声で、聴く者の心を優しく包み込んだ。その後、ホールに登場したのは、LOG-iQとthe bulletのメンバーによるKranze Special Session。各々のバンドの曲や、JILSの曲などのカバーで会場を盛り上げた。

そして、ガラッと会場の空気を変えたのは、garimipeiro。幸也がヴォーカルを務める他、チェロやピアノ、ハープといった楽器が演奏を支え、ライヴハウスのステージとは思えないサウンドを響かせる。けれども、やはり歌が始まってしまえば、そこはおなじみの歌い回しで、彼らしいメロディーが流れ出す。息をのむように集中して耳を傾ける観客。とりとめのない、全く歌とは無関係なMCを間に入れつつも、曲が始まれば一気にその世界に入り込む。つぶやくように、語りかけるように、思い出すように、自由に感情のまま零れ落ちる歌に演奏も合わせた「夜曲」、穏やかな優しい演奏に、むき出しの生々しい感情が映えた、懐かしい「Sin」と続き、最後は「Missing Moon」。リズムを刻むパーカッションと、流れるようなチェロ、そして歌がひとつになり、どんどん激しく、感情がほとばしるように流れ出た。引き込まれるうちに、4曲のライヴはあっという間に終わった。

再びバーステージでは、坪本伸作による弾き語りが行われ、そしていよいよトリのKαinがその姿を現した。静かに登場したメンバーが揃ったところで、「全力で来いよ!」と幸也は高いテンションで、オーディエンスへとぶつかって行く。1曲目の「証-akashi-」から、一気にオーディエンスの反応も熱く、大きな声が上がる。「Search for…」では、幸也の吐き捨てるような歌に続いて、合唱が起こり、会場をさらに熱くした。まるで曲になくてはならないもののように手拍子が続いた「stigma」から、さらに「die 4 you」でも手拍子はやまない。観客がライヴを楽しんでいるのがそのまま伝わって来るようだ。ステージでは、嘆くように叫ぶように幸也が「あいのうた」を歌えば、楽器陣は黙々とプレイに集中し、印象的なコントラストを描いたが、続く「Again」では、楽器陣もサウンドに合わせて体を動かし始め、その一体感はフロアへも広がって行った。心地よくビートが響いた「ICHIRO_006」から「羽根」でライヴのクライマックスを迎えると、オーディエンスも自分達の感情を表すかのように、共に声をあげ、手を叩き、「全力で来い!」と声を求める幸也に応えた。

エンディングSEの後、アンコールを求める声に押されるように、予定外のアンコールのためメンバーが登場。オーディエンスのリクエストもあって「回帰線」が演奏され、この日のイベントは幕を閉じた。Kαinが現メンバーでのワンマンパフォーマンスを行うのは4月24日大阪FANJ、4月25日名古屋ell.SIZE、5月2[illegible]日川崎クラブチッタの計3回。そして彼らのホームグランドである新宿ロフトに出演するのはこの日のイベントが最後だったこともあり、単なるイベント出演ではなく、Kαinメンバーそれぞれ想いを記す一日になったに違いない。

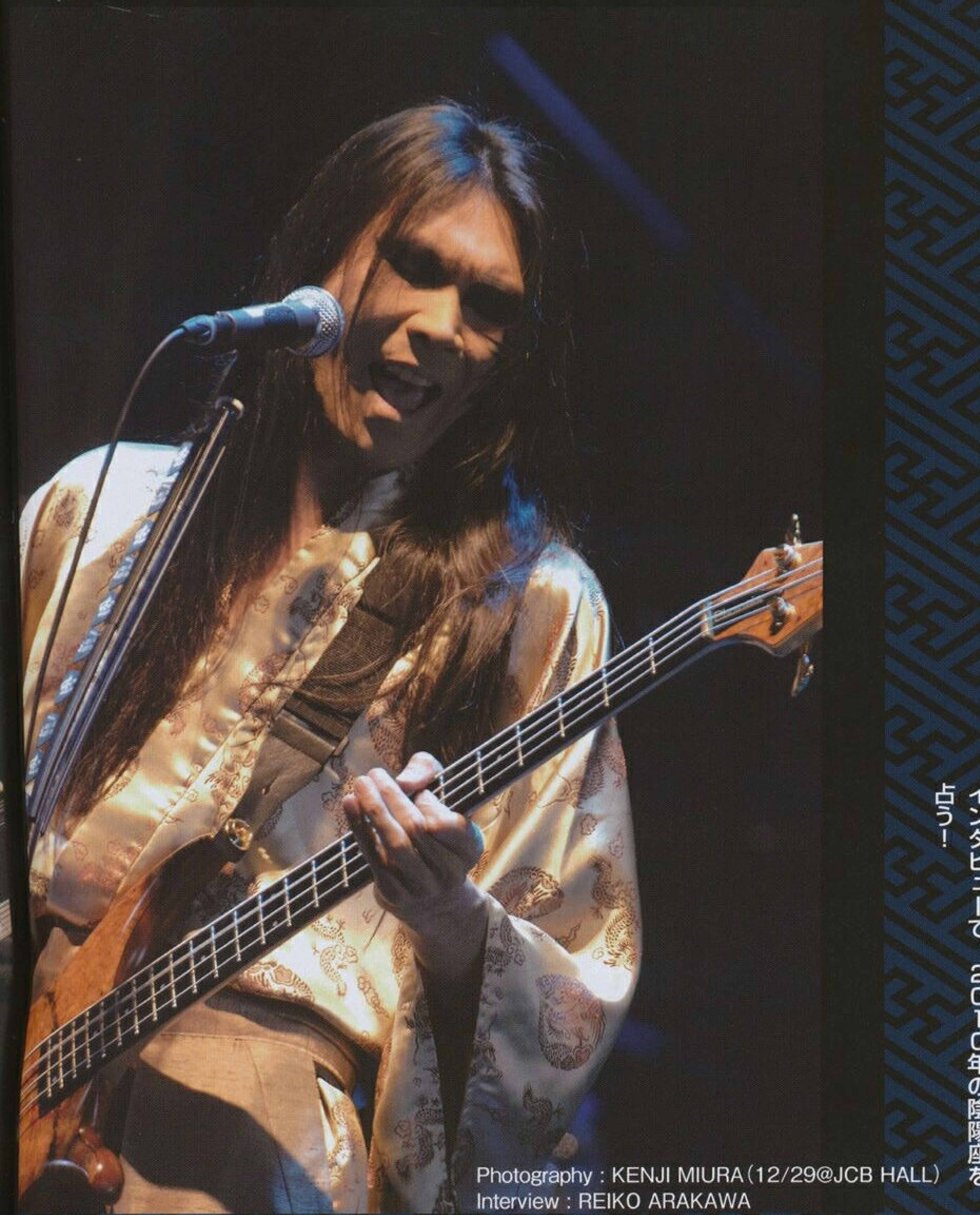
慧美网
vimee.net

陰陽座

瞬火、パーソナル・インタビュー

二手先のことは考えても、何十手先のことは想定する意味がない

2009年12月29日にJCBホールにて行なわれた十周年記念公演の模様を収めたDVD『龍凰輪舞』が4月21日にリリースされた。4時間に及ぶあの夜の曲たちを、フルに収録したこの作品において、彼らが込めた意図とは何だったのか。そして、7月から始まる全国ツアーに、『続・生きることとみつけたり!!』というタイトルを冠した意味は何なのか——瞬火にじっくりと語ってもらったインタビューで、2010年の陰陽座を占う!



Photography : KENJI MIURA（12/29@JCB HALL）
Interview : REIKO ARAKAWA

——4月21日発売の十周年記念公演DVD『龍凰輪舞』ですが、全曲収録なんですね。

「そうですね、とにかく楽曲のカットは防ぎました。2枚組ですっきり収録できて、かつ当日のライヴの雰囲気を損なわず、曲も全部聴けるというところをキープしました」

——客席のカットが結構使われてましたけど、そこは意図したところですか?

「ライヴ映像と言ったら、ライヴを観ているお客さんの姿とか様子も重要な要素だと思うんですよ。客席が一切映らないライヴ・ビデオって、観てても熱くならないですし。そういう意味で、メンバーが〝最高にカッコいい!〟と思っている陰陽座のお客さん、および客席の映像は、意図するまでもなくふんだんに盛り込まれています」

——瞬火さんはライヴ・ビデオがお好きだそうですが、具体的にタイトルを挙げるなら何になりますか?

「まずジューダス・プリーストの……」

——はい（笑）。

「やっぱりな、っていう（笑）。『PRIEST…LIVE!』っていうライヴ・ビデオがあるんですけど、これはアルバム『TURBO』のツアーなんですけど、それが本当に好きで……昔はVHSだったじゃないですか。で、高いじゃないですか」

——高かったですよね。

「僕が買った時って19800円で、2万円も出してビデオ1本買うって、学生の頃だと人生を懸けた買い物じゃないですか。でもそれを頑張って買って、とにかく観まくって…現物もまだあるんですけど、もう観すぎて伸びちゃって、すり減ってるのかガザガザなんですよ」

——分かります（笑）。

「あとアイアン・メイデンの『死霊復活』も何回も観ましたし、AC/DCも20年近く前の〝モンスターズ・オブ・ロック〟（イギリスで行なわれていたロック・フェス）のトリをやった時の『Live at Donington』っていうビデオがあるんですけど、それも好きです。もう言っていったらキリがないので、あと1コにしますけど、ラッシュの最近のビデオがとにかく凄く良いですね」

——先日マイケル・シェンカー・グループの今年1月のライヴをテレビで観たんですよ。まだ現役なことにビックリしたんですけど、ハードロック畑の人ってミュージシャン歴の長い人多いですよね?

「それは思いますね。ハードロックって、激しいからシンドくなって、あんまり長く出来ないんじゃないかと思いがちですけど、逆に長いですよね。ファンとしてはありがたいことですけど」

——曲と共にずっと生き続けている凄さを感じまして……そういえばスコーピオンズも新譜を出したんですよね?

「あれは最後のアルバムで、それを引っ提げて何年かかけてのワールド・ツアーをやって、終わるって宣言してるんですよ。でも何年もツアーを廻ってたらテンションが上がって〝もう1回アルバム作ろうか?〟ってなるかもしれないのに、そういうのを言っちゃうんだって（笑）」

——ある意味、新しい。

「確かに数年後に〝突然ですけど解散します〟って言われたら、ええ〜!?ってなりますけど、先に言われていれば、もし次に自分の国に来たらこれは最後だなって観に行けるから、親切と言えば親切。もう60歳を超えてるメンバーもいますからね」

——瞬火さん、60歳の自分の現役の姿って想像できます?

「一手二手先を見る活動を心掛けてはいますけど、さすがに何十手先となると……60になった時の現役の姿は今のところ想像つかないですね。それはその頃シンドくてやれてないんじゃないか?っていうところだけじゃなく、そもそも自分が60になった時に陰陽座があるのかどうか…というところも含めて」

——なるほど。

「極端な話、体力さえ保てばいつまででも、どんな規模になっても続けること自体は可能ですよね。とは言え、やりたいと言ってもやれない状況もあるわけで、そう思うとこの10年間、やりたいという信念のままやらせてもらえてたことに深く感謝してます。逆にこの先、自分のモチベーションさえ保てば続くだろうっていう変な安心感はないんですよ。もしかしたら僕のモチベーションはうなぎ昇りなのに、なぜか前には進めないっていう状況だって起こり得るかもしれないし、いつそうなるか分からない。要するに、人間の生き死にと一緒で、まだまだ生きるつもりでも、ある日突然命を亡くすこともあるわけで。そこはバンドも同じだと考えれば、あと何年ぐらい生きるだろうっていう考えはなく、毎年毎年全力でやるっていう感じなので、60でのステージは想像つかないっていうのは、やれてない気がするという意味ではなく、想定する意味がない、という感じですね」

蝴蝶网
hudie.com

──夏にもツアーが予定されていますが、今年の陰陽座はどういう動きを？

「まずDVD『龍凰輪舞』が4月に出て、そのDVDを観ていただいて、良い感じに陰陽座のライヴを観たいなっていうテンションを高めてもらったところで、真夏にツアーをやります」

──真夏って大変そうですね。

「いや、夏のツアーはね、凄く楽しいです。暑いからシンドいって思われがちですけど、ライヴハウスでのライヴは真冬でも暑いですから」

──次の作品というのは？

「このツアーは特定の作品を引っ提げてということもなく、とにかくライヴをやるためにツアーをするっていう、純然たるツアーなんですよ。これは前から決めてたことなんですが、次に陰陽座が放つはずのアルバムは通算十作目です。どういうものになるかは、もうタイトルから内容から、すでにメンバーに話してるぐらいだから固まってるんですが、いつになくじっくり制作に臨みたい内容なので、通常であれば1年ごとにアルバムを発表するのが陰陽座のペースなんですけど、今回は敢えて1年じゃなく、2年ぐらいのスパンでじっくり制作したい、と。なので、2010年はこのツアーが終わったら、2011年に発表されるであろう十作目の準備に入ります」

──瞬火さんがブログで触れていた、"「続・生きることとみつけたり!!」というツアー・タイトルに込められた意味"とは何なんでしょうか？

「2006年に「生きることと見つけたり!!」という、全都道府県を廻るツアーをやったんですけど、その時に各都道府県で、"また絶対に戻ってきますよ"って言ってるわけですよ。それってライヴでのお約束のようでもありますが、でも本当に戻ってきたい！という気持ちからの発言でした。でもまた全県ツアーをやろう！って言っても簡単に出来るようなものではないんですね」

──確かにそれは難しいですね。

「だから、そういうことが出来る時まで諦めるか、それとも何か別の方法を考えるのか、と。その中で、2006年の「生きることと見つけたり!!」が終わった直後に白地図を用意して、一つツアーが終わったら廻った都道府県に色を塗って、次のツアーでは主要都市の他にどこでライヴをするか？という局面で、まだ色の塗られていない土地をちょっとずつ組み込んでいくという方法で、何年かかけて全ての都道府県に行くという計画を立てたんです。普通に考えれば人口とか街の規模で順当に公演地を決めるものなんですが、そこを敢えて少しずつズラすことで、時間がかかってもちゃんと全ての都道府県に行けるという理論で」

──ということは、今回のツアーで日本全部になるわけですね。

「日本を丸2周することになるんです。長い期間がかかっても、全都道府県行けるんだっていう証明を4年かけて地味にやってました」

──"また戻ってくるぜ！"が、本当になるわけですね。

「約束が全て果たされる、という意味で、その約束をした時のツアー・タイトルの"続編"なんです」

──全県行けるって凄いことですよ。

「行けるかどうか別として、強引に行かせてもらってるだけです（笑）」

──いやいやいや。

「全都道府県ツアーの時じゃなかったかもしれないですけど、初めて佐賀県に行った時に、お客さんが30人もいなかったんですよ。でもね、その日は凄まじい盛り上がりだったんですよ。まずメンバーのテンションがMAXを振り切って。30人って言ったら、顔も全員認識できますからね（笑）。この人たちが待っててくれたんだ！って、もの凄くテンションが上がって。お客さんにしても、"この状況はちょっと気の毒すぎる"っていう想いもあったのか、もの凄い一体感で盛り上がって、メンバーで語りぐさになってるんですよ、伝説の初佐賀公演。客席が3分の2以上空いてたので、途中から裏を通って客席に回って、客席で演奏したり」

──やりたい放題（笑）。

「本当にいいライヴだったんですよ。だから、お客さんの入る／入らないじゃないんですよ。どんなところに行ってもいいライヴ、楽しいライヴをやれる自信もつきましたね」

──『龍凰輪舞』を観て、初めてライヴに行く人も増えそうですし、楽しいツアーになりそうですね。

「ライヴハウスに行くって、初めてだとちょっと勇気がいると思うので、そうやって勇気を振り絞って来てくれた方が"行って良かったな"って思ってもらえるものにしたいですし、何度も観てますよっていう猛者の人たちにも楽しんでもらえるものにしたいと思いますね」

慧美网
vimee.net

敢えて“和風”を演じると…？

結成16年目の犬神サーカス団が、5月12日にミニ・アルバム『セタカムイ』を発売する。アイヌ語で“神の犬”を意味するこの言葉を掲げた作品で、彼らがテーマにしたのは“和風”。さて、彼らの考える“和風”とは一体…？　犬神サーカス団を好きな人も、知らない人も、ぜひとも彼らの魅力を確かめてほしい。発売後には東名阪ワンマン・ツアーも決定。15年間の活動を経て、嬉しいことに彼らはますます意気盛んである。

アンチを貫く犬神サーカス団の本質とは!?

犬神サーカス団

Interview : MIYUKI MURAYAMA

――『セタカムイ』というタイトルは、アイヌ語なんだそうですね。

犬神明（以下、明）：前々から、〝セタカムイ〟という言葉には惹かれるものがあったんです。北海道に〝セタカムイの岩〟っていう名所があるんですね。〝犬の神〟っていう意味だから、いつか使えるなと。日本というものを意識して考えると、我々がイメージしてるよりもっと歴史が深かったりもするし、そんな民族的なことも考えながら、世界進出も狙っていくのならば（笑）、このタイトルはいいんじゃないかと思いました。

犬神情次2号（以下、情次）：カタカナっていうのもいいですよね。なのに外来語でもなくて。曲を作る前から、和風なコンセプトでいきましょうって話してたんですけど、〝和風〟って、改めて考えるとすごく難しいんですよ。今まで普通にやってても和風のバンドだって言われてたし、そこで敢えて〝和風〟となると、やりすぎるとすごくダサいことになるんですね。そこのバランス感覚で言うと、外来語でもなくカタカナのタイトル、というのはちょうどいいのかなって。

――〝和風なもの〟というのは、原点回帰的なところもあるんですか。それとも敢えて和風を掲げることで新しいところを狙っているんでしょうか。

明：両方ありますね。バンドがスタートした時は、着物を着て、日本語で…っていうコンセプトが面白そうだなと思ってやってたんですけど、いろいろ遊び心が出て来て。ある時は、和服を着ながらも、完全に和風の反対を行くようなことをやったりもしましたし。でも考えてみたら、どうやっても犬神凶子が歌うと何でも〝和風〟になると思うんですよ。だから、敢えて〝和風〟を歌ったらどうなっちゃうのかなってところも興味がありますよね。ただ、和風というものを考えれば考えるほど分かんなくなったんで、その辺からは手探りでね。それでこんな感じの楽曲が出来たんですね。

――自分たちの考える〝和風〟に落ち着いたと。

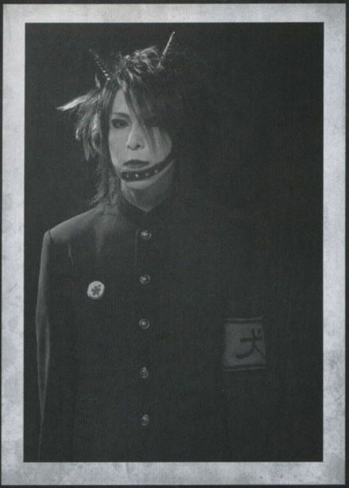
情次：やりすぎた曲もあったりしつつ（笑）。

明：このアレンジだと鼓がないとね、とか。

犬神凶子（以下、凶子）：三味線とかは入れたくなかったよね。何かちょっと違うじゃん。

情次：それは寒いよねって。

――逆に、意識的に取り入れたものはど



蝴蝶网 hudie.com

いうものになるんですか。

情次：個人的に言うと、完全な洋ではないところを突いた、ぐらいの感じですね。

明：音階的なところでは、日本的だよねっていうのは漠然とはありますからね。元々、自分が基本的なコード進行が好きなんで、わりと和風の音階に当てはまってしまうところもあって。

犬神（以下、ジン）：基本的なコード進行でモダンな音を使わないで…ってやっていくと、どうしても〃和風〃になっちゃうんです。リズム感的なものも、日本人が意識しないでやると、〃ほんわか和風〃ぐらいに絶対になっちゃうんですよ。だから、そんなに意識はしなかったです。

——歌い方に関してはどうです？

凶子：ちゃんとした演歌の歌い方は出来てないんで、演歌っぽいって言うか、日本人っぽい感じが出せてよかったなって。和風って言われる人によくいるじゃん。民謡みたいなのでニューミュージック歌うとか。そういうのは好きじゃないので。そこまで行くと、あたいの中で寒いんですよ。あたいの中での面白いところは、出来てない人がそれっぽいことをやるってことなので。だから、意識したとすれば、演歌風にしようってことですよね。

——また、今回のタイトルをつけたところから、「夜、あふれる想い」では、ムックリやディジュリドゥといった民族楽器を使っているんですね。

明：これがね、アルバム・タイトルにいちばん直結してる内容なんです。幸せそうな家庭にバット持って殴り込んで行く話なんですけど（苦笑）、ネイティヴ・アメリカンなんてアメリカ全土を支配してたのに、今や1万人前後しかいないじゃないですか。その人たちがアメリカの他の家庭を見たらこう思うんじゃないかなって。そういう恨みを僕らなりの解釈でいくと、こうなったと。

——この曲の語りは、今までの雰囲気とちょっと違いますよね。

凶子：今までとわりと語りを変えてるんですね。今回は一人芝居の熱い役者みたいな感じで、やったことのないタイプで語ってみようって。結成16年目だし、新しいほうがいいなと思って。ギャーとかウーとか、ヒステリックなのって、何の技術もなく出来るんですけど、今回やってみたのは、これまでで得た技術を活かした、あたいなりの芝居っぽい感じなんです。また〃〜っぽい〃ことになるんですけど、それがいちばん面白いから。芝居の人って、すごく良いノドの開け方で台詞を言うんですよ。それで、バットを振り回す人の怒りを表現したかったんです。

——和風というところでは、「骨」のメロディは分かりやすく和風な感じですね。

明：元々この曲のベーシックなのは、10年ぐらい前にあって。

ジン：もっと前じゃないですか。

情次：ジン兄が入る前からやってましたね。それで、歌メロを今回変えたんです。

明：再アレンジして、メロや歌詞を変えて作り直したって感じですね。

——「残酷楽園」、「ドグマの呪い」は、和風と言うより、サウンド的にハードロックという印象のほうが強く残りますね。

ジン：ジャパメタですね。

——そういう意味ではこれも和風。

ジン：それは後から考えたんですけど。

情次：メロディとしては、少なくとも洋ではないですよね。どうしても〃和風〃って言うと、日本の古い音楽みたいなものを想像するんで、テンポはゆっくりでとか思いますけど、ライヴのことを考えるとそうもいかないですし。速いテンポで和風を感じるメロディで何か出来ないかって考えたら、意外と速い曲が集まっちゃいましたね。

——「箱女」は、また他の曲と雰囲気が違いますよね。

明：16ビートの曲だからね。

情次：日本人っぽい16と言うか。ハネた感じが、何となく僕は日本人っぽいと思ったんです。ヘタすると盆踊り的なイメージがあって。その感じで作りました。

——和の楽器を使うというような直接的なことではなく、いろいろな形で、いろいろな和風が表現されているんですね。

情次：これ見よがしがイヤなんですよ。

ジン：モダンな進行をしないとか、リズムも頭のほうを強くするとか、そういう方法でも和風な感じを出す方法はあるんですよ。あるんですけど、そういうのって15年間普通にやって来たことだったりするんです。なので、もう本当に何も考えないで出て来たものが正しいんじゃないかっていうのは思いましたね。

明：自分たちがカッコいいと思う価値基準も、外国人が見るとすごい和風に見えるかもしれないし。そういうことでしょうかね。

——だから、今までの犬神サーカス団らしい色ももちろんありますよね。「神の子」といったバラードも、犬神の作品に欠かせない要素ですし。

情次：これ、いい曲ですよね。

凶子：過去最高ですよね、明兄さんの中で。すごいよ。才能が枯れないね（笑）。

——逆に「時は来たれり」は、〃和風〃からは遠く離れてるような。

明：アラビアのメロディになっちゃってますから（笑）。

情次：でもね、僕は和風だと思ってて。60年代とか70年代に海外でプログレッシヴロックが流行ったのを、日本で取り入れてやったアートロック的な雰囲気があるなと思って。

凶子：これは歌が大変だったんです。

ジン：キーが高いもんね、これ。

凶子：あたい向きじゃないのに作って来たって思ったね。

——歌に関しては、全体的に癖とか個性より、上手さが感じられる気がしました。

凶子：「骨」は当時のままのキーでやったんですけど、低かったんですよね、今のあたいが歌うと。そういうことが自然に分かって来て、今までより設定キーが高い曲がどんどん出来てきて、いつになく必死で頑張ってるんです。

——それが綺麗に出来てるので、上手い印象を受けたのかも。

凶子：そうか。ライヴでやるとしたら、ちょっと高いほうが抜けがいいんですよね。頑張るしかないなって。ライヴでやるとどうなるか…って感じですけど。

——そのライヴですが、この雑誌が出る頃は、『暗黒奇譚クラブ』ツアーの真っ最中ですね。

ジン：16年目にして、初めて自分たちでツアーを企画しました。

——そして東名阪でのワンマン・ツアーがあり、さらにアメリカでのライヴもあって。

凶子：すごい人気になっちゃって、帰って来れないかもしれないよ（笑）。

——ワンマンでは、『[illegible]タカムイ』の世界をたっぷりと見せて下さい。

情次：ムックリやディジュリドゥやらでね。

明：…マジで？

一同：（笑）

慧美网 vimee.net

――1曲目となった「Rain Delay」は、バラードにしようという考えは最初からあったんですか。

Aki：いや、そんなこともないです。

Natsuki：バラードって言うより、スローテンポで激情的になれるような曲と言うか。弾いてる時に熱くなれたり、力が入るような感じがするのが好きだったんで、そんな感じのを作りたいなって。誰かが、この曲を1曲目にして、それでPVを作ったら面白いんじゃない？って言って、その一言で素直に納得したと言うか。今までと違うPVが作れるし、それもいいなって思ったんです。

――しっとりと聴かせる曲にするのではなくて、盛り上がる感じを聴かせたかったわけですね。

Natsuki：1回目のサビ終わり、Cメロからギター・ソロの流れだったり、グーッと上がって行く感じがいちばん出したかった部分かもしれないですね。

――最初の繊細な感じと、後半の熱く盛り上がる感じとのコントラストは、意識したところですか。

Aki：Natsukiの曲は、繊細なところとグワーッとなるところと、両方を上手く出せるようにいつも心掛けてるんで、Aメロは綺麗に弾いて、Cメロからサビは全部力入れて弾いたりしましたね。

Zukki：サビがガッツリ熱くて、Aメロがかなり静かなんで、Aメロは特にいかに綺麗な音を出すか考えました。一打一打、ハットのどこを叩くかを意識して、いちばん良い音が出る部分で録ろうと。そういう苦労はありました。

――逆にサビは？ 激しい曲と同じぐらいのパワーがいるような印象ですよね。

Zukki：サビは、ライヴばりの音量で、突っ走りました。

Aki：突っ走ったんだ（笑）。

Zukki：テンポは遅いんですけど、駆け抜ける感じ。

Aki：まさにZukki、みたいな（笑）。大きくて遅いけど、頑張って走ってるから。

一同：（笑）

――Aメロのベースは、流れるようなフレーズですね。

Nao：ベースだけみんなと役割が別で、繊細さをネチっこさで出すようなところがあるかなと思って。出来上がったベースラインに合わせたフレーズをギターが乗せてくれて、それがいいように作用したんで、バンドマジックがかかった感じがしました。

Aki：ギターとベースがコラボしてるんですよ。ベースのフレーズのハモリをギターで弾いたりしてます。

――Cメロの後の、ギター・ソロへの流れもいいですよね。

Aki：力を込めましたね。泣きのギター・ソロです。毎回ライヴで泣きながら弾きます（笑）。

――歌に関して意識したのは？

Natsuki：この曲で大切なのは、いかにフォルティッシモとピアニッシモを使えるかだと思いましたね。

――声の大小もあると思うんですけど、感情的にも強弱がありそうです。

Natsuki：サビの頭とかは、いかに力強く感情を入れるかとか、その辺はかなり意識しました。あと、意外にCメロが難しかったですね。繊細さも保ちつつ、力強さがいると言うか。ただ力強いだけでも違うし、弱い部類でもないし。そこがいちばん難しかったですね。

――この歌詞はどんなイメージで？

Natsuki：これは、1曲目に持って来るって決まってから書いたんです。作りたい映像のイメージがあったので、それも上手くリンクできたらと思って書きました。3曲各々に、過去／未来／今っていうストーリー的なものがあるんです。ひとつの繋がった物語ではなくて、各々別々に題材にしてるんです。

――では、「Rain Delay」は〝過去〟なんですね。

Natsuki：過去の納得できていない別れとか、それを悔やんでる感情とかを歌ってます。そこで、〝過去〟を上手く映像として作れたらいいと思って。ドラマ仕立てとかではなく、イメージ的な感じで。〝過去〟って、モノクロ写真のイメージがあるじゃないですか。だから映像としても、色味を落として、退廃した感じを上手く出せたらなって。

――「Protect:code」はAkiくんの曲です。

Aki：古いって言うか、10年前に流行ってたかも…みたいな曲を作るのが好きだったんで、ロックな、ゴッツイ曲を作ってみようと思って、初めから激しくいってみました。

激情的なシングル『viridian』完成！

――聴いた印象としては、ギターが印象的でしたが、これはTamaくんの？

Tama：Akiさんが持ってるロックンロール色とはまた違って、パンキッシュな感じが乗っかったんじゃないですかね。

――他はAkiくんが最初に持っていたイメージどおり？

Zukki：Akiさんから、オカズをいっぱい入れてって言われてたんで、結構に叩いてる感はあります。いちばん苦労したのは音作りですね。タムの音を作るのに時間がかかって。この曲は本当に苦労したんで、思い入れが強いです。

Aki：最近、自分の曲を作る上で、Zukkiのドラムが熱ければカッコいい曲なんじゃないかって思うんです。ギターがフレーズを入れてカッコよくするんじゃなくて、ドラムにやってもらおう、みたいな。それでZukkiにお願いしました。

――歌はNatsukiくんらしいですよね。シャウトと、メロディの綺麗なサビがあって。

Natsuki：たぶん今までの自分ですんなり入れた曲だと思います。Bメロのシャウトが来るところがすごく好きで。これを入れるためにこの曲にしてもらったぐらい、その部分のノリとテンション感がすごい好きですね。

――歌詞は、これは〝未来〟について？

Natsuki：これは、自分が空っぽになった時に何が残るだろうっていうことを書いています。それがたぶん本質だと思うんです。自分が生きていく中での使命って言うか。その本質を、この先の未来にしっかり見つめていければって。

――その使命が、《君を守れる強さ》ということなんですか。

Natsuki：そこの部分ですね。だからあんまりいっぱい説明すると恥ずかしくなって来るんですけど（照笑）。

――そして「Blackout」がTamaくんの曲です。

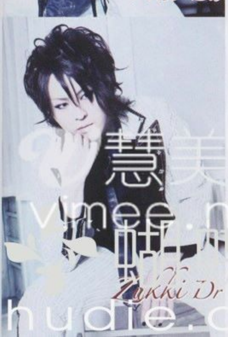
Tama：最初に作ったのは頭の部分だけで、レコーディングの前日までそこしかなくて。俺がブラックアウトするぐらいでした（苦笑）。

Natsuki：〝ブラックアウト〟って何か分かる？

Tama：分かんない（苦笑）。2アウト満塁みたいな感じ？

Natsuki：……（苦笑）。

Tama：…それぐらい、アレンジに手こずりました。今までと全然違うものを



過去、未来、今の物語

前作『wisteria』に続き、マキシ・シングル『viridian』を5月5日にリリースする-OZ-。バラードの「Rain Delay」が1曲目を飾り、今までにはない雰囲気のPVも付くという、意欲作に仕上がった。5月23日からは、東京を皮切りに主催イベント・ツアー『Volt.Age』で全国を廻る。サウンド的に近い傾向を持つバンドとのイベントになるだけに、バンド同士切磋琢磨しつつも、一緒に楽しめる場を作り上げてほしい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

も、前日にZukkiと二人でスタジオに入ったら、早かったね？

Zukki：早かったですね。

Tama：不思議なもんです。何かがパッとハジけた感じでした。

――イントロも、その後サビで始まる歌も、印象的ですよね。

Natsuki：そこを聴いて、パンクだなって思ったんですね。久しぶりに〝パンクTama〟が出て来たなって。こういう爽快な感じの入りで、でもそこだけで終わらないのがTamaちゃんらしいところなんです。Bメロのギターの雰囲気とかは、今のオズの流れを汲んでるし、サビは本当にパンクだし。だからこの曲は、かなり場面ごとに違うイメージもあって、爽快な部分とドロッとした部分をいかに使い分けられるかが、歌のテーマでした。そこは自分の中で上手く出来たと思います。

――歌詞は、これが〝今〟ですね。

Natsuki：記憶喪失とかの意味での〝ブラックアウト〟なんです。

Tama：…あ、そういう意味なんだ（笑）。

Natsuki：（笑）今が分からなくなってる状態と言うか。その中で、過去にも戻りたいけど、未来にも行きたいみたいな、今を否定してる感じの曲なんです。それで発狂しそうになってたり、エモーショナルに叫びたい感じだったりして。俺の中ですごくパンクのイメージがあったんですよね。だから、サビはすごくエモーショナルになっています。

――3曲3様の仕上がりになりましたね。さて、5月からは主催イベントのツアーが始まります。

Aki：SCREWさんとかDEATHGAZEさんとか、重たい、激しめのバンドさんばかりと一緒にやります。多種多様じゃなくて、一点だけのところの勝負のほうが面白いと思ったんです。

Natsuki：一緒に廻りつつ、他のバンドさんとも楽しみたいですし、バンド側だけじゃなくて、お客さん同士も含めて、みんなでツアーを楽しめたらいいなと思います。

慧美 vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

高山
Aioria
2010年春。色あせない思い出が今、あなたの元に蘇る。

——アイオリアとしての久しぶりのライヴは、どういうきっかけで決まった話だったんですか。

未散：もともとミサ君と、アイオリアの楽曲がもったいないよねって話をしていて。そういう気持ちから湧き出た話なんです。曲って、バンドが終わると歌われなくなるじゃないですか。どうやったら、アイオリアの楽曲が生き残れる場ができるかっていうところから、偶然3月5日にたどりついたっていう感じです。

ミサ：ミッチィーの誕生日を祝おう！みたいな感じです（笑）。

——でも、自分の書いた曲がまたライヴで演奏されるのは嬉しいことですよね。

ミサ：それはありますね。僕も、バンドがなくなって曲が死ぬのは、ずっと切ないな、何とかならないかなって思って来たことだったんで。

——実際に一緒に音を出すのは久しぶりだったんじゃないですか。

和矛：ちゃんとアイオリアとしてライヴをやったのは、8年ぶりですね。

ミサ：そんな経つんや。

未散：2002年の8月2日のウエストワンマンで終わってるので。

——今また、ライヴをやってみてどうでした？

Sarino：全然違和感は感じませんでしたね。でも、皆が個々の活動でレベルアップしてるって感じましたね。皆、揉まれて来てるなって。そういう意味で自分も負けられないってステージ上で思いました。すごい楽しかったですよ。

和矛：すげえ楽しかったし、8年間、皆音楽に関わってるのがすごいなって思いました。純粋にアイオリアの曲がすごい好きなので、演奏してて楽しかったです。

——ミサさんは、表立った活動はしてなかったわけですが。

ミサ：アイオリアで6曲やるっていうので、リハもいっぱい入って、家で練習して、イメージを持って行くわけじゃないですか。ステージの前に自分を奮い立たせて。やっぱりしんどかったですね。正直しんどいです（苦笑）。

——それだけ気合いを入れて臨んだと。

ミサ：それはもちろん。ステージはばっちりやりました。カチコチでしたけど（苦笑）。難しいんですよ、弾けないんでね。

——難しいことやってたなって？

ミサ：アイオリアの後、ギターのスタイルが変わったんで。メインで弾くことはなくて、バッキングに徹してたんですけど、アイオリアでは俺が弾かないとダメなんで。

——未散さんはいかがでした？

未散：普段はバラバラに会っている人達とステージに出れたのがすごい喜びでしたね。僕も本当に楽しんで、できたんですけど、皆イキイキしているなって。8年間ってすごい前のようですけど、本当にヴィジュアル系のシーンが好きだったら関係ないんじゃないかなって。曲も色あせてないって思ったし。今聴くとまた新鮮だったり、新しい見解があったり。とっても刺激になりましたね。

Sarino：アイオリアが好きだったバンドマンの子達がチッタに来てくれたりして、アイオリアっていうバンドの存在の大きさを感じたし、僕らがやって来た事は間違いじゃなかったんだっていうのを意識しながら臨んだライヴでしたね。

——Sさんは、以前に見ていたバンドに参加したという形ですよね。

S：僕が上京してきて、何もわからなくて勉強させてもらった先輩バンドがアイオリアだったので。8年っていう時間が経って、しかもループアッシュの10周年っていうときに、未散さんから誘ってもらえたのはすごい光栄なことだったので、下手は[illegible]ないなって思ったし、頑張らないとなって思いつつ、重圧もすごかったし、すごいい経験になりましたね。やっ[illegible]かったです。

——実際ライヴのときは緊張しました？

S：緊張しましたね。ぶっちゃけ、リハで間違えないとこで間違えました。

一同：（笑）

——お客さんの反応はどうでした？見たことがなかった子もいたと思うんですが。

未散：すごい動員があったので、アイオリアを見に来てくれた人がいるっていうのはわかりましたよね。ライヴを見たことのない人は、盛り上がり方とかがわからないじゃないですか。不思議な振り付けをしたりもしてたんで。でも、アイオリアのライヴを見てみたいっていう人は、純粋にそれだけいたってことですよね。

——バンドの大きさを改めて感じますね。

未散：アイオリアでやってきた音楽って、どこと似てるっていうものじゃないと思うんですね。

ミサ：同期とかアレンジの面では古いなって感じますけど、メロディーとか構成は、今でも真似できるんやったらやってみろって思いますね。それだけ自信があるんです。

——それを、この機会にまた演奏できたのはよかったですね。

未散：自分の誕生日の日だったので、何よりもいいプレゼントになりました。本当にハッピーでしたね。

——イベントも盛り上がって。

未散：クラブチッタって、自分の中で思い出があるんです。ループアッシュのイベントも多かったし、そこに戻って来れたっていうことに感謝ですね。

——そして今後、Sarinoさんはアイオリアの曲を歌って行くわけですよね。

Sarino：アイオリアでやって来た曲は、自分にしか歌えないだろうっていう、変な自負があるんですね。だからこれから歌い続けて行くのはすごい嬉しいなと思ってますし。ミサさんの作った曲で、僕の声を通して感じられるような感覚って、このチームを通してしか出来ないと思うので。そこをより一層突き詰めて、いろんなものを出して行けたらいいなと思いますね。バンドが解散したからもう曲をやらないっていうのはあまりにも寂しすぎると思いますし、一旦世に放った音楽は、僕らだけのものじゃないと思うんですね。ある女の子がこの曲が好きだってなったら、その子の曲でもあると思うんですよ。そこは、音楽を発する立場として責任持ってずっとやり続けて行きたいと思いますね。

——これから、アニーズ・ブラックとしてやって行くわけですね。

未散：皆仲間なので。ファミリーみたいな感じですね。皆が輝けるところを作りたいなって、そういう発想なんです。皆、各々長けてるところがあるじゃないですか。それを伸ばして行こうって。

Sarino：僕が今まで歩んで来た道のりを表現できる場が出来た感じですね。アイオリア以降に組んだバンドの経験も生きて来ると思いますし。僕の今までのヴォーカリストとしての流れを汲んだ表現の場でやっと皆の前に立てるっていう喜びが大きいですね。全部出しますよと。

——ミサさんは作曲者として参加して行くんですね。

ミサ：曲をひたすら書きます。

——表舞台よりも、曲を書く形で世に出たいと言うか。

ミサ：僕の性格としては正直に発言したくなっちゃったんですね。ステージに立つ演者はそうは行かないところがあるし。そう考えたときに、自分個人の生き様として窮屈だなと。それで一線退いたっていうのはありますよね。でも、音楽はすごい好きで、作家としての自分もいるんで、そこは続けて行きます。

——Sさんはもちろん Mix Speaker's,Inc.として。

S：今回記念すべきステージにドラマーとして立てたので、その経験をMix Speaker's,Inc.に持ち帰らなければいけないし、この経験を活かしつつ、アイオリアのメンバーの皆さんに負けねえぞっていう気持ちでMix Speaker's,Inc.をやって行くだけですよね。あのとき一緒にステージ立ったのは本当に嬉しかったんで、ありがとうございました、ですよね。待っていたお客さん達がその曲を聴いて喜んでいるのを、ステージから見るとたまらんものがあったので。あの場に立てたのは本当によかったです。

——和矛さんは？

和矛：最近思うことなんですけど、自分に正直に音楽を続けて行きたいなと思いますね。本当にやりたいことは何なのかなって、まだまだ考えてるし、正直な気持ちで突き進んで行きたいです。あとは、ミサさんに負けないように、いい曲を作れるように頑張ります。

——そして未散さんは？

未散：自分がやっているレーベルが今年10周年で、SHOXXさんも20周年で、鹿鳴館さんも30周年なんで、ヴィジュアル系シーンを何としても活性化したいですね。5年後にも皆に会いたいし、10年後にも皆音楽やって会[illegible]ですね。

——またいつか同じステージで会えるように。

未散：10年後に。

ミサ：大丈夫かな、俺（笑）。

S：そのとき違うドラマーとかやめて下さいね。

一同：（笑）

未散：5年後も10年後も会いましょう。約束ですよ。

ミッチーの誕生日をみんなで祝おう!!

バンドが解散してなくなっても、その音楽は愛され続ける。
3月5日、Aioriaが8年ぶりとなるライヴを行い、そのことをはっきりと表してみせた。
そしてこれからは、Sarinoが、Annie's Blackとして、Aioriaの音楽を引き継いで行くという。
Aioriaを知っている人も知らない人も、これからずっとその音楽を愛し続けてほしい。
そこには変わることのない魅力と個性がぎっしりと詰まっている。

Interview：MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网 hudie.com

慧美网 vimee.net

Interview:ERI MIZUTANI

HeART SOUNDS E.P.

キャンゼル

──「heart」はかなりの超大作となっているけど、そこは作曲者の狙いでもあったのかな？

椎名未緒（以下：未緒）：確かにその通りで、キャンゼルのファンだけに向けて作ったっていうところはあるんですよ。それで、クアトロのワンマンで会場限定発売として出そうと思ったんですが、その前に事故ってしまったじゃないですか（※ツアーの移動中、接触事故に遭ってしまった）。そのせいでレコーディングが遅れてしまい、あの日には残念ながら発売することができなくなってしまったんです。それが、今回、ようやくリリースできることになったというか。

──そういう経緯があったのね。ところで、怪我の具合は？

いっち：みんな大丈夫です。ただ、未緒くんは手を怪我してしまったので、未だに強く握手ができないとか。

未緒：（笑）。けど、ギターは前と変わらずに弾けるので平気ですよ。

──まぁ、笑って話せているので一安心。で、話を戻すけど、「heart」はそういう想いの元に生まれた、大事な曲だと。

いっち：クアトロワンマンで初披露したんですけど、改めて、俺はキャンゼルが好きなんだなって思いましたね。その瞬間、泣きそうになりましたし。

──今までの曲の中で、最もメッセージ性が強いしね。

未緒：でも、出来たのはだいぶ前で、しかも趣味程度に作った曲だったんです。そのときはバラードを作ってみようかなって軽い感じで、趣味だから時間とかも気にしないで、とりあえずやっちゃえって気持ちだったんですね。

いっち：で、7分。

未緒：そうね（笑）。それで、ピアノとヴォーカルだけのセクションとか入れて感動的なアプローチを追求していきたいなと思って仕上げていったんです。そこからメンバーに聴かせたんですけど、聴かせての第一声が、〝あーあーあー、なるほどぉ～〟って。

いっち：それ、俺のことでしょ（笑）。

ゆきみ：けど、聴かせてもらったときは、ワンマン限定の曲としか思っていなくて。

未緒：メンバー全員、特にピンときてなかったよね。

いっち：う～ん。けど、イントロのピアノのところとか、俺の好きな感じだなって思ったけどね。

──でも、そのときはまだ、特別歌いたいなとは思わなかったんでしょ？

いっち：正直、見えなかったんですよね。

ハク：俺は、ここにどんな歌詞が乗るんだろうって思いましたね。

未緒：結局、歌詞が完成したのはレコーディングの直前で。

──それじゃあ、曲の全体像は見えないわ。

未緒：ほんと、ギリギリまで迷ってたんです。単品で聴いて曲のストーリー性が見える歌詞にするかどうしようか。そうですね、例えば「青色LOVERS LINE」のように、それだけで完結するものにするか、キャンゼルの流れを組んだ上で、自分の思っていることを書いていこうか、どっちにした方がグッとくる曲になるのかって迷ったんです。でも、クアトロっていう大きいハコで披露することが完全に決まったとき、お客さんに向けてグッとくる歌詞を乗せようって思ったんです。でも、結果的には、独り言みたいな歌詞になってしまったんですけど（苦笑）。

──いや、そんなことないよ。だってこれ、メンバー全員が日々思っていることなんじゃない？

ゆきみ：そうですね、まさに。

未緒：ただ、この長さを削ろうとは思わなかったんですよ。むしろ、増やそうかなぐらいだったので。

──聴きやすさを考えるならば3分程度の尺に収めなくてはいけないんだろうけど、これは長くても違和感がなくて。そこは歌詞のおかげでもあるのかなって。

いっち：それはかなりあると思います。そのおかげで、これだけ深くて濃いものになっているので。だからこそ、一言も間違えることなく言えるぐらい、しっかりと読み込みました。

──じゃあ、せっかくだから、何も見ずに言っていただきましょうか。

いっち：えっ、今ですか!? いや、ここでそんな時間を使うわけには！ ねぇ。

ゆきみ：まぁ、言ったところで、ばっさりとカットだろうけど（笑）。

──おぉ、よくお分かりで（笑）。

いっち：そんな！ でも、これは本当に

蝴蝶网
hudie.com

心を込めて

2月に行われたクアトロでのワンマンライヴ。そこで彼らは、「heart」を初披露した。メインコンポーザーの椎名未緒が、今の自分たちを重ねるようにして書いたという楽曲。それだけに、7分を超える超大作になったのだが、決して長いと感じさせることのないバラードに仕上がった。彼らの想い、是非とも、5月1日、歌詞と照らし合わせてじっくりと聴いてもらいたい。

グッときましたね。自分にも重なるところはすごくあったし。何ヵ所かあるんですけど、特に【「夢は叶わないもの」なんだって でも何一つ諦めることは出来なくて】や、【〝望まぬ終わり〟を迎えた友人たちの背中見つめ思った「あと何度僕は此処に立っていられるんだろう?」】とかは、キますね。バンドを始める前とか、今やっていることとか照らし合わせると、そうそうって思うことが多くて。そこを考えながら、最後の方に出てくる【今日が最後にならないように 僕はいつだって願い歌っているんだよ】ってところを、気持ちを込めながら歌っていきましたね。多分これは、俺だけじゃなく、メンバーみんなが共感するところなんでしょうけど。

ルリ：でも、最初は歌詞がない状態で聴いたので、綺麗な曲だなとしか思わなかったんですよ。さっき話に出たように、そこまでピンとはきていなくて。でも、レコーディングを迎えて、いっちくんが歌っている様子を見たときに、歌詞がハッキリと聴き取れたっていうのもあって、すごくグッときたんです。歌詞と曲がリンクすることによって、楽曲っていうのは素晴らしいものになるんだなって。当たり前のことかもしれないけど、そこはいつも以上に実感しましたね。

——いつも、そこまで歌詞のことを考えて演奏するわけではないものね。

ルリ：そうですね、そこまでは。激しい曲ともなれば尚更。でも、こうしたバラード曲だと、歌詞ってすごくクリアに聴こえるんですよ。そこで、演奏にもいつも以上の思いが出てくるのかなって思います。それだけに、ごちゃごちゃ弾く必要もないかなって思ったし。それで、今回は、コードのストロークぐらいでしか弾いていないんです。極力、シンセやヴォーカルの邪魔をせずということを意識していきましたね。

未緒：予想以上にシンプルな音がきたなって思いましたけど（笑）。

——雰囲気重視ですから。

ルリ：そうですね（笑）。

ハク：でも、逆に、このぐらいの方が良かったと思いますよ。俺も、曲のメッセージを大事にしたいと思ったので、シンプルにしていったし。何か、最初に聴いたときは未緒さんらしい壮大なバラードだなって感じたんですけど、歌詞と照らし合わせてみて、これは絶対に5人で合わせたいって思ったんです。

ゆきみ：そうそう。それで、楽器陣はとにかくシンプルにって。じゃないと、曲を殺しちゃうって思ったんですよね。なので、俺も超シンプルにしました。

——箇所によっては、耳を澄まさないと聴こえないぐらいだしね。

ゆきみ：その分、めっちゃ、魂は込めました。

ハク：ただ、俺たち、レコーディングの段階では歌詞を見ていなかったんですよ。で、その後にちゃんと見たんですけど、共感できることだらけで。それで、ライヴでやりたいって強く思ったんですよね。

——いずれ、生ピアノで演奏してほしいな。

未緒：今回は僕が打ち込んでしまったんですけど、いずれ、ゆきみくんに。ねっ。

ゆきみ：あ、でも、弾きたいって思ったよ。けど、そうするとドラムがなぁ。

——両方同時にはできないしね。

ゆきみ：しかも、これ、ドラムを打ち込みにすると雰囲気が出ないと思うんです。ついでに、1人だとこのピアノの音は再現できないし。だから、そこは難しいところなんですよね（笑）。

——でも、これはほんと、ライヴで栄える1曲になっているよ。

未緒：自分としては、クアトロで披露したとき不安でもあったんですよ。楽器陣がそこまで主張していない分、ヴィジュアル系のバンドがやるほどのバラードじゃないのかなって思ったりして。それで、お客さんの反応も気にしてしまって。でも、蓋を開けてみたら、そこまでの違和感もなく。やって良かったなって思いましたね。

——それだけに、これは是非、歌詞と照らし合わせて聴いてもらいたいよね。

いっち：本当に。

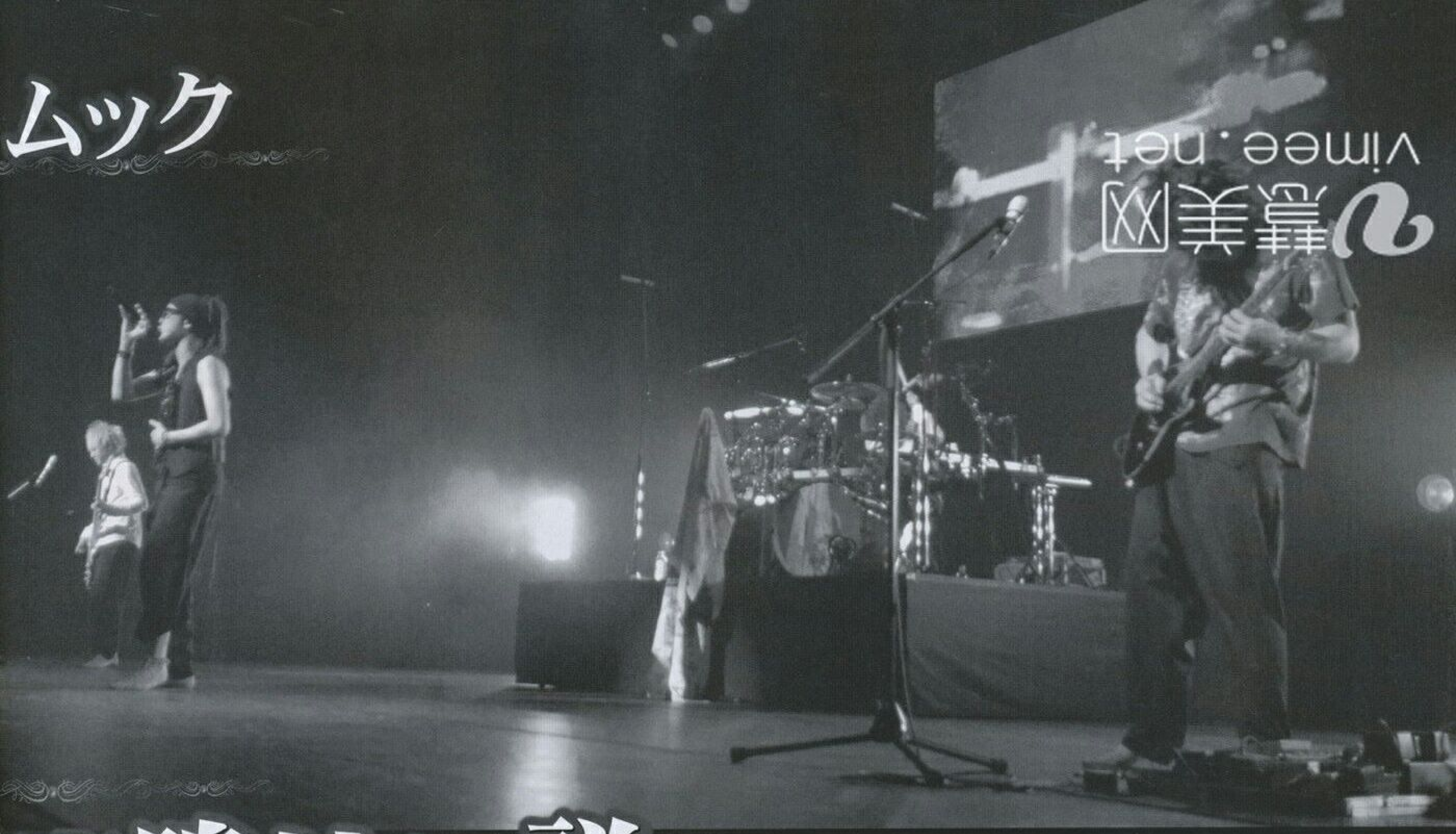
——みんなの思いが溢れているだけに。

未緒：胸の内というか、心を込めてという気持ちを込めて、「heart」というタイトルを付けたので。

いっち：メンバーが共感したように、聴いてくれた人全員に感動してもらえる曲になればいいなと思います。

vimee.net

(問) 〒101-8797東京都千代田区神田淡路町2-12
神田郵便局留 ｷｬﾝｾﾞﾙ宛 http://www.canzel.net/



vimee.net

鹿鳴館伝説
~LeGEND OF ROCK MAY KAN~
DAY1:2010.3.19 JCB HALL

hudie.com

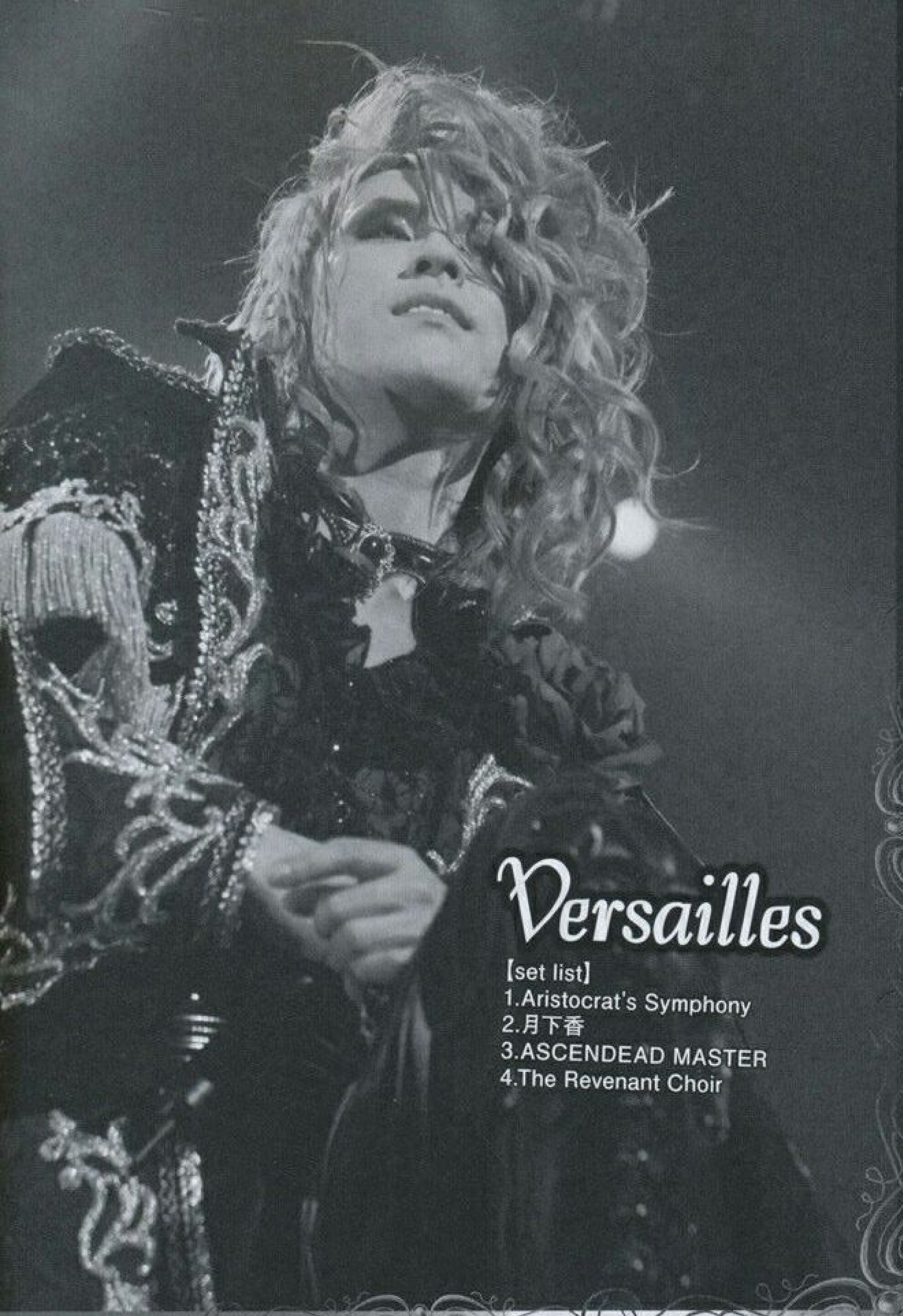
蝴蝶网
hudie.com

“ロックの登竜門” の30周年を祝う、一大イベント開催!!!

伝説は今も続いてる。ロックの聖地として、長きに渡りシーンの中で強い存在感を放ってきた目黒鹿鳴館の
30th Anniversaryに際し、このたびそうそうたるメンツを揃えたイベント
［鹿鳴館伝説～LEGEND OF ROCK MAY KAN～］が、3月19日・20日の2日間を通じてJCBホールにて執り行われたのだ。
目黒鹿鳴館にまつわる伝説は、これからも絶対に色褪せることはない。

Photography:YUKI KUROYANAGI
Report:YUKI SUGIE

慧美网
vimee.net

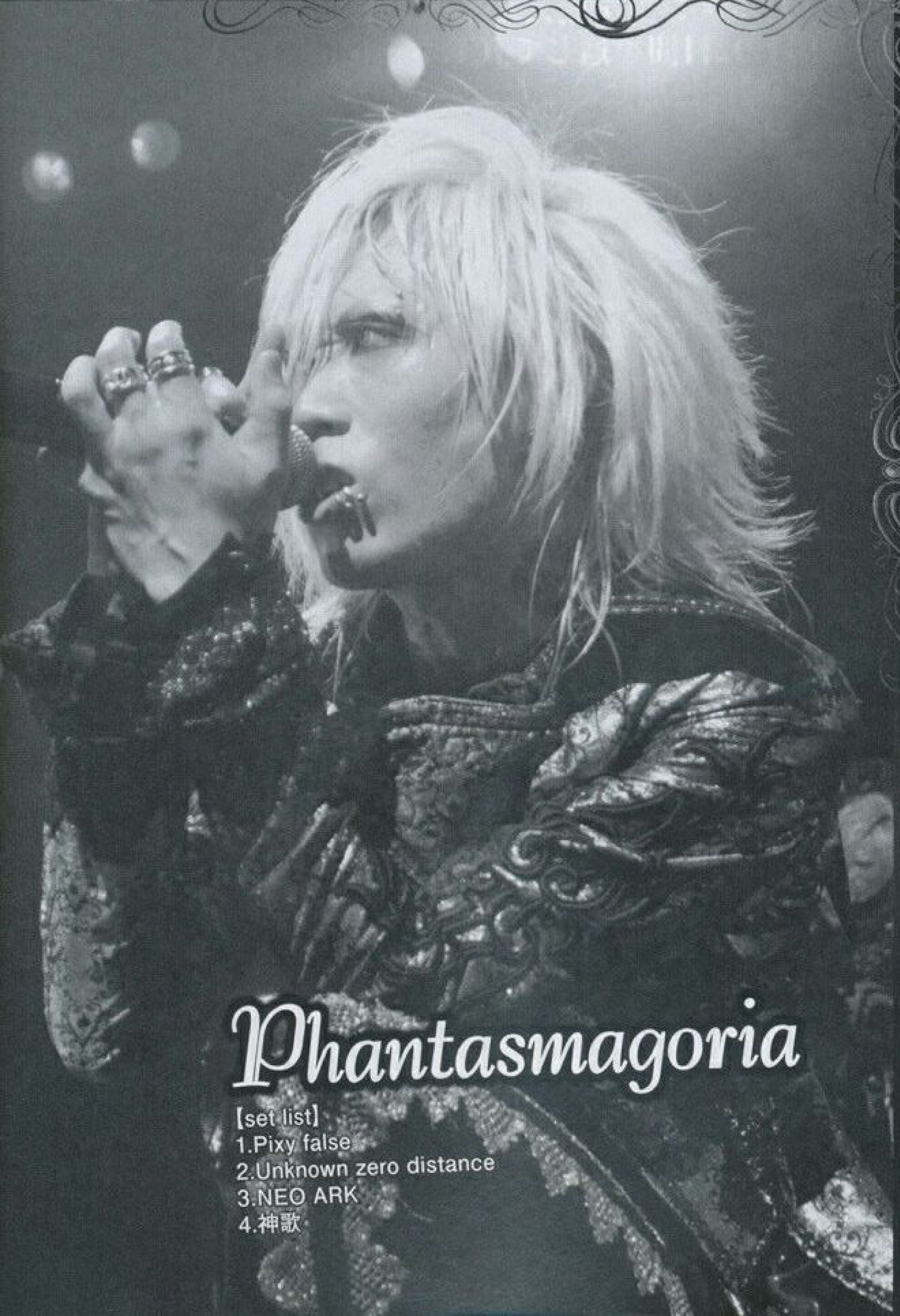


Versailles

【set list】
1.Aristocrat's Symphony
2.月下香
3.ASCENDEAD MASTER
4.The Revenant Choir

ムック

【set list】
1.アカ
2.咆哮
3.終止符
4.ファズ
5.楽園
6.オルゴォル
7.蘭鋳
8.フリージア



Phantasmagoria

【set list】
1.Pixy false
2.Unknown zero distance
3.NEO ARK
4.神歌

メリー

【set list】
1.Friction XXXX
2.Midnight Shangrilla
3.演説
4.humanfarm
5.不均衡キネマ
6.ジャパニーズモダニスト
7.バイオレットハレンチ

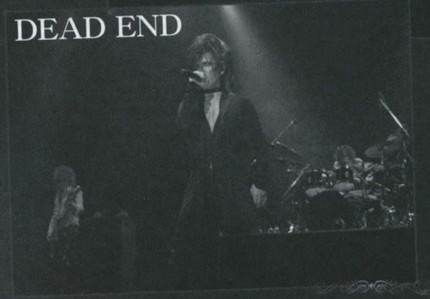
DAY2:2010.3.20 JCB HALL

蝴蝶网
hudie.com

D'ERLANGER　VA

44MAGNUM

SESSION



DEAD END

通称〝ロクメー〟。東京・目黒駅近くに所在する目黒鹿鳴館は、これまで数知れないほどたくさんのバンドを輩出してきたことで知られる、老舗ライヴハウスだ。現在本誌にて活躍しているバンドたちも、一度は鹿鳴館への出演経験があるという者が、大半を占めるのではないかと思う。

そんな、ロックの聖地とも言える目黒鹿鳴館の30th Anniversaryを祝う場として、水道橋にあるJCBホールにて、「鹿鳴館伝説~LEGEND OF ROCK MAY KAN~」と題された記念イベントが2日間に渡って行なわれた。本来であれば、本公演は鹿鳴館その場において行なわれることが理想的だと言えるが、さすがに定員250名のキャパシティでは、どうしても手狭であることが否めない。

何しろ、ここに参加したのはいずれも鹿鳴館で〝育ってきた〟バンドたちで、今となってはどこも動員力のあるアーティストたちばかり。というわけで、今回は敢えて大量キャパを誇るJCBホールの場を借り、まずは1日目に若手勢、さらに2日目には大御所勢のバンドらが、ロクメーの慶事を祝うために集結することとなった。本誌においては、中でもその1日目の模様をクローズアップしてお伝えすることとしようと思う。

大いなる伝説の序章を飾るべく、この夜まず最初に舞台上へと現れたのは、メリーだった。楽器隊メンバーは黒スーツを基調としたクールでスタイリッシュな出で立ちであったものの、フロントマン・ガラだけは、髪を逆立てたモヒカン調のパンキッシュなヘアスタイルにて登場！ お馴染みの学校机にひょいと飛び乗ると、観衆に噛みつきかかるような勢いで「Friction XXXX」を歌い始める。

ここからの流れはまさに怒濤の勢いで、ベーシスト・テツの躍動感溢れるプレイが主張していた「Midnight Shangrilla」や、結生がフライングV、健一がSGにギターを持ち替え、ことさら攻めの姿勢をみせた「ジャパニーズモダニスト」と、飛ばしに飛ばした内容だ。イベントであるが故、演奏したのはたった数曲だったにも関わらず、あれだけキマっていたはずのガラの髪は程なくグシャグシャに崩壊し、もはやセットしてあった痕跡さえうかがえない。

さらに、駄目押し的に放たれた「バイオレットハレンチ」では、オールスタンディングの観客フロアから複数のダイバーも出現。しょっぱなから場内が渾沌の様相をみせる中、最後にネロが〝鹿鳴館30周年、万歳！〟と叫ぶと、彼らは旋風のようにその場を去った。5月8日に行なわれる赤坂ブリッツでのワンマン「Merry or Die ~××××~」でも、彼らはきっと鮮烈なステージングで我々を魅了してくれるに違いない。

ところで、今イベント開催にあたっては、出演順が事前公表されることはなかったのだが、それでも次に誰が出て来るかはすぐ明白となった。ドラムセットや、アンプ類にあしらわれた深紅の薔薇たち…。すなわち、それはVersaillesの来臨を意味する。

ドラマティックメタルの概念に、耽美的思想と、高貴で華やかなフレグランスをフュージョンさせた「Aristocrat's Symphony」を奏で始めた彼らは、今日も今日とて優雅で美しい。シーンきっての技巧派ギタリスト・HIZAKIの流麗なプレイも、相変わらず冴えている。〝ボンジュール、ハニー！ ようこそ我が城へ。みんな、もっととろけていいんだよ〟城主・KAMIJOの甘い台詞を受け、歓声に沸く場内。その他にもこの日のMCでは、鹿鳴館にちなんだ話としてドラマー・YUKIは鹿鳴館から紹介され加入した、という事も触れられていたのだが縁とは実に奇なるものだ。

現在進行中のツアーを経たのち、4月30日にはワンマン・ライヴとして再びこのJCBホールへと舞い戻り、「"Method of Inheritance"-JUBILEE-」を行なうVersailles。彼らの新たなるメソッド、それが確立される日も近い。

そうして日々成長を続けて行くバンドがいる一方で、惜しまれながらもシーンを去って行くバンドがいるのもまた、世の無常なる事実であったりする。昨年末、今春までの限定復活と明言しながら再始動したPhantasmagoriaも、まさにそんなバンドのひとつだ。彼らにとって東京でのラスト・ライヴとなった今回、ダンサブルな「Pixy false」にあわせてオーディエンスが楽しそうに踊っている様をみても、泣く子も黙る「神歌」で勦が先導者として場内を盛り上げている様をみても、彼らがいなくなってしまうのだという実感はあまり湧いて来なかったが、今はメンバー5人がそれぞれに新たな伝説を綴りだしてくれることを祈らずにいられない。

なお、リーダーのKISAKIは新バンド・凛を始動させ、5月23日にはなんばハッチで行なわれる「Over the Edge 10@OSAKA」に初ライヴ参加することが決定しているそうだ。

さて。目黒鹿鳴館30年の歴史上においても、日本武道館クラスまでステップアップしたバンドとなると、その数はある程度限られて来るが、その中でも昨今の急先鋒といえば、この日のトリを務めたムックにほかならない。

懐かしい想い出を振り返るかの如く、1曲目に選曲されていたのが「アカ」（99年に行なわれた「心霊体験バスツアーVol.1」の全会場＝鹿鳴館でも無料配布されたデモテープ収録曲でもある）だったのは、彼らなりの鹿鳴館への感謝の気持ちの顕れとも言えそうだ。

一方、近年のライヴにおける定番曲の「咆哮」や「ファズ」などでは、今やグローバルスケールのアーティストとなったムックの圧倒的ポテンシャルをいかんなく発揮してみせた。途中には、〝ボンジュール、ハニー！ ムックです。さっきこれ、「使ってもいいですか？」ってお許しをもらいました（笑）〟などという、いつもながらにユルい逹瑯のMCも挟まれつつ、これまた懐かしさに場内から感嘆の声が上がった「オルゴォル」（彼らの初の鹿鳴館ワンマンの1曲目でもあった）を含めた計8曲を、彼らは今やシーンの必需品となりつつあるはずのお立ち台はおろか、転がし（モニター）もなしで、堂々たる演奏をしてくれたのだった。

翌日にも、DEAD END、D'ERLANGER、44MAGNUMといった御歴々がこの舞台で充実したライヴを繰り広げているが、それだけのバンドたちを輩出した鹿鳴館というハコの存在感と、その功績はこれからもシーンの中で増していくと確信する。輝ける伝説は、まだ完結してはいないのだ。

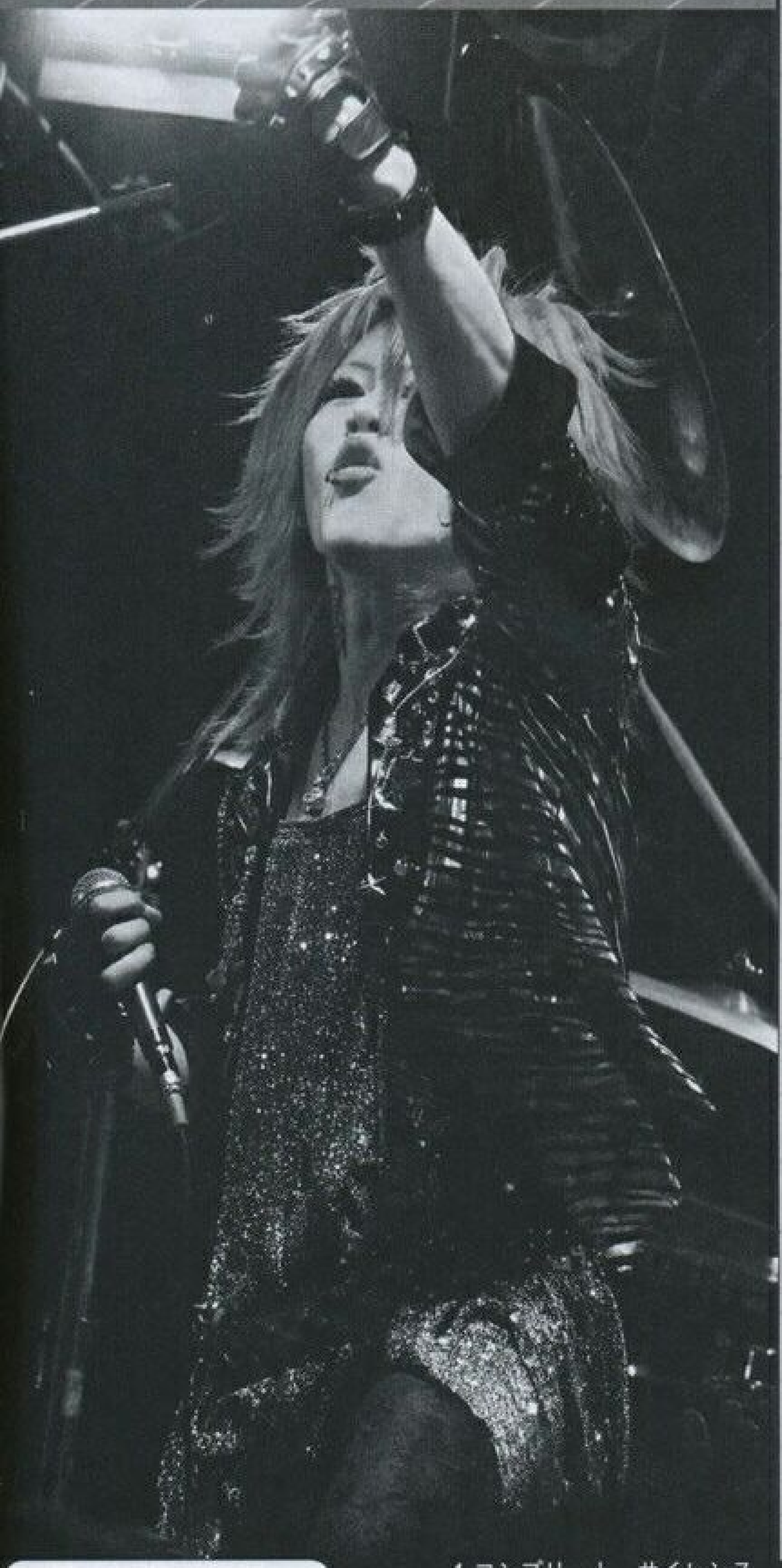
v慧美网
vimeee.net

SHOCK WAVE アポロ Vol.36

Live at 高田馬場AREA 2010.3.18

第36回目となる今回のSHOCKWAVEアポロ。出演したのは、DELUHI/PIECElang/RED universe/SLOD/TOON-FACTORY/「東京指定」/Ap(r)il/ALiBiの計8バンド。お馴染みの面々が中心とはいえ、中には新顔も登場。その日の熱いライヴの模様、さっそくお伝え致しましょう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:TOMONORI NAGASAWA



RED universe

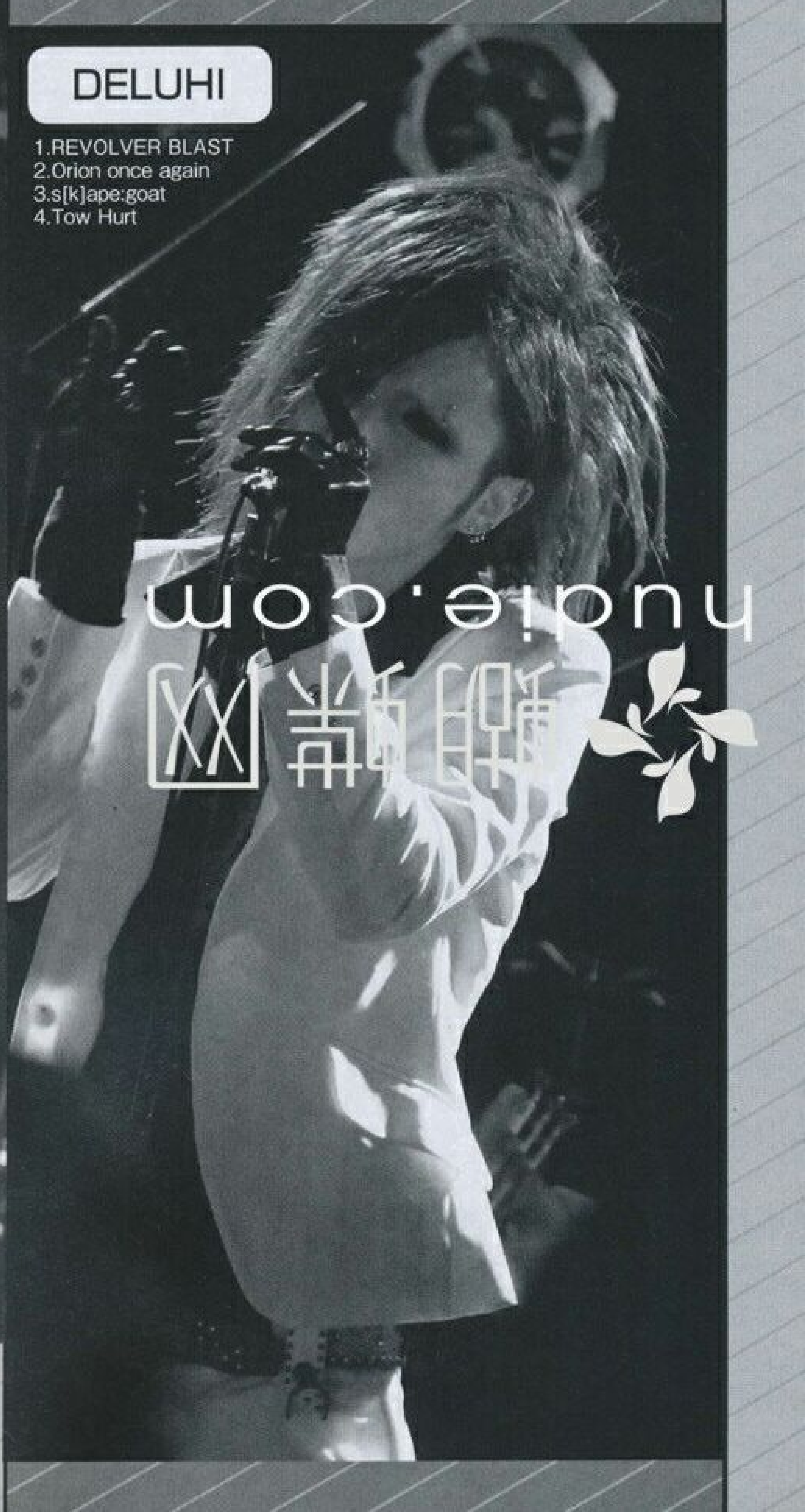
1.コンプリート　サイレンス
2.共生
3.Lover's lane
4.CODE BLUE

SLOD

1.THE INFINITY WORLD
2.Rainy day
3.SOUL BRINGER
4.The last sorrow

PIECElang

1.トコナツファンタジー
2.キズボーンダイアリー
3.オレ式はあと
4.YeeeeeeeeeLL



DELUHI

1.REVOLVER BLAST
2.Orion once again
3.s[k]ape:goat
4.Tow Hurt

この日の頭を飾ったのがDELUHI。トリでもおかしくないバンドが、いきなりの登場。しかも、身体の芯までゴツゴツ響き渡るヘヴィ・スクリーモな音の嵐を次々叩きつけてゆく。冒頭を飾った歌物エクストリーム作「REVOLVER BLAST」の衝撃を全身に浴びた時点で、身体の震えが止まらない。もちろん、武者震いするような…という意味でだ。感情を熱く揺さぶるリフ系曲「Orion once again」。ラストを飾った「Tow Hurt」まで、豪圧な弾丸にヤラれっぱなしだった。

“みんな上げ上げの準備は出来てる?”。マジカルポップな上げ系バンドPIECE-Eangらしい煽りだ。ラップの要素を加えたファンタジックなアゲ夏ソング「トコナッツファンタジー」を奏でた時点で、会場中にスペクトラム&ディスコな空気が満ちてゆく。このシーンにスタイルの是非はない。だからこそ、彼らのような暖色系ポップ・バンドも花咲けだ。会場中の人たちが歌に合わせ飛び跳ねていたよう、誰もが素直にパーティを楽しんでいた。

RED universeが「コンプリート サイレンス」の演奏を通し与えてきたのは、ワイルドでタフネス&ダーティサイドなロック・スタイルだった。でも舞台上から放たれる歌には、聴き手の心に哀惜な想い差し込む強烈な存在感が生きていた。どんな激しい音の渦の中でさえも、歌が一番胸に届いてゆく。それは表現するうえで、何よりも大切なこと。[illegible]、その絶対的な武器があるからこそ、RED universeの楽曲たちが衝動とともに感情へ残るのだろう。

「THE INFINITY WORLD」を通し描いた、「デジタルと生音の融合/ダンサブルかつスクエアなビートとラウド音との重なり合い。互いの特徴を上手く昇華しているからこそ、SLODの楽曲が存在感放ちながら胸に響いてゆく。ジャジーなピアノの旋律や4ビート・スタイルも取り入れた、「Rainy day」。和の要素取り込んだ高揚激烈歌、さらにはJ-ROCK風な歌物作まで。万華鏡のよう多彩な表情を魅せゆく、その柔軟な姿に魅了された気分。

とてもクールなスタイルだ。でも、そのビートには、身体が弾みゆく躍動性がしっかり詰め込まれている。TOON-FACTORYが「イノセント」を通し描き出したクールでグルーヴィな姿を観たとき、彼らが新たな地平へ大きく一歩踏み出した印象を覚えた。前半部に映し出したダウナー&スケール感あふれた姿。後半戦へは、熱狂的な刺激与えゆく楽曲をラインナップ。全体を俯瞰したときに抱いた、器深い世界観を映し出した彼等の姿。TOON-FACTORYは今、確実に進化の過程にいる。

「ALBERT.」を通し、いきなり熱狂の風景を描きあげた東京指定。煽り曲「絶望addicted」など、ライヴハウスという空間で一体化を作るに相応しい、ある種V系鉄板スタイルを、説得力のある演奏力を通し、彼らは伝えていた。スクラッチを多様、エレクトロな要素もスパイスした「DJ PLAYER」。ラップを駆使し煽ってゆくディスコ・ロック「V.B.B feat LUXAM」など、後半にはジャンルをという枠を超えた音楽性を提示。むしろその姿勢こそが、彼らの絶対的な個性だ。

狭い空間飛び出す歌「Switch」を通し、一気に燦々とした太陽の熱を感じる開放的な舞台へ連れていったのが、Ap(r)il。一転「accella」では、暗黒ダウナーな世界へ引きずり込んでゆく。でも、けっして暗鬱にならないのは、彼ら自身が心開放的なヤンチャ坊主たちだから。彼らは音の魔法生み出すマジカルな空気を、みずから無邪気に楽しんでいる。ノリ良い「JUMPER」など、全員の気持ちが一つになった音からは、“楽しみたい”というエナジーが沸き出ている。その魂へヤラれたね。

ALiBiのライヴは、「キラ☆メキ未来」のPVからスタート。幕上へ映した映像が終わった同時に、演奏はリアルな「キラ☆メキ未来」へ。その演出が、とても心憎いじゃない。今でも純粋無垢な少年のような笑顔で唄い、演奏してゆくメンバーたち。“チャチャ～!”、気持ちを晴れやかな想いに染め上げてゆくコール&レスポンス。この日のライヴでは、ヴォーカル・カ[illegible]のバースデーを祝うサプライズも登場。全編通し、無邪気な仕種のもと、会場中をお祭り騒ぎに導いてゆく、ご機嫌なステージだった。

Ap(r)il

1.switch
2.accella
3.JUMPER
4.Mixer

1.イノセント
2.Dive to heaven
3.DEVIL'S INVITATION
4.Sweet&Dispain

TOON-FACTORY

ALiBi

1.キラ☆メキ未来
2.メンバーコール
3.CHANGE
4.Яock The BE@T

「東京指定」

1.ALBERT.
2.絶望addicted
3. DJ PLAYER
4.V.B.B feat.LUXAM
5.Scream!!

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

SHOXX VOICE!!

「東京指定」

One way〜星に願いを〜 feat.LUXAM

先日リリースされたPV付シングル「DJ PLAYER」も好調な「東京指定」が、早くも新作を発表する！　2ndマキシ「東京New【YO!!】rk」でフィーチャリングしたLUXAMと再タッグを組んだ渾身のバラード作、「One way〜星に願いを〜feat. LUXAM」は、彼らの意欲作といえよう。5月31日にはウエストワンマンも決定しているだけに、気合い充分だ。(Gt.Renはインタヴュー欠席です)

Interview:ERI MIZUTANI

——「One way〜星に願いを〜」で共演しているLUXAMって、確か、前にも一度、コラボしていたよね？

23：はい、「V.B.B」で（2ndマキシ「東京New【YO!!】rk」収録曲）。あのとき、僕らと同世代のヒップホップグループの方と共演するということに面白さを感じたんですよね。それで、今回また、コラボすることになったんです。

渋谷：今回、DJ's-Kくんに加え、BABEちゃんという女性ヴォーカルも参加してくれました。

——じゃあ、どんなものにしたいかは、そのときに決まったと。

23：いや、そこは前々から案があったんです。もとを正すと、シングルを出すっていうのが決まったとき、色々な「東京指定」を見せていきたいと思ったんですよね。せっかく2ヶ月連続でのリリースとなるわけだし、だったら、〝大人の僕ら〟と、〝やんちゃな僕ら〟、その両面を出していきたいなって。そこで、第1弾としてリリースした「DJ PLAYER」では、やんちゃな僕らを。そして、「One way〜星に願いを〜」では、ひとつ大人な僕らを見せようと思ったんです。

——これ、Renさんが曲を持ってきたとき、みんなで思わずガッツポーズだったんじゃない？

23：よしっ、きた!って思いましたね。聴いた瞬間、良い曲だなって。

爛丸：R&Bに抵抗もなかったしね。

——そこがさすがだよね。普通、このシーンでR&Bみたいな新しいことに挑戦するのって勇気がいることだったりするし。

渋谷：でも、敢えてそこに挑戦するのが「東京指定」なんですよ。だから、恐怖心は全くといっていいほどなかったです。

——楽器陣としては？

23：これ、Renの弾いてるアコギ以外、他の音は全部打ち込みじゃないですか。そこはもう、僕とランチューは口出しせず、渋谷とRenに任せていったんです。逆に、僕らの音はこの曲では必要ないかなって。

爛丸：そうだね、それこそ、任せておけば良いものが絶対出来るだろうって思ったしね。

——でも、譲れない部分はあったでしょ？

爛丸：自分の中で譲れないことって、バンド全体で言えることだと思うんです。だから、個人的に〝これっ!〟てことは、ないですね。

渋谷：でも、僕としては、もっとうまく歌えたかなって思ったりしたんですよね。

——そこは、LUXAMに触発されて？

渋谷：それもあります。

23：でも、僕らからは、渋谷に向けてそこまでのアドバイスとかはしなかったんですよ。強いて言うなら〝レコーディングの前日にお酒飲まないでね〟ぐらい。ほら、彼、前日が成人式だったんで。

——おー、そっか。渋谷くんも遂にアルコール解禁と。

渋谷：はい。でも、飲みませんでしたけどね。

——とか言いつつ〜。

渋谷：飲んでませんよー、レコーディングに影響したら困りますもん（笑）。けど、僕が成人したことで、さっきも言った、ひとつ大人の「東京指定」っていうものが、よりハッキリと見せられる歌い方が出来たのかなとは思います。今までよりも自分らしさが出たと思うし。

——詞も表現方法が変わってきたよね。

渋谷：ほんとですか!「One way〜星に願いを〜」では、子供っぽさが出ないようにってことに気を付けながら書いていったんです。基本的に応援ソングなんですけど、自分がフワフワしていたときのことを思い出しながら、強くなれ、というメッセージを込めて書き上げました。

——力強さがあるからこそ、響いてくるものがあったよ。そこはまた、ライヴで見ると殊更なんだろうけど。

渋谷：ですね。

——そして、「DJ PLAYER」に引き続き、今回もPVが収録されているとのことだけど。

爛丸：今回も、さすがは渋プロ（↑監修／渋谷）な仕上りですよ。

23：渋Pって呼んであげて下さい。

——（笑）。また、LUXAMも映像に絡んでくるっていうのが曲の世界観を濃くしているなって感じたよ。ただねぇ、残念なのが、肝心のバンドメンバーが揃いも揃って、やたら寒そうっていう。

一同：あははははは（爆笑）。

渋谷：だって、極寒の中での撮影だったんですもん（笑）。

爛丸：でも、渋谷くんはすごいなって思いましたよ。彼のシーンって、今回圧倒的に多いじゃないですか。それでも顔色ひとつ変えずに歩いてましたからね（笑）。
23：その間、僕は、暖を取るために発電器に近付いてました。
——（笑）。そういえばこれ、全編、私服なんだってね。
渋谷：衣裳で出てしまうと、曲のイメージが壊れてしまうかなって思ったんですよね。
爛丸：だから、全員、メイクもしていないんです。
——本当に、歌を届けたいという想いが強かったんだね。
23：それで、こうしてありのままの姿で撮ることになったんです。
——なるほど。それにしても、これだけいいものが出来上がったのだから、また次を考えてもいいんじゃないかなって思ってしまったんだけど。
23：そこはどうですかね～。フィーチャリングに関しては、期待させるような、させないような。
渋谷：どっち（笑）。でも、Ｒｅｎくんは自画自賛でしたよ。"やっぱ俺、最高だ"って言ってたし。
爛丸：あー、言ってた、言ってた（笑）。とりあえず、ＬＵＸＡＭとは、今後もライヴを通して絡んでいきたいなとは思っています。
——もう片方の「FRONTIER」は、「One way～星に願いを～」とは打って変わって、パワフルな楽曲になっているけど。
23：これはですね、カップリング扱いって感じで作ったわけではないんですよ。Ｒｅｎくん曰く、今の「東京指定」らしさを出したとのことなので。そのおかげで、らしさは残しつつ、キャッチーなところが全開で出ている楽曲になったのではないかなと。
渋谷：でも、けっこう苦戦したよね。
——というと？
爛丸：デモを聴かせてもらったとき、サビメロが何パターンもあったんですよ。しかも、それが全部違うものだったので、どれにしようか悩んだんですよね。で、結局、明るさ重視の「DJ PLAYER」とは区別を付けたかったので、割と暗めのサビメロを選んだんです。そうしたことで、対比を付けられたかなとは思うんですけど。

渋谷

爛丸

Ren

23

慧美网 vimee.net

23：そうだね。あと、この曲の面白いところは、色々な展開が用意されていることだと思うんです。Ａメロではラップ全開、サビは、さっきも言ったように、暗さがありつつもキャッチー。そして、間奏では、語りもあって大人の雰囲気が漂っているので。
——相当、盛り沢山だよね。
23：そこが「東京指定」かなと（笑）。個人的には、ストレートに弾きながらも、サビではベースを目立たせていったんですよね。あとは、静かな部分でアルペジオ的な要素を入れてみたり。やっぱり、「One way～星に願いを～」で弾いていない分、この曲では自分らしさを出していきたかったんです。そこら辺、Ｒｅｎくんと相談しつつ作っていったんですけど、ジャッジは厳しかったですね。
爛丸："だぁめだぁ"って？
23：そうそう、そんな感じ（笑）。
爛丸：僕も、これに関してはけっこうテイク重ねました。弾いていることはそんなに複雑ではないんですけど、Ａメロ・Ｂメロ・サビと、セクションごとに音質と音程を意識して変えていったんです。Ａでは、軽くジャキジャキした感じ、Ｂでは、音程を低くして歪みを出して迫力出していったりという具合に、箇所箇所でパターンを変えていきました。
渋谷：詞では、次の時代は良い時代に、みたいなところを書いていったんですよね。でもこれも、「One way～星に願いを～」同様、自分の思っていることをそのまま出していった感じですね。
——素直な感情が出ていると思うよ。それは、2曲ともに言えることだけどね。
渋谷：どっちも、今の「東京指定」らしさを感じてもらえると思います。
23：あとは、ワンマンに向けて頑張るだけです。もちろん、今回の新曲もやろうと思っているので楽しみにしていて下さい。って、今回のワンマン、ランチューがバイオリン弾いてくれるそうです。
爛丸：やらないよ。ほら、準備期間とか足りないしさ。
——当日、楽しみにしてまーす！
爛丸：いやー、ほんと勘弁して下さい（笑）。

（問）〒150-8681渋谷区渋谷1-12-13渋谷支店留「東京指定○○宛」http://tokyo-sti.com/

Interview:TOMONORI NAGASAWA

ヴァルナ

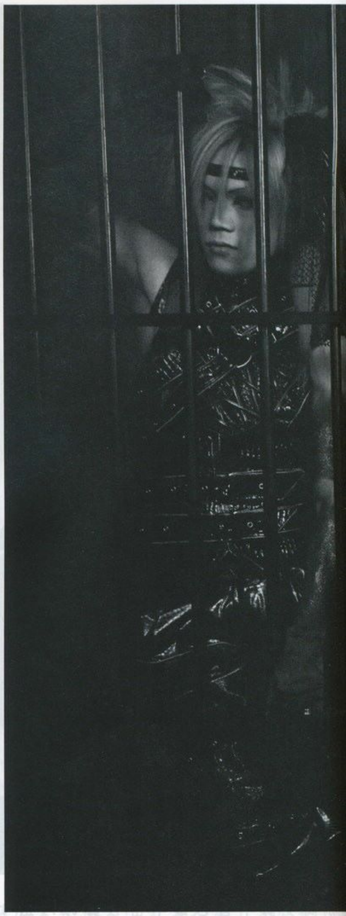
伝統を重んじ、変化を恐れず、新たな道を進む。

4月28日に、1stミニ・アルバム『Distopia』のリリースを控えているヴァルナ。5月20日には、目黒鹿鳴館を舞台に、結成一周年記念と、『Distopia』の発売を記念したワンマン・ライヴ『Welcome to Distopia』を開催する。若手バンドの中でも大きな台風的存在として注目を集めているヴァルナ。ぜひ、彼らの動きから目を離すなっ!!

——改めて、1stミニ・アルバム『Distopia』の魅力を探りたいと思います。1曲目のインスト作「Re:incarnation」を幕開けに、楽曲は「螺旋迷宮」へ突入します。

yo-ka：「Re:incarnation」と「螺旋迷宮」は、対になった楽曲として制作しました。〝輪廻〟という意味を持つ、Re:incarnation。そして『螺旋迷宮』に登場する主人公は、いくつもの時代を生きてきた人形。その人形は、持ち主が変わるたびに〝生まれては閉じ込められて〟ということを繰り返し続けてきたんです。そんな人形の輪廻を、「螺旋迷宮」では描きました。実は、『Distopia』自体が、輪廻というか、巡り巡る世界を表現している作品なんです」

——そうか、これはコンセプト作品なん



ですもんね。

yo-ka：そう。楽曲の世界観は様々なんですけど、歌詞に関しては世界観を統一して描きました。この歌を作曲したのは佳衣なんですが、彼が〝古き良きヴィジュアル系の世界観〟を、この曲に描写しました。歌詞の面でも、一番言葉遊びをしているのが、この「螺旋迷宮」じゃないかと思います。

――古き良きかぁ。確かにそうかも。

yo-ka：冒頭のブラストビートを今やるバンドは少ないですからね。

佳衣：この歌は、先にyo-kaから「螺旋迷宮」というタイトルをもらって作り始めました。この曲の面白さは、イントロ部分ではブラストビートが炸裂しつつも、楽器陣は3拍子的なリズムで弾いていること。その不思議な感じこそが、迷宮らしさを表現していると思います。

yo-ka：自分の中で作品全体を通した世界観が見えていたので、あらかじめ佳衣に曲タイトルやイメージをしっかり告げたうえで、作曲をしてもらいました。それが、結果的に抜群な世界観を持った作品に繋がりました。

佳衣：個人的に面白かったのが、先に曲名や世界観を提示されたことで、頭の中へいろんな情景が想い浮かびました。おかげで、世界観重視の作品を作るうえで、メンバーとイメージを共有してゆく重要性を、今回はすごく実感できました。収録曲の歌詞は一見、関連性が無さそうにみえて、実は繋がりがあるってことを、聴いていくと感じることができるはずです。

yo-ka：続く「アイシア」「Distopia」「ロストヘブン」って、1曲ごとで聴いてると、1つ1つ世界観は違うんです。でも、そこを深く追求していくと、すべて〝一つの存在〟として繋がっていることにも気づけるはず。例えばトップの「螺旋迷宮」は、その後に続く3曲の世界観を、端的に1曲の中へ描き表した楽曲です。

――この『Distopia』は、全体を通した世界観を味わってこそ、本当の意味での楽しさを実感できる作品なんだね。

yo-ka：そうなんです。厳密にいえば、「螺旋迷宮」の主人公は〝人形と主〟なんですが、他の3曲もすべて世界観はことなれど、どの歌にも〝神（主）〟という存在が登場しているんです。これは一例ですが、他のすべての曲に関連性があるんです。

――楽曲の軸を担っているのは佳衣さんですが、「ロストヘブン」だけはヴァルナ名義で作曲していますよね。

yo-ka：今回収録した楽曲のほとんどが、メロディアスながらもマニアックな要素がある曲です。だから最後の曲は〝親しみやすい曲にしよう〟という話になり、メロディの良さがスッと入ってゆくように、この「ロストヘブン」に関してはアレンジを全員で考えて作りました。だから、クレジットもバンド名義にしたんです。

――ミニアルバムを通してドラムビートにも、かなり多様なリズムの表情を描き出しましたよね。

KANADE：メンバーから多彩なリズム・フレーズを求められました。おかげで、どの楽曲にも鮮やかな世界観を描き出せました。特に「Distopia」はライヴで演奏した時にものすごい鮮やかな表情を描き出せる楽曲になったと思ってます。

yo-ka：以前のヴァルナは、〝押せ押せ〟なノリ重視のスタイルだったけど、音楽って、ただ暴れるだけが能じゃないと思うんですよ。このバンドに集まったメンバーはみんな、歌が好きな連中ばかりだから今のメンバーになってからは、メロディアスな歌やドラマティックな世界観を特に重要視するようになってきたんです。その意識の共有から生まれたのが、この作品なんですよ。

――SAKURAさんは、『Distopia』に対しどんな印象を抱いてます？

SAKURA：ダークな部分、ストレートな部分、癖の強さなど、ヴァルナの持つ多彩な要素がいろいろ詰め込まれた作品でもあり、全曲通してヴァルナの持つ魅力が十分伝わる作品になったと感じています。

――斬円さんは、どうですか？

斬円：今の5人だからこそ出来る作品になった。そんな感覚が強いかな。

――本作には、「アイシア」のMusic Clipも収録になっています。

yo-ka：真冬の肌縛れる環境の中、廃墟を舞台に撮影しました。この映像作品は僕らがこの楽曲を通して描きたかった世界観や感情を、見事に伝えきれた作品になったし、ここまで刺激の強い映像作品は、他では、なかなか観れない内容だとも思っています。

――ヴァルナって、本当に世界観重視のバンドですよね。

yo-ka：僕は毎回、一篇の物語を綴る感覚で歌詞を書いていますからね。もちろん、根源には自分の感情を書いてるんですけど、それをストレートに伝えるよりも、その世界に登場する人物に成りきったほうが、より表情豊かに伝わるなと思っていて。

SAKURA：yo-kaの綴る歌詞には、いつも独特な表現や世界観が描かれてゆくから、メンバーである俺ら自身も、毎回「すげ～な！」と感動しているんですよ。

斬円：ライヴ中も、気がついたら弾きながら歌っているからね。

SAKURA：楽器隊が作り上げた演奏という土台の上に、確実に歌詞とメロディと歌声で命を吹き込んでるからなぁ。

yo-ka：一番身近な存在であるメンバー自身を唸らせられるって、自分の自信にも繋がるようで嬉しいですね。

――この本誌を目にする頃には、「ジャック in ザ・ハンター～関東四神ノ葬」の真っ最中です。5月20日には、目黒鹿鳴館を舞台にした、結成一周年を祝うワンマン・ライヴ『Welcome to Distopia』が開催になります。

yo-ka：現在行っているツアーでは、毎回〝神〟になるくらいの覚悟でライヴへ望みつつ、ワンマンの日には、さらにさらに深く、『Distopia』の世界観を追求表現していくつもりです。

――このワンマンでは、当日限定CDも発売すると聞きました。

yo-ka：そうなんです。この日限定で販売する曲「聖者の盲信」は、今のヴァルナに進化してゆくきっかけになった楽曲なんです。現メンバーになり最初に作りあげたシングル作「Neo Internal」の世界観、そして今回の『Distopia』という作品を作り出すために必要な架け橋となった楽曲なんです。

――バンドにとっては、大きな転機になった楽曲だ。

yo-ka：そうなんです。激しいノリを持ちながらも、メロディアスであり、聴き終えたときに、切ない感情が心に残っていく。バンドにとってもすごく大事な楽曲だからこそ、このタイミングで形にして伝えたかったんです。

――結成一周年を記念したワンマン・ライヴ、この日はヴァルナにとって、進化を告げゆくうえで大きな分岐点となる一夜になりそうですね。

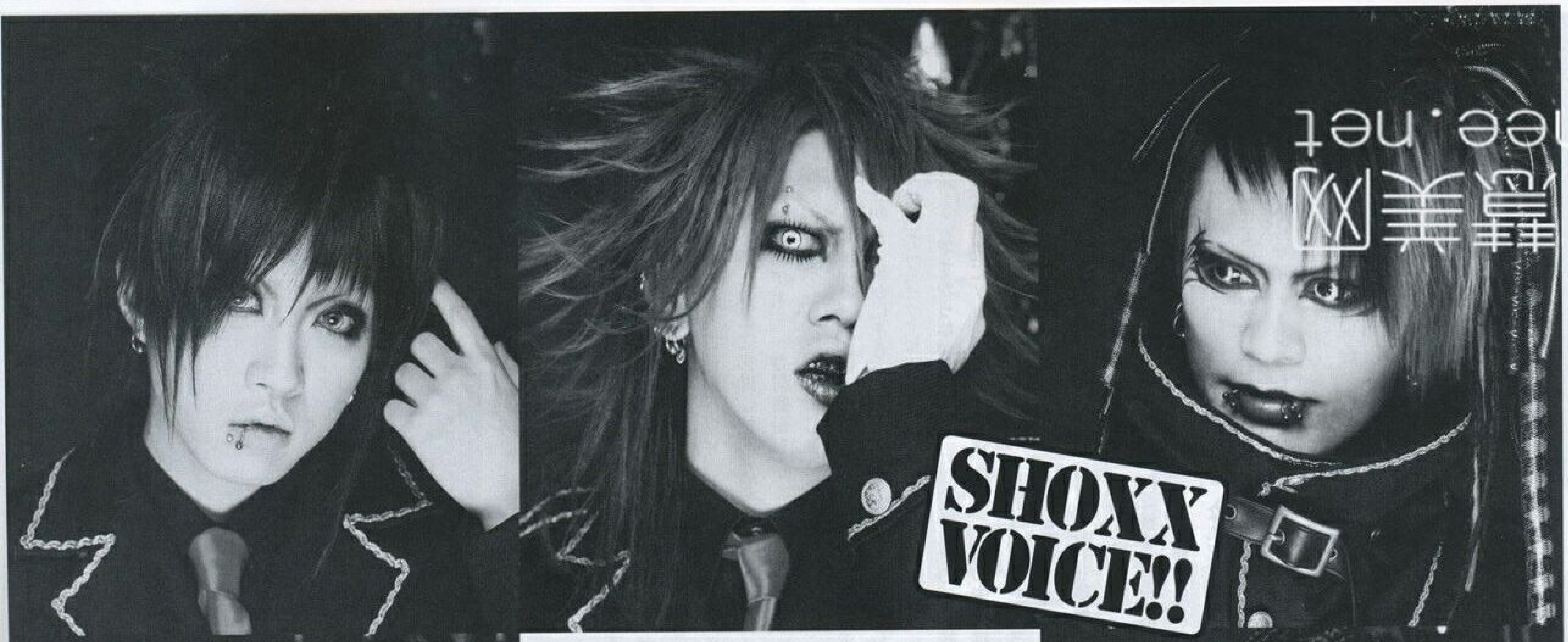
SAKURA：まるで小説を読むような感覚で楽しめる『Distopia』という作品の世界観を、このワンマン・ライヴでは存分に発揮したいと思っています。と同時に、この日は、ヴァルナのこれからの可能性を描いた姿も見せていくつもりです。

KANADE：しかも、音源とライヴでは、絶対に異なる魅力や表情も描き出せるように、その違いも生で味わって欲しいなと思ってます。

斬円：やはりヴァルナの場合、ライヴでしか表現出来ない世界観が確実にあるですよ。それをぜひ、たくさんの人たちに見てもらいたいんです。

佳衣：ライヴでは最高の景色を全員に見せますから。

nudie.com



UnsraW

GUILTY

昨年8月、見事に復活を遂げたUnsraWだったが、それからの彼らは波乱万丈だった。何故ならメンバーが脱退してしまったから。ギターとベースがいない状態での活動、それはとてつもなく過酷だったと思う。だが、今回、晴れて新生UnsraWが誕生することに。新メンバーはどのように加入したのか、そして、最新作は如何なるものなのか、その2つに焦点をあて、バンドの今に迫る！

Interview:ERI MIZUTANI

―新体制となりましたが。

勇企：ＵｎｓｒａＷは、昨年8月22日に高田馬場ＡＲＥＡでやったライヴにて復活したんですけど、その後すぐにギターの礼が脱退してしまったんです。そのときはベースもいない状態だったのでかなりの危機的状態だったんですけど、運良く、サポートをやってくれていた迅が正式メンバーになってくれまして。そして、エンジニアの方から円を紹介してもらい、今の体制になりました。

―そういった経緯が。

勇企：そういう意味では、やっと準備が整ったという感じがしますね。

―本当の意味でのＵｎｓｒａＷ復活と。ところで、新メンバーが加入するにあたって、勇企さんはかなりの条件を出したそうで。

円：普通に、"明日までに30曲覚えてきてね"とか言われましたね（笑）。でも、その方がやる気を感じられて、俺としては良かったんですけど。あとは、勇企の鋭い眼光にやられました。

勇企：そんな眼差しで見ていたっけ（笑）。まぁ、彼とは一緒にバカできるんで楽しいですよ。迅ちゃんに関しては、すごくやる気のある人だし、最初からサポートって感じではなかったですね。

迅：元々、目指している方向性っていうのが似ているっていうのもありましたしね。

勇企：彼も円と同じで、自然と溶け込んでいった感じなんです。口数は少ないけれど、とても熱い意志を持っている男ですよ。

迅：サポートをしていた頃から正式メンバーになりたいと思っていたので、今回のことはすごく嬉しかったですね。

勇企：このメンバーが集まってまだ少ししか経っていないんですけど、とても濃密な時間が過ごせていると思います。

―5人がどんな音を出すかは、ぜひ、最新作の「GUILTY」で確かめてもらうとして。

哲：って、ちゃんと聴きました？

―聴きましたっ！

勇企：（笑）。今回のミニアルバム、レコーディング自体は楽しかったんですけど、同時に、すごく過酷でした。最初と最後がSEになっているんですけど、ただのSEとして聴き流されるのは絶対に嫌で。それで、歌詞も入れて1曲として扱っているんです。

―だからこそ、他の曲も引き立っているんだよね。「SALIVA OF GOD」と「ROSE OF SORROW」では、ＵｎｓｒａＷが得意とする激しさを全面に押し出して、「GUILTY」や「WITHERING BLOOD」では、新たな領域に挑戦したというか。

迅：ＵｎｓｒａＷの世界観は壊したくなかったので、自分らしさを前に出すよりも、作者の意向を大切にしていきました。

勇企：言うならば、6曲でひとつという感じですね。

円：俺は、全てが未知だったんですけど、音作りから何から、勇企のアドバイスを元に作りあげていきました。

哲：あとは、寝ても覚めてもプリプロ。

勇企：ダメだったら容赦なく突き返していって。とにかく妥協だけはしたくなかった。タイトルと同名曲「GUILTY」なんかは特にそうでしたね。

哲：でも、その妥協のなさが説得力に繋がったんじゃないかなと。

匠：もちろん、中には激しい曲もあるんで、俺は今までにないぐらいバスドラを踏んでいきましたね。

―それはまるで、ライヴを見ているかのようなアプローチで。

匠：自分自身、全体的にノリの良い感じで録れていったのでハマることもなかったんですけど、新生ＵｎｓｒａＷとして、どの曲も今まで以上に世界観は大事にしていきました。

勇企：個々それぞれ、今回はかなりこだわりが強かったですからね。俺自身、ハードルをものすごく上げてしまいましたし。ただ、そうやってハードルを上げた分、良い作品が出来上がったんじゃないかなと。自分で言うのも何ですけど、秀作だと思います。

―今後のＵｎｓｒａＷはどうあるべきか、そこが見えた作品にもなったんじゃないかな？

勇企：そうですね、それはあります。自分がリスナーとして考えたときにも、この作品は面白いなと思うし、常に良いものを出すバンドだと思われる自信はありますね。なので、本当にこの作品は悔いはないです。

(問) 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609

Administrator

喚情レイテンシー

SHOXX VOICE!!

ジャンルの枠にとらわれることなく、自由な音楽を表現しているAdministrator(アドミニストレーター)が、素敵な新作を届けてくれた。5月12日にリリースされる「喚情レイテンシー」は、4人の個性が凝縮されていて聴きやすさバツグン。今後も、ライヴをたくさん控えているだけに、彼らの活動に期待が高まる1枚となっています!

Interview:ERI MIZUTANI

――お待ちしていましたよアドミニさん、今年一発目の音源じゃないですか。

公佑：これはこれは、明けましておめでとうございまーす。

――今更（笑）。というか、新作は面白いタイトル付けてきたけど、これ造語?

芥：もちろんです。意味はそのままなんですけど、人の心の中を出したといいますか。思っていることって、実際に行動に移すまでには時間がかかるじゃないですか。でも、溜めているうちに消えていったものはそれまでのものだと思うし、それでも消えなかったものは爆発的な力があるものだと思うんです。そこで、感情の感を、喚くって字に置き換え、〝喚くほどの情熱は遅れてやってくるものです〟ってところを表したんですよね。

公佑：……多分。

芥：多分じゃマズイから（笑）。

――今回もまた聴きやすいよね。

公佑：より、芥をフィーチャーした仕上りになっていると思います。

芥：そうなの!?

――当の本人が驚いてどうする（笑）。

公佑：ほんとですよね（笑）。けど、前作の「Heart is...」のときと比較してもヴォーカルが聴きやすくなっているのは一目瞭然だと思うんですよ。そこは僕が意識したことでもあるし。あと、アドミニといえば、「A」「Heart is...」「喚情レイテンシー」だというぐらい、この3作でバンドの土台が固められたらいいなって思ったんです。それだけに、3枚目の「喚情レイテンシー」は勝負の作品っていうか。だから、全て書き下しの曲になっているんですよ。そういう部分から考えても、取り組み方はだいぶ違いますね。

――表題曲の「喚情レイテンシー」は、相当気合いを入れて作ったんだ?

公佑：そうっすね。

卓也：今までのアドミニを尊重しつつも、新しい曲になっているよね。

公佑：そうそうそう! 僕の思うアドミニっていうのはこれだ!っていうのを出したんです。だからこれは、かなりの王道ナンバーっていうか。

龍：単純にかっこいいって思ったし、すんなりと入ってきましたね。公佑が言ったように王道であると思うんで……。

公佑：髪どうした? 何か付いてるし。

龍：何で、今それ聞く?

――いいじゃん、似合ってるよ。

龍：あ、ほんとですか、これエクステなんですけど。って、曲の話をね（笑）。この曲、変に難しいことをやろうっていうのではなく、自分の手癖の範囲で出来ることを意識して色付けしていったんです。

卓也：こうしてドラムが目立ちたがり屋なんで、ベースは出しゃばっちゃダメだなって気持ちでやっていきました。

龍：えぇ!? まるで、俺がいけないみたいじゃないか。

卓也：（笑）。でも今回、ベースとドラムを一緒に録ったことで、よりグルーヴ感が出たと思います。

――グルーヴでいうなら「subliminal」もじゃない?

卓也：そうなんですけど、再生ボタン押して驚きませんでした? まさかのハウス調ですよ（笑）。

芥：その割には、サラッと聴けるようにはなっていると思います。

公佑：これはそうだな、うちらの王道ではないかもしれないけど、聴きやすくはあるんじゃないかな。

芥：これ、詞も公佑が手掛けているんですけど、結果、そうして良かったなと。と、ここで、次回は卓也さんに歌詞書いてほしいな～とか言ってみたりして。

――そっぽ向いてるよ。

公佑：実は書き溜めているんだよな。

卓也：そ、そうそう。まぁ、それは追々。

――（笑）。で、最後の「声色」は、〝こわいろ〟ではなく、〝こえいろ〟と読むそうで。

芥：何ていうか、これは、お礼を言いたくて作った曲なんです。自分の大切な人たちに、ちゃんと〝ありがとう〟って言葉を伝えたいがために出来た曲で。

――素敵なエピソードだ。

芥：ですよね、げんなりするぐらい。

――言葉の使い方、間違ってるから……。

芥：あれ?（笑）。でも、だからこのバンドでやりたかったんです。ダサいかもしれないけど、かっこよさや素直さを感じてもらえたら嬉しいですね。

――ほんと、3作通してアドミニらしさが出せたんじゃない?

公佑：はい。何でもできるっていうのはこれからも強みにしていきたいですね。

（問）東京都新宿区高田馬場3-3-8[illegible]

vinee 蝴蝶网
hudie.com

VAJRA

CONCEALED PAIN

3rdマキシシングル「GRUDE」で、バンドの世界観を存分に提示したVAJRA。そんな彼らが、聴き手のことを考えて作ったという「CONCEALED PAIN」は、3rdとは違った魅力が詰まっている。5月28日には渋谷チェルシーホテルにてワンマンライヴがあるので、こちらもお見逃しなく。ここではもれなく、未発表音源を無料配布するとのこと。

Interview:ERI MIZUTANI

――確か、「CONCEALED PAIN」は、3rdマキシ・シングル「GRUDE」と同時に出来ていたんでしたよね？

Nobro：そうですね。今回、テーマは特にこれといって決めていないんですけど、3rdに繋がる4thと捉えてもらえればいいかなと。

如月悠里（以下：悠里）：3rdでバンド感を存分に出していった分、4thでは、聴いてくれる人のことを考えながら制作したんですよ。なので、これだけわかりやすい曲が並んでいるんです。

『L.』：今回、3曲ともに悠里さんが作曲したんですけど、こういう曲も出来るバンドになってきたんだなぁって思ってもらえると嬉しいですね。個人的には、1曲目の「ヘイト」が、特に気に入っています。

――聴いたとき、『L.』さんが好きそうな曲だなって思いましたよ。ところで、タイトルに込めた意味は？

悠里：CONCEALEDされたPAINっていう。

――そのまますぎ！

Nobro：（笑）。隠された傷、じゃないですけど、明るい曲なのに暗い歌詞になっていたり、その対比をイメージしてタイトルを付けました。

――なるほど。で、1曲目の「ヘイト」はどんな感じでできた曲なんですか？

Rohan：確かこれ、録りの1週間ぐらい前に泊まり込みで作ったよね。

悠里：強化合宿的な。俺、けっこうリズムパターンから楽曲を作ることが多いんです。それで、Rohanと相談しつつ作っていったんですけど、彼のやりたいことを入れていきましたね。そうしたらかなりヘヴィな感じの曲になってしまったので、後々変えることになったんですけど（笑）。

――悠里さんから見た、この曲の聴きどころっていうと？

悠里：自分で言うのも何ですけど、ギターソロですかね。ノイズみたいなソロを入れたいなとは前から思っていたので、良い音を録ることが出来ました。

Rohan：俺としては、ギターとユニゾンするところでシンバルの使い方に気をつけたってとこですかね。そのおかげもあって、1番、一体感が出せた曲なんじゃないかなって思いますね。

希ユキ：これは、Nobroが良いメロを付けてくれたこともあって、良い曲になったと思います。

悠里：自分の聴きどころは？

希ユキ：ベースは、普通のことしかしてないです（笑）。

Nobro：それにしても、この曲は自分の録りのときにはかなり変わっていたのでビックリしましたね。何かデモとは違うリフが入ってる！って（笑）。でも、この曲は閉塞感を表したかったので、そういったワーとした感情は必要だったかなって思います。

悠里：「剥離」は、NobroとRohanのリクエストを活かした感じですね。自分自身、そこまで得意ではなかったバラードが、この2人によって鍛えられたというか（笑）。

希ユキ：ベースラインは自分好みにしていきましたね。曲が曲だけに、そんなにごちゃごちゃ動いても良くないかなって。

『L.』：これは、ノリっていうよりフレーズにこだわったって感じなんです。上品な雰囲気に負けないように弾いていったので、自分にとっては挑戦の1曲になりました。

――挑戦といったら、Nobroさんも同じなのでは？

Nobro：これ、苦戦しましたね。スタンダードな歌モノになるかと思いきや、変なBメロが入っていたりしたんで（笑）。けど、歌が乗ることで、意外と聴きやすい楽曲になったんじゃないかなって思います。

――そこが、聴き手のことを考えたっていうところなんだろうけど。

悠里：そうですね。とは言え、不可解な感じに仕上げてしまうのがVAJRA流というか（笑）。最後の「悦楽の乱反射」に関しては、最初もっとパンキッシュな感じだったんですけど、出来上がってみたら、妖しい感じを含んだハードコアになりました。

Nobro：悠里さんのやりたいことが詰まった1曲です。そして、この作品を出した後にはワンマンライヴが控えているんですけど、そこでは未発表音源を配ろうと思っているので楽しみにしていて下さい。

（問）D.T.M Entertainment　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-1[illegible]-802

hudie.com

SHOXX INFO!!

UNDER CODE PRODUCTION

"西の皇帝"KISAKIの新たな野望！

言わずと知れた関西最大のV系プロダクション"UNDER CODE PRODUCTION"がまた何かやらかすらしい。今度はなんと総勢45名のタトゥーアーティストやダンス、またセクシー系インドアイベントとロックバンドによるライヴが合体した複合イベント「STRAIGHT LIFE」が開催される。そしてそのライヴエリアである「STUDIO PARTITA」をＫＩＳＡＫＩがプロデュースすることが決定。UNDER CODE軍団をはじめV系アーティストがぞくぞく登場する。退屈毎日にうんざりしているあなた。相当刺激的なイベントになることは間違いなし。是非チェックしてくださいね。

【イベント全体の情報】
タイトル：「STRAIGHT LIFE」
日時：2010.6.06（日）@住之江名村造船所跡地。LIVE AREA & SHOW AREAの開場は 3:00pmになりますのであらかじめご了承ください。
料金：adv¥3,000- door¥4,000-（ドリンク代別） ALL AREA OPEN13:00 CLOSE21:00
【チケット】
e＋（イープラス）/各TATTOO STUDIO/ingPLUS/TOMMY GUN ☎06-6213-7116
ライカエジソン大阪店☎06-6252-6262にて発売中。
【問い合わせ】
[INFORMATION] K-Style Tattoo ☎06-6358-0084
ingPLUS ☎090-1951-9363

【ライヴエリアの情報】
「LIVE AREA @STUDIO PARTITA」
※イベント会場は 1:00pmオープンです。随時入場可ですが、STUDIO PARTITAへの入場は3:00より整理番号順になります。
STUDIO PARTITAに限り当日混雑が予想されるため入場制限を行う場合がありますのであらかじめご了承ください。
出演：BALZAC（GUEST）／凜（KISAKI NEW BAND）／宇宙戦隊NOIZ／The ROMEO／spiv states／平成維新／InTheEnz／WHITEBLACK／VAGERKE

企画・制作K-Style Tattoo
協力ANTENNA TATTOO SUPPLIES／UNDER CODE PRODUCTION/秘密結社サキノハカ／TOMMY GUN/ライカエジソン大阪店／ingPLUS

「ループ開き-2010-」

今年もはじまるよー!!

毎年恒例となったLOOPASHの夏の名物イベント「ループ開き」が今年も開催されるぞ!! しかもLOOPASH創立10周年のアニバーサリーイヤーということで、いろいろ志向をこらして、楽しいイベントになること間違いなし。以下怒涛のスケジュールです!!

●2010/7/2（金）HEAVEN'S ROCKさいたま新都心 VJ-3【出演】・-OZ-・ν[NEU]・ALiBi・Zip.er・愛狂います。(ゲスト)・シンディケイト(ゲスト)
●2010/7/3（土）：新潟JNUK BOX【出演】・-OZ-・ν[NEU]・ALiBi・Zip.er・愛狂います。(ゲスト)・HERO（ゲスト）
●2010/7/9（金）OSAKA MUSE【出演】・-OZ-・ν[NEU]・ALiBi・Zip.er・愛狂います。(ゲスト)・HERO（ゲスト）
●2010/7/10（土）名古屋BOTTOM LINE【出演】・-OZ-・ν[NEU]・ALiBi・Zip.er・愛狂います。(ゲスト)・平成維新（ゲスト）・HERO（ゲスト）
●2010/7/18（日）渋谷O-EAST【出演】・-OZ-・ν[NEU]・ALiBi・Zip.er・凜（ゲスト）・愛狂います。(ゲスト)・平成維新（ゲスト）・他

12012

新作リリース、早くも決定!!

12月に渋谷C.C.Lemonホールにて行なわれたライヴを収録したDVD『無法地帯』が3月31日に発売され、東名阪ツアーも4月11日・渋谷AXをもって終了した12012だが、早くも次なる作品のリリースが決定した。
5月26日に発売となる10thシングル『THE PAIN OF CATASTROPHE』だ。今回も、初回盤A/Bと通常盤との3タイプ同時リリースとなり、初回盤Aには2曲＋DVDを、初回盤Bには3曲、通常盤には2曲＋インストがそれぞれ収録と、どれも手に入れたい内容になっている。
今作については次号にてインタビュー予定。お楽しみに!!
http://www.12012.jp/

大佑と黒の隠者達

リリース&ライヴ決定

4月6日に行なった初公演にて、その姿をステージで披露した大佑と黒の隠者達の、待望の初音源リリースと、第二回公演が決定した。
■6月2日 1st Single「翻弄」発売
cw/タイトル未定
BKD-001 ¥1260（tax in）
発売元：亡国の騎士団 販売元：FWD,Inc.
■大佑と黒の隠者達 第二回公演
「恍惚は雨と共に…」
6月11日・渋谷O-EAST
前売り：¥3800（D別）
4/7~the studs ONLINEにて会員先行チケット受付中
一般先行販売：4/29
一般発売：5/15
気になるバンドの詳細は、次号にて！

Gargoyle

1000本記念のライヴDVD発売!!

2009年10月10日に川崎クラブチッタにて行なわれた、Gargoyleの通算1000本記念ライヴの模様を収録したDVD『1000カーニバル』が、5月2日にリリースされる。全23曲収録という充実のボリュームで、現在ライヴ会場とHP通販ではすでに先行発売中。
また、DVD発売を記念したワンマン・ツアー"1ヶ月戦争"も敢行中。残りのスケジュールは、4月24日・名古屋ell.FITS ALL、25日・ESAKA MUSE、5月2日・渋谷O-WEST。
http://firstcell.net/gargoyle/

怪しい少年少女博物館

恒例のバースデー撮影にて、今年竜太朗氏が訪れたのが、伊豆高原にある「怪しい少年少女博物館」だ。
本誌40ページからのインタビュー内で竜太朗自身も触れているとおり、昭和テイストを基調にしながらも、ファッション、フィギア、アイドルモノなどなど、まさにモノの坩堝の博物館なのだ。
伊豆急行「伊豆高原」駅からも程近く、135号線沿いという好立地の同館。"怪しい世界"をぜひ訪れてみてはいかがだろうか。
【開館時間】9～17時 年中無休
【入館料】大人¥1000/小中学生¥600
【TEL】☎0557-51-8300
【HP】http://ayashii.pandora.nu

vimbee.net

Zip.er

きらめく春色音源リリース!!

春が最も似合うバンド（？）Zip.erが5枚目となるシングルをリリースするぞ!! タイトルは『dream catcher』。なんとも素敵なタイトルじゃーないですか!! Sakuraの創った素敵なメロディーにtowaによる超ポジティヴな歌詞がのっかって、ミドルの部分ではラップもあったり、この季節にピッタリのアッパーな仕上がりになっております。みんな、要チェックですぞ!!

<TYPE A>LPZ-007A／3曲入
【収録曲】
1.dream catcher
2.butterfly
3.R.F.T

<TYPE B>LPZ-007B／3曲入
【収録曲】
1.dream catcher
2.桜の鼓動
3.twilight fish

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

ギャロ

LOST ASH

BrainStein

ギャロ

【メンバー】ジョジョ(Vo.)/ヒカル(Gt.)/ルル(Gt.)/アンディ(Ba.)/カエデ(Dr.)
【結成日】2009年
【主な活動場所】都内近郊
【アイテム】2009年5月5日「無題」・2009年9月4日「魔王」・2009年9月4日「極彩式魔列車-GA110-」(非売品)・2010年2月24日「東京シンデレラ」
【問い合わせ】http://www.9allo.com/

BrainStein(ブレインシュタイン)

【メンバー】片岡　銀(ギン/Vo)澤村　英樹(ヒデキ/Gu)拓真(タクマ/Ba)秋田　高輔(コウスケ/Dr)知也(トモヤ/Mani)
【結成日】2009年9月某日
【主な活動場所】東京都内
【アイテム】
2010年4月28日　2ndマキシシングル『儚さにとどまれば・・・』、『Answerfor.・・・』発売予定
2010年4月28日　i-tune Music Storeにて『LIENS』、『星の子供達』配信予定。
【問い合わせ】
オフィシャルサイト:http://www.brainstein.net

LOST ASH(ロスト・アッシュ)

【メンバー】Daiki(ダイキ/Vo)Show(ショウ/Gu)Sai(サイ/Ba)Dye(ダイ/Dr)
【結成日】2010年12月22日
【主な活動場所】東京都内
【アイテム】
2010年4月14日　1stマキシシングル『superNOVA』絶賛発売中
【問い合わせ】
オフィシャルサイト: http://lostash.com/

vimee.net
hudie.com

BrainStein

これがヴィジュアル系最新モード。要チェック!!

突如としてシーンに出現したBrain Stein。2枚のマキシ・シングル『儚さにとどまれば…』『Answer for…』、さらに配信『LIENS』、『星の子供達』と、この日から一気に6曲を世の中にドロップする。5月からはゲリラ・ライヴの予定も目白押し！　粒揃いのルックス、クオリティの高い楽曲で、要チェックの新人バンド登場である。

Interview:AKEMI OHSHIMA

――まずバンド結成のいきさつを教えてください。

銀：僕は以前ベースをやってたんですけれど、3年くらい前にヴォーカルに転向することを決意して、メンバーを集めました。最初に声をかけたのが、ドラムの高輔です。

高輔：前のバンドが解散して、僕は音楽をやめて就職しようかと思ってたんです。

銀：就職を阻止しました（笑）。

高輔：銀と話をしたら、音楽魂に火がついてしまったんです。

銀：すぐに高輔が曲を作ってきてくれて、それがデビュー・シングルに入ってる『アイデンティティ』です。次が、拓真。僕は元々ベースだったので、ベーシストに対する理想が高かったんですけど、ふと『拓真ってカッコよかったよな。今何やってんだろう』と思って、ネットで調べまくりました。

拓真：最初はその前にやってたプロジェクトと並行してやっていこうと思ってたんですけど、作りたてのバンドだったんでいろいろ話してるうちに楽しくなってしまって、こっちに加入することにしました。

銀：次が、知也さん。ある日、スタジオが終わった後に拓真がipodで曲をかけてて、それがメチャクチャカッコよかったので、〝誰？〟って聞いたら、〝前のメンバー〟っていうから、すぐに会いに行きました。拓真のバイクに乗って、スタジオから直行したんです。

知也：マニピュレーターの仕事って裏方が多いので、最初、僕はアレンジとか曲提供で参加するつもりだったんです。でも、一緒にやってるうちに〝メンバーになってくれ〟という状況になってきて、必要とされているのが伝わってきたので、参加させてもらうことにしました。

銀：ギターは入れ替わりがあったり、ずいぶん捜してたんですけど、最後に英樹に会ってひらめきました。それで、作ってきたオリジナル曲を勝手にアレンジして、彼がNOといえない状況を作ったんです。

英樹：実は、僕は、その時、他のバンドをやる予定があったんですけど、他の曲とか聞かせてもらったら振り幅が広くあるし、熱心に誘ってくれたので入ることにしました。普段、孤独なんで[illegible]必要とされてるって思うと、コロッといっちゃうんですよ（笑）。

銀：それが、昨年の9月です。

――そこでバンドがスタートして、[illegible]月28日のデビュー・シングルのリリースになるわけですね？

銀：はい。2タイトル同時にリリースされるんですが、限定盤がSOLD OUT間近なので、ファンの方へのお礼と感謝の気持ち込めてi tunesで新曲2曲を配信することになりました。

――えっ、もうSOLD OUT？

銀：限定盤は、それぞれ1000枚しか作ってないんです。

――一気に6曲が世の中に登場するわけですが、Brain Steinの音楽を言葉で説明すると？

知也：まず歌を聞いてもらいたい。ロック、ミクスチャーな歌モノと捉えてもらえれば、嬉しいです。

高輔：音楽的に緻密な計算がたくさんあって、面白いと思います。

拓真：一気に6曲は出しすぎかもしれないけど、バンドの幅の広さを、知ってほしいです。

――8月には早くもワンマンが決まってますが、その前にゲリラ・ライヴをたくさんやるんですよね？

銀：たくさん出ます。3日～5日くらい前に、ホームページとメンバーのブログで発表していきます。

――最後に、目標を教えてください。

知也：いい楽曲を作って、いつか東京ドームをやりたいです！。

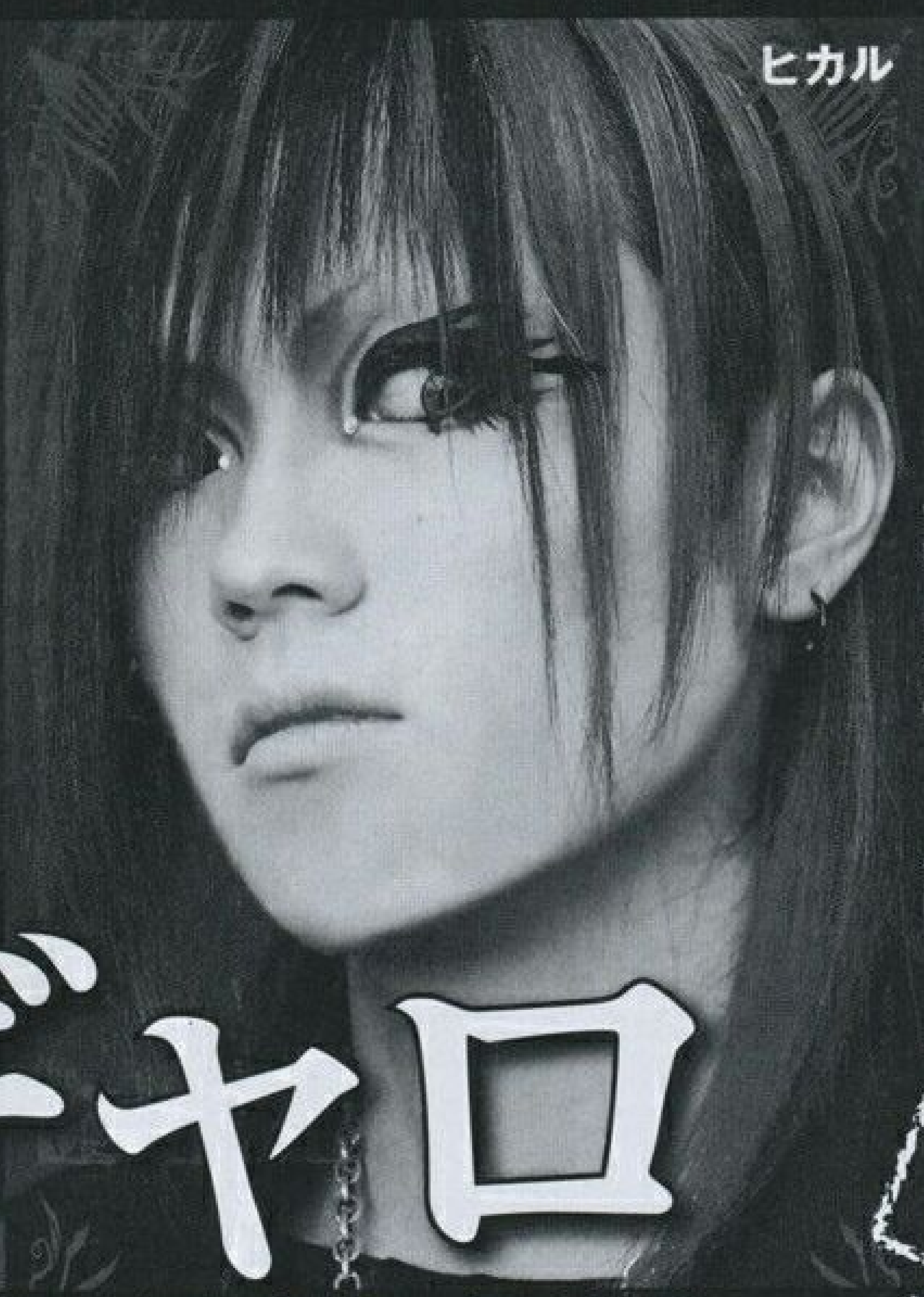
高輔：アイドル・ドラマーを目指しているので、いろんな人に聞いてもらいたい。

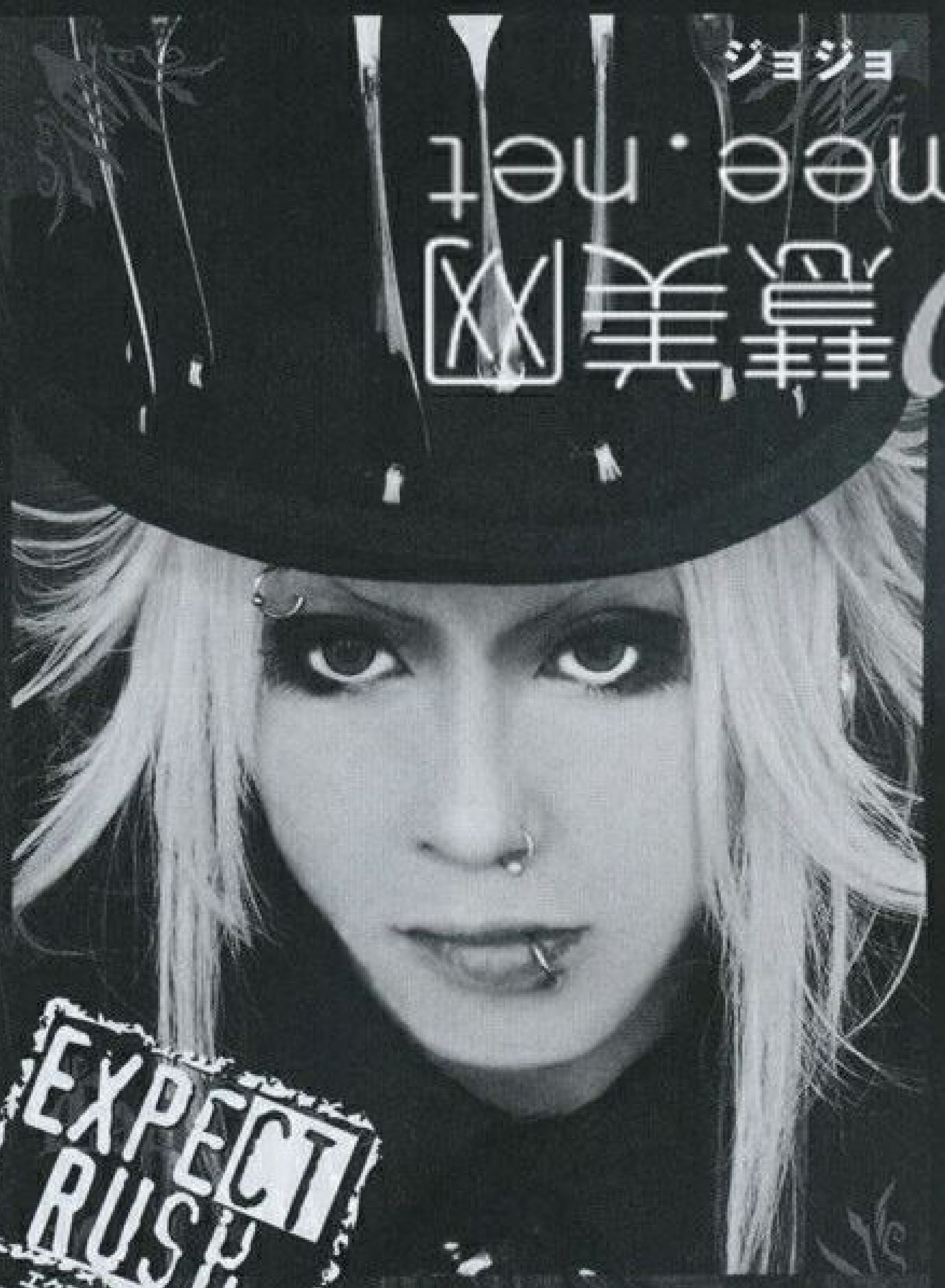
英樹：いい曲を作って、ファンの人と共有していきたいです。

拓真：応援してくれる人とともに成長していきたいですね。

銀：毎年武道館をやりたい。最初の武道館で、『俺の歌を聞け』って大声で叫んでみたいです（笑）。

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com





ギャロ

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

【異人娼婦館】!? 奇才現る!!

ゴシック・ホラー・ファンタジー要素を含んだヴィジュアルと、パンキッシュな楽曲が印象的だったTHE SKULL FUCK REVOLVERSを前身バンドとする、VO.ジョジョ、Gt.ルル、Ba.アンディ、そして、自らのバンドtest-No.ももちろんのこと、数多くのサポート経験を持つDr.カエデと、ローディー経験を積み上げたGt.ヒカルによって結成されたニューカマー、ギャロ。初登場の今回は結成の経緯から今に至るまでをじっくりと語ってもらった。

Interview:NAOKO TAKEICHI

—結成の経緯からお願いします。

ジョジョ：一昨年、THE SKULL FUCK REVOLVERSというバンドを解散して、そのバンドで一緒だったギターのルルとベースのアンディとメンバーを探していたんです。そこで、もともと知り合いだったカエデくんに声をかけ、ギャロとしての活動を開始したんです。

ヒカル：僕は後に加入したんですが、メンバーとは前からの顔見知りではあったんで。

—ジョジョ達3人の前バンドは、ヴィジュアル的に世界観のあるバンドだったよね。音は今とは違う、セックス・ピストルズを彷彿させる様なパンクテイストなモノだったり。

ジョジョ：はい。まさにそうですね。僕のルーツが、もともとセックス・ピストルズだったりするので。THE SKULL FUCK REVOLVERS以前はヴィジュアルシーンとは違う畑でバンドをやってたんです。メインコンポーザーであるアンディとは、その頃からずっと一緒にバンドをやっているんですけど、ギャロはちょっと懐かしさのあるヴィジュアル系の音を追求しているというか。洋物になりすぎてない〝和製ティム・バートン〟的な（滑舌が悪く〝キム・パーロン〟に聞こえてしまう）。

一同：……あぁ…、また言えてない……。

ジョジョ：いっつも言えないんですよ、コレ（笑）。でも、まさに、（ちゃんと言えるように構えるジョジョ）〝和製ティム・バートン〟的な（今度はちゃんと言えました）世界観を持ちつつ、音的には、ちょっとレトロな世界観を押出しているというか。時代的には明治時代を纏っているようなちょっと懐かしいヴィジュアル系の音を放つバンドにしたいなってところからギャロは始まったんです。

—資料でもらった音源「東京シンデレラ」（2月24日にリリース）は個人的にすごく好きで、結構リピートして聴かせてもらってて。ギャロの音は、同期が軸になってしまっているバンドサウンドが多い中、それぞれ楽器隊が主張出来てるロックというか。10年くらい前のバンドサウンドを彷彿させるよね。

カエデ：はい。敢えてそのあたりを狙ってる感はたしかにありますね。結構メンバーそれぞれの音楽ルーツが偏っていないのも、逆にギャロの音楽性に活きてるんじゃないかなとも思います。

—歌詞も物語性が強かったりするよね。

ジョジョ：そうなんですよ。【異人娼婦館】っていうのがあって、そこにいくつかの扉があるんですよ。ある扉を開けたら〝戦争〟があったり、ある扉を開けたら〝ブティック〟があったり、ある扉を開けたら〝首吊り台〟があったり。どこを開けても痛くも痒くもないっていう、そういう不思議な世界観を歌詞で描いていけたらいいなと思っていて。音楽的にも、ある扉を開けたら〝ハード・ロック〟、ある扉を開けたら〝メタル〟、ある扉を開けたら〝パンク〟、ある扉を開けたら〝レゲエ〟みたいな。なんでも出来るぞっていうふうにしてあるっていう。そう（どや顔）。

一同：あ。出た、〝どや顔〟（笑）。

カエデ：よくするんです、この〝どや顔〟（笑）。で、ギャロの音と歌詞は、発明なんだよね（笑）？

ジョジョ：あ、そう！ 発明なんですよ！ ギャロの音と歌詞は。耳障りはいいけど、ちょっと他にない、まさに発明なんです。

—まさに、〝和製ティム・バートン〟だと。

ジョジョ：鬼才なんです（どや顔）。

アンディ：鬼才って、あんまり自分では言わないですよね（笑）。人から言ってもらう言葉というか……（笑）。

カエデ：（笑）。今、反戦の歌とかってたくさんあると思うんですけど、【異人娼婦館】っていう軸となる場所があるので、そこの扉を開けて反戦を歌うのって、ミニマムな感じがするというか、そこがあるからこそ、なんでもありな世界を届けられるという意味でも、僕たちは【異人娼婦館】っていうのを軸に置いてるんです。たぶん、ジョジョはそういうことが言いたいんだと思います（笑）。

ジョジョ：つまり、そういうことです！

—（笑）。最後に、今後の展望を。

ジョジョ：5月12日に新音源「ALICE IN WORLD'S END」をリリースします。オープニングSEとエンディングSEを含む4曲が収録されてます。前作の「東京シンデレラ」は、童話シリーズで、全体を通して歪んだ恋を歌っていたんですけど、今回は、アリスがひとつのテーマになってます！ 今後の目標としては、ワンマンライヴをやりたいので、とりあえず今は、ワンマンライヴが出来るよう頑張りたいと思います！

ルル：僕ら飛べない黒い雄鶏なんで、精一杯あがいていきたいと思います。

アンディ：懐かしさと激しさが融合したバンドになっていけたらと思いますね。

ヒカル：ライヴで大暴れしていきたいと思います！ シャイニング！

カエデ：はじめましてよろしくお願いします。というのと、老後のスローライフを楽しむために精進したいと思います。

蝴蝶网
hudie.com

LOST ASH

新感覚。エモ.ヴィジュアル発見!!

昨年12月から活動を開始したLOST ASHは、激しさの中にも退廃的な美しさが漂う、独特な雰囲気を持ったバンド。そのサウンドも、既に彼ららしい個性をたっぷりと備えている。そんな彼らの魅力を、1stシングル『superNOVA』でぜひとも感じ取ってほしい。ライヴ会場では、数量限定CD「Seize your mind」(シリアル№入り)も無料配布中なので、気になった人はまずゲットしてみては?

Interview:MIYUKI MURAYAMA

—結成のきっかけをお願いします。

Show：楽器隊の3人は同じバンドだったんです。そこで新しいヴォーカルを探すことになって、イケメンがいるということで出会ったのがDaikiで。

Dye：それから下積み期間が1年ぐらいあって。

Daiki：去年の12月22日にLOST ASHっていうバンド名にして活動を始めたっていう感じです。

—そこでどういうバンドにしようと?

Dye：僕の好きな洋楽のエモってジャンルの要素を足しながら、皆が好きになってくれそうなわかりやすいキャッチーなのをやろうよって。

Show：洋楽を取り入れた伴奏に、J-POPのメロディーを重ねるような音楽を軸にって感じですね。

—Dyeさんが作曲してるんですよね。

Dye：足して2で割るっていうのが、ひとつのテーマだったんですよ。J-POPのメロディーと、洋楽曲のアレンジを足して2で割ったら面白いんじゃないかって。

—他のメンバーさんは、各々どんな面を出して行きたいですか。

Daiki：ダーク・スタイリッシュっていうのをバンドのトータルコンセプトにしてるんで、キビキビした動きをイメージしながらも、汗だくにならないようなパフォーマンスが出来ればいいですね。

Sai：楽曲面とかベースに関しては、1曲ごとに一フレーズは目立てるところを作ろうっていうテーマがあるんですよ。

Show：ギターは、Dyeが思うエモをもとにデモを送って来るので、それを弾きこなして、エモさを出したいと思って。

Dye：エモって、ギターのフレーズが特徴的なんですよ。だから作曲のときは、ギターフレーズを一番気にしてるかもしれないですね。

—Dyeさんが考える、エモの魅力を教えてもらえますか。

Dye：感情が詰まって爆発して、溢れる感じがエモなんじゃないかって思って。コップからこぼれそうな、表面張力ギリギリの、切ない感情がバーッと溢れる感じを曲で表現したいですね。

Sai：サビで開放される感じなんです。Aメロ、Bメロはおとなしくて、サビでガーッと来て開放される感じがエモーショナルなんじゃないかなって思います。

—1stシングル『superNOVA』には、いろんな曲調を収録してますね。

Dye：できるだけバラエティに富んだ作品にしたかったので、テンポ感も違いますし、ノリも違いますし。シングルなんですけど、全部A面です! みたいな曲を集めてます。

—「superNOVA」はメロディーが特に印象的ですよね。

Dye：自分がサビがいい音楽が好きだったので、サビを一番に考えてますね。それにギターのリフとか全体的な世界観でエモを全面に出すように意識して作ったんで、エモを一番表現できたかなと思います。

Show：このギターソロは二部構成になってるんですけど、後半は激しい感じで感情を出して行ってるんで、そこを聴いてほしいですね。

—「Bright」では、サビで明るいポップな印象もあります。

Dye：切ないだけじゃなくて、そこから枝分かれして、背中を押してあげられるような、プラスのイメージに最終的になってればいいんで。「Bright」は本当に明るくて、皆で一緒に歌おうよみたいな曲ですし、「FLARE」は特に激しいし。

Daiki：「Bright」は差し込んだ光(=希望)が見えて、聴いてくれた人が幸せになった瞬間が表現できればと思ったんで、優しい声で歌ってます。逆に「LARE」は、怒りとか爆発をイメージしてるんで、シャウトも頑張りました。

—「Burst My Emotion」の歌詞では、また全然違う世界観を表現してますね。

Daiki：人間のエロの部分を生々しく書きたくて、歌詞もいやらしく、セクシーな声も使いながら歌ってますね。

—初めての音源でいろんな色を出せたと。

Dye：バラエティに富んだ、ミニアルバムみたいな感覚の作品になってます。

—今後の活動の展開は?

Dye：これからツアーに行ってみたい気持ちもあるんですけど、まずは東京をしっかり盛り上げてからですね。12月で結成1年になるので、その頃ぐらいにワンマンライヴを目標にしてます。

慧美网
vimee.net

ARENA37℃ SPECIAL 2009年7月号 vol.58

RUKI（the GazettE）
表紙＋巻頭40ページ

ルキの中に潜む"DARKNESS"をとらえた有終の美を飾るにふさわしい鮮烈なグラビア、"近況""今回の撮影のテーマ""表現する上で一番大切にしていること""プロとしてのプレッシャーは？""ライブとは？""自分で自分をどういう人間だと思う？"etc.の20000字超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

新星 10ページ
"「超新星 Fes. Vol.2」・「超新星 1st Fan Meeting」の感想""マイブームは？""今後の目標"etc.をインタビュー、2009.5.6"超新星 Fes Vol.2 Six Shooting Star ~Dream~"LIVE at 五反田ゆうぽうとホールレポート

sland 10ページ／T-MAX 8ページ／SMASH 8ページ
a 4ページ／ON/OFF 4ページ／Mnet PRESS Vol.3
版「花より男子～Boys Over Flowers」記者会見＆イベント取材

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）＋送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年5月号 vol.56

戒（the GazettE）
表紙＋巻頭40ページ

"閉鎖的ではないが、孤独感のあるもの"をモチーフに据え、"ポジティヴで努力家"のイメージを持つ戒が真の"孤独"の意味を表現するグラビア、胸のうちに思う"孤独"・the GazettEのこと・戒自身のことetc.を超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末18ページ
"10分間の逃亡者"を追い・追われるシューティングのグラビア、"Gackt Job"10年目の真実に迫るインタビュー、"Requiem et Réminiscence II ～再生と邂逅～"ツアーも大詰め、そしてアリーナツアーもスタート間近なGacktの近況インタビュー

河村隆一 10ページ／GiFT／alma／古川雄大
中河内雅貴／リュ・シウォン／Mnet PRESS

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）＋送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年4月号 vol.55

葵（the GazettE）
表紙＋巻頭40ページ

常に"魅せる"ことを意識している葵が9種類の衣装を纏っていろいろな表情を魅せるグラビア、"今回の写真""ファッション""ライヴパフォーマンス""ギタリストとして""ギター"etc.の超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末12ページ
Single『Journey through the Decade』のミュージッククリップ撮影の模様、「仮面ライダーディケイド」で門矢士役を演じる井上正大とのツーショットインタビュー

リュ・シウォン 10ページ／中河内雅貴 8ページ／FTIsland 6ページ
GiFT 4ページ／alma 4ページ／宮野真守 4ページ

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）＋送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合がありますので、御了承下さい。
お近くの書店に在庫がない場合には、その書店へお申し付け下されればお取り寄せ頂けます。御自宅へ直送希望のお客様は当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、
手代用、現金書留、または郵便振替（口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社）にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。
音楽専科社オフィシャルウェブサイト　http://www.ongakusenkasha.co.jp/　アクセスして下されば当社発行の現在在庫のある全アイテムを御覧頂けます。
宛先　㈱音楽専科社　〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F　TEL.03-3574-0201　FAX.03-3574-8548

ARENA37℃ back number

㊟この欄に掲載されているアリーナ37℃のバックナンバーにつきましては、付録のポスターが無い場合（在庫切れ）もありますので御了承下さい。

〈2009年 6月号〉
①表紙＋巻頭特集＝ナイトメア…パーソナルインタビュー＋集合インタビュー＆歌詞の魅力に迫る！全20ページ！
②GLAY…メンバープロデュース・ライブ完全レポート！全14ページ！
③アリス九號.…クラブチッタ川崎を完全密着レポート＆インタビュー！
④雅…日比谷野外大音楽堂レポート！
⑤Kra…「ラブラボ」PV密着レポート！
⑥LM.C…シングルインタビュー！
⑦女雅…カグラの女雅ソロ連載！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 7月号〉
①表紙＋巻頭特集＝GLAY…究極のベストアルバムをメンバーに聞く＆パーソナル・キーワードインタビュー（全22ページ！）
②GACKT…新曲のカップリング曲に込められた想いとは？涙なしでは読めないロングインタビュー！全10ページ。
③麗（ガゼット）…ニューアルバムレコーディング中の近況を聞く（全6ページ）
④VAMPS…フルアルバムインタビュー！
⑤ナイトメア…ライブ密着取材！
⑥虎×チキン＋Naoの大冒険の2本立て！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 8月号〉
①ガゼット…アルバム＆パーソナルインタビュー全20P！
②東方神起…シングル＆パーソナルインタビュー！
③GACKT…シングル＆企画インタビュー！
④Acid Black Cherry…「優しい嘘」インタビュー！
⑤Ni～ya（ナイトメア）…パーソナル！
⑥Alice Nine…「華」インタビュー！
⑦シド…アルバムインタビュー！
⑧SuG…4人になった新生SuG！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年 9月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Acid Black Cherry…衝撃のアルバムを徹底解剖、全20P！
②Coming Century…ファーストミニアルバムを音源インタビューとパーソナルインタビューで取材！8P！
③東方神起…東京ドーム公演完全レポート！8P！
⑥仙台貨物…千葉インタビュー！
⑦THE KIDDIE…夏大好き！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年 10月号〉
①表紙＋巻頭特集＝V6…「GUILTY」インタビュー＆パーソナル＋カミセン・ライブレポート！
②ナイトメア…シングル＆YOMI×Ni～yaのパーソナル＆全員Q＆A！
③ジェジュン＆ユチョン（東方神起）…2人にインタビュー！
④GLAY…ビッグイベントレポート！
⑤雅…渋谷C.C.Lemonレポート！
⑥ガゼット…新曲インタビュー！
⑦Alice Nine…国際フォーラム！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 11月号〉
①表紙＋巻頭特集＝UVERworld…ニューシングル徹底インタビュー＆ホットな撮り下ろし全30P！
②ガゼット…全員＆パーソナルインタビュー＋とじ込みピンナップ付き
③仙台貨物…『凸～デコ～』の本誌オリジナルストーリー！
④Alice Nine…原宿スタイルコレクション＆有明コロシアムライブ！
⑤Kra…シングルインタビュー
⑥SuG…2カ月連続リリース第1弾！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 12月号〉
①表紙＋巻頭特集＝GACKT…神威楽斗の音楽革命、ジパングロックとは？
②堂本光一…横浜アリーナライヴレポート！
③シド…シングルインタビュー＆国立代々木第一体育館ライブレポート！
④RUKA（ナイトメア）…パーソナル取材。
⑤Alice Nine…ライブDVDインタビュー！
⑥THE KIDDIE…「ポプラ」インタビュー
⑦SuG…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年 1月号〉
①表紙＋巻頭特集＝LANDS（赤西仁）…映画『BANDAGE バンデイジ』に登場するロックバンド・LANDSのボーカリスト、赤西仁インタビュー。小林武史×赤西仁対談。
②GACKT…2010年もGACKTは止まらない！
③山下智久…横浜アリーナライブレポート！
④UVERworld…初のベストアルバムリリース！
⑤戒（ガゼット）…パーソナルスタート！
⑥ナイトメア…『ジャイアニズム』リリース！
★特別定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年 2月号〉
他3本立て大特集！20P
②ナイトメア…YOMI＆咲人インタビュー！
③葵（ガゼット）…パーソナル企画第2弾！
④虎（アリスナイン）…虎パーソナル企画第1弾は虎が「陰陽師」に大変身だ！
⑤THE KIDDIE…赤坂ブリッツレポート
⑥SuG…祝・メジャーデビュー！
⑦彩冷える…メジャーファーストアルバムインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年 3月号〉
①表紙＋巻頭特集＝今井翼…待望のソロデビュー、今井翼を大特集！12P
②東方神起…究極のベストアルバムをリリース！東方神起を9ページで大特集！
③KinKi Kids…東京ドーム公演を徹底レポート！
④ガゼット…東京ビッグサイトレポート！
⑤れいた（ガゼット）…パーソナル企画第4弾！カッコイイれいたが6ページで大特集！
⑥Alice Nine…バレンタイン大特集！
⑦シド…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年 4月号〉
①表紙＋巻頭特集＝T.M.Revolution…ガンダムSEEDとのコラボ集大成アルバムリリース！20P
②東方神起…ニューシングル急きょ発売！
③遊助…Zepp Tokyoを徹底レポート！
④Alice Nine…ニューアルバムインタビュー！
⑤雅・MIYAVI…新曲入りDVDリリース！
⑥SuG…アルバムインタビュー！
⑦Kra…ベストアルバムインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2010年 5月号〉
①表紙＋巻頭特集＝UVERworld…ニューアルバム徹底解剖全20P
②V6…ニューシングルインタビュー！
③GACKT…[illegible]限定ライブ密着＆詳報！
④Alice Nine…虎・大[illegible]ーチャー＆ライブレポート！
⑤YOMI（ナイトメア）…パーソナルインタビュー！
⑥SuG…ライブレポート！
⑦THE KIDDIE…[illegible]インタビューの意気込みを聞く！
★定価880円（税込）＋送料140円

お申し込みご希望の方は、最寄りの書店にてお申し付け下さるか、もしくは小社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用または現金書留でお送り下さい。まとめて4冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
宛先▼㈱音楽専科社
〒104-8228東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F

SHOXX & ARENA37℃ バックナンバーフェア実施店

《札幌》グルグルアルシュ店（011）251-4480／旭屋書店札幌店（011）209-5181／ジュンク堂書店札幌店（011）223-1911　《仙台》ブックスみやぎ（022）267-4422／リトルハーツ（022）264-8003　《新潟》紀伊國屋書店新潟店（025）241-5281　《秋葉原》書泉ブックタワー（03）5296-0051　《神保町》書泉ブックマート（03）3294-0011　《新宿》ライカエジソン東京店（03）3369-3119／タワーレコード新宿店（03）5360-7811　《原宿》山下書店ラフォーレ原宿店（03）3475-0447　《渋谷》文教堂書店渋谷店（03）5468-2431　《吉祥寺》Booksルーエ（0422）22-5677　《豊橋》精文館書店（0532）54-2345　《名古屋》星野書店近鉄パッセ店（052）581-4796／ライカエジソン名古屋店（052）229-8211／白樺書房西店（052）774-7223　《京都》ブックストア談京都店（075）255-0654　《大阪》ライカエジソン大阪店（06）6252-6262／ヤマハミュージック大阪（06）6831-6776／ジュンク堂書店千日前店（06）6635-5330／紀伊國屋書店バンドスコアハウス店（06）6373-0748　《姫路》楽学書館Begin（0792）33-8888　《東広島》フタバ図書ゆめタウン黒瀬店（0823）81-2662　《福岡》リーブル天神（092）713-1001／福家書店福岡店（092）721-8267　《大分》明屋書店セントポルタ店（097）532-4343

ビジュアル系中古&RAREアイテム専門店

NEVER MIND

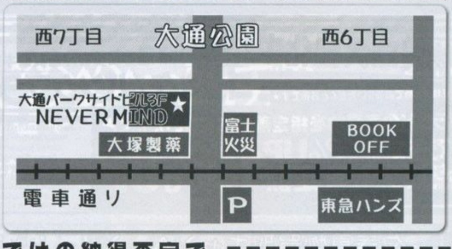
ネバーマインド

〒060-0061
北海道札幌市中央区南1条西7丁目
大通パークサイドビル3F
TEL : 011-272-9220
mail : info@nevnev.com
営業時間 12:00~20:00 (毎週水曜定休)

在庫充実! ネバーマインドのHPはこちら!

http://www.nevnev.com

(PC版/携帯版共通)



入手困難な貴重盤はもちろん、発売されたばかりの新譜や懐かしの旧譜等、最新の入荷情報をリアルタイムで更新しております。

ビジュアル系中古専門店ならではの納得査定で

高価買取します!

即日査定・即送金でお待たせしません!!

今月の買取強化アーティスト!

シド、Plastic Tree、ガゼット、DIR EN GREY、LM.C、cali≠gari、ムック、lynch.、ギルガメッシュ、DEATHGAZE、D'espairs Ray、D(ディー)、サディ、SCREW、SuG、ゾロ、イロクイ。、アンド、born、キャンゼル、ダウト、vistlip、THE KIDDIE、DOG in The PWO、DaizyStripper、ViViD、愛狂います。、-OZ-、アヲイ、NoGoD、DELUHI、摩天楼オペラ、9 GOATS BLACKOUT、cocklobin、emmure'e、KYOKUTOU GIRL FRIEND、己龍、Lycaon、R指定、ゴールデンボンバー

上記アーティストの発売1年以内のアイテムを5点以上含むと査定 **10%UP!!**
発売半年以内のアイテム5点以上含むと査定 **20%UP!!**

高価買取例 ●シド 「吉開学 17歳(無職)」(初回・¥20,000、2nd・¥5,000)、「流通盤」(廃盤CD・¥5,000)、「憐哀(初回)」(廃盤CD・¥3,000)、「星の都(初回)」(マオ・¥6,000/明希・¥4,000/Shinji・ゆうや・各¥3,000)、「センチメンタルマキアート」(初回CD各種トレカ付・¥3,000)、その他CD、DVD、会報、グッズ各種・・・**"シドのアイテム品薄のため特に"** 買取強化! **●SHULA** 「What's up」(廃盤CD・¥6,000)、「Shu-la-tic」(廃盤CD・¥10,000) **●Plastic Tree** 「WORLDTOUR 2006 [chandelier]」(絶版写真集・¥8,000)、アルバム初回盤各種¥2,000~¥3,000、「二次元ヲルゴール2」(初回DVD・¥4,000)、その他CD、DVD、パンフ、会報、グッズ・・・**"プラのアイテム品薄のため特に"** 買取強化! **●有村竜太郎** 「カメラ・オブスキュラ」(写真集・¥5,000)、「あおむしドロップ」「忘却モノローグ」(単行本・¥4,000) **●ガゼット** 「別れ道(初回・¥7,000、2nd・¥8,000)」「鬼畜教師(32才独身)の悩殺講座(¥8,000)」「午前0時のとらうまラヂヲ(¥8,000)」(廃盤CD各種)、「泥だらけの青春」(会場限定CD・¥6,000)、「十四歳のナイフ」(配布CD・¥5,000)、「Verwelktes Gedicht(CD付)」(写真集・¥6,000)、「NAMELESS LIBERTY SIX GUNS」(初回3枚組DVD・¥6,000)、その他CD、DVD、会報、写真、グッズ各種買取強化中!! **●lynch.** 「greedy dead souls」(廃盤CD・¥4,000)、アルバム初回盤各種¥2,000、DVD各種 **"特に"** 買取強化! **●ベリィ** 「ブラッドプール」(配布CD・完品で¥5,000)、「白痴」(廃盤CD・¥5,000) **●サディ** 「SADIE~UNDEAD13+2~」(初回CD・¥3,000) **●ギルガメッシュ** 「Glamorous Sky」(配布CD・¥3,000)、その他CD、DVD各種 **"特に"** 買取強化中! **●ViViD** 「Take-off」(廃盤CD・¥3,000)、その他CD各種買取強化中! **●THE KIDDIE** CD各種買取強化! **●キャンゼル** 「NeO PRESENCE E.P.S」(廃盤CD曲解説パンフ付・¥3,000)、その他CD各種買取強化! **●アンド** 「特攻 神風大作戦-任務秘録-」(DVD・¥6,000) **●陰陽座** 「幽玄霊舞(初回)」(通販、会場限定DVD・¥8,000) **●cali≠gari** 「再教育」(上下セット袋付・¥10,000)、「続、冷たい雨」(配布CD・¥2,000)、「ストレーションデモンス」(FC特典CD・¥2,000)、その他CD、DVD各種買取強化! **●人格ラヂオ** 「証拠」(初回盤・¥3,000)、「遊歩道」(廃盤CD・¥2,500)、「バンギャル症候群」(会場限定CD・¥2,500)、その他CD、DVD各種買取強化! **●DIR EN GREY** FC限定DVD各種高額買取!、その他CD、DVD各種買取強化! **●京** 「自虐、斂葬腐乱シネマ」(絶版詩集・¥4,000)、「前略、お元気ですか~」(絶版詩集・¥4,000) **●La:Sadie's** 「objexxx」(配布CDs・¥15,000) **●JZEIL(DAIGO)** 「GLITTER'S VOX」(廃盤CD・¥5,000)、「Tension 250」(廃盤CD・¥5,000)、「THE VERY BOTTOM」(廃盤CD・¥5,000) **●DAIGO(インディーズ時代のソロ音源)** 「The space toy」「The space kiss」「The space age」(廃盤CD・各¥6,000) **●Fatima** 「to EXIT Grand Finale」(廃盤DVD・¥6,000) **●ナイトメア** 「ナイトメアBOX」(通販限定BOX・¥4,000)、CD、DVD各種買取強化! **●D** 「Alice」(配布CD・¥10,000) **●D'espairs Ray** 「モノクロになった最期の日」(配布CD・¥5,000)、その他CD、DVD各種買取強化! **●Duel Jewel** 「Lapidary」「Noah」(廃盤CD・各¥8,000) **●SuG** 「Scheat」「Alterna」(各¥2,000)、「I SCREAM PARTY(初回DVD、差し替えジャケ付)」(CD・¥3,000)、「『☆★☆BL⇔Rock Party MonstAr☆★☆』(通販限定DVD・¥8,000)、その他CD、DVD各種買取強化! **●摩天楼オペラ** 「alkaloid showcase」(廃盤CD・¥3,000)、その他CD、DVD各種買取強化中! **●DELUHI** 「Surveillance」(廃盤CD・¥5,000)、その他CD各種買取強化! **●デモテープ**買取強化中!珍しい物どんどん送って下さい! "掲載例以外のアイテムも高く買います! (※在庫状況や傷、汚れ、帯の有無により買取価格は変動します)"

~宅配買取大歓迎!もちろん送料着払いでOK!~

遠方の方、大量処分をお考えの方は宅配便、ゆうパック等での宅配買取をご利用ください。売却希望アイテムを割れないよう梱包したうえでダンボール箱などにひとつにまとめ着払いでお送りください。その際、住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・メールアドレス・希望の送金方法と振込先を明記したメモを同封してください。

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目大通パークサイドビル3F ネバーマインド

廃盤・配布・会場限定、FC限定アイテム等の貴重盤は特に高く買わせていただきます!
他に新譜を中心としたCD・DVDやパンフ、FC会報、写真等も買取強化中!!
〔※ポスター、雑誌の買取はしておりません〕
もちろん、店頭へのお持込も大歓迎!

closet child

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
BPN / ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
Angelic Pretty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Emily Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene

ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

http://closetchild.ocnk.net

リニューアルオープンしました!!携帯電話でもお買物いただけるようになりました!!

インフォメーション

夏物買取大強化中!! 期間限定春夏物お洋服買取キャンペーン

春夏物まとめてお売りいただくとお得です★ ゴシック/パンクブランド

象ブランドの春夏物を指定着数お売りいただくと
5点で査定額5%UP
0点以上で査定額10%UP

買取キャンペーン対象ブランド
MIHO MATSUDA/EXCENTRIQUE/VISIBLE
MARBLE/MA/Qutie Frash/Millefleurs
Carina e Arlequin/Na+H/despair
Deorart/Ozz on/危機横裸商店
GADGET GROW/ALGONQUINS/PEACE NOW
PUTUMAYO/LISTEN FLAVOR/
BANANA FISH/SEXY DYNAMITE LONDON/
SEX POT ReVeNGe/HIDE ROCK Design
HELL CAT PUNKS/SUPER LOVERS（現行タグのみ）

ロリータ春夏物買取キャンペーン!!
対象ブランドのお洋服5点で 買取査定額10%UP
Baby Ribbon Cornet Heart E
Innocent World Jane Marple
Juliette et Justine
metamorphose Victroian maiden
※小物・状態の悪い物は対象外となります。

● 買取/宅配買取のご案内

ご不要になられた洋服/アクセ/靴・鞄を買取致します。買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項（氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名・支店名・口座番号・口座名義人名（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!
商品到着後一週間ほどで確認のお電話をさせていただき、了承をいただきましたら、ご指定の銀行口座へ入金させていただきます※振り込み手数料はお客様負担となります。(ぱるるはご利用いただけません)
キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

● 宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023西新宿7-10-20ワセダSTビル5F
クローゼットチャイルド ショックス 10.4月号宅配係
TEL 03-3365-6361 webtakuhai@closet-child.com

宅配買取用段ボールご用意致します

宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします★ご希望のお客様は webtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

GOLDEN WEEK SUMMER ITEM CAMPAIGN

ゴールデンウィークキャンペーン!!
ロリータ・ゴシック・パンクブランドの夏物アイテムを期間中総数3000着放出!!

ゴシックブランド高価買取アイテム一覧◆ 査定額一部値上げしました!!

S/S
●ックアーチ
ト×ブラック
◆ンパースカート 55000円買取
◆スカート 28000円買取
ク×ホワイト
◆ンパースカート 52000円買取
◆スカート 27000円買取
ク×ネイビー
◆ンパースカート 50000円買取
◆スカート 25000円買取
S/S
●ーテゲート
ト×ブラック
◆ドレス 28000円買取
◆ート 10000円買取

2006 S/S
●アイアンゲート
ホワイト×ブラック
◆ワンピース 45000円買取
◆ジャンパースカート 48000円買取
◆ミニスカート 27000円買取
ブラック×ホワイト
◆ワンピース 44000円買取
◆ジャンパースカート 47000円買取
◆ミニスカート 25000円買取
ブラック×ネイビー
◆ワンピース 43000円買取
◆ジャンパースカート 46000円買取
◆ミニスカート 24000円買取

2009 A/W 査定額値上げしました
●ホーリークイーン
ブラック×ネイビー
◆ジャンパースカート 23000円買取
◆スカート 9500円買取
ブルー×シルバー
◆ジャンパースカート 28000円買取
◆スカート 12000円買取
ブラック×ホワイト
◆ジャンパースカート 15000円買取
◆スカート 8500円買取
2010 S/S
●パラプリントジャンパースカート
◆ホワイト×ネイビー 18000円買取
◆ブラック 12000円買取

2000 S/S
●薔薇十字プリント
ブラック×ホワイト
◆ワンピース 38000円買取
◆ジャンパースカート 38000円買取
◆スカート 18000円買取
ホワイト×ブラック
◆ワンピース 35000円買取
◆ジャンパースカート 35000円買取
◆スカート 16000円買取
2009 S/S
●青薔薇シフォンワンピース
◆ネイビー 26000円買取
2008A/W
●刺繍ベルベット
ジャンパースカート(膝丈)
◆グリーン 21000円買取
◆ブラック 20000円買取

2005 S/S
●ネット&プリント
◆ネイビー
ワンピース 17000円買取
◆ボルドー
ワンピース 16000円買取
2008 S/S
●リチュアルプリント
ホワイト
◆サンドレス 15000円買取
2009 S/S
●青薔薇シフォン
2002 S/Sホワイトテディベア
ホワイト
◆レース 7000円買取
◆マント 6500円買取

査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

alice auaa春夏物買取20%アップキャンペーン!!

alice auaaコレクションアイテム一覧

'06S/S【flower】
●パフスリーブワンピース
ブラック 12000円買取

'03S/S【The Hanging Garden】
●ハイネックフリルワンピース
ブラック 13000円買取

'02S/S【ecad】
●蝙蝠ワンピース
ブラック 12000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
●ストライプコルセット
ストライプ 11000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
●コサージュ付きバルーンワンピース
ミックスカラー 12000円買取

'08S/S【contrast】
●パールアクセサリーシリーズ
ブレス 4000円買取 チョーカー 5000円買取

'08S/S【contrast】
●綿糊切替バルーンワンピース
ブラック・クリーム 10000円買取

'04S/S【hunger】
●バニティーバッグ
ブラック 12000円買取

'05S/S【aminous】
●アイレットロングスカート
ブラック 6500円買取

'04S/S【hunger】
●コルセット
ブラック 10000円買取

'10S/S【softly】
●ガーター付き綿レーススカート
ブラック 13000円買取
ホワイト 17000円買取

'05S/S【aminous】
●拘束金具ワンピース
ブラック 10000円買取
クリーム 9000円買取

'06S/S【sweet dreams】
コサージュ付ミュール
ブラック 7000円買取

'08S/S【contrast】
レザーブラ
ブラック 9000円買取
ブラウン 8000円買取

'09S/S【wire to wrap wire】
レザーアンダーベルト
ブラック 9000円買取
クリーム 10000円買取

※ご注意 査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

Mensブランド取扱開始!!

買取強化ブランド

uffalo bobs casva Diavlo DISREV
ranCisT_Mor::K::S. FUGA GLAD NEWS
ACKROSE Justin Davis LAGUST roar Roen
oyal Order Sixh. VANQUISH VICE FAIRY
ILD PARTY Xfrm

ustin Davis買取大募集中!!高価買取表は↓で!!

ローゼットチャイルド新宿CDフロア内にオープン!!
-0023 新宿区西新宿7-16-12 YSビル1階 03-3365-6316
時間 11:00 - 20:00(買取受付は19:00迄)
ズ系ブランド古着ウェブショップ （買取の詳細もご覧いただけます。）
tp://m-closetchild.ocnk.net/

買取対象ブランド一覧

5351 POUR LES HOMMES
9CHAINS
ADDICTIVE
Amarantine
ANGELICA ROSES
BLACK FLAME
BLACK LIST JAPAN
brand
BRING LEADS
Brodiaea by gold bood
buffalo bobs
BUFFALO BOBS CRYSTAL
BURBERRY BLACK LABEL
Burden
BUZZ SPUNKY
casva
charm cult
CHROME HEARTS
CIVARIZE
cluise
COAL BLACK
COOL DRIVE STRIKER
CRYSTAL
Cure Crisis
CUSTOM CULTURE
D&G
Daisy
DEADLY JESTER
Deary
Del Mundo Jewelry
Diavlo
Diavlo DT
Dior homme
DISREV
DITA
DOLCE&GABBANA
Dress Camp
drestrip
Eight by
EIGHT BY JAPAN
FAD HEDGE
FARM RECORDS
FranCisT_Mor::K::S.
FUGA
FULL BLOOD
FUNNY FACEE
GENNARO
GLAD NEWS
goa
graffity
Grasum
GRZ&M
hidden charms
High BRAND
HIROMU TAKAHARA
infectcolors
J.C. BEAST
JACKROSE
JURY BLACK
Justin Davis
JUVICE
Jwyed
KINGDOM
kiryuyrik
KNIGHT ERRANT
LA GATE
LAGUST
LAWLESS
Le Materiel
Lord Camelot
loree Rodkin
LOWBOX
LUST
Luv maison
LUXURY GENEDR
MAY CHAMP
MAYHEM
Midas
Moonage Devilment
MORGAN HOMME
mtp homme
MURDERLICENSE
NEW YORK HAT
NO CROSSING
NO ID.
PLATIVE
PPFM
PUERTA DEL SOL
RECYCLAGE
RED CAT
RHYDEAL
Riot
roar
Roen
Roi Franc
Rounder
ROUTINE
Royal Order
Ruin Riddre
RUPERT
sabgreed
SESSION
SHELLAC
Silver Bullet
SIVA
Sixh.
SKULL
SLANGY
SLOW HAND JAM
stillgreen
STUNNING BLUE
style
sugeestion
SWITCH
THIRTEEN JAPAN
Tokyo Rush The Real Colors
TORNADO MART
Tres
VANQUISH
Varentine
varosh
VAROSH the Corner
VCTO
Velvet Lounge
VIBRAND sparkl
VICE DYNE
VICE FAIRY
VivienneWestwood
WILD PARTY
WOLFMAN B.R.S
Xfrm
YOBOSS
ZEALL
ZERO

※シルバー類の買取はギャランティが付属してあるものに限ります。ご了承下さい。

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

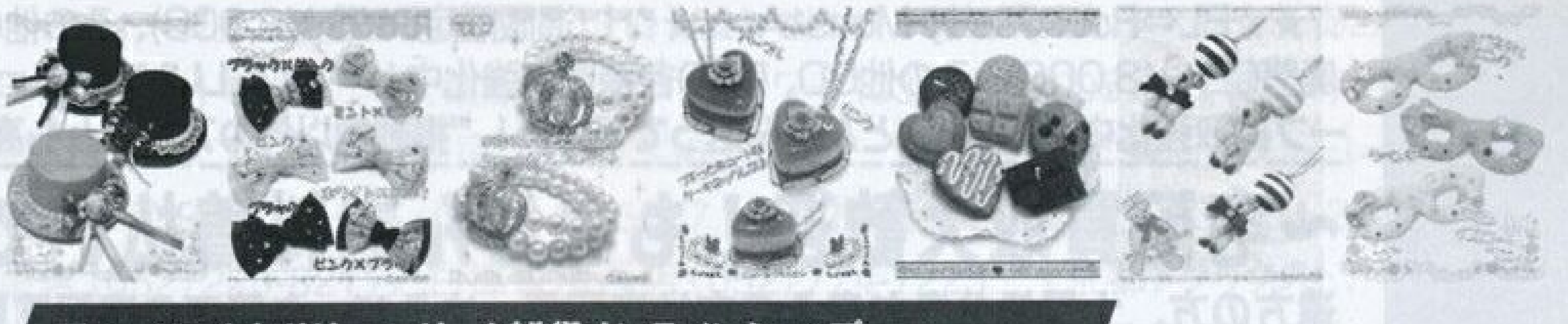
の貴重なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテム
ナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中!!
アンマニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです!!

tp://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

ックロリータブランド古着オンラインショップ

AOTO/BABY,THE STARS SHINE BRIGHT/Moi meme Moitie/Emily Temple cute
ック・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!
な予約完売品 今期物 定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

tp://closetchild.ocnk.net



スィーツアクセサリー・ロリータ雑貨オンラインショップ

スィーツ/ロリータをテーマとした雑貨オンラインショップオープン!!
人気のスィーツモチーフアクセサリーを中心にカワイイ小物を取り揃えました!!

ミニハット★リボン★カチューシャ★スィーツアクセサリー★キャンドル★マグカップ

http://www.rakuten.ne.jp/gold/chocomint/

closet child

新宿店

◆closet child 新宿店 <OPEN:11:00-20:00>
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F
(TEL 03-3365-6316)

原宿店

◆closet child 原宿店 < OPEN : 11:00 ~ 20:00 >
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-7-6 COXY176ビル104号室
(JR原宿駅 竹下口下車 徒歩3分)

池袋店

◆closet child 池袋店 < OPEN :12:00~21:00 >
〒170-0013 東京都 豊島区 東池袋1-20-5 七福久ビル3F
(TEL 03-5985-5777)

横浜店

◆closet child 横浜店(OPEN12:00~21:00)
神奈川県横浜市西区南幸2-8-18勝陽ビル3F
TEL 045-316-2181

相模大野店

◆ closet child 相模大野店 < OPEN
〒228-0803 神奈川県相模原市相模大野
(TEL042-747-1840)

日本一の在庫量!ユーズド~貴重盤~アーティストグッズ~新譜

超高額買取

クローゼットチャイルドオンラインショップ!!

クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

メールでも在庫確認が出来ます☆

発売されたばかりの新譜がリーズナブルに,入手困難な貴重盤が,そして
ライブ会場やファンクラブ限定のアーティストグッズ...がお買い物いただけます!!
更に、お宝アイテムのオークション&新譜の予約も可能になりました!!!

モバイルショ

closetchild_cd@closet-child.com

http://closetchild.jp

Golden Week Big Sale

5.1-5.5 ウェブショップ以外の全店で開催!! 800円以下の中古商品 **ALL 50%OFF**

クローゼットチャイルド 横浜店 移転

Re-Newal OPEN!!!!
ヴィジュアル系CD独立専門店として

5.1-5.31 期間限定買取査定額大幅アップキャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ViViD R指定 Versailles ダウト ギルガメッシュ
DELUHI DEATHGAZE 9GOATS BLACK OUT 摩天楼オペラ lync

< 中古CD/DVD/アーティストグッズ/貴重盤 買取表 >

★は買取キャンペーン、20%UPの金額の表示になりま

アーティスト	タイトル	形態	買取額
ア行			
R指定	オカルト地獄	CD	¥1440★
R指定	裏音源盤。	CD	¥1200★
R指定	裏映像盤。PV集	DVD	¥1200★
R指定	人間失格［初回限定盤］	CD+DVD	¥2400★
愛狂います。	心臓。［初回限定盤］	CD+DVD	¥1800
アンティック-珈琲店-	BEST ALBUM	2CD	¥1800
アンド	-&-［初回限定盤］	CD+DVD	¥1800
emmure'e	灯陰(ほかげ)	CD	¥1700
ViViD	THE ViViD COLOR(初回盤)	CD+DVD	¥2160★
vistlip	THEATER -visiter [CD+DVD]	CD+DVD	¥2000
Versailles	JUBILEE［初回限定盤］	CD	¥2160★
Versailles	Philharmonic Quintet【写真集】	GOODS	¥2400★
Versailles	CHATEU DE VERSAILLES	DVD	¥3600★
M	煉煉【初回盤】	CD+DVD	¥2000
カ行			
Kaya	サロン・ド・ショコラ(DVD)	DVD	¥2000
cali≠gari	再教育　会場限定盤セット(封筒入り完品)	2CD	¥12000
cali≠gari	從［初回生産限定］	3DVD	¥4000
cali≠gari	(BOOK)A Moveable Feast Authorized	BOOK	¥2000
THE KIDDIE	NOAH / elite STAR+	CD+DVD	¥800
THE KIDDIE	SINGLE COLLECTION	CD	¥1400
KYOKUTOU GIRL FRIE	勝手にしやがれ	CD	¥1800
己龍	明鏡止水［初回限定盤］	CD+DVD	¥2000
ギルガメッシュ	13's reborn［初回限定盤］	CD+DVD	¥3000★
ギルガメッシュ	NOW［通常盤］	CD	¥1920★
ギルガメッシュ	CRAZY CRAZY CRAZY	2DVD	¥2880★
ゴールデンボンバー	金縛ねんごろツアーファイナル初ワンマン	DVD	¥2000
ゴールデンボンバー	ザ・ゴールデンベストBrassiere-(初回B)	CD	¥1000

アーティスト	タイトル	形態	買取額
サ行			
SuG	BL⇔Rock Party MonstAr	DVD	¥4500
SuG	TOKYO MUZICAL HOTEL［初回限定盤］	CD+DVD	¥2000
Sadie	「SADIE」~UNDEAD13+2~(初回/銀スリーブ)	CD+DVD	¥2800
Sadie	Singles	CD	¥1200
Sadie	『MASTER OF ROMANCE』 at SHIBUYA-AX2009	DVD	¥6000
シド	流通盤	CD	¥4000
シド	Side B complete collection~［初回限定盤A&B］	CD+DVD	¥2000
シド	SIDNAD Vol.3~TOUR 2008(初回限定盤)	2DVD	¥3000
シド	SIDNAD Vol.4~TOUR 2009 hikari	DVD	¥3000
SHULA(シドVo.マオ在籍)	Shu-la-tic	CD	¥10000
人格ラヂオ	証拠 (通常盤)	CD	¥1700
SEX-ANDROID	完売トラック1.2.3-Mのアナログ狂い咲き-	CD	¥1700
ゾロ	CORE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
タ行			
ダウト	CARNIVAL浮世~大~［初回限定盤A］	CD+DVD	¥2160★
D	7th Rose［初回限定盤A］	CD+DVD	¥2000
D	ALICE	CD	¥15000
D	1st Video Clips	DVD	¥3500
DaizyStripper	「CROSSTRIP」 2008.0909.LIVE	DVD	¥1600
D'espairsRay	モノクロになった最後の日(配布CD)	CD	¥5000
D'espairsRay	murder Day 2004.9.23(限定盤スリーブケース仕様)	DVD	¥4000
DIR EN GREY	BLITZ 5 DAYS	5DVD	¥7000
DEATHGAZE	THE CONTINUATION	CD	¥2040★
DELUHI	Surveillance	CD	¥6000★
DELUHI	ユグドアライヴ(初回ピクチャー盤)	CD	¥2160★
トゥーン工場	Innocent	CD	¥1200
東京ミカエル。	36.5℃(通常盤)	CD	¥1500
Dolly	Primary,Premium Best	CD	¥1200

アーティスト	タイトル	形態	買取額
ナ行			
9GOATS BLACK OUT	TANATOS［限定盤CD+DVD］	CD+DVD	[illegible]
9GOATS BLACK OUT	20090411 Shibuya-Boxx live in Bright Garden	DVD	[illegible]
ν[NEU]	LIMIT	CD+DVD	[illegible]
ハ行			
お遊戯わが魔々団【PaRADEiS】	the other side of paradeis(トレカ封入]	CD	[illegible]
	Col・Tempo【初回盤】	CD+DVD	[illegible]
Plastic Tree	cell(初回限定デジパック仕様/アーティストカード付)	CD	[illegible]
Plastic Tree	黒テント(DVD)	DVD	[illegible]
Plastic Tree	テント［通常盤］	DVD	[illegible]
Plastic Tree	忘却モノローグ	DVD+	[illegible]
有村竜太朗	あおむしドロップ(帯付)	GOODS	[illegible]
ベリィ	白痴	CD	[illegible]
ベルベット	鬩	CD	[illegible]
マ行			
摩天楼オペラ	alkaloid showcase	CD	[illegible]
摩天楼オペラ	ANOMIE (通常盤)	CD	[illegible]
摩天楼オペラ	COUPLING COLLECTION 08-09	CD	[illegible]
摩天楼オペラ	DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	DVD	[illegible]
メガマソ	M of Beauty［初回限定盤］	CD+DVD	[illegible]
ラ行			
LAREINE	Fleur (BEST ALBUM)	CD	[illegible]
Lycaon	Royal Oder［初回限定盤］	CD+DVD	[illegible]
lynch.	『THE SHADOW IMPULSE』 FINAL 2009.09.06	2DVD	[illegible]
lynch.	SHADOWS［初回限定盤］	CD+DVD	[illegible]
少女-ロリヰタ-23区	.doc(ドキュメント)	2DVD	[illegible]
V.A.オムニバス			
V.A.	原石の庭	CD	[illegible]
V.A.	裏貴族「日本耽美革命」ドキュメンタリーDVD	DVD	[illegible]

もちろん、掲載品以外も買取してます!

< 配布アイテム買取の際はその時のライブなどのチケット半券と共にお持ち下さい。上記の買取額は実際の査定時の在庫状況、人気、状態などにより変動いたします。査定後のキャンセルもできますのでご了承下さい。>

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

遠方のお客様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
段ボール等にCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
(必ず佐川急便にて着払いでお送り下さい) ※混雑状況により1~2週間程お時間をいただく事がございます。
★ 買取の際に必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
★ 氏名/住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

→発送先住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild(グッデー) 宅配買取 SHOXX]係 宛

宅配キットご自宅までお届けします!

梱包用ダンボール・佐川急便送付状
をご自宅までお届けいたします!!
ご依頼方法 メール・電話
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-6316

蝴蝶网 hudie.com
唯美网 vimee.net

5月1日
限定1000枚!!
キャンゼル
Maxi Single HeART SOUNDS E.P. ¥1,050
イベントあり
最新情報と楽しいコンテンツが盛り沢山！
ライカエジソンの携帯サイト！
ライカエジソン公式携帯サイト「Like an Edison.com」では、商品情報やオリジナル特典情報、インストアイベント情報等の情報はもちろん、簡単に商品の予約や通信販売の申込が出来ます！
さらにメルマガ会員になると最新情報をいち早くメルマガにてお届けします！
さらに携帯サイトラジオ番組『どこラジ』やここでしか観られないアーティスト動画、着うた、アーティスト特集企画等コンテンツが盛りだくさん！是非一度アクセスしてみてください！
全キャリア着うた配信中
DIR EN GREY
5月26日
LIVE DVD UROBOROS
-with the proof in the name of living...- AT NIPPON BUDOKAN
初回限定盤(4枚組:DVD3枚+CD1枚) ¥10,500
通常盤(DVD2枚組) ¥7,140
シド
6月2日
Maxi Single レイン
初回限定盤A・B(それぞれ内容が異なるDVD付き) ¥1,700／通常盤(CDのみ) ¥1,250
主催ライブのお知らせ
Like an Edison presents
THE FIVE ELEMENTS Vol.1
ACT. 愛狂います。／平成維新
R指定／V-last.／ダウナー
6/5 SAT
表参道FAB ADV ¥3,300 DAY 3,800
OPEN-START/16:00-16:30
★4月25日(日)よりライカエジソン東京店、ローソンチケット、チケットぴあにてチケットを販売いたします。(ライカエジソン東京店のみ初日は要電話予約)
OSAKA
Like an Edison presents
NAGOYA
Like an Edison presents
ACT.
GUEST:Dolly
Ap(r)il／ケミカルピクチャーズ／DuelJewel
DOG inThe パラレルワールドオーケストラ／BugLug
5/29 SAT OPEN-START /16:30-17:00
ESAKA MUSE
ADV ¥3,500 DAY 4,000
5/30 SUN OPEN-START /16:30-17:00
Electric Lady Land
ADV ¥3,500 DAY 4,000
★チケット発売中
ライカエジソン(大阪公演:大阪店/名古屋公演:名古屋店)、ローソンチケット、チケットぴあ
ムック
6月9日
Maxi Single 約束
初回限定盤(DVD付き) ¥1,680
通常盤(CDのみ:初回限定盤と2曲目の収録曲が異なります) ¥1,260
期間限定盤(CDのみ:アニメジャケット) ¥1,365
彩冷える
6月16日
Maxi Single タイトル未定
初回限定盤A(CLIP+メイキング収録DVD付き) ¥1,890
初回限定盤B(CLIP+ライブ+オフショット収録DVD付き) ¥1,890
通常盤(ボーナストラック収録) ¥1,260
封入特典:(通常盤のみ)トレカ
DOG inThe パラレルワールドオーケストラ
Maxi Single
4/21 ワンダー×ワンダー 初回盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,260
★オリジナル特典:(初回)コメントDVD(4店舗別内容)(通常)フォトカード4枚組／封入特典:ポストカード
平成維新
Maxi Single
4/21 Prism. TYPE A・B ¥2,100
★封入特典:トレカ
BUG
LIVE DVD ¥4,200
4/23 THE CHAOS
XI～サイ～
Maxi Single 連続リリース
4/28 シロアゲハ ¥1,260
5/26 疑惑の種火 ¥1,260
6/30 朧月夜舞い謳う蛾 ¥1,260
ライカ限定販売
DragonWAPPPPPPER
Maxi Single
4/28 Blue ¥1,260
Metry
Maxi Single
4/28 百年桜 ¥1,500
-OZ-
Maxi Single
5/5 viridian ¥2,100
Administrator
Maxi Single ¥1,575
5/12 喚情レイテンシー
vistlip
Maxi Single vister ¥1,890/lipper ¥1,260
5/12 STRAWBERRY BUTTERFLY
aki
Mini Album ¥2,300
5/19 INSPIRE
ケミカルピクチャーズ
Maxi Single ¥1,575
5/26 世界を撃った男
DEATHGAZE
Maxi Single
5/26 SORROW ¥1,050
ネガ
Full Album
5/26 NEGATIVISM
TYPE A ¥4,200／TYPE B ¥3,150
メガマソ
Maxi Single
5/26 トワイライトスター
初回限定盤A ¥1,890／初回限定盤B ¥840／通常盤 ¥1,050
★封入特典:トレカ
NoGoD
Maxi Single
6/9 カクセイ 初回限定盤 ¥1,680 通常盤 ¥1,260
DASTAR-3
4月28日 Full Album
TRIKE ¥3,000
Dear Loving
4月28日 Maxi Single
幸せのカタチ A-TYPE ¥1,575 B-TYPE ¥1,050
dizsolid
5月1日 Maxi Single
historical scars ¥1,260
Gargoyle
5月2日 LIVE DVD
1000カーニバル ¥4,000
LAYZis
5月5日 Maxi Single
IN PAIN/脆く美しきモノ ¥1,050
黒色すみれ
5月19日 Full Album ¥3,000
ALICE IN THE UNDER GROUND
STELLA...
5月19日 Mini Album
塞廻ノ刻 ¥2,625
OUROBOROS
6月16日 Maxi Single
Wish ¥1,260
Kagrra,
6月16日 Maxi Single
月に斑雲 紫陽花に雨 初回盤A・B ¥1,890 通常盤 ¥1,260
ネオン
ライカエジソン限定リリース！
★メーカー特典:DVD
7月21日 Maxi Single
Sweet Hearts ¥1,575
Like an Edison.com ラフォーレ原宿店イベント情報
Zip.er
4月25日(日)PM6:00～
サイン会
イロクイ。
4月29日(木)PM3:00～
トーク＆握手会(カメラタイムあり)
人格ラヂオ
会場:ラフォーレミュージアム
5月2日(日)PM4:00～
アコースティックライブ＆握手会
LOST ASH
5月9日(日)PM5:00～
トーク＆サイン会
ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
ライカエジソン通販改革！
さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！
PC>http://www.like-an-edison.com/
通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400円！！
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
※代金引換の場合は手数料が別途300円です。
通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。
ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708
ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211
ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262
Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

蝴蝶网 hudie.com

Like an Edison Release Information

※価格はすべて税込です

Sadie

4月28日

Maxi Single ドレス 限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,575

Single Collection Singles ¥2,520

人格ラヂオ

イベントあり

4月28日

Maxi Single 太陽 ¥1,890

ナイトメア

4月28日

NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1

GIANIZM ～天魔覆滅～

スペシャルボックス ¥10,000

(本編LIVE DVD2枚+カウントダウンライブDVD1枚+LIVE CD2枚をパッケージ)

LIVE DVD ¥5,800 LIVE CD ¥3,000

HERO

イベントあり

6月2日

Maxi Single Not Found

初回限定盤(CLIP DVD付き) ¥2,100/通常盤(ボーナストラック収録) ¥1,575

オリジナル特典：(初回限定盤のみ)アーティストフォト

メッセージDVD(初回、通常 別バージョン さらにライカエジソン3地区 別内容)

凛

KISAKI新バンド「凛」結成記念初音源をリリース!!

-the end of corruption world-

イベントあり

6月2日 Maxi Single

As If Forever Exists.

初回限定盤TYPE:A(CLIP DVD付き)¥2,100

通常盤TYPE:B・C(それぞれ楽曲が異なるボーナストラックを収録)¥1,670

封入特典：トレカ／MAKING DVDプレゼント応募券

花少年バディーズ

6月9日

Mini Album Balloon

イベントあり

Type-A 初回限定盤・Type-B 通常盤(それぞれ異なるボーナストラックを収録) ¥2,100

UnsraW イベントあり
Mini Album
4/21 GUILTY ¥2,625

ウェザー
Maxi Single ¥1,260
4/21 Adolescence.

呀修羅
Maxi Single ¥1,000
4/21 春夏秋冬に去りぬ/DEPRESSION
★オリジナル特典：スペシャルDVD

ClearVeil
Maxi Single TYPE A·B ¥1,365
4/21 White Satin イベントあり
★オリジナル特典：(W購入)アーティストフォト5枚組

Zip.er イベントあり
Maxi Single A・Bタイプ ¥1,575
4/21 dream cacher

VAJRA
Maxi Single ¥1,575
4/28 CONCEALED PAIN

ヴァルナ イベントあり
Mini Album
4/28 Distopia ¥3,150

お遊戯ね が魔々団x【PaRADEiS】 イベントあり
Full Album
4/28 Col・Tempo 初回盤 ¥3,675 通常盤 ¥3,150
★オリジナル特典：【原宿店】(初回盤)集合写真 (通常盤)個人写真5枚組
【東京店】(初回盤)DVD「わたぁめ真白編」(通常盤)コメントDVD
【名古屋店】(初回盤)DVD「碧編」(通常盤)コメントDVD
【大阪店】(初回盤)DVD「瑠希編」(通常盤)コメントDVD

boogieman イベントあり
Maxi Single
4/28 キジョウノ空論 ¥1,260

BrainStein
Maxi Single
2タイトルリリース
4/28 儚さにとどまれば…
限定盤 ¥1,500／通常盤 ¥1,200
Answerfor…
限定盤 ¥1,500／通常盤 ¥1;200

EAT YOU ALIVE
Maxi Single ¥1,300
5/19 Missing you/暁

spiv states
Mini Album 初回盤 ¥2,800／通常盤 ¥2,400
5/19 NOVELTY HUNTER
★封入特典：(通常盤のみ)トレカ

次世代を担うヴィジュアル系アーティストがこの一枚に集結!!
オムニバス
5/26 NEO VOLTAGE ¥2,500
収録アーティスト
愛狂います。／exist trace／ゴールデンボンバー／シリアル⇔NUMBER
ν[NEU]／花少年バディーズ／【_Vanilla】／HERO／ベルベット 他

12012
Maxi Single
5/26 THE PAIN OF CATASTROPHE
初回盤A ¥1,500／初回盤B ¥1,200／通常盤 ¥1,000
★メーカー特典：ポストカード

O-PARTS
Maxi Single
5/26 煌[kou] ¥1,200
★オリジナル特典：スペシャルDVD

己龍
Maxi Single
6/23 水無桜 イベントあり
初回限定盤：Aタイプ ¥3,675／初回限定盤：Bタイプ ¥1,890
初回限定盤：Cタイプ ¥1,890／通常盤：Dタイプ ¥1,575
★封入特典：トレカ

M
4月21日 Full Album
燦燦 初回盤 ¥3,675 通常盤 ¥3,150

Vanish
4月21日 Maxi Single
Prunus [L] ¥1,260

Art Cube
4月28日 Maxi Single
花陽影～Petal～ 限定盤Atype ¥1,890 通常盤Btype ¥1,050

DAMIJAW
4月28日 Full Album
I AM 初回限定盤 ¥3,600 通常盤 ¥3,000

ALvino
5月12日 Maxi Single
Close to you Aタイプ ¥1,260 Bタイプ ¥1,980

犬神サーカス団
5月12日 Mini Album
セタカムイ ¥2,500

Variable Messiah
5月12日 Full Album ¥3,150
BEST COLLECTION 2000～2004

VAMPS 4月28日 同時リリース
Maxi Single タイトル未定 初回限定盤 ¥1,500 通常盤 ¥1,000
LIVE DVD VAMPS LIVE2009 初回限定/通常盤 ¥6,600

★東京店イベント情報(♣：カメラタイム有り)

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ	4/21(水)	PM5:00～ 1時間店員
PIECElang	4/23(金)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
ν[NEU]	4/24(土)	PM5:00～ トーク&握手会
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ	4/25(日)	PM3:00～ トーク&握手会(W購入で5ショット撮影)
ClearVeil	4/27(火)	PM6:30～ トーク&6ショット撮影会(W購入で2ショット撮影)
Dali	4/30(金)	PM6:00～ トーク&サイン会♣
キャンゼル	5/ 1(土)	PM2:00～ 内容未定
PIECE	5/ 1(土)	PM6:00～ トーク&握手会
Zip.er	5/ 2(日)	PM6:00～ トーク&握手会
boogieman	5/ 3(土)	PM3:00～ 内容未定
EVER+LAST	5/ 8(土)	PM5:30～ アコースティック&ミニトーク&握手会
Dacco	5/ 9(日)	PM3:00～ トーク&握手会
UnsraW	5/ 9(日)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
R指定	5/15(土)	PM5:00～ トーク&握手&6ショット撮影会
イロクイ。	5/16(日)	PM5:00～ トーク&握手会♣
ニンジャマンジャパン	5/23(日)	PM5:00～ 内容未定
-OZ-	5/23(日)	ライブ終了後 握手会 ＊会場：高田馬場AREA
ヴァルナ	5/30(日)	時間・内容未定
HERO	6/ 5(土)	PM2:00～ トーク&握手会
Administrator	6/12(土)	PM3:00～ トーク&握手&5ショット撮影会
aki	6/12(土)	時間未定 トーク&握手&サイン会
凛	6/19(土)	PM3:00～ 内容未定
己龍	6/27(日)	PM2:00～ ドッキリ企画&トーク&サイン会
OUROBOROS	7/11(日)	PM6:00～ トーク&握手会

★名古屋店イベント情報(♣：カメラタイム有り)

ClearVeil	4/21(水)	PM6:00～ 1時間店員
ClearVeil	4/24(土)	PM2:00～ トーク&6ショット撮影会(W購入で2ショット撮影)
Tu[ism]	4/24(土)	PM4:00～ 1時間店員
シンディケイト	4/24(土)	PM6:00～ トーク&5ショット撮影会
Arc	4/25(日)	PM6:00～ トーク&サイン会♣
boogieman	4/29(木)	PM6:00～ 内容未定
BugLug	4/29(木)	PM1:00～ 1時間店員
Dali	4/29(木)	PM6:00～ トーク&サイン会♣
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ	5/ 2(日)	PM3:00～ トーク&握手会(W購入で5ショット撮影)
Dacco	5/ 3(月)	PM3:00～ トーク&握手会
PIECE	5/ 4(火)	PM2:00～ トーク&握手会
人格ラヂオ	5/ 4(火)	PM5:00～ トーク&握手会
rice	5/ 8(土)	PM2:00～ アコースティックライブ&トーク&握手会
Administrator	5/13(木)	PM3:30～ 1時間店員
UnsraW	5/13(木)	PM3:30～ 1時間店員
Zip.er	5/16(日)	PM6:00～ トーク&サイン会
-OZ-	6/ 4(金)	ライブ終了後 握手会 ＊会場：名古屋ボトムライン
凛	6/12(土)	PM3:00～ 内容未定
aki	6/26(土)	時間未定 インターネットTV「akiya」公開生放送&握手&サイン会
HERO	7/10(土)	PM1:00～ トーク&撮影会
己龍	7/18(日)	PM6:00～ トーク&握手&撮影会

★大阪店イベント情報(♣：カメラタイム有り)

Dali	4/24(土)	PM2:00～ トーク&サイン会♣
ダウト	4/24(土)	PM6:00～ チーム対抗!D-1グランプリ!トーク&握手&サイン会
シンディケイト	4/25(日)	PM3:00～ トーク&5ショット撮影会
Tu[ism]	4/25(日)	PM5:00～ 1時間店員
Arc	4/28(水)	PM6:00～ 『Arc CD発売記念&6周年3マン「color飾る夢-KO～」BIRTHDAY EVENT-」』前夜祭
ClearVeil	4/29(木)	PM3:00～ トーク&6ショット撮影会(W購入で2ショット撮影)
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ	4/30(金)	PM1:00～ トーク&握手会(W購入で5ショット撮影)
Dacco	4/30(金)	PM6:00～ トーク&握手会
boogieman	5/ 1(土)	PM1:00～ 内容未定
BugLug	5/ 1(土)	PM3:00～ 1時間店員
PIECE	5/ 3(月)	PM5:00～ トーク&握手会
人格ラヂオ	5/ 5(水)	PM5:00～ トーク&握手会
rice	5/ 9(日)	PM2:00～ アコースティックライブ&トーク&握手会
Administrator	5/14(金)	PM3:30～ 1時間店員
UnsraW	5/14(金)	PM3:30～ 1時間店員
Lycaon	5/15(土)	PM1:00～ トーク&握手&サイン会
Zip.er	5/16(日)	PM12:00～ トーク&サイン会
-OZ-	6/ 3(木)	ライブ終了後 握手会 ＊会場：大阪MUSE
凛	6/ 5(土)	PM6:00～ 内容未定
HERO	7/ 9(金)	PM4:00～ トーク&撮影会
己龍	7/27(火)	PM6:00～ トーク&握手&撮影会

PURE SOUND

ヴィジュアル系専門店
販売・買取

☆店頭限定 SPRING SALE☆

期間：～5/9（日）まで

アメリカ村・西新宿
同時開催!!

頭中古全商品 **20%OFF!!**（※新品・SALE 商品対象外）

ゴスロリ専門サイト
～maiden clothing～

http://www.maidenclothing.net

◇春の買取キャンペーン◇

下記の春の大量処分大歓迎キャンペーンは maiden clothing と合同キャンペーンになります。
期間中であれば洋服・小物もO.K!
期間中に CD.DVD. 洋服，小物 etc 是非、アメリカ村・西新宿店にお送り下さい！

◇モバイル版遂に OPEN!◇

☆西新宿店・店頭のみの特別企画☆

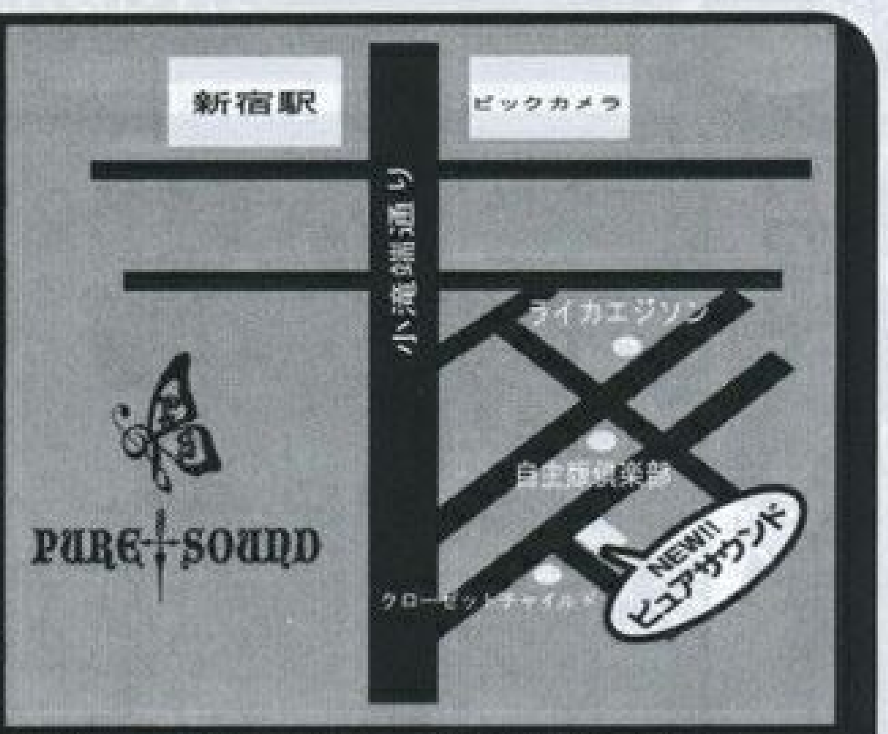
hide 特集コーナー開催 !!

期間：4/20～5/9

2008 年 hide memorial summit>出演者を中心に
・DVD・書籍・会報・パンフ・グッズに至るまで、レア物を含め

30%OFF で大放出 !!

e を知っている人も、知らなかった人も遊びに来て・見て・触れてみてください！



●ピュアサウンド西新宿店
東京都新宿区西新宿 7-16-14
ミクラビル 1F
TEL＆FAX　03-6304-0360

郵送買取なら 絶対ピュアサウンド!!

◆CD（邦楽・洋楽・etc）
◆DVD（ミュージック・映画・アニメ・etc）
◆音楽雑誌　◆ツアーグッズ各種
◆FC会報◆ゴスロリ服（その他V系古着）

点からでも**無料**！ 着払いでお送り下さい　送料代金は**当店**が**負担**します！

店頭にて持込での買取も行っております！
その場で専門スタッフが査定
↓
即現金にてお支払い♪
（身分証明書をご持参下さい。
＋
18 歳未満の方は親権同意書が必要となります。）

取法

1. ・お売り頂く商品
・身分証明書のコピー（運転免許証・保険証・パスポートのいずれか1点）
・買取依頼書
・親権者同意書（18歳未満の方のみ）
を必ず同封の上お送り下さい。
2. 当店到着後すぐに専門スタッフが一点ずつ丁寧に査定。
3. 査定結果をメールor電話にてお知らせします。
査定にご納得いただけない商品はキャンセル可能です!
4. お客様からの承諾をいただき次第ご指定の口座にお振込み♪
*お振込みの際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

買取依頼書について
ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。［振込先の金融機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス］

親権者同意書について
18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの同意書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。

査定後不成立の商品返送について
翌日ご返送させて頂きます。その際の送料は、お客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

←詳しくはこちら

4/21 ～ 5/31 着まで

春の大量処分大歓迎キャンペーン !!
売れば売るほどボーナスが付いてくる！

査定金額¥200以上の商品 **10点**以上で　**＋¥1,000**
さらに**10点**ごとに　**＋¥1,000**
50点ではなんと査定金額　**＋¥10,000**
100点以上　**＋¥25,000**

0点以上 ＋¥12,000
0点以上 ＋¥14,000
0点以上 ＋¥16,000
0点以上 ＋¥18,000

（※買取依頼書に必ず「SHOXX で春の買取キャンペーン見た！」とご記入下さい。）

西新宿店もついに郵送買取スタート!!

店頭での買取も随時行っております。
専門店なので安心査定価格♪
是非この機会に郵送・店頭買取をご利用下さい♪
詳しくは下記のお電話にてお問い合わせ下さい。
（※お電話での査定価格のお答えは出来ません。）

買取の極意!
① CDなどの帯は捨てたらアカン!
② 美品、完品(付属品が完備)が一番!
③ リストにないようなレア商品を売る際、補足説明を書いたメモがあればGOOD!

こちらの宛先まで、「佐川急便着払い」にてお送り下さい！

pure sound　Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-10-34
心斎橋ウエスト 363 ビル 2F
TEL:06-6214-2549

佐川急便QR

詳しい買取価格などは、ピュアサウンドホームページへ
http://www.puresound.co.jp
携帯版 http://psound.jp/

高額査定中！

貴重盤、ブランド古着、音楽雑誌、ツアーグッズ、
ツアーパンフ、ファンクラブ会報...
まずは、お問い合せ下さい！！

高額査定リスト

Plastic Tree
『奇妙な果実』初回　CD　3,000円
『あおむしドロップ』本　3,000円
『WORLDTOUR2006[chandelier]』通販限定写真集　7,000円
『忘却モノローグ』DVD付き本　3,000円
『パレード』初回CD 3,000円
『トロイメライ』初回CD 3,000円
『ネガとポジ』初回CD+DVD　3,000円
『シャンデリア』初回CD+DVD　3,000円
『シロクロニクル』初回CD 3,000円
『Cell.』初回CD　3,000円
『二次元ヲルゴール2』初回DVD　4,000円

シド
『吉開学 17歳（無職）』2ndMD　6,000円
『流通盤』CD　3,000円
『憐哀』初回CD　3,000円
『星の都』初回CD　2,000円

ガゼット
『別れ道』[illegible] CD　10,000円
『[illegible]ラヂヲ』CD　8,000円
『[illegible]師（32[illegible]）の脳[illegible]』CD　8,000円
『十四歳の[illegible]』配布CD　[illegible],000円
『泥だらけ[illegible]春』会場限定[illegible]　4,000円
『Verwelk[illegible] Gedicht』初回CD付き写真集　4,000円
『STANDING LIVE TOUR 2006 NAMELESS LIBERTY SIX GUNS TOUR FINAL AT BUDOKAN』初回DVD 5,000円

全国に即日発送いたします！

全国一律 700円 送料+代引手数料

ポスターが付く場合、ポスター箱代200円が別途かかります

送料全国一律500円　代引手数料200円
10,000円以上ご購入の場合は送料無料！

＊月末一括発送＊
まとめ発送
毎月最終日発送

商品を複数注文されている方は、毎月月末に一括発送しちゃいます。（同月発売の商品のみです）　発送を急がない人で、送料を節約したい方や、給料日後に一括購入したい人は、是非利用してね！
※途中での変更は出来ませんので、よく検討してから申し込んでね！

通販方法

1.代金引換
商品を即日発送いたします。商品到着時に、商品代+700円(送料[illegible]数料)の合計金額を、配達員にお支払い下さい。送料代引き手数[illegible]一律700円です。関東はもちろん、九州、沖縄まで送っちゃいま[illegible]

2.現金書留
在庫確認の上、商品代と送料(500円)の合計を現金書留で送金下[illegible]金が届きましたら、商品を発送いたします。

3.銀行振込（1週間以内の振込でお願い致します)
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方→インターネットで[illegible]365日お振り込みができます。ジャパンネット銀行間の手数料[illegible]とってもお得です。
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちでない方→通常の銀行か[illegible]り込みになります。
オンラインによる管理ですので、24時間リアルタイムで確認い[illegible]ので、振込確認次第、即発送しちゃいます！
オーダーフォームより、お申し込み下さい！

約3500アイテムを網羅
CD、DVDの他
貴重盤、ファンクラブ会報
ツアーグッズ、ツアーパンフ
ブランド古着も
取り扱ってます！！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU　検索

http://www.guruguru.co.jp/

04.28 on sale　3種同時発売

結成10周年を迎えての初ライブの模様を収録！！

ナイトメア
NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1
GIANIZM～天魔覆滅～

◆完全予約限定盤スペシャルボックス　DVD　価格¥10,000
■本編 LIVE DVD 2枚　※DVD単体商品と同一内容
■カウントダウンライブ DVD（20～30分収録）1枚　※2009.12.31～2010.1.1にかけて Zepp Sendaiで行われたカウントダウンライブの模様を収録したスペシャル DVD！
■LIVE CD 2枚 ※CD単体商品と同一内容　※LIVE DVDとは収録内容が異なります。
■封入特典付、10周年スペシャルクーポン券付。

◆通常盤　DVD　価格¥5,800
■本編 LIVE DVD 2枚　■封入特典付、10周年スペシャルクーポン券付。

◆限定盤　CD　価格¥3,000
■LIVE CD 2枚　※LIVE DVDとは収録内容が異なります。
■10周年スペシャルクーポン券付、トレーディングカード封入

06.23 on sale　4種同時発売

己龍
水無桜

◆Aタイプ 初回限定盤　CD+DVD　価格¥3,675
DVDには3月5日＠オーウエストライブ映像12曲収録予定。
◆Bタイプ 初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDには「別レ日和ハ仄カニ染マル ヴィデオクリップ」を収録。
◆Cタイプ 初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDには「雨夜ニ笑エバ ヴィデオクリップ」を収録。
◆Dタイプ 通常盤　CD　価格¥1,575

GURUGURU特典
イベント整理券6/23発売「水無桜」4種類の中から2枚ご購入でイベント整理券（7/12 18:00 マルチスペースエフ「己龍プレゼンツ～全国唯一のフル衣装・フルメイクでインストアイベント～」トーク、握手、撮影会）

06.16 on sale　3種同時発売

彩冷える -ayabie-
きら星（仮）

GURUGURU特典 交渉中！

◆初回生産限定盤A　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPV+PVメイキング映像を収録予定。
◆初回生産限定盤B　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPV+ツアーライブ映像、オフショット映像を収録予定。
◆通常盤　CD　価格¥1,260

04.28 on sale　2種同時発売

Sadie
ドレス

◆限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPVを収録予定。
◆通常盤　CD　価格¥1,575

Singles
◆CD　価格¥2,520
サディ初のシングルコレクション！代表曲「迷彩」「a holy terrors」を含む全8曲+ボーナストラック2曲収録！

05.12 on sale　2種同時発売

vistlip
STRAWBERRY BUTTERFLY

◆vister初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDには「STRAWBERRY BUTTERFLY」のPVを収録。
◆lipper通常盤　CD　価格¥1,260

GURUGURU特典
W購入で生写真+コメントDVD

05.12 on sale　3種同時発売

SCREW
Cursed Hurricane

◆初回限定盤Aタイプ　CD+DVD　価格¥1,890
◆初回限定盤Bタイプ　CD+ブックレット　価格¥1,890
◆通常盤　CD　価格¥1,575

06.09 on sale　3種同時発売

ANCIENT RAIN

◆初回限定盤Aタイプ　CD+DVD　価格¥1,890
◆初回限定盤Bタイプ　CD+ブックレット　価格¥1,890
◆通常盤　CD　価格¥1,575

GURUGURU特典
ポストカード+イベント整理券
（8月6日 14:00 マルチスペースエフ
※5月12発売「Cursed Hurricane」初回限定盤AとB、6月9日発売「ANCIENT RAIN」初回限定盤AとBの4種お買い上げの方対象、先着にてイベント参加券を配布いたします）

04.28 on sale

lynch.
A GLEAM IN EYE

◆CD　価格¥1,000

05.26 on sale　2種同時発売

DIR EN GREY
UROBOROS -with the proof in the name of living...- AT NIPPON BUDOKAN

◆初回生産限定盤　DVD　価格¥10,500
2010年1月9・10日日本武道館にて行われたライブの模様を収録！！DVD3枚+CD1枚の4枚組。
◆通常盤　DVD　価格¥7,140
2010年1月9・10日日本武道館にて行われたライブの模様を収録！！DVD2枚組。

05.26 on sale　3種同時発売

メガマソ
トワイライトスター

◆初回限定盤A　CD+DVD　価格¥1,890
◆初回限定盤B　CD　価格¥840
◆通常盤　CD　価格¥1,050

GURUGURU特典 交渉中！

06.16 on sale　3種同時発売

Kagrra,
月に斑雲 紫陽花に雨

◆初回盤A　CD+DVD　価格¥1,800
DVDには「月に斑雲 紫陽花に雨」のPVを収録。
◆初回盤B　CD+ブックレット　価格¥1,800
スペシャルブックレット付き。
◆通常盤　CD　価格¥1,200

GURUGURU特典
ポストカード+交渉中！

2010/04/21　ClearVeil「White Satin」TYPE A　CD　¥1365
2010/04/21　ClearVeil「White Satin」TYPE B　CD　¥1365
2010/04/21　DOG in The パラレルワールドオーケストラ「ワンダー×ワンダ[illegible]初回盤　CD+DVD　¥1890
2010/04/21　DOG in The パラレルワールドオーケストラ「ワンダー×ワンダ[illegible]通常盤　CD　¥1260
2010/04/21　M「蝶蝶」初回盤　CD+DVD　¥3675　GURUGURU特典：DVD[illegible]オ編」
2010/04/21　M「蝶蝶」通常盤　CD　¥3150　GURUGURU特典：コメントDVD
2010/04/21　UnsraW「GUILTY」CD　¥2625
2010/04/21　Zipper「dream catcher」Aタイプ　CD　¥1575
2010/04/21　Zipper「dream catcher」Bタイプ　CD　¥1575
2010/04/21　ウェザー「Adolescence.」CD　¥1260
2010/04/21　ベルベット「闇」CD　¥2100
2010/04/21　陰陽座「龍凰輪舞」初回完全限定盤　DVD　¥6900
2010/04/21　陰陽座「龍凰輪舞」通常盤　DVD　¥5800
2010/04/21　東京指定「One way～星に願いを～ feat.LUXAM」CD+DV[illegible]¥1890
2010/04/21　平成維新「Prism.」TYPE A　CD+DVD　¥2100
2010/04/21　平成維新「Prism.」TYPE B　CD+DVD　¥2100
2010/04/21　呀修羅「春夏秋冬に去りぬ/DEPRESSION」CD　¥1000
2010/04/28　Art Cube「花陽影～Petal～」限定盤TYPE A　CD+DVD　¥1890
2010/04/28　Art Cube「花陽影～Petal～」通常盤TYPE B　CD　¥1050
2010/04/28　boogieman「キジョウノ空論」CD　¥1260
2010/04/28　BrainStein「Answerfor…」初回限定盤　CD+DVD　¥1500
2010/04/28　BrainStein「Answerfor…」通常盤　CD　¥1200
2010/04/28　BrainStein「儚さにとどまれば…」初回限定盤　CD+DVD　¥150[illegible]
2010/04/28　BrainStein「儚さにとどまれば…」通常盤　CD　¥1200
2010/04/28　DAMIJAW (ka-yu/Janne Da Arc)「I AM」初回限定盤　CD+DV[illegible]¥3600
2010/04/28　DAMIJAW (ka-yu/Janne Da Arc)「I AM」通常盤　CD　¥3000
2010/04/28　Dear Loving「幸せのカタチ」幸せA-TYPE　CD+DVD　¥1575
2010/04/28　Dear Loving「幸せのカタチ」幸せB-TYPE　CD　¥1050
2010/04/28　DEPAIN「螺旋」CD+DVD　¥2100
2010/04/28　DEPAIN「螺旋」CD　¥2100
2010/04/28　DRAGONWAPPPPPPER「βｌｕｅ」CD　¥1260
2010/04/28　Metry「百年桜」CD　¥1500
2010/04/28　VAJRA「CONCEALED PAIN」CD　¥1575
2010/04/28　ヴァルナ「Distopia」CD+DVD　¥3150
2010/04/28　お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】「Col・Tempo」初回[illegible]CD+DVD　¥3675
2010/04/28　お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】「Col・Tempo」通常盤[illegible]¥3150
2010/04/28　人格ラヂオ「太陽」CD+DVD　¥1890
2010/05/05　LAYZis「IN PAIN/脆く美しきモノ」CD　¥1050
2010/05/05　-OZ-「viridian」CD+DVD　¥2100
2010/05/12　Administrator「曖情レイテンシー」CD　¥1575
2010/05/12　ALvino「Close to you」Aタイプ　CD　¥1260
2010/05/12　ALvino「Close to you」Bタイプ　CD+DVD　¥1890
2010/05/12　ギャロ「ALICE IN WORLD'S END」CD　¥1260
2010/05/12　犬神サーカス団「セタカムイ」CD　¥2500
2010/05/19　EAT YOU ALIVE「Missing you/暁」CD　¥1300
2010/05/19　spiv states「NOVELTY HUNTER」初回限定盤　CD+DVD　¥28[illegible]
2010/05/19　spiv states「NOVELTY HUNTER」通常盤　CD　¥2400
2010/05/19　STELLA.「邂逅ノ刻」初回盤　CD　¥2625
2010/05/19　黒色すみれ「Alice in Under Ground」CD　¥3000
2010/05/26　DEATHGAZE「SORROW」CD　¥1050
2010/05/26　V.A.「EXPECTATION of FORCE」CD　¥1575【収録バンド】VEL/ZELGYER/Venus/茶々丸/Pharaphilia/RUI/ESCAPE/Reue/『正[illegible]拝教團JUSTIC KING
2010/05/26　アンド「咒」A-TYPE　CD+DVD　¥1890
2010/05/26　アンド「咒」B-TYPE　CD+DVD　¥1890
2010/05/26　ネガ「NEGATIVISM」TYPE A　CD+DVD　¥4200
2010/05/26　ネガ「NEGATIVISM」TYPE B　CD　¥3150
2010/05/26　ネガ「VISUAL NEGATIVISM-complete-」DVD　¥4725
2010/06/09　NoGoD「カクセイ」完全限定プレス盤　CD+DVD　¥1680
2010/06/09　NoGoD「カクセイ」通常盤　CD　¥1260
2010/06/09　花少年バディーズ「Balloon」Type-A初回限定盤　CD　¥2100
2010/06/09　花少年バディーズ「Balloon」Type-B通常盤　CD　¥2100
2010/06/23　A&D「BLACK HEAVEN」初回限定盤　CD+DVD　¥1890
2010/06/23　A&D「BLACK HEAVEN」通常盤　CD　¥1260

GURU GURU
有限会社　グル・グル

〒060-0063
札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00

全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」ON A[illegible]

毎週火曜23:00　FMアップル　76.5
※札幌圏のみの放送

インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streaming_a[illegible]

Kagrra,白水と女雅の道産子牧場
ヴィドールの真夜中の美人館

バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio.html

http://www.brand-x.jp
人格ラヂオ
3年振りに放つニューシングル！
★4/28発売「太陽」M-CDs+DVD¥1,890
※オリジナル予約特典交渉中！
boogieman
-キジョウノ空論-
☆4/28発売 M-CDs¥1,260
オリジナル予約特典など、
詳細はWeb上にて！
heidi.
待望のNEWシングル発売決定！！
【予感】待望のメジャーデビューシングル！
▼5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
▼5/26発売 M-CDs¥1,260
2種同時購入オリジナル特典あり！
※インストアイベント開催決定！詳細はWebにて
NEU
待望のフルアルバム！
発売中!! CD¥3,990
初回盤は20P Booklet＆
「LIMIT」収録のDVD付き！
※オリジナル予約特典付！イベント5/15開催決定！
lynch.
待望のNEWシングル
GLEAM IN EYE
28発売!!CDs¥1,000
オリジナル特典：コメントDVD
「東京指定」
▼4/21発売M-CDs¥1,890
「One way～星に願いを～」
◆オリ特やイベント詳細はWebにて！
大佑と黒の隠者達
▼6/2発売
「翻弄」CD¥1,260
◆オリジナル予約特典付！
ALiBi
「キラ☆メキ未来」
発売中!!CD¥2,100
★オリ特DVD付
イベント開催決定！
5/15(土)PM5:00～
rice
待望のNewM-CDsリリース決定！
「Sing you[初回限定盤]」
「Sing you[通常盤]」¥1,260
オリジナル特典、イベント開催決定！
EVER+LAST
オリ特：コメント映像(Brand X Ver.)
インストアイベント開催決定！
5月29日(土)PM7:00～
Ru:natiC
「導カレ・・・
血爛レタ人体」
期待のNEWバンド！
大好評発売中 ¥1,200
オリジナル特典付！
ベルベット
「閥」
4/21発売!!
CD¥2,100
オリ特付！
インストアイベント
開催決定！
5/21(金)
PM7:00～
KYOKUTOU GIRL FRIEND
【勝手にしやがれ】
-2nd Press盤-
発売中！CD¥3,150
3大オリジナル特典
スペシャルDVD!
直筆サイン色紙！＋フォトカード
ケミカルピクチャーズ
5ヶ月連続リリース第1弾の発売が決定！
「世界を撃った男」
-case 1 トカレフ-
▼5/26 M-CD¥1,575
オリジナル特典付！
TOON-FACTORY
-トゥーン工場-
【Innocent】
★発売中 CD+VD ¥2,625
オリ特：コメントDVD付！
大好評発売中！
4月24日(土)
PM7:00～
イベント開催！
exist†trace
◆待望のNEWシングル発売決定！
▼6/2発売！M-CDs¥1,260
※オリジナル予約特典交渉中！
A&D
【BLACK HEAVEN】
▼6/23「初回盤」M-CDs+VD¥1,890
▼6/23「通常盤」M-CDs¥1,260
オリジナル予約特典付！
SCREW
待望のNEWシングル、【詳細はWeb】
★5/12発売「Cursed Hurricane[初回盤Aタイプ]」¥1,890
★5/12発売「Cursed Hurricane[初回盤Bタイプ]」¥1,890
★5/12発売「Cursed Hurricane[通常盤]」¥1,575
★6/9発売「ANCIENT RAIN[初回盤Aタイプ]」¥1,890
★6/9発売「ANCIENT RAIN[初回盤Bタイプ]」¥1,890
★6/9発売「ANCIENT RAIN[通常盤]」¥1,575
Vanilla
「蝶集-通常盤-」
▼発売中 CD¥2,100
※オリ特：コメントCD＋カード付！
5月7日(金)PM7:00～開催決定！
☆NEGATIVISM[TYPE A]
5/26発売CD+DVD¥4,200
☆NEGATIVISM[TYPEB]
5/26発売CD¥3,150
各タイプオリジナル特典付！
インストアイベント開催決定！
※詳細はWEBにて！
DRAGONWAPPPPPPER
★「βｌｕｅ(ブルー)」
4/28発売 M-CDs¥1,260
※オリジナル特典付！
-ayabie-
彩冷える
望のNEW M-CDsリリース決定！
6/16 ON SALE
初回生産限定盤A]M-CD+DVD¥1,890
初回生産限定盤B]M-CD+DVD¥1,890
・通常盤B]M-CD¥1,260
イベント等、詳細はWeb siteにて！
the GazettE
待望のNEWアイテム発売決定！
2010/7/21
NEW MAXI SINGLE Release!
2010/8/4
NEW DVD[FILM BUG II]Release!
※詳細はWebにて！
BrainStein 話題の大型新バンド！
まったく新しい形のヴィジュアル系バンド！
★4/28発売「儚さにとどまれば…/限定盤」M-CDs¥1,500
★4/28発売「儚さにとどまれば…/通常盤」M-CDs¥1,200
★4/28発売「Answerfor…/限定盤」M-CDs¥1,500
★4/28発売「Answerfor…/通常盤」M-CDs¥1,200
※オリジナル予約特典など、詳細はWebにて！
待望のNewM-CDsリリース決定！
★6/23発売「水無桜 A-type」¥3,675
★6/23発売「水無桜 B-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 C-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 D-type」¥1,575
※オリジナル予約特典考案中！
インストアイベント開催決定！
6月26日(土) PM6:00～
己龍
凛
▼6/2発売
「As If Forever Exists.」
★限定盤A CD+DVD ¥2,100
★限定盤B CD ¥1,670
★通常盤C CD ¥1,670
オリ特付！
▼インストアイベント開催決定！
・6月20日(日)PM6:00～
※参加方法やオリジナル予約特典の
詳細はweb siteにて！
送料改定のお知らせ
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料は
プライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、
変わらぬ配送サービスにて、お荷物をお届け致します！
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては
上記の価格は適用されません。
花少年バディーズ
望のNEWシングル発売！
Moon[2TYPE]リリース！！
10/06/09 ON SALE!!
通常盤TYPE-A]CD¥2,100
通常盤TYPE-B]CD¥2,100
タイプにスペシャル特典付！
インストアイベント開催決定！
しい詳細はWeb siteにて！
Brand X
DOG inThePWO
待望のNEWシングル！
「ワンダー×ワンダー」
★4/21「初回盤」¥1,890
★4/21「通常盤」¥1,260
各タイプオリジナル特典付！
※詳細はWeb Siteにて！
インストアイベント開催決定！
こちらの詳細もWebSiteにて！
現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！
vistlip
『STRAWBERRY BUTTERFLY』
★5/12発売「vister盤」M-CDs+DVD¥1,890
★5/12発売「lipper盤」M-CDs¥1,260
※オリジナル予約特典考案中！詳細はWEBにて！
vistlip
2010年6月
インストアイベント開催決定！
※参加方法など、詳細はWEBにて！
THE KIDDIE
遂にメジャーデビュー！
【smile】
7/14発売「初回限定盤」¥1,575
7/14発売「通常盤」¥1,260
※W購入特典等、交渉中！
VII-Sense
★発売中「BLACK BIRD」¥2,000
※オリジナル特典：
DVD＋アーティストカード
インストアイベント開催決定！
2010年5月2日(日) Pm6:00～
超絶人気！
Irokui
おわらないせかいのうたいかた
▼発売中 CD¥2,800
オリ特：アーティストカードセット！
インストアイベント開催決定！
2010年5月28日(金)PM7:00～
トークライブ＆握手会！
※トークライブは人数制限有り。
メガマソ
【トワイライトスター】
▼5/26発売初回限定盤A M-CD+DVD¥1,890
▼5/26発売初回限定盤B M-CD¥840
▼5/26発売通常盤 M-CD¥1,050
※連動購入でのスペシャル特典有！
インストアイベント開催決定！
日程などの詳細はWebにて！
アンド
待望の新音源発売決定！
☆5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
「兇(キョウ)A-TYPE」
☆5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
「兇(キョウ)B-TYPE」
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
★5/5発売M-CDs+DVD¥2,100
[virdian]
オリジナル予約特典：Special DVD
「オズリンピックDVD目指せ金メダル！」
◆インストアイベント開催決定！
2010年5月22日(土)PM6:00～
トーク＆握手会！
PICK UP ITEM
HERO -Not Found-
7/2 DROP! M-CDs+DVD 2,100yen
7/2 DROP! M-CDs 1,575yen
オリジナル予約特典付！ 詳細はWebにて！
インストアイベント開催決定！
※自主制作作品の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！
Brand X webshop
通信販売を
ご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換(着払い)と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、お手続きをお願い致します。
①代金引換(着払い)
②先にご送金して頂く方法
入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日～2日でお届け致します。
ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL.03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休
通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け下さい。

次号Vol.209予告

（ぽっくんの主張：おぴんこちゃんをよろしくの巻）

5月21日全国一斉発売！

■春は出会いと別れのクロスロード。サラリーマンぽっくんが勤務している音楽専科社も若干の組織変更がありまして、会社内でスタッフの異動がありました。が、超保守系集団のSHOXX編集部は相変わらずこれまでのスタッフでやることになりました。たまにはグラビアアイドル写真集とかの編集をやってみたかったりするのですが、今期も美形男子と一緒にガッツリ仕事をさせてもらいます。

■春に新しくはじめたものとはっ!! え～と、特に何もなし。地味に毎日暮らしています。ただ、会社でtwitterをはじめたので、ぽっくんも参加しています。が、イマイチtwitterの使い方がよく分からないので、とりあえず、リアルタイムでやっている仕事に関することをつぶやいています。よかったら遊びにきてくださいませ。

＊ぽっくんtwitter（http://twitter.com/@pockoon）

■ついでに宣伝しちゃうとおいらのマイスペースもあるので、そちらもよろしければ遊びにきてください。アンカフェのみくがプロモーション（？）してくれた伝説の珍曲「ちんちんパール」もここで試聴できます。

＊ぽっくんmyspace（http://www.myspace.com/pockoon）

■今月の特集は西川さんとYOMIちゃんの異色コラボということで、楽しんでいただけたでしょうか。最初の2、3カットはYOMIちゃんの表情が少し固めで、緊張を隠せない感じでしたが、二人でガンプラで遊んでいるカットぐらいから、だいぶ雰囲気もほぐれてきて、結果すごく楽しい現場になりました。またこんな感じで異色コラボ企画やりたいです。もしリクエストがあれば、アンケート用紙の隅っこに書いてくださいね。

来月の表紙&巻頭特集は
SHOXX　Vol.209

“ナイトメア”最新インタビュー!!
“彩冷える”最新音源ネタをバシッとやります。
“有村竜太朗”と“Aiji”のスペシャル対談企画

SHOXX創刊20周年企画はまだまだ続くのです。お楽しみに!!

右記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、切手代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理部「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターが付いてない場合もあります。ご了承ください）。

また、近くの書店でVol.209（5月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

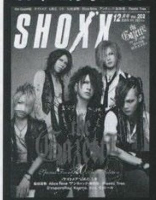
Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良(Kra)■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女～ロリヰタ～23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

Vol.196
09年6月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■ヒロト(アリス九號.)パーソナル企画■有村竜太朗(Plastic Tree)■ナイトメア■ムック■シド■アンティック-珈琲店-■LM.C■彩冷える■-miyavi-■Angelo■heidi.■ギルガメッシュ■宇宙戦隊NOIZ■ゾロ■BOUNTY

Vol.202
09年12月号 ¥980



■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.197
09年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙18ページ大特集■YOMI & 柩(ナイトメア)メンバー内対談■Nao(アリス九號.)パーソナル企画第2■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■-miyavi-■シド■LM.C■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■Mix Speaker's,Inc.■heidi.■ギルガメッシュ

Vol.203
10年1月号 ¥980

■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■un SCAR NERVE 夢のセッションバンド撮り下ろし特集■柩×Ni～ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

Vol.198
09年8月号 ¥980

■シド巻頭&表紙2…ページ大特集■沙…(Alice Nine)■Plastic Tree■X JAPAN■ナイトメア■アンティック-珈琲店-■ヴィドール■ムック■D'espairsRay■Versailles■1201…■heidi.■Dolly■boogieman■ギルガメッシュ

Vol.204
10年2月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマソ■人格ラヂオ■宇宙戦隊NOIZ■KISAKI

Vol.199
09年9月号 ¥980

■the GazettE巻…&表紙20ページ大…集■Alice Nine■…葉(仙台貨物)■アンティック-珈琲店-■Psycho le Cému■Plastic Tree■ナイトメア■ムック■Kagrra,■ヴィドール■Kra■D■Sadie■ギルガメッシュ■龍…(ゾロ)■姫苺■メガマソ■アンド■Versailles

Vol.207
10年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン(アンティック-珈琲店-)■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's,Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

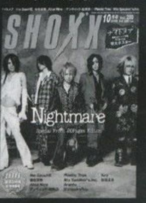
Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■LM.C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

Vol.205
10年3月号 ¥980

■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ(ムック)■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.200
09年10月号 ¥980



■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■…(Alice Nine)■有村竜太朗(Plastic Tree)■アンティック-珈琲店-■D'espairsRay■Mix Speaker's,Inc.■仙台貨物■…(Kra)■彩冷える■…天楼オペラ■キ…(Angelo)■KISAKI■PENICILLIN■Aoi…

慧美网 vimee.net
蝴蝶网

彩冷える 葵の ヒナタごっこ

第49回

今年ももうすぐゴールデンなウィークが始まります。人によっては7日間お休みの方もいるみたい。大型連休になりそうですが、相変わらず僕にはほとんど関係なく。皆さんはどんなお休みを過ごすのでしょうか？

「もし、一週間お休みをもらえるとしたら？」よくそういう話題がラジオ番組等でも出るのですが、いざ一週間お休みをもらうと何をしていいか困りそう。「お休み欲しい!!」とは思うけれど、それほど時間を費やして熱中する趣味も今はないし。1日、2日はゴロゴロして過ごせそうですが3日以降は何かしら仕事を探してしまいそうだ。

「人生を充実させられる人のほとんどは、休みを取るのが上手」だと聞きます。
ONとOFFをはっきり切り替えられる人の方がいらしい。そんなスイッチあったらいいのになって思いますが、なかなか不器用な僕はそれが難しい。例えば急に一日お休みがあって「映画でも観に行こう」と映画館に足を運んで映画を観ているとき、そのシチュエーションの中で作詞の案が閃いたらもう大変。そこから話の構想を自分の中で考え始めて、もう映画どころじゃなくなって早く家に帰って作詞作業を始めたくなる。

携帯電話みたく、お休みの時は仕事モードの電源をボタン1つで切れたならいいのにね。僕は昔から1つの事に集中できないんです。何かをしてるとそう1つの何を考えてしまう。器用なんだか不器用なんだか。そんなこと皆さんはないですか？

そしてもう1つの問題。「腰が重い」。
「今日はお休みだ!!」って時になんとか朝早く起きて計画を自分の中で立ててみるんだけど、なかなか行動に移せない。あーだこーだしてるとそう夕方だったりします。「じゃ夜になったら出掛けよう」って夜まで家でのんびりしていると、もう外出るのが面倒くさくなって「明日でいいや」ってなってしまう。そんな自分が嫌で今年こそは改善しようって心がけているのですが、昔から時間をかけて構成された自分を変えるのはなかなか難しいね。生活環境を変えることも自分を変えるきっかけになれるんじゃないかって思っていて実は今引っ越そうかと思っているんです。前述した通り「腰が重い」僕ですから家を探すのも大変だし、まず住み易くカスタマイズされた部屋を変えるのも一大事ではあるのですがここは新規一転居住空間を変えてみたいって考えてます。まだ考えてるだけですが・・行動に移せるかな。また引っ越しが決まったらご報告しますね。。

さて季節は梅雨に向かっています。雨降り日が続き、余計外出するのが面倒くさくなる梅雨。今年は長いのでしょうか、梅雨？ 夏も苦手なんですが、梅雨もジメジメして嫌なので早く季節が過ぎてび越えて秋が来て欲しいな。皆さんはどの季節が好きですか?? 四季のある国に生まれた僕らですからどんなときも季節を楽しんで行きたいですよね。

そんな今日、桜は薄紅色から緑色に衣替えして夏色に街が向かい始めています。僕も重い腰のせいにして季節に取り残されないように。今日も楽しんでいこう。
皆さんも素敵な日々を。ゴールドに輝く連休を満喫されてくださいね。

あおい

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第74回 「趣味」の巻

マコトです。

辛かった花粉症シーズンも過ぎ、毎日快適にすごしています♪

ドレミ團は春のワンマンも無事終了し、次なる展開に向け新たな一歩を踏み出したところです。

個人的にこの春から何か新しいことをはじめようと思っていたのですが、今のところ特に何もやってないのでそろそろはじめようと思っているのですが、いまひとつ「コレ！」ってことが見つかりません。

先日、知り合いのミュージシャンの方に「まこっちゃんて普段何してんの？ 趣味ってある？」って聞かれて

「う～ん…特に無いですね…」
って答えてしまいました。

…あかんやん、おれ！ でも、特に今無いんです！ 実際、オフの日って何もしないまま終わることがおおいのです。こういうとき、なんて答えたらいいのだろう…。

ゲームは好き。だが、趣味といえるほどやってない。

漫画も好き。けど「趣味は？」と聞かれて「漫画を読むことです」ってのもなんか寂しい…。

酒は飲まない。仮にお酒が好きだったとしても、「趣味は酒です！」ってなんか違う。捉えようによってはどうしようもない奴やん。

一応、3年程前にもこんな感じで、何かやろうとおもいカメラを買ってはじめた。確かに面白かった。でも今ではあまり使ってない。

うむむ…。
しかし実際の所なかなか趣味に費やす時間がないのも確か。でも時間は作るもの。きっと何かがあるはず！

来月、ここで発表できるように頑張って趣味探します。ん？ 趣味って頑張って見つけるもんなのか？ まあいいや、とにかく今月はいろんなことやってみよう！

ほな。

Mix Speaker's, Inc. seekの凡人水族園

第九十七回

世の中科学だけでは説明出来ない不可思議な現象がある。我々バンドマンの世界でもツアー先のホテル、ライヴハウス等々数多の怪奇現象証言を聞く事が有る。霊感の無い僕ですらこんな経験をした。

MSIのレコーディングは連日深夜までに及びメンバーやスタッフ達は心身共に過労を極めていた。スタジオの歴史は古く華やかに鳴り響く音楽とは対照的に「何かが居そうな」そんな雰囲気を醸し出していた。

僕はブースの中で一人煮詰まっていた。かれこれ同じフレーズを一時間以上も弾いていた。弾けないのだ。自分で考えたフレーズにも関わらず弾けないのだ。ならばフレーズを変えりゃあ良いもんの変えたくないと意固地になっていた。皆はもううんざりしていた。アシスタント君の欠伸を噛み殺した「お願いします」にも「お願い」している感は無くなっていた。ヘッドフォンからはブンブンという心地よい低音が響く。その温もりに瞼が垂れてきた。「次の頭でハイフレットに上がって」と朦朧とする意識の中手を動かそうとした。するとヘッドフォンに「ゴニョゴニョ」と不可思議な声ともつかぬ音が混ざった。何かのノイズかトークバックの声か。一瞬の出来事に瞼が開いた。慌ててミキシングルームを覗く。白目を剥いて眠るメンバー。苦々しく天を見つめるエンジニア・ジュングチャングサング。充血した目でモニターを見つめるアシスタント君。会話をしている様子は無い。不眠不休で続くレコーディングに遂に幻聴が聞こえる様になってしまった。さっさと終わらせて帰ろうと背筋を正しベースを握りしめた。ドラムがビートを刻む。ピックを振り下ろす。その時はっきりと聞こえた。「オイ」というおっさんの声。ひっくり返りそうになった。はっきりとしたおっさんの声なのだ。ドラムのビートどころではない。テンポ200を16分で刻む僕の心臓は今にも張り裂けそうだった。ベースアンプが置いてあるブースに目を向ける。「冷蔵庫」と異名を持つ巨大ベースアンプ「ampeg」の上に必死の形相を浮かべる「おっさんの首」。「ぎいやあああああ」叫び、僕は命にも変えられないベースを放り投げて逃げた。その後の記憶は無い。

ブース内を調べに行った勇気あるアシスタント君の証言によると「おっさん」は警察官だったようで近隣の苦情によりパトロールをしにきたのだそうだ。音のする方向を辿って搬入口の階段を下った彼は密室スピーカーから放たれる低音に驚き、鏡越しに蓑く緑頭を見てひっくり返りそうになったそうだ。

深夜に見る「首だけの警察官」。深夜に見る「緑頭の眉無し男」。そこら辺の安っぽい怪談話よりよっぽど怖い気がする。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

●各コーナーへのお便りの宛先は〒104－8228 音楽専科社 SHOXX編集部アーティストBOX「○○○○○」（コーナー名）係まで。

THE KIDDIE 佑聖

第11回

絶頂モンスターハイゲイン

へーいよーう（･｡･）

ただいま東京。
そうなんですついこの前までワンマンツアーで全国5カ所をまわっていたのです。

いやーもう春だと思って余裕ぶっこいて薄着しかもっていかなかったんだけど、どこ行っても寒くてびっくりしましたよ。

だって仙台に向かうときなんて大雪で普通に吹雪だったからね　笑

春なんですけど！

みたいな！
そーしーてーい、ついにリキッドルームでファイナルを迎えて発表しました！

7月14日にTHE KIDDIEメジャーデビューします‼

しかも今度は全国各地ワンマンツアーまわっちゃうぜ。

さすがにもう雪はないっすよね。なにげに四国とか初めて行くしワクワクしてんだ。

熱い夏になりそうだね（･｡･）

さて先月の問題の答え！

実は鬼太郎の頭には髪の毛で隠れてるけど3つの穴があいてるんだよー。

ちなみに鬼太郎の頭は普通の男の子よりも大きいんだな。

じゃあ今月の問題！

実は俺シンプソンズが好きなんだけど、シンプソンズ一家の隣人の名前はなんでしょう？

夢のぐるぐる大回転

第25回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆
コースケ(heidi.)『家電』➡Chiyu(SuG)

ど～もみなさん、こんにちは～！ heidi.コースケです！　バトン形式コラム、今回はlynch.の玲央さんからの紹介という事で『家電』について語らせて頂きます！
そ～かそ～か、前の人が次の人に好きなお題を付けられるシステムなのね～！　よし理解した（笑）。
しかし何故に家電なんだろ？　1度楽屋の廊下で、液晶テレビとヤマダ電機について熱く語ったからかな～（笑）。
いや～でもさすが玲央さん、いろいろ詳しくてその知識量に圧倒されましたよ！　ちなみに玲央さんのオールジャンルの豊富な知識の事を、バンドマン界隈では“レオペディア”と呼ばせて頂いております。何が凄いってさ～※自主規制※、とこのぐらいにしとかないと､いつの間にかお題が『玲央さん』に変わってしまいそうなのでこの辺で。
さてさて家電との事ですが、家電全般好きなんですけど一番好きなのはやっぱり、テレビまわりですね～‼　俺はテレビがREGZA、ハードディスクレコーダーはVARDIAと、東芝で統一していてそれらをHDMIケーブルで繋いで使ってます。同じメーカーで統一したほうが、お互いの機能が連動してくれていろいろと便利なんですよね～。そして意外に知られてないですが、テレビってなかなか[illegible]の性能に特化してる物が少ないんですよね～。いろんなメーカー、更にその中のシリーズごとにそれぞれ特徴や売りがあって、映像の鮮明さだったり、音だったり、特殊な機能が付いていたりとかね！
もちろん高い物になれば話は別なんですけど、俺の場合はゲームをより気持ち良く、最高の映像でプレイ出来るものを選んで使ってます！
しかしながら俺の愛用REGZAにも弱点がありまして、音が弱いんですよね～。なので今度は、外付けスピーカーを付けたいなって思ってます！　全ては愛するゲームのために！
しかし、ついに全ての機能に特化した、まさにテレビ界の最高峰が東芝から発売されました！
前にツイッタ～でも一度触れたんですが、その名も
「CELL REGZA 55X1」
どうですか！　なんか名前だけで凄そうなのが伝わるでしょ（笑）。
55型のセルレグザ君、映像は超解度技術CELLブロードバンドエンジン搭載、スピーカーにはウーファー・ツイーター搭載、内蔵ハードディスク最大3TB‼　そしてなんといっても[illegible]を内蔵し、自動で[illegible]した全番組を毎日録[illegible]に見逃し[illegible]
めっちゃお利口さんでしょ？
め[illegible]
さ[illegible]気になるお値段

100万円（笑）

これでゲームしたら最高なんだろうな～（笑）。
そんなこんなで次回は俺の数少ないベーシスト友達のSuGのChiyuが、そうだな～俺の大好きな『ワンピース』について語ってくれるそうです（笑）。
Chiyu、俺の分まで頼んだぜ～‼

TOON-FACTORY
Kiss☆My★Choice

第12回目
雫

お題「好きな場所」

だったよね？　ん?…※これでいいと思い込ませる←

好きな場所ね。

「みんなの汗まみれになった愛くるしい顔が見れるステージの上だよ」

なんて…言いません←黙祷。

黙祷←なんて読むかわかるかね？
ふ(ΦшΦ´)

ささ、
一番ワクワクするのは秋葉原ってところ。

知ってる？　秋葉原。←（笑）

東京にあるんだよ!!!!!!!!←

でもやはり…、落ち着くのはやっぱり日本だよね←いつから全米規模。

詳しく書くと

ずばりん!!!　古

「某電気屋」←照

機械を見に行く機会が多いからね
(ΦшΦ´)ギャグナンテイッテマセン

子供の頃の夢は「ロックマンになりたい」か「電気屋!！←」だったからさ（笑）←まじ。

…リアルにトイレが一番落ち着くかな
(ΦшΦ´)爆笑。

いかに公衆トイレが落ち着いて綺麗なトイレか!! って感じ（笑）。

そしてみんな「自分宅のトイレじゃなくて公衆トイレかよ!!」って思った？　いや、一番は自宅トイレだぬよ(ΦшΦ´)ユルガナイコノオモイ

（笑）

他は、天気がよくてちょうどこの季節ぐらいが一番好きで、散歩しながら桜見つつぼーっと公園とか最高だぬな
(ΦшΦ´)

じゃ、ちょっと今から見に行ってくる!!←すでに枯れて散ってる（笑）。

…あ！　次のお題ね(ΦшΦ´)

「オシャレ」

難しいけど頼むぞぃ(ΦшΦ´)れが氏

蝴蝶网 hudie.com
vimee.net

D'espairsRay マニアの覗き穴

第92ブレイク
ZERO 編

みなさまこんばんは！
ZEROです！
なんか今回の連載は意外と久々な気がする。
なんでだろ？
いつもは順番早く感じるんだけどな～
もしや俺の順番飛ばされた？
その位久々に感じます。

さて4月と言えば新生活！
進級でクラス替えや進学、就職新しい出会いの季節ですね。
きっとそんな生活の変わり目で
楽しい事もあれば辛いこともあって
でもやっぱり生きていかなくちゃいけない。
そんな君達にはハイこれ！

この中には5円玉なんて入っていません！
傲慢、暴食、色欲、強欲、憂鬱、憤怒、怠惰、虚飾が入っています。
なんだか悪魔っぽいでしょ？
ゲハッ！

おっと！
なんか悪いスイッチ入っちゃいそうだ…

って事で話題変えます。

D'espairsRayは去年の年末の横浜BLITZから約4ヶ月ぶりのワンマンが渋谷O-EASTであります。
4月23日、24日の2日間！
マジか!?
しかも4月14日にニューシングル
『LOVE IS DEAD』が発売されてるってよ！
これはみんなCD買ってLIVEに足を運ばなくちゃいけないね。
そう言う事なら
今回はSHOXX立ち読みで許してあげるよ
(笑)。

とは言ったものの
思わずSHOXXを買ってしまったアナタの為に
特別な引換券をプレゼント♪

引換券

ただこれ1つ問題があって
なんの引換券なのか俺にも分からない…
とりあえず切り取ってどこかそこら辺りのお店に出してみたら
意外と使えちゃったりするかも。（なにか問題があっても、俺は責任を一切とれません。）

ZERO

heidi. 『ハイジのアルプス日記』

第12回：桐

最近気候がすっかり暖かくなってきて愛猫こたろうが一緒に寝てくれなくて寂しい桐です。

よその子と比べたらうちのこたろうはわりと犬っぽい性格してる気がします。

ボールを投げたら何度でも持ってきてくれるし、名前を呼べば返事してくれるし、とにかく構ってほしがります。

そんなこたろうさん、最近ちょっとだけぽっちゃりしてきてしまいました。

夜中に起こされるんです。寝てる僕の体の上に座って圧力をかけてくるんです。
だいたいそれが彼なりのごはんちょーだいの伝え方です。

悪夢にうなされ耐えかねておやつをあげちゃったりするんですよね。

そろそろ心を鬼にするか…。

そうそうheidi.は来月におよそ一年ぶりのシングル「予感」がリリースされますー。

かなり良い感じの曲ができたので楽しみにしていてくださいね。

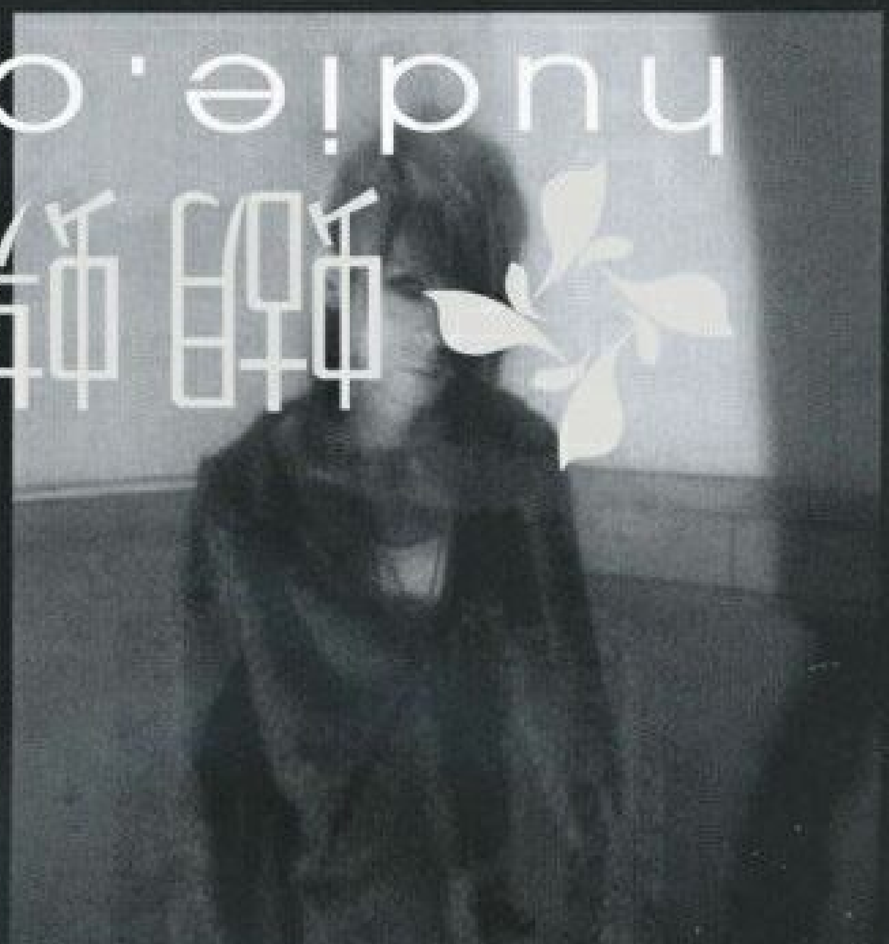
そんなわけで桐でしたー。

あっ、mixi始めました！　探してみて下さいねー。

うしろの正面

—ただしづら—

第130回
by 長谷川 正
/Plastic Tree



皆さまこんちくわ。いよいよ新年度を迎え、新生活をスタートされた方も多いのではないですか？　新しい環境というのは期待が膨らむと同時に不安に感じる部分もあるかとは思いますが、何事も最初が肝心…焦らず一歩ずつ前に進んで行きましょう！　われわれもこの春は新しい曲を作ったり、ライヴの準備をしたり…と、また新しい一歩を踏み出したところです。その一つ一つを楽しみながら、引き続き頑張りたいと思います！

さて…今月は唐突にギターの話をします。何故かというと…最近何となく自分の中でギターが盛り上がっているんでね（笑）。今の僕にとって、ギターは音楽を作るための一番身近なツール…といった存在なのですが、かつての僕にとっては音楽やバンドにのめり込むきっかけを作った存在でした。初めてギターに触ったのは中学校の音楽の授業だったのですが…その時はちょっと面白いと思いつつ、まだまだ敷居の高い感じでした（笑）。自分でやってみたいなあ…と思ったのはもう少し経ってから。ロックやバンドに対しての興味が盛り上がってきた頃で、友達の家になぜかギブソン（！）のギターがあったので、そいつの家へ遊びに行っては楽器を借りて地味に練習してました（笑）。

高校に入ってからバンドを本格的にやってみたい！と思って、友達同士でパンクバンドを始めたのですが、途中からベースを弾くようになりました（笑）。やっぱりギターが一番人気だった事に加えて、意外とベースパートを理解出来るヤツがいなかったので、今思うと若干押し付けられた感じです（笑）。それでも並行してギターを弾くバンドも作ったりして両方続けましたが、結果的にベースの方が面白くなってしまい今に至る感じです（笑）。

今考えるとこの選択は間違ってなかったかな？と思いはしつつ（笑）、相変わらずギターというのは憧れを持ち続けている楽器です。この話題に関連して…先日元Guns N' RosesのSlashがソロアルバムをリリースしましたが、これがなかなか質の高いロックアルバムになっていて最近のお気に入りです。ゲストミュージシャンも豪華で楽しめる作品なので機会があればぜひ御一聴を。

という事で、せっかくの春…ギターとは言わないまでも（笑）何か新しい事にチャレンジしてみるにもいい季節だと思いますよ！

そんなこんなで今月はすっかり春めいてまったり気味のマリモーランドからお届けしました…それではさよーなりー！

少女-ロリヰタ-23区 "KING" of the world!!

第二十六回　龍兎

えー今更ながらFF13をクリアしました。

感想としては残念でした（笑）。

なんかもう全然RPGって感じではなくなってしまってるし…

しかもなんであんな終わり方になるんだろうな～。

全シリーズPlayしてきてる俺にとっては「またか～」的な感じなんだけど、この「またか～」は10辺りから感じてます。

でも買う…。

何故買う…。

それは俺にとって6と7が凄く面白かったから。

だからまた当たりがでないかという気持ちで買ってしまう。期待してしまう。

音楽もそうで特にバンドとかとなると「昔の方がよかった」などという声をよく聞く。

当然俺も好きなバンドとかは大概初期が好きです。

でもいざバンドをしてる側になると常に「新しいもの」「よい曲」を追求して変化していく、それが顧客側の視点と段々とズレていく…そこの帳尻合わせが非常に難しい。

今は地下活動中なんだけど、凄い皆バンドを始めた頃の初期衝動にかられててイイ意味で原点回帰&新しいロリヰタができそうにあります。

それに今までの俺達では越えられなかったものを次動き出した時は越えれそうだと、メンバー全員で感じているので、あともう少しだけ待っててね

蝴蝶网 hudie.com

ヴィドールの 美 doll？ 微

第七十九体目　**ラメたん**の巻

皆さんこんにちは(^-^)/

久しぶりの登場です。最近は花粉症に悩まされつつ春ツアーに廻ってますよo(^-^)o
この号が出る頃にはファイナル赤坂BLITZ5月1日2日の2daysが目前だと思うんでぜひ皆さん遊びに来て下さいね(*^-^)b

最近はツアーの移動中にゲームとかして暇つぶしてますよ(^ー^)
普段はあんまりゲームとかしないけどそういう時にやるゲームは意外と暇つぶしにはなる(*^-^)b
といっても今流行りのRPGゲームじゃなく昔懐かしのゲームをしてますよ☆
パックマンとかブロック崩しとかインベーダーゲームとか（笑）
やってるとシンプルだけど意外に楽しいんだよねo(^-^)o
マリオカートとかもみんなでやると楽しいよね(*^-^)b
ぷよぷよも燃えるね（笑）
なんか楽しめるのあったら教えてね(^-^)/
それじゃあみんな5月1日2日は赤坂BLITZで会いましょう(*^-^)b
バイバーイ(^-^)/

Moran Hitomiの「瞳孔反射」

第25回　『子供の特権』

慧美网 vimee.net

やっと暖かくなってきて、うちの近所の猫が大きなお腹を抱えているのを見かけるようになった。赤ちゃん猫が生まれるのが今から楽しみでしかたない。

それはそうと、先日地元のショッピングモールに行った時のこと。俺がふらふら歩いていると真横からドンッと衝撃があって、食べかけのスティック状チョコレートを手に持った4～5歳くらいの小さな男の子がぶつかってきた。なんだか嫌な予感がして目線を下にやると、ライダースの下に着ていた、長めの丈の白いTシャツの裾に2cm程のチョコレートの跡が…。男の子もそれに気付いたのか、チラッと俺の顔を見上げると、すぐさま後方にいた母親らしき人の元へ駆け寄っていった。するとすぐに「こら ○○○!! ちゃんとお兄ちゃんにごめんなさいしなさい!!!」と叱られ、男の子はキョトンとした顔で「ごめんなさい」と言ってきた。まだ何が悪いことなのかもよくわかってない年頃なのだろう。

正直こういった場合は親が謝るべきなんじゃないかと思いつつも、きっと親の方も服が汚れてしまった事に気付いていないのだろう、そのまま「大丈夫だよ」と言ってトイレへ向かった。結構いい値がするTシャツだっただけに、相手が大人だったらクリーニング代くらい請求してやるのになぁ、とか思いながら汚れを落としていると、ふと、ずっと忘れていたある記憶が甦ってきた。

それはたしか、俺が小学校2年生だった時、運動会の日に起こった出来事だ。

お昼の時間、校庭のトラックの周りをグルッと囲むように家族ごとのレジャーシートが敷かれ、みんな自分の家族とお弁当を食べていた。自分を含め、好き嫌いが多くて給食というものがあまり好きじゃない子達にとっては、運動会の日の昼食は、まさに「ごちそう」だった。うちがそうだったから、そういうイメージなのかもしれないが、運動会のお弁当というと、正月に使うような何段重ねかの重箱におにぎりやおかずがぎっしりと敷き詰められていて、とても美味しそうな絵が浮かぶ。

そんなごちそうをレジャーシートの上、家族で囲むのだから、当然ほのぼのとした空気が溢れかえっているはずなのに、突然隣にシートを広げていたG君の家族のお母さんが泣きだし、どこかへ走って行ってしまった。その場に残された家族たちは、しばらくの間茫然としていたが、すぐにお父さんがG君とまだ幼稚園児だった妹たちに「お母さんに謝ってきなさい」と言い放ち、G君たちはお母さんを追いかけていった。

その日の事が、俺はまだ幼いながらも気になっていた。おそらく自分の母親が泣くところなんて、その当時は見たことなかったせいもあって、その信じ難い光景が、ひどく衝撃的だったのだ。そして聞いてはいけない事だと心のどこかでわかっていながらも、後日恐る恐るG君に事情を聞いたところ、どうも以下のような事だったという。

はじめに、お父さんがお弁当に添えてあった漬物を「この漬物まずい!!」と言い始め、妹たちは黙ってお弁当を食べていたのだけど、お調子者のG君もお父さんに便乗し、「うん、まずいまずい！」と言ってしまったらしい。すると突然、お母さんが「じゃぁ食べなければいいじゃない!!」と言い捨て、ワッと泣きながら走っていってしまったというのだ。そこで、お父さんはG君と妹たちに、お母さんに謝ってくるよう言いつけ、彼らはお母さんを追いかけて行った、という事だったらしい。

母子家庭で父親と言うものを知らずに育った俺は、当時は「へ～、お父さんて怖いんだなぁ」なんてすっとぼけた事を思ったのだが、今考えると明らかに何かがおかしい。そもそも妹たちは何も悪いことはしていない。お母さんに謝りに行くべきはG君とお父さんであって、G君と妹たちではない。お父さん、「謝ってきなさい」って、それは理不尽すぎるよね（笑）。

事実、日本では子供は謝れば大概の事は許される的な風習があり、それを許さなければ大人げないと言われても仕方ない。

Tシャツに付着したチョコが結局綺麗に落ちてくれず、トイレでいらっとしながらふとこの話を思い出し、もしやわざと子供に謝らせたか？と思いつつも、まぁ子供だししょうがないと諦めるしかなかったのだった。

麺は固め!!

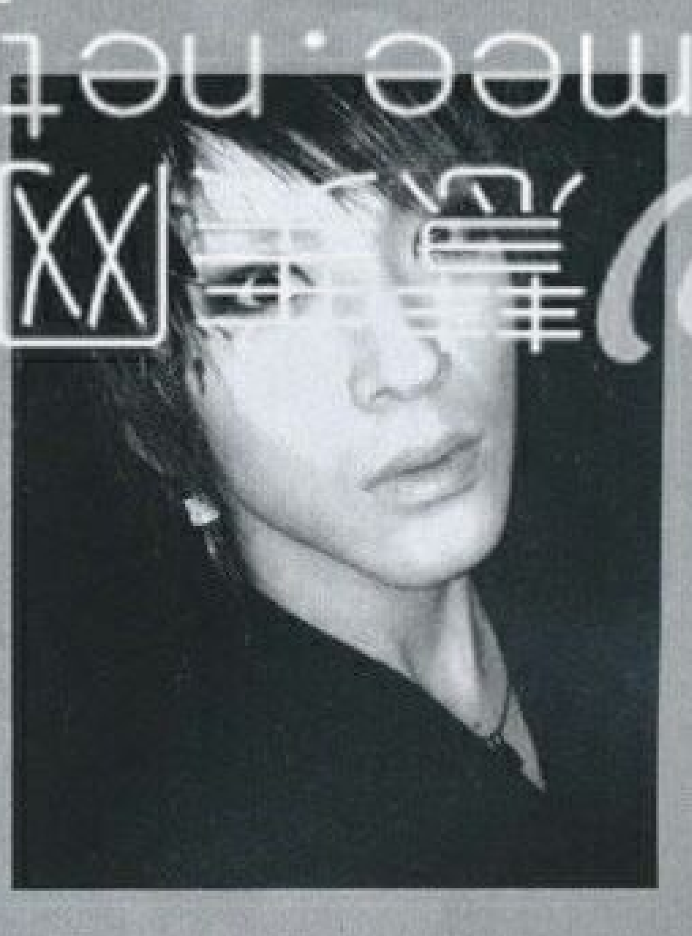
第143回 by 竹入隆行

なんか今年はすごく寒かった気がしませんか？毎年そんな事言ってるんかな…と思った事もあったけど、どうやら違う！ やっぱり今年はやたら寒い！ 桜が咲いた今でも相変わらず寒い…
なんか、ほんまに寒さが 身も心も！って感じでしたよね。これが読まれる頃にはさすがに暖かくなってるやろうけど（笑）
桜 と言えば 桜は冬が寒ければ寒い程、綺麗に咲くと言われているところから、人生とかに例えられる事が多いですよね。とても美しいところも咲いてる期間の短さも、入学や新生活の時期とかも一緒やし、なんかはかなくて特別に思ってしまう。
桜、自分も大好きやし、あんまり嫌いな人もいてないやろうと思います。
しかし、何故か桜の時期にいい思い出がない（笑）
なんかいつも悲しくて辛い時期に桜が咲いているイメージがあります。
桜を見つめていると胸が締め付けられる…。
そんなせいでテンションも上がらず、お花見もお誘いがあっても気が進まない…（笑）
何でやろう…？（知らんわな…）
ただ、とにかくまた桜が綺麗に咲いた。
そしてまだまだ唄ってます。
逃げ出したくなるような事にも、まだ逃げ出さず頑張れてます。

ほんまに感謝ですね。

来年も見れますように！

押忍！



Kain一朗の コライチ

第91回

どーも！ボクのバンド、Kainが2月に活動開始してからというもの、超有名な先輩ベーシストとお会い出来て貴重なアドバイスをいただけたり、とってもセンスの良いイケメン後輩ベーシストと某打ち上げで仲良くなれたりと、ベーシスト的に刺激的な日々が続き、最近ベース熱アガりまくり&つい mixi の日記も再開させちゃいました！（http://mixi.jp/show_friend.pl?id=17563657）

あ、申しおくれました、Kainのベースの一朗です。

今日はなに話そうかなぁ。先月の3／14のホワイトデーにロックの聖地新宿ロフトで開催された我がレーベルの主催イベント「トウキョウ、モノクローム・・第13回」での話でもしようかな。

この日はね、Kainをはじめ、ENDLESS、garimpeiro、あと、LOGiQ&the bulletセッションがあったりと、僕らのレーベル「TMFR」の仲間が集うイベントでした。僕の出番は、トリだったのでみんなのステージをじっくりみることができたよ。せっかくだから、SHOXX読者の方にウチのレーベルのバンドのこと、紹介するね。入門編だよ。笑 あ、でも、説明下手だから、詳しくは自分でWEBとかで調べてね★笑

ENDLESSは、KainのギターのSHIGEさん（に似ている人。笑）がヴォーカル&ギターを務めるバンド。昨年の表参道FABでのワンマンでも、ブランクを感じさせないライヴで素晴らしかったよ。SHIGEさんのギターテク目当てのメンズファンが最近急激に増えているのにちょっとジェラシーしちゃうよね。3／14のライヴでも、SHIGEさんの声の調子もよさそうで、「なかなかやるじゃん」なんて思いました。あ、生意気でしたね。やべぇ、殺される。笑

garimpeiroは、KainのVoでありウチの社長であるYUKIYAさんと、「左利きのゴーシュ」という名義で、チェロを弾いて活動している青月泰山君を主なメンバーとした、アカデミックなバンド。編成が面白くて、歌、チェロ、ピアノ、アコースティックギター、ハープ、カホン（ドラムっぽいリズム楽器。わかんない人は調べてみてね♪）という編成。渋い曲をアカデミックサウンドで演奏するんだから、よくない訳ないよね。LOFTの空気感が、すっと変わる瞬間がみえました。

次は、後輩バンドのLOGiQ&the bulletセッション。この日は、互いのバンドの曲をカバーしたり、JILSの曲をカバーしたりで、メンバーもお客さんも楽しそうでしたね。the bulletもLOGiQも早くまた、態勢を整えてガンガン活動してほしいですね。いいバンドなんでおすすめですよ！！おきゃくさーん。

あ、そういえばこのセッションで、ウチのレーベルの名物（？）でもあるオカマキャラがまた一人増えました★笑 その名もキャロラインホワイト。

いやぁ、このクリーチャー・・いや、このオカマについては詳しくは、あえて書かないでおきます。笑 僕のもう一人の人格である、初代オカマキャラの「イチ子」が黙っていられなくなるわ・・。絶対ココのスペースがなくなるくらい説明に時間を要するからね。気になる人は今後もウチのレーベルイベントを要チェックだよ。

そして、この日のトリのKain。僕はずっと考えていました。「この5人でLOFTに立つのは最後。」って。だから悔いを残さないように全力でやりました。集中力が冴えわたってて、凄くいいライヴができたと思うよ。あの日見に来てくれたお客さんにも、張りつめた空気感っていうのが伝わったよね？あぁいう空気感が苦手な人もいるかも知れない。でも、Kainってそういうバンドだから。

遊びじゃないから。

僕はあれで良かったって思ってるよ。

あ、そうそう。3／14は、BAR STAGEでも演奏があったんだよ。さっき紹介した青月泰山くんのチェロ演奏と、坪本伸作（ex.オルボートダイアリー、Vo）の弾き語りがありました。イベントとしては盛りだくさんで、楽しめたんじゃないかな。僕は楽しめました★・・ん？笑 お前の為にやってんじゃねーぞ、って社長の声が聞こえたような・・？？

4月、5月のライヴの予定を最後に書いておきます。Kainが現在のメンバーで居られる最後のスケジュールです。この本が出る頃には、地方によってはもう終わってしまったスケジュールもあるかもだけど・・。しかも、名阪はファンクラブ限定だから、まずファンクラブに入ってないといけないんだけどね。笑

おっと！ここで最新情報です！当日券も少しでるんだって！仮ファンクラブ入会という扱いで。でも、中途半端なキモチだったら来ないでいいからね。愛に満ち溢れた空間にしたいから邪魔ものはいらないよ。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

2010年4月24日（土）大阪FANJ KainFC会員限定ワンマン
[east of eden_vol.02]
開場17：00／開演18：00

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

2010年4月25日（日）名古屋 ell. SIZE KainFC会員限定ワンマン
[east of eden_vol.03]
開場17：00／開演18：00

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

■2010年5月2日（日）
Kainワンマン公演
「約束の日／DECADE」-the day of last promise-
・会場：川崎クラブチッタ
・開場／開演：17：30／18：30

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

今まで音楽やってきて色んな人にありがとうって言いたいな。
うん。なんか悔いだけは残したくないな。
ただ、それだけ。

じゃーね。バイバイ。

一朗／Kain（写真はイチ子だけど。）

SHOCK WAVE アポロ Vol.38

2010年5月18日（火）高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★

セインティア/SCAPEGOAT/
MADE IN GLAD/D'LORE/GLACIER/
エルム/BrainStein/エザリー

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！ 5月のアポロもお見逃し無く♪

チケットは絶賛発売中♪ 詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問)高田馬場AREA ☎03-3361-1069

貴重盤～通常盤まで色々あります

(PC＆携帯 共通)

http://lucyspocket.com

販売＆買取 ヴィジュアル系中古CDショップ

Lucy's Pocket

ルーシーズポケット

http://lucyspocket.com

販売&買取

TEL 011-223-4666

lucyspocket@mac.com

ヴィジュアル系 お売りください！

【買取送料は無料】すぐに査定&入金です。まとめてお売りください！

lynch.	ギルガメッシュ	SuG	シド
HIZAKI	ダウト	ViViD	ゾロ
THE KIDDIE	the GazettE	9GOATS BLACK OUT	-OZ-
愛狂います。	vistlip	DELUHI	キャンゼル
cali≠gari	emmuree	彩冷える	cooklobin
摩天楼オペラ	陰陽座	Versailles	Plastic Tree
X JAPAN	DIR EN GREY	DOG in The PWO	アンド

上記アーティストのCD・DVD・会報・パンフ・グッズ・物販写真 (貴重盤は特に高評価)

高価買取例 (リスト以外の商品も高く買います)

初回・通常・貴重盤 CD・DVD・グッズ買います

Plastic Tree『あおむしドロップ(本)4千』『カメラ・オブスキュラ(DVD付き写真集)7千』『WORLDTOUR2006[chandelier]通販限定真集(8千)』『忘却モノローグ(DVD付き本)4千』『初回CD,各種』『二次元ヲルゴール2(初回DVD)5千』『Strange fruits(初回CD)5千』、**ガゼット**『STANDING LIVE TOUR2006 NAMELESS～(初回DVD)5千』『泥だらけの青春(会場限定CD)5千』『鬼畜教師(CD)7千』『別れ道(初回7千・2nd 8千)』、**ViViD**『Take-off(CD)3千』、**SuG**『I SCREAM PARTY(初回)3千』『BL⇔Rock Party MonstAr(通販DVD)7千』『MALKOMALKA コラボアイテム各種』、**アンド**『特攻 神風大作戦任務秘録(DVD 6千』、**シド**『吉開学17歳(無職)初回2万・2nd 5千』『流通盤(CD)5千』『憐哀・星の都(初回CD各3千～5千)』『センチメンタルマキアート』(初回)3千』『Play(初回DVD付き)2千』『Side B complete collection(初回)2千』『ジェムケリーアイテム各種』 **シド関係特に高く買います SHULA**『What's up(CD)7千』『Shu-la-tic(CD)1万』、**lynch.**『underneath the skin(CD)3千』『greedy dead souls(CD)4千』、**D**『Alice(配布CD)1万』、**cali≠gari**『第5実験室(初回CD)5千』『再教育(CD)1.2万』『ブルーフィルム(初回)3千』、**X JAPAN**『I'LL KILL YOU(レコード)2万』『スターライトヨシキ各種』、**hide**『ぬいぐるみ&フィギュア各種』『ミュージアム限定グッズ各種』『トライバルぬいぐるみ(7千)』、**L'Arc-en-Ciel**『FIVE LIVE ARCHIVES(DVD-BOX)1.5万』、**ナイトメア**『トレカ SP&ヘン顔各種』『缶バッジ』、**Janne Da Arc**『ツアーグッズ、会報、DVD各種』『INDIES COMPLETE BOX(3千)』『MAJOR DEBUT ～ COMPLETE BOX(1.2万)』、**DELUHI**『Surveillance(CD)7千』、**La:Sadie's**『objeｘｘｘ(配布CDS)1.5万』、、**Sadie**『SADIE ～UNDEAD 13+2～(CD各種)3千』、**キャンゼル**『NeO PRESENCE E.P.S.(CD+パンフ)3千』

Janne Da Arc、シドのグッズ　SuG、ギルガメッシュ、シド、lynch.の初回限定盤各種は特に高評価します！

各アーティストのツアーグッズ、会報、抽選プレゼント品、物販写真
貴重盤・通常盤・CD・DVD・配布モノ・会場限定など色々買わせていただきます
特典付きで売ってください(査定アップ)　大量処分も大歓迎

V系高く買います

同一アーティストをまとめてお売りいただくと ＋αの査定です

遠方の方は宅急便で 買取商品を着払で送ってください

送料は当店が負担させていただきますので、宅急便（佐川以外で）または、ゆうパックの着払いで1つの箱に入れて送って下さい。
送る時は必ず名前にフリガナをふって下さい。査定後、電話連絡の上すぐに送金させていただきます。分からない事がありましたら電話して下さい

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西1丁目 宮本ビル6F

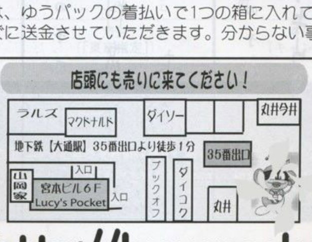
ルーシーズポケット

営業時間12:00～19:00頃（毎週水曜と木曜が定休日）

TEL 011-223-4666

問い合わせメール lucyspocket@mac.com

店頭にも売りに来てください！



http://lucyspocket.com (PC＆携帯共通)

Mission in ミッション イン ぽっくん

どうも、ナマステ。暖かな日差しがうれしい春でございます。わきの下も汗ばみ、スッパイ臭いを放出する一年で一番素敵な季節がやってきたんだよ。そこでSHOXX編集部が編集会議30秒で考えたミッションが、“春の句を詠んでくんなまし”です。今月も楽しんでくださいねー。それではオルボワール。

名前	句
一志（Kagrra,）	春の予感 感じぬまま 夏迎え… 一志
有村竜太朗（Plastic Tree）	春の予感 春さん
式（ギルガメッシュ）	春の予感に。 お酒がおいしい 生ビール
左迅（ギルガメッシュ）	春の予感 くしゃみ一発 もうイヤだ…。
桐（heidi.）	春の予感 夏のマナ感に 秋の予感。
コースケ（heidi.）	春の予感 花粉がひどくて ひきこもり
ナオ（heidi.）	春の予感 ハイジの「予感」 もうすぐだ。
義彦（heidi.）	春の予感 景色 いい人と出会って
玲央（lynch.）	春の予感 トワとクオンが コタツ出る
葉月（lynch.）	春の予感？
那オキ（人格ラヂオ）	春の予感 栃テレ毎週夜い時 人格ラヂオの咲けてバンギャル!! 人格ラヂオ 那オキ
悠希（人格ラヂオ）	春の予感 カラーで登場 ラヂオです
Яyo（ギルガメッシュ）	春の予感 入学式で マジ喧嘩 Яyo
愁（ギルガメッシュ）	春の予感 愛媛のいよかん いー予感 しゅう
ルイ（SCREW）	春の予感 いつも心に 生ビール。
マナブ（SCREW）	春の予感 和己のおかん 俺のおかん。
和己（SCREW）	春の予感 マナブのおかん 俺のおかん。
鋲（SCREW）	春の予感 カースドハリケ エインシュ SCREW
晁直（lynch.）	lynch. 晁直です。 春の予感 ソメイヨシノが 好きなんです。
悠介（lynch.）	春の予感 つくし リンチ ゆうすけ
ユウイチロー（boogieman）	春の予感 何が起こるか 楽しみだ ユウイチロー boogieman
万作（boogieman）	春の予感 ウキウキ ドッカン ニルヴァーナ 万作
晃（boogieman）	春の予感 給料あげろ たのむから
ユアナ（boogieman）	春の予感 私は何も 浮かびません ユアナ
ジュンノ（boogieman）	春の予感 地下活動て シーンドいね ジュンノ選手
ジン（SCREW）	俺含め この五人 春の予感の 鋲 和 マ ル ジン

蝴蝶网 hudie.com

春の予感 ちょっとグロイな秘宝館 犬神明	春の予感 感じて出かけて花粉症	春の予感 オオカミ男アメリカン♡	春の予感 新生活でノイローゼ 犬神凶子		春の予感 何処やら花粉の恐怖
犬神明 (犬神サーカス団)	犬神ジン (犬神サーカス団)	犬神情次2号 (犬神サーカス団)	犬神凶子 (犬神サーカス団)		瞬火 (陰陽座)
春の予感 花粉と共に届いた上。	春の予感 凛、桜舞い散り 恋心	春の予感 りくと再び新バンド 凛	春の予感 今奏でる音色を胸に KANATA	春の予感 あたたかくなり変人続出	春の予感 白い景色に色が付きし。
ひかる (TOON-FACTORY)	REIYA (凛)	KISAKI (凛)	KANATA (凛)	MIZUKI (凛)	RIKU (凛)
「まず」春の予感 山崎春のパンまつり	春の予感 花粉症？ 今年も無縁	春の予感 今年は夏上リ 春派ぴす ゆーいち	春の予感 ギャンブルと酒とちゃんねーと。 レガstyle! 王様	春の予感 期待してたがそんなもん	春の予感 きずやぶまでにさくらちる。
Aki (-OZ-)	Natsuki (-OZ-)	ゆーいち (TOON-FACTORY)	レガ (TOON-FACTORY)	夢叶 (TOON-FACTORY)	雫 (TOON-FACTORY)
春の予感 桜舞い散る風踊る!! ルリ	春の予感 髪が少ない 椎名未緒	春の予感 アニメとゲームやりますよ	春の予感 ミミズがいっぱい出てくるよ	春の予感 桜と団子と酔っぱらい 甘甘甘	春の予感 オープンカーですとばす オズTama
ルリ (キャンゼル)	椎名未緒 (キャンゼル)	いっち (キャンゼル)	Zukki (-OZ-)	Nao (-OZ-)	Tama (-OZ-)
	春の予感!!スポーニング(産卵) ブラックバスが爆釣 フィーッシュ!! 上州屋へGO!! スコーピオン 「東京指定」23	春の予感 俺の予感「東京指定」↗↗ (°ᴗ°) 東京指定、爛丸	春の予感 おなかがすいたら松屋へGO!! 「東京指定」3年2組 渋谷	春の予感 ゆきみだけども春生まれ ゆきみ	春の予感 毎日眠い 起きれない ベースハク
	23 (「東京指定」)	爛丸 (「東京指定」)	渋谷 (「東京指定」)	ゆきみ (キャンゼル)	ハク (キャンゼル)

慧美网 ee.net

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま〜す。欲しい人は157ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F 音楽専科社「ぼっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2010年6月20日（消印有効）です。

☆こんにちは、ぺろちゃんです。今、目の前にたい焼きがあります。葛藤中です…(笑)。今、首が痛いです。会社の近くに行きつけのマッサージ店があります。葛藤中です…(笑)。と言う事で、只今SHOXXとglitter popの同時進行で相当追い込まれているぺろちゃんですが…頑張ります。さて、今月の画伯さんは…万太朗先生こと TOON-FACTORYのゆーぃち先生です！ ウサウサかわいい♪

1 西川貴教×YOMI

サイン入りフォトを3名様に

2 有村竜太朗(Plastic Tree)

a.サイン入りフォトを2名様

b.サイン入りお土産(竜太朗とおそろい)を2名様に

3 Sadie

サイン入りフォトを５名様に(誰のが欲しいか書いてネ)

※現物にはサインが入ります。

4 Kra

カードケースを1名様に

5 ドレミ團

サイン入りスタッフパスを1名様に

※現物にはサインが入ります。

10 一聖(BugLug)

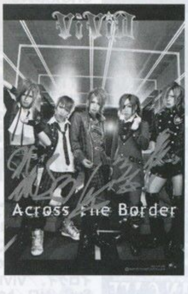
サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

8 人格ラヂオ

サイン色紙を1名様に

6 ViViD

サイン入りポストカードを3名様に



11 ギルガメッシュ

弐・愁・Ryoのピックを4名様に

9 KISAKI

神からの贈物、スペシャルステッカーを3名様に

7 TOON-FACTORY

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

12 heidi.

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

イラスト:ゆーいち(TOON-FACTORY)

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.208

住所	〒	TEL		
氏名	フリガナ	年齢		男・女

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは?
( )( )( )

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは?
( )( )( )

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号(P150～151)
番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可。
●宛先は〒104-8228 銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F 音楽専科社 SHOXX編集部 プレコンWORLD係まで。
●締め切り:2010年5月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧(アンケート)

①西川貴教×YOMI ②the GazettE ③BEAT SHUFFLE LIVE SIDE Spring ④有村竜太朗(Plastic Tree) ⑤heidi. ⑥Sadie ⑦THE KIDDIE ⑧一志(Kagrra,) ⑨Kra ⑩ヴィドール ⑪ギルガメッシュ ⑫ゾロ ⑬SCREW ⑭ドレミ團 ⑮ViViD ⑯TOON-FACTORY ⑰boogieman ⑱人格ラヂオ ⑲Dolly ⑳vistlip ㉑Virgil ㉒lynch. ㉓トウキョウ、モノクローム… ㉔瞬火(陰陽座) ㉕犬神サーカス団 ㉖-OZ- ㉗Aioria ㉘キャンゼル ㉙鹿鳴館伝説 ㉚SHOCK WAVE アポロ ㉛「東京指定」 ㉜ヴァルナ ㉝UnsraW ㉞Administrator ㉟VAJRA ㊱BrainStein ㊲ギャロ ㊳Lost Ash ㊴Phantasmagoria ㊵凛 ㊶一聖(BugLug) ㊷DOG inTheパラレルワールドオーケストラ ㊸Mission in ぼっくん ㊹アーティストBOX ㊺早耳情報 ㊻ロックンロール日記

SHOXX2010年3月号増刊

SHOXX INDEXX 2010

SHOXXが2009年に掲載した記事で構成されたアーカイブス

LM.C 23ページ

SHOXXのvol.192・194・195・196・197・201・202に掲載された"2008.11.24 高崎 club FLEEZ インタビュー""2009.1.17~18 渋谷 C.C.Lemon ホール レポート""ワールド・ツアー報告""Single『PUNKY♥HEART』インタビュー""2009.5.2 日比谷野外大音楽堂レポート""2009.8.30 新木場 CLUB COAST レポート""Single『GHOST†HEART』インタビュー"の各記事を再録

ナイトメア 50ページ/Plastic Tree 31ページ
ムック 28ページ/彩冷える 24ページ

オールカラー A4ワイド判 定価1,890円(税込)+送料340円

ARENA37℃ SPECIAL 2010年2月号 (vol.66)

Alice Nine 巻末14ページ

2009.12.16 "WHITE PERIOD II (Part.2)" LIVE at 新木場 STUDIO COAST レポート、アフター・ライヴ・インタビュー、"冬休み"をテーマにインタビュー、ボラ日記

SuG 10ページ

パーソナル・ボディチェック・アンケート、メンバーどうしで他のメンバーの事を紹介する"他己紹介"インタビュー、クラッカーとケーキでプチお祝いショット

関ジャニ∞ 表紙+巻頭12ページ ON/OFF 8ページ
VANNESS 8ページ FTIsland 8ページ 超新星 6ページ
BUCK-TICK 6ページ Mnet PRESS vol.11

オールカラー A4ワイド判 定価980円(税込)+送料290円

SHOXX2009年11月号増刊

SHOXX glitter Pop No.1

アンティック-珈琲店- 表紙+巻頭12ページ

今想っている"様々な事"をA to Zアンケート

LM.C 6ページ

彼らのココロを改めて知るために、100問のアンケート

イロクイ。/ViViD/THE KIDDIE
SuG/ゾロ/トゥーン工場

特別付録・特大ポスター10枚付
みく/takuya/カノン/ゆうき/輝喜
LM.C/THE KIDDIE/SuG/ゾロ/トゥーン工場

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円(税込)+送料290円

SHOXX2010年1月号増刊

SHOXX glitter Pop No.2

SuG 表紙+巻頭12ページ

個々のキャラクターを紐解くA to Zアンケート

アンティック-珈琲店- 6ページ

"もし~なら"をテーマにした11の質問インタビュー

彩冷える/THE KIDDIE/キャンゼル
トゥーン工場/「東京指定」/ν(NEU)

特別付録・特大ポスター10枚付
武瑠/masato/yuji/Chiyu/Shinpei
アンティック-珈琲店-/彩冷える/THE KIDDIE/キャンゼル/トゥーン工場

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円(税込)+送料290円

SHOXX 2009年8月号増刊 創刊200号 記念特集号

ARTIST'S BOX SELECTION '09

(アーティストボックス・セレクション'09)

"ミュージシャンが作るページ"として、SHOXXでの人気コーナーを丸々この1冊に集約!!連載が終了している幻の連載や、現在連載中の人気コーナーが第1回から全てまとめて読めちゃう。更に過去に掲載された「Mission in ぼっくん」も、まとめてお届け

●ナイトメア「ZOZZY」
●柩(ナイトメア)「猫ふんじゃった」
●アンティック-珈琲店-「ピーポー君は役立たず」
●葵(彩冷える)「ヒナタごっこ」
●D'espairsRay「マニアの覗き穴」
●ヴィドール「ヴィドールの嚢餞doll?」
●マコト(ドレミ團)「月刊少年マコトピア」

A4ワイド判132ページ 定価1,350円(税込)+送料340円

SHOXX 2009年6月号増刊

COLLABOXX Vol.1

(コラボックス)

SHOXXから飛び出したビックリ企画!! バンドの枠をこえてアーティストたちがコラボする夢の企画!!

●有村竜太朗(Plastic Tree)×逹瑯(ムック)×みく(アンティック-珈琲店-)
●YUKKE(ムック)×seek(Mix Speaker's,Inc.)
●逹瑯(ムック)×柩(ナイトメア)
●ギガフレア(仙台貨物)×キュー(アンジェリックカフィー)
●ナカヤマアキラ(Plastic Tree)×潤(ALvino)
●人格ラヂオ×heidi.
●他、企画満載!!

A4ワイド判164ページ 定価1,890円(税込)+送料340円

SHOXX2009年5月号増刊

SHOCK WAVE SELECTION 2009

2008年にSHOCK WAVEに掲載された記事からオイシイところをピックアップしたアーカイブ

the GazettE 巻頭36ページ

SHOCK WAVEのNo.8から「紅蓮」リリースインタビュー&フォトセッションを、No.11からルキ・パーソナル特集「穏やかな日常、狂気の感情とのハイコントラスト」を、No.14から「LEECH」と富士急コニファーフォレストで行われた野外ライヴのインタビューを再録

アンティック-珈琲店- 24ページ

SHOCK WAVEのNo.8から 2008.1.5 "NYAPPY GO AROUND FEVER" LIVE at C.C.Lemonホールのレポートを、No.13から「夏の思い出」インタビューを No.15から「小悪魔USAGIの恋文とマシンガンe.p.」と横浜赤レンガ倉庫特設ステージで行われた野外ライヴのインタビューを再録

ムック 24ページ/LM.C 24ページ/D 15ページ
Mix Speaker's, Inc. 15ページ/彩冷える 15ページ

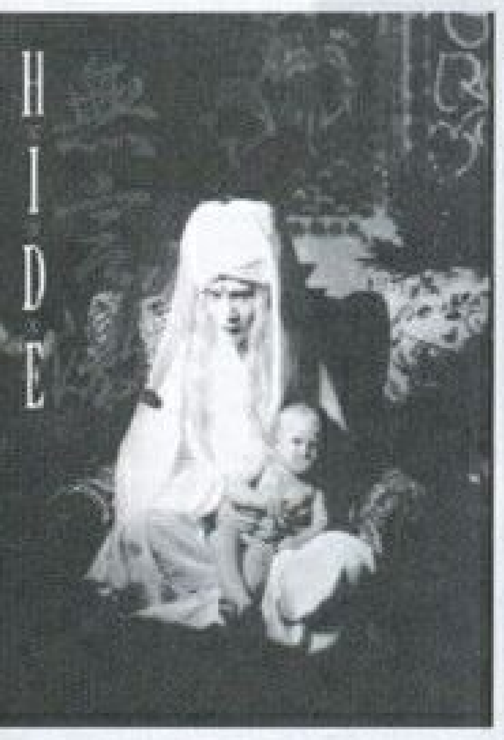
オールカラー A4ワイド判 定価1,890円(税込)+送料340円

Over The Edge 2008 Edition.1

Plastic Tree/ムック/メリー/LM.C/D'espairsRey
Mix Speaker's, Inc./ヴィドール/12012/heidi.
ギルガメッシュ/Sadie/Kαin/少女-ロリヰタ-23区/the studs

2008年12月31日に渋谷C.C.レモンホールで行われた一大イベント"Over The Edge 2008"を丸々この一冊に完全収録! 全14バンドが12時間に渡って繰り広げた白熱のライヴをパーフェクトリポート! バックステージでの超レア写真やスペシャル・フォト・セッションなど800点以上掲載! インタビューと面白企画も盛り沢山!!

A4ワイド判 116頁 ピンナップ付 定価1,980円 (税込)+送料340円



HIDE 無言激

HIDEを愛したあなたに
HIDEと出会ったあなたへ
今、ここにHIDE永遠の閃光を贈る。
1992年に発表された伝説の写真集。

【仕様】A4版 全142ページ
【書籍コード】ISBN978-4-900343-32-0
定価2,850円(税込)+送料450円

hide BIBLE《OFFICIAL BOOK》

今だから語れるhideのすべて!

YOSHIKI・TOSHI・PATA・HEATHソロインタビュー全32ページを始め、hideと関係の深いアーティストや仕事仲間たち[George(LADIESROOM)・J(LUNA SEA)・Kiyoshi(hide with Spread Beaver)・SUGIZO(LUNA SEA)・I.N.A.(hide with Spread Beaver)・木村世治・t.o.L(LEMONedデザインチーム)・杉本圭司(バックステージプロジェクト)・山本広子(ヘッドワックス)]によるロングインタビューで今明かされる「hideの真実」全72ページ、さらにミュージシャン・関係者など60名以上の方々からアンケートに答えてもらった「hideリスペクトコメント」、hideの用語満載の「hide辞典」、カラー32ページの「hideフォトアルバム」、貴重なARENA37℃の過去の記事を全45ページに集大成した「hideアーカイブス」、hideの生涯をまとめた「ミニヒストリー」など、見ごたえ&読みごたえ充実のhide本決定版!

A5判260ページ 定価2,500円(税込)+送料290円

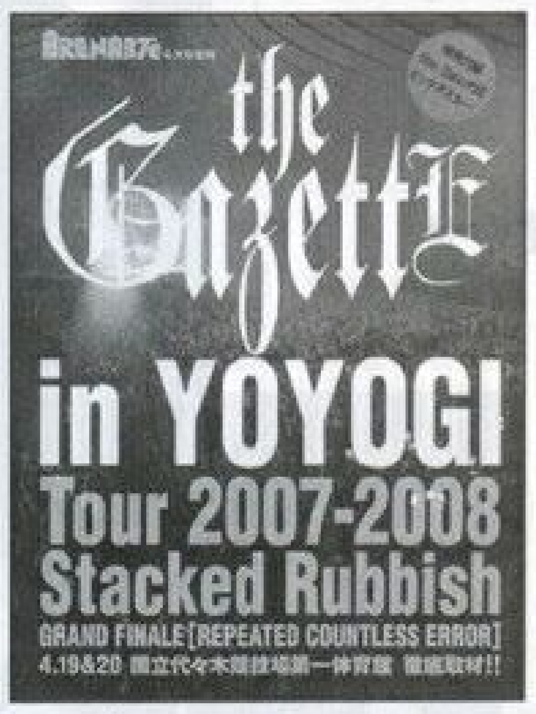
ARENA37℃ 2009年2月号増刊

PS COMPANY 10周年記念公演

Peace&Smile Carnival at 日本武道館

2009年1月3日に日本武道館にて行われた、PS COMPANY 10周年記念公演「Peace&Smile Carnival」をあますところなく徹底取材!
PS COMPANY所属の全バンドが出演した、1日だけの華麗なる競演をまるごと完全収録!
全アーティスト(雅-miyavi-・Kagrra,・Kra・the GazettE・アリス九號.・SuG・SCREW)の最新撮りおろしフォト、バックステージ密着レポート パーフェクトライブレポート、アフターインタビュー、オリジナル直筆メッセージ

オールカラー A4ワイド判 定価1,260円(税込)+送料290円



ARENA37℃ 2008年6月号増刊 ライヴ・ドキュメンタリーブック

the GazettE in YOYOGI

2008.4.19&20 国立代々木競技場第一体育館 "REPEATED COUNTLESS ERROR"をバックステージからライヴまでパーフェクトレポート!
2008.4.13 大阪城ホールのライヴもレポートして収録
さらに、撮り下ろしフォトや、ツアーアフターインタビューと盛り沢山な内容
9ヵ月に及ぶロングツアーの集大成がこの一冊に!!

オールカラー A4ワイド判 定価1,260円(税込)+送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合があります(在庫切れ)ので、御了承下さい。
お近くの書店にない場合は書店にご注文いただくか、または直接当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用、現金書留、または郵便振替(口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社)にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。

宛先 ㈱音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL.03-3574-0201 FAX.03-3574-8548

イラスト：AKEMI OHSHIMA

大島暁美のロックンロール日記

×月×日

祝！ HOT WAVE復活！ テレ玉（テレビ埼玉）の名物音楽番組HOT WAVEが、3年ぶりに復活したよ～！ 1ヶ月ほど前に復活を実現してくれた制作会社の方から連絡をいただいたのだけど、なにしろ突然すぎるのでビックリした。だって、テレビとか雑誌とかって、だいたい半年～3ヶ月前にはスケジュールが決まってるものなのに、まさかの1ヶ月前なんだもん（笑）。HOT WAVEには、メインMCとして6年、その前のレポーター時代も含めると10年近くお世話になっているし、すごく純粋に音楽を愛しているスタッフさんが制作している番組なので、喜んで協力させてもらうことにした。できれば前回のロックンロール日記に復活のニュースだけでも書きたかったんだけど、情報解禁が4月1日（第一回目のオンエア4日前）だったので、掲載できなかったの～、残念。

オンエアは、

毎週日曜日24:00～24:30

4月のオンエア分はインタビューとコメント・メインで、今までのスタジオ収録という形ではないけれど、徐々にみんなにも参加してもらえるように変化していく予定だから、お楽しみにね～！ あ、今回は突然の復活なので、地方局にはネットしてないの。地デジの普及で見れる範囲は広がってるみたいだけど、関東以外にお住まいの方は、地元の放送局に「HOT WAVEを放送して！」って、お願いしてみてね。よろしく！

×月×日

あるどんよりと曇った日。よみうりランドに、一匹の虎が出現した。虎……というか、虎の着ぐるみを着た虎!? この説明じゃ、ちょっとわかりにくいね（笑）。虎くんの「着ぐるみを着て、遊園地でだるそうにしている写真を撮りたい」というリクエストで、この日の撮影が実現したのである。まずふつーに私服で（当たり前か）、遊園地の駐車場に到着した虎氏。控室で、編集者さんが用意した着ぐるみに着替える。が、しかし。背が高い虎氏、着ぐるみが小さくて、背中のチャックが上がらない！ 「俺って、着ぐるみ体型じゃないんだよね」などといいながら、早くも楽しそう。

すっかり虎になった虎氏が、着ぐるみの頭を小脇に抱えて遊園地に行くと、遊びに来ていた子供たちが、遠くからジーっ。見て見ぬふりをしながらも、ジーっ。その光景は、なかなかシュールな空間だったよ。そして、いよいよ撮影開始！ まず最初のシーンは、スタッフさんが連れて来てくれた1歳半の赤ちゃんと仲良くツー・ショット・カット……のはずが、それまでお母さんの腕の中で笑顔だった赤ちゃんは、虎氏を一目見た瞬間にフギャーッ！ 虎氏がニコニコ笑っても、虎のシッポを振り回してあやそうとしても、さらに大きな声でフンギャァ～!! 結局、泣いてる写真しか撮れなかった。

「そりゃ、こんな恰好をした人が急にあらわれたら、子供はみんな泣きますよね」といいながらも、ちょっぴり傷心の虎くん。そのあとは開き直ったのか、自ら進んでメリーゴーランドに乗るわ、電動犬に乗るわ、ちっちゃな犬小屋に犬と並んで寝そべるわと、大活躍！ プロ根性を発揮して、カッコかわゆくシュールで不思議なテイストの写真を撮られてた。この超レアな虎になった虎氏の写真は、現在発売中のアリーナ37°に載ってるよ～！ 必見だよ！

×月×日

ニンジャマンジャパンが、ファースト・ミニ・アルバム「忍」先行リリースパーティ「忍ばずにはいられない」を、赤坂J-ROCK CAFEで行う。なんとなく流れで司会を引き受けてしまったのだけれど、なんと一日3回回し！ ほほほ、さすがにこれは疲れたわ。でも、メンバーは初めてのアルバム完成をすごく喜んでいたし、お客様も温かくその様子を見守る感じで、毎回、とても和やかなパーティとなった。お店が用意してくださったメンバーのキャラクター・カラーのドリンクも大好評で、わたしも一通り飲んでみたのだけれど、どれもとても美味しかった。こーいうことができるのは、キャラが色分けされてるニンジャマンジャパンの強みだよね。

さて、この席で発表されたのだけれど、彼らの次の公演は6月26日（土）ESPホールにて。今回も2回公演で、みんながあっと驚いて興味津々、忍ばずにはいられなくなるタイトルがつく予定。パーティの合間にも、メンバーはいろいろアイデアを練っていたので、また楽しいライヴになりそう。楽しみだにゃん。詳しくは、http://www.ninjaman-japan.com/

×月×日

長い間、アンカフェのヘアメイクを担当していたゆうこさんが、新しく担当することになったバンドBrainSteinを紹介してくれた。渋谷の某カフェでお茶をしたのだけれど、全員がかなりの美形揃い。食事どきをはずした時間だったにもかかわらず、彼らのテーブルの横を通る女の子は、もれなくビックリしたような表情でこの一団を見ていたよ。5人ともキャラがたってて話も面白いんだけど、特にヴォーカルの銀くんは、仕草や話し方などの雰囲気がGACKTくんにそっくり。ちょっと天然なところも似ていて、なんだか「子GACKTくん」みたいな印象だったよ（笑）。

それから10日ほどしてから、本誌の取材でインタビューをすることになったんだけど、結成秘話もなかなか面白かった。リハーサルの後、拓真くんがipodで聞いてた曲を聞いて、「今すぐ、この曲を作った人に会いたい！」と思った銀くんが、拓真くんのバイクの後ろに乗って知也くんに会いに行ったというエピソードなんて、青春ドラマの1ページみたいだと思ったよ。BrainSteinのインタビューは本誌129ページに載ってるから、是非、読んでね！

×月×日

ドレミ團の取材。ユウくんが加入してから取材をするのは初めてだけど、なんだか10年前からメンバーだったみたいに、すっごく自然な雰囲気だった。ユウくんのことは、彼が前の前のバンドに加入したばかりの10代だった頃から知ってるんだけど、今回、取材をして、「すごくしっかりしてきたなぁ」と思った。もちろん、あのほわわんとした癒し系のキャラは変わらないんだけど、その中でも自分の意思をしっかり持って発言している芯の強さが備わってきた感じ。それを年上のメンバーがニコニコしながら見守りつつ、刺激をもらっていいるという様子だった。バンドの雰囲気がいいと取材も楽しいので、この日もいいインタビューだったよ。次の音源やライヴが、楽しみだな～！

×月×日

SUGIZOに今年の初めに取材をしたとき、いきなり「大島さん、ポール・ハンプシャーって、好きだったでしょ」と、いわれた。わぁ～お！ ポール・ハンプシャー！ 彼は80年代後期、ジャパンやデュラン・デュランの後くらいに日本ですごく人気のあったパナッシュというバンドのキーボードだったミュージシャン。音楽専科社で出していた洋楽雑誌「VIVA ROCK」等、当時のいろんな雑誌で表紙になってた人物である。何でキーボードなのに、表紙？と思う人もいるだろうが、答えは簡単。女の子みたいにメチャクチャきれいなルックスをしていたからである。

SUGIZOの読み通り、わたしはパナッシュのシングルやアルバムを持ってたし、ポールの中性的なルックスがかなり好きだった。そう答えたら、「だと思ったんだ。この間、友達になったから、今度、紹介しますよ」と、さらっという。ん～、このタイミングでポール・ハンプシャーの名前が出てくるのもすごいけど、こともなげに「友達になった」というSUGIちゃんもすごい。彼は、ジュノ・リアクターに参加して以来、一人でギターを担いで世界のあちこちに行ってライヴをやってるから、ものすごい人脈を持ってるんだよね。もともと好奇心旺盛で物怖じしないし、自分からどんどん世界を広げている姿勢は、ホントにえらい。それで、たまたま日本に来ていたポールとゴハンを食べる時、呼んでくれた。20年前にグラビアで見ていた人と、実際に会うなんてドキドキワクワクだったが、20歳大人になったポールはとても素敵な人だった。目元とか当時のままだし、やっぱり美しい人はいくつになっても美しいものなのね……と、納得。彼は今バンコクに住んでいて、バンドやクラブDJをやったり、雑誌の編集に関わったり、タイのアート・シーンの最先端で活躍しているらしい。彼のバンドBeeのCDをもらったんだけど、グラム&パンキッシュな音でカッコいーっ！ 今の日本にはいないタイプのロックンロール・バンドだなと思った。このCD、日本発売しないのかな～？

mee.net
hudie.com

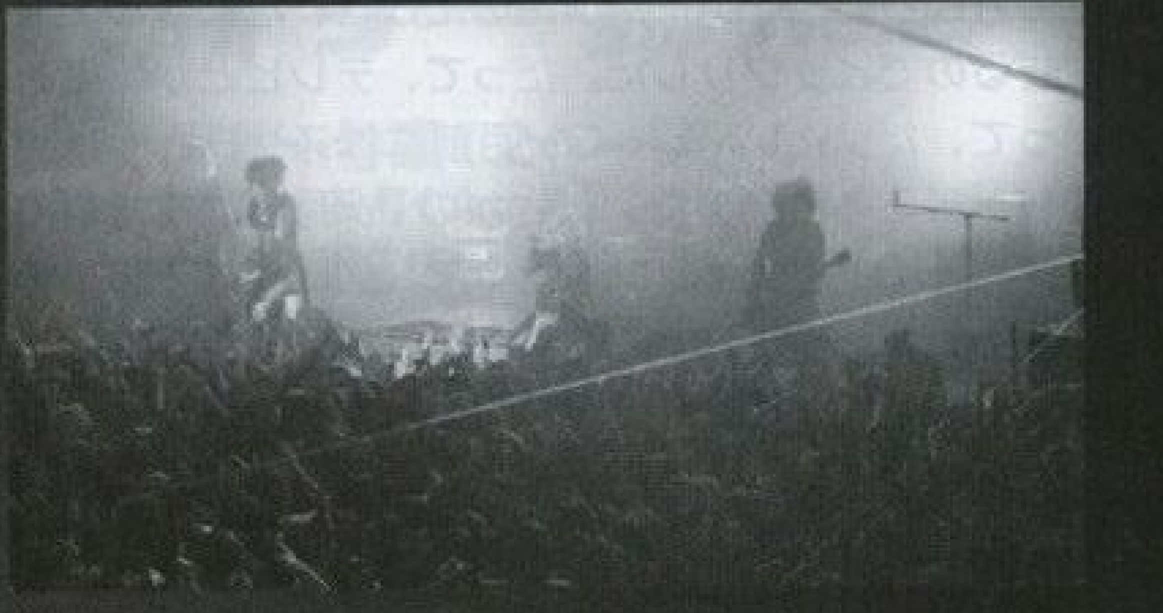
hudie.com

Phantasmagoria

MAXI-SINGLE 発売記念
60minutes Limited Premium Live
「Diamond Dust in Truth～新たな約束～」
2010.4.05 大阪BIG CAT

4月5日、大阪BIG CATで行われた、
Phantasmagoriaの期間限定復活の最後を締めくくるライヴ
『Diamond Dust in Truth～新たな約束～』。
この5人の姿を再び目にし、
バンドとしての豊かな個性、楽曲の完成度の高さに触れ、
改めてこのバンドの偉大さを噛み締めた。
それでも彼らはここに留まることなく、前へと進んで行く。
その先で、一体どんな光景を見せてくれるのだろう。

Photography : AKIO YOKOYAMA
Report : MIYUKI MURAYAMA



-SE-
M1.NEO ARK
M2.Unknow zero distance
M3.Material Pain
M4.Glitter
M5.Actuate Eden
M6.幻想曲～Eternal Silence～
M7.fairy times memory
M8.狂想曲～Cruel Crucible～
M9.Pixy false
-encore-
en1.光に降る雨
en2.神歌

期間限定復活中のファンタスマゴリアが、再び沈黙のときを迎える。その姿を目に留めておこうと、たくさんのファンがBIG CATに足を運んでいた。

開演時間を20分ほど過ぎた頃、暗闇に荘厳な音色が鳴り響き、ファンタスマゴリアの登場を告げる。中央から幕が開き、白い光が射し込んで来る。静まり返る中、メンバーがその姿を現した。同時に沸き起こる歓声。マイクを外した戮が精いっぱい叫んだ〝行くぞ～!〟の一声から、いよいよライヴはスタートした。

「NEO ARK」が始まった途端、フロアを埋め尽くす人々が動き、こぶしと声を高らかに上げる。すっかりおなじみの懐かしい曲。そして、おそらくもうライヴでは聴けない曲。けれども、そんな感慨にふける間もなく、激しいノリが観客を呑み込んでいった。〝狂ってけ、狂ってけ〟と叫ぶ戮こそ、狂気の淵にいるようだ。オープニングとは思えないほど、会場は熱く燃え上がった。そこへ重々しく始まった「Unknow zero distance」のドラマチックな展開と構築されたアレンジに、改めて彼らの個性と魅力を感じる。さらに、「Material Pain」では、激しさの中にも切なく美しい力強い歌が、迫力あるサウンドと共に迫り来る。彼らの楽曲を味わいながら、各々のメンバーがファンタスマゴリアとしての最後の姿と思い目に焼きつけようと見つめる。JUNは思い切りよく、いつも以上にノビノビとしたプレイを見せる一方、伊織は力のこもったプレイで全力を出し切ろうとする。纏は後方でどっしりと構え、懸命にプレイに集中し、KISAKIはもうすっかり現役が馴染んだ風情だ。そして中央の戮は、ファンタスマゴリアのフロントマンとして、さらなる進化を遂げたように感じた。

高らかに名乗りをあげる、その堂々とした姿は、「Glitter」のおなじみの振りがぴったり似合う。さらに激しく踊った「Actuate Eden」へと続き、次々と懐かしい曲の美しいメロディーが繰り出されると、聴いているだけで圧倒されるよう。少しずつ静かになる会場へ、優しく流れ出したのは「幻想曲～Eternal Silence～」。言うまでもなく、ファンタスマゴリアが生み出した名曲のひとつ。胸に迫るメロディーを戮が包み込むように歌い上げ、JUNもまた歌うように、その美しいフレーズを奏でた。ステージでは、白い光の中にメンバーの姿が浮かび上がり、まさに幻想的な光景が広がっていた。拍手と共に、「fairy times memory」のイントロが始まる。切ない歌に終わりのときを感じ、このバンドがなくなることが、単純に惜しまれた。

残り2曲というMCに観客からは悲鳴が起こる。「狂想曲～Cruel Crucible～」が始まれば、さらに気合いを新たにしたかのような勢いで、会場全体が激しいヘドバンで埋まった。急き立てられるかのようにラスト「Pixy false」へ。全員で揺れ、音に身をまかせ、ひとつになる瞬間が訪れると、それが最後の時間となった。

アンコールの最初に観客を驚かせたのは、KISAKIの新バンド・凛のヴォーカルを戮が務めるという発言。喜びの歓声が、ファンタスマゴリアの最後という寂しさをかき消して行く。メンバーも一人ひとり明るい口調でファンへ語りかけ、清々しい空気が漂う。KISAKIは、復活を告げた今日という日が、3年前引退を表明した日だったことに触れ、ファンを振り回していることは承知の上で、今の気持ちを大切にして行きたいと、これからの活動への決意を口にした。

会場に集まった沢山のファンによる合唱が、新たな命を吹き込んだ「光に降る雨」の後、もちろん最後は「神歌」。レーザー光線と赤いスポットライトが照らし出される中、フロアいっぱいの人々が祈りを捧げ、陶酔して行く。そのまま、延々と祈りが続き、狂乱のときは続いた。これが最後とわかっていながらも、そこにあるのは悲愴感ではなく、ファンタスマゴリアという偉大なバンドの、「神歌」という偉大な曲を、心から全身で楽しもうとする想いだっただろう。

曲が終わると、会場には晴れ晴れとした空気が流れ、メンバー5人は爽やかな笑顔。これは終わりであると同時に、新たなスタートでもある。ただ、ファンタスマゴリアというバンドの大きさを、ここで改めて感じたのも事実。ファンタスマゴリアを超えることが、この先、各々のメンバーに課された目標となる。自ら高いハードルを掲げたとも言える、この期間限定復活を終えた今、彼らの今後の活動におおいに注目したい。

慧美网
蝴蝶网
hudie.com

hudie.com
vimee.net

Phantasmagoria

凛 -the end of corruption world-

凛然としたこの世界で 最後の物語のシンフォニーが 今、流れはじめる。

初めてバンドを組んだ時の様なワクワク感がある。

既にバンド名だけは告知されていたが、KISAKIの新バンド・凛の全貌が明らかになった。メンバーは、RIKU、MIZUKI、KANATA、REIYA、そしてKISAKIの5人。彼らは一体どんなバンドなのか。まずは、このインタビュー、そして通信販売のみでリリースされるCD『凛』で、その片鱗に触れてみてほしい。いよいよ、5月23日なんばHATCHのライヴを皮切りに、KISAKIの新たな歩みが始まる。

Interview：MIYUKU MURAYAMA

――KISAKIさんが声を掛けて、メンバーを集めたんですか。

KISAKI：そうですね。バンドを始めようと決めたときに、チャリオッツから4人が脱退することが決定していたので、RIKUとこれからどうしようかっていう話をしていて。僕がバンドをするとしたら、ヴォーカルはRIKUがいいってずっと思ってたんです。僕は誰よりもRIKUを活かす自信もあるし、RIKUなら俺自身もモチベーションを上げられるんですね。

――RIKUさんは、また一緒にKISAKIさんとバンドをすることについてはどう思ってましたか。

RIKU：一大決心をして引退をした後の現役復帰なので、その情熱は感じ取ってたし、自分としても、チャリオッツが活動休止しても、ステージから離れたくなかったんですね。しかも、自分のスタイルを認めてもらって一緒にやろうっていうことであれば、断る理由はないなって。それでぜひ一緒にやらせて下さいって。

――KANATAさんとREIYAさんは、KISAKIさんもよく知ってるプレイヤーではあったと思うんですが。

KISAKI：すごい、いいものを持ってるから、可能性は感じてるし、将来的にもっと成長させられる自信があったので、二人には話してみたんですよね。ただ、元チャリオッツっていう見られ方をするのに引っ掛かってた部分もあったみたいで。RIKUを残して脱退してるのに、また一緒にやって、疑問に思われる部分があるかもしれないし。でも、チャリオッツとしては一緒の方向性を見られなくなったけど、俺の横で歌ってるRIKUと一緒にプレイするのは是非やってみたいという事だったんです。それに、OKした一番の理由は、俺が作った曲を気に入ってもらえたからかなと勝手に思ってるんですけどね。新バンドに向けての曲を2人に聴かせてから、一気に目が変わった気がしたんで。

――それを聴いてどう感じました？

KANATA：KISAKIさんがよく楽屋とかで、パソコンを開いて作曲作業をしてらしたんですよね。すごい、イイ音楽が流れてるってずっと思ってて。それが新しいバンドの曲だって知ったときに、かなりテンションが上ったんです。こんな曲を作れる人について行きたいと思いました。

REIYA：僕もそうですね、KISAKIさんの持つ世界観とか音楽性に素直

に共感できたのが大きいですね。それで是非やらせて下さいって。自分の力を試すチャンスだと思ったんで。

——最後にMIZUKI君ですが、以前から知り合いだったんですか。

KISAKI：全く接点はなかったですね。もともと、もう一人ギタリストの候補がいたんですよ。そのギターの演奏を見ようと思って、Youtubeを見てたんですね。右下のほうに、関連してる映像が映るじゃないですか。そこに彼のバンドが出てて。パフォーマンスが面白くて、インパクトのあるギタリストだと思ったんで、話をしてみたくなったんです。それで、演奏力も何も知らない状況で、スタッフづてに連絡をしてもらうように頼んで、速攻呼び出して話しました（笑）。

——KISAKIさんのことは知ってた？

MIZUKI：もちろん知ってはいたんですけど、いきなり雑誌で見ている人から連絡しろって言われてかなり恐ろしかったですね。（苦笑）

——それで、会って話をして。

KISAKI：そろそろメンバーを決めないとって頃だったし、今決めろって。持ち帰ることも許さなかったんで。

——それはビックリしたでしょ（苦笑）。

MIZUKI：でも、いろいろ話をして、KISAKIさんに人生を預けますって言えました。

——そこで決心できた理由は？

MIZUKI：一番思ったのは、住んでる場所が大阪と東京でやりとり等がどうなるのかってことだったんですけど、世界を股にかけてやって行くバンドだから、東京も大阪も小さいんだよって言われたところで、よし、全部まかせようって。

——音楽性の話とかは？

MIZUKI：前々からKISAKIさんのバンドの音源は聴いてたし、新しい曲を聴かせてもらって、やってみたいと思えたのが第一にあるんです。そこで距離の問題も解決されたんで、その場で即決しました。

——それでメンバーが揃ったと。KISAKIさんの新バンドっていうことで、プレッシャーもあったんじゃないですか。

KANATA：プレッシャーはかなり大きいものがありました。でも、いいタイミングだと思って、新しく名前をつけて、一から頑張って行こうと思って自分は名前を改名しました。

REIYA：人生最大のプレッシャーだと思います。これを乗り切って行かないと、自分もこれ以上成長しないと思うし。それ以上に気合いが上回ってます。

——凛というバンド名は、KISAKIさんが考えたんですか。

KISAKI：歌詞を書いてるときに、たまたま凛って言葉が出て来て。凛って響きと漢字を見てると、すごく綺麗で儚いイメージを感じたんですけど、意味をよく調べて行くと、強い意味も持ってるし。今まで漢字のバンドってやったことなかったし。覚えやすいし。世界を股に活動できるバンドにしたいとも思ってるんで、日本語一文字だとインパクトあるかなっていうのもありつつ、これで行こうと。

——まずは、「凛」というバンド名を掲げた曲を作ったわけですね。

KISAKI：凛を象徴した、ライヴを意識した曲がほしくて。それで、KANATAが作って来た曲が「凛」なんです。KANATAちゃんと俺が思ってることを考えてくれて、プラス和のテイストもあるし、RIKUが歌ってる姿もすごい想像しやすいし、ライヴでもいい位置に持ってこられる曲だと思ったんで、「凛」っていうタイトルにして。それで、歌詞をRIKUに頼んだ感じです。

——凛っていうバンドのイメージを考えて作ったんですか。

KANATA：凛っていう言葉から、美しさと力強さを感じたし、ライヴを想定すると、いろんなパターンのことが出来るなっていうのも浮かんだし。凛らしく美しい部分も入れつつ、力強く、お客さんと一体になれる部分などを考えて作りました。やりたいことを全て詰め込んだ曲ですね。

REIYA：音楽で凛を伝えるにあたって、すごいわかりやすい曲だなと思って。リズム的にもライヴで皆でノれるし、メロディアスで聴きやすいし、そういう面で一発目にすごい相応しいなって思いました。

——レコーディングはいかがでしたか。

KISAKI：一番最初にバンドを始めたときみたいなワクワク感でいっぱいなんで、すごい楽しんでますね。

——ギターは、ツインギターとしては初めてのコンビで。

KANATA：レコーディングのときに初めて合わせるぐらいで、どんなプレイをするのかも当日にわかって。ツインリードで行くのは決めてたんで、二人で話し合いながらレコーディングは進めて行きました。

MIZUKI：各々が要所要所リードを取ったり、上手く話し合って録って行った感じです。

——RIKUさんはどうでした？

RIKU：バンドの代表曲になるものだし、絶対ずっとやり続ける曲だと思うし、あのとき聴いたけど今聴くと恥ずかしいとか、そういうのは絶対避けたいなと思って取り組みましたね。凛イコールKISAKIさんって捉えて歌詞は書いたんで、そう思ってサビの歌詞を読むとわかるんじゃないかなと思います。

——この曲は通信販売のみなんですよね。

KISAKI：凛っていうバンドが気になるコアなファンの人限定で、1000枚だけって考えてるんです。これを聴いて、どういうバンドかイマジネーションを広げて楽しんでもらいたいですね。もっとビックリさせるライヴも出来ると思うんで。

——初ライヴは5月23日ですね。

KISAKI：〝Over the Edge'10@OSAKA〟っていう大きなイベントで初ライヴを迎えられるのも有り難い話ですよね。このバンドは何かをやらかしてくれそうだなっていう可能性を秘めた勢いを見せたいし、俺がこのシーンに戻って来た理由を、5人でぶつけたいと思います。

——最後にこれからの意気込みを。

REIYA：一皮も二皮も剥けたドラマーになるので、ライヴを見に来て、体感して下さい。後悔はさせません。

KANATA：音楽をやってる理由がここにあるので、それを今からどんどん見せて行きたいと思います。

MIZUKI：プレッシャーを楽しみながら、自分らしくアグレッシブなステージを見せられるように頑張って行きたいと思っていますので、よろしくお願いします。

RIKU：見慣れた部分もあると思うんですけど、その中で産まれた新しい部分を見に来て下さい。

KISAKI：僕がこのシーンに帰って来た理由とその生き様を、[illegible]か音源で打ち出して行ければと思ってます。皆と再会できるのが、[illegible]楽しみにしつつ、もう一回原点に帰って、思い切り盛り上げて行きたいです。皆を巻き込んで行けるような大き[illegible]にして行きたいと思ってます。みなさんよろしくお願いします。

慧美网 蝴蝶网 hudie.com

HERO
4/29 On Sale
HERO
コラボ T-Shirts 発売！
sleeve T-Shirts 3type print color ¥3,500（税込み¥3,675）
ト ¥10,500（税込み¥11,025）
rts 3type print color 各1枚＋サイン入りポスター）
ゴールデンウィーク限定特典（4/29～5/9）
ゴールデンウィーク中にコラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方に
メンバーコメントDVD（サイン入り）をプレゼント！
げ特典】
げ特典：A
握手&新衣装記念撮影会（第1部or第2部）参加券プレゼント
：HERO コラボT-Shirtsを1枚お買い上げの方
げ特典：B（先着30名様）
握手&新衣装記念撮影会（第1部&第2部）参加券プレゼント
トーク&サイン会参加券プレゼント
：HERO コラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方
【インストアイベント】
◆HERO 握手&新衣装記念撮影会
6月20日（日） 会場：Death trap-ID
第1部 16:00 メンバー全員＋お客様での記念撮影
第2部 17:00 お好きなメンバーとのツーショット記念撮影
◆HERO トーク&サイン会（先着30名様）
6月20日（日）18:00 会場：Death trap-ID
イベント内容：サイン、トーク&more
ネガ
4/29 On Sale
NEW コラボ T-Shirts 発売！
Long sleeve T-Shirts 3type print color 各¥4,900（税込み¥5,145）
3枚セット ¥14,700（税込み¥15,435）
（T-Shirts 3type print color 各1枚＋2L版サイン入りアー写）
ゴールデンウィーク限定特典（4/29～5/9）
ゴールデンウィーク中にコラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方に
メンバーコメントDVD（サイン入り）をプレゼント！
【お買い上げ特典】
お買い上げ特典：A
◆ネガ 握手&新衣装記念撮影会（第1部or第2部）参加券プレゼント
配布条件：ネガ コラボT-Shirtsを1枚お買い上げの方
お買い上げ特典：B（先着30名様）
◆ネガ 握手&新衣装記念撮影会（第1部&第2部）参加券プレゼント
◆ネガ SPECIAL TEA PARTY 参加券プレゼント
配布条件：ネガ コラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方
【インストアイベント】
◆ネガ 握手&新衣装記念撮影会
6月6日（日） 会場：Death trap-ID
第1部 15:00 メンバー全員＋お客様での記念撮影
第2部 16:00 お好きなメンバーとのツーショット記念撮影
◆ネガ SPECIAL TEA PARTY（先着30名様）
6月6日（日）17:00 会場：Death trap-ID
イベント内容：トーク、サイン、&more
4/29 On Sale
Megaromania
NEW コラボ T-Shirts 発売！
Long sleeve T-Shirts 3type print color 各¥4,900（税込み¥5,145）
3枚セット ¥14,700（税込み¥15,435）
（T-Shirts 3type print color 各1枚＋2L版サイン入りアー写）
ゴールデンウィーク限定特典（4/29～5/9）
ゴールデンウィーク中にコラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方に
メンバーコメントDVD（サイン入り）をプレゼント！
Megaromania
げ特典】
げ特典：A
romania 握手&新衣装記念撮影会（第1部or第2部）参加券プレゼント
：Megaromania コラボT-Shirtsを1枚お買い上げの方
げ特典：B（先着30名様）
romania 握手&新衣装記念撮影会（第1部&第2部）参加券プレゼント
romania SPECIAL TEA PARTY 参加券プレゼント
：Megaromania コラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方
【インストアイベント】
◆Megaromania 握手&新衣装記念撮影会
5月16日（日） 会場：Death trap-ID
第1部 15:00 メンバー全員＋お客様での記念撮影
第2部 16:00 お好きなメンバーとのツーショット記念撮影
◆Megaromania SPECIAL TEA PARTY（先着30名様）
5月16日（日）17:00 会場：Death trap-ID
イベント内容：トーク、サイン、&more
SCAPEGOAT
4/29 On Sale
NEW コラボ T-Shirts 発売！
4/29 高田馬場 AREA ワンマンにて先行発売！
終演後、物販席にて販売。店頭発売は4/30より
会場限定特典 会場にてコラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方にメンバーコメントDVD(サイン入り)をプレゼント！
Short sleeve T-Shirts 3type print color 各¥3,500（税込み¥3,675）
3枚セット ¥10,500（税込み¥11,025）
（T-Shirts 3type print color 各1枚＋2L版サイン入りアー写）
SCAPEGOAT
【お買い上げ特典】
お買い上げ特典：A
◆SCAPEGOAT 握手&新衣装記念撮影会（第1部or第2部）参加券プレゼント
配布条件：SCAPEGOAT コラボT-Shirtsを1枚お買い上げの方
お買い上げ特典：B（先着30名様）
◆SCAPEGOAT 握手&新衣装記念撮影会（第1部&第2部）参加券プレゼント
◆SCAPEGOAT SPECIAL TEA PARTY 参加券プレゼント
配布条件：SCAPEGOAT コラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方
【インストアイベント】
◆SCAPEGOAT 握手&新衣装記念撮影会
6月5日（土） 会場：Death trap-ID
第1部 15:00 メンバー全員＋お客様での記念撮影
第2部 16:00 お好きなメンバーとのツーショット記念撮影
◆SCAPEGOAT SPECIAL TEA PARTY（先着30名様）
6月5日（土）17:00 会場：Death trap-ID
イベント内容：サイン、トーク&more
VAJRA
28 On Sale
EW コラボ T-Shirts 発売！
8 渋谷 CHELSEA HOTEL ワンマンにて先行発売！
、物販席にて販売 店頭発売は5/29より
定特典 会場にてコラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方にメンバーコメントDVD(サイン入り)をプレゼント！
sleeve T-Shirts 3type print color 各¥3,500（税込み¥3,675）
ト ¥10,500（税込み¥11,025）
VAJRA
げ特典】
げ特典：A
【インストアイベント】
◆VAJRA 握手&新衣装記念撮影会
7月4日 会場：Death trap-ID
第2部 お好きなメンバーとのツーショット記念撮影
イベント内 サイン、トーク&more
V-last.
4/24 On Sale
1st. コラボ T-Shirts 発売！
Short sleeve T-Shirts 3type print color 各¥3,500（税込み¥3,675）
3枚セット ¥10,500（税込み¥11,025）
（T-Shirts 3type print color 各1枚＋2L版サイン入り未公開アー写）
V-last.
【お買い上げ特典】
お買い上げ特典：A
◆V-last. 握手&新衣装記念撮影会（第1部or第2部）参加券プレゼント
配布条件：V-last. コラボT-Shirtsを1枚お買い上げの方
お買い上げ特典：B（先着30名様）
◆V-last. 握手&新衣装記念撮影会（第1部&第2部）参加券プレゼント
◆V-last. SPECIAL TEA PARTY 参加券プレゼント
配布条件：V-last コラボT-Shirts3枚セットをお買い上げの方
【インストアイベント】
◆V-last. 握手&新衣装記念撮影会
5月2日（日） 会場：Death trap-ID
第1部 15:00 メンバー全員＋お客様での記念撮影
第2部 16:00 お好きなメンバーとのツーショット記念撮影
◆V-last. SPECIAL TEA PARTY（先着30名様）
5月2日（日）17:00 会場：Death trap-ID
イベント内容：サイン、トーク&more
アーティストモデル衣装 ご要望にお応えして受注生産再開！
ir en grey Model
から VULGAR まで ID-JAPAN 衣装時代の名作衣装全28モデルがオーダー出来ます！
イトメア Model
NIS からリヴィドまで ID-JAPAN 衣装時代の名作衣装全11モデルがオーダー出来ます！
しくは http://blog.livedoor.jp/idjapan_cos をご覧下さい
ール会員登録するとメンバー特別価格でご購入出来るサービスがご利用になれます
Death trap-ID Slection Clothes
パンク系、ゴシック系、ゴスロリ系、ロリータ系、
ロック系、ガーリー系、etc・・・・・
Death trap-ID がセレクトしたヴジュアル系、原宿系
ウェアを多数取り揃えています。
しかも価格は超リーズナブル！
普段着やライブ着も Death trap-ID におまかせ！
着こなし次第では衣装としてもご使用できます！
明治通り
竹下通り
セブンイレブン
マツモトキヨシ
カフェクレープ
ダイソー
原宿駅竹下口
Death trap-ID
原宿ジュネスビル B1
東京都渋谷区神宮前 1-6-15
TEL:03-3403-0178
Death trap-ID
ID-JAPAN CONCEPT SHOP
東京都渋谷区神宮前 1-6-15 原宿ジュネスビル B1
TEL:03-3403-0178 OPEN 10:00-20:00
http://www.id-japan.co.jp E-Mail : info@id-japan.co.jp
イベントや新商品発売など最新情報は下記をチェック！
http://blog.livedoor.jp/deathtrapid

原宿竹下通りにリニューアル・オープン！

ID-JAPAN CONCEPT SHOP

Death trap-ID

Order-made & Original Stage Clothes / Death trap-ID Slection Clothes

Death trap-6I6

5.22 四谷 OUTBREAK
Open 15:30 Start 16:00 adv ¥3000 day ¥3500（D 代別）
出演：α:Vout / GremlinS / SiCroW / 他
シークレット有り！

6.12 渋谷 RUIDO K2
Open 15:00 Start 15:30 adv ¥3000 day ¥3500（D 代別）
出演：SCAPEGOAT/DEPAIN/diva/ BALLY / ハーメルン / 針槐 - ハリエンジュ -/Az:Madius/ ギャロ /velgat/GremlinS

6.26 四谷 OUTBREAK
Open 15:30 Start 16:00 adv ¥3000 day ¥3500（D 代別）
出演：α:Vout/VAJRA/velgat/GremlinS/ SiCroW/ マーブル /SeVllenS/ 他

オーダーメイド&オリジナルステージ衣装

Death trap-ID
オーダーメイド衣装

ヴィジュアル系衣装の代名詞、あこがれの ID-JAPAN 製衣装がぐっと身近になりました！
数々の有名アーティスト達に愛用され続けてきた夢の ID 衣装があなたのものに！
フルオーダー¥100,000～ オーダーお見積り無料、各種カード取り扱い、リボ、分割可！
Death trap-ID では、デザイン、素材選びから採寸、仮縫い、フィッティングまで、
専門スタッフが一環してお客様に対応いたします。夢の ID 衣装を纏っていざステージへ！
詳しくはスタッフまでお問い合わせ下さい。メール、お電話での事前お問い合わせも大歓迎！

Death trap-ID
オリジナルステージ衣装

明日の LIVE も大丈夫！
Death trap-ID では、前もってオーダーしなくてもスグにお持ち帰りが出来る ID-JAPAN 製
オリジナル 1 点物衣装を多数取り揃えています。フルオーダーに比べて価格もリーズナブル！
さらにそれらの衣装を基にしてご自分の好みに合わせたお客様だけのカスタムオーダーも可能！
動員 UP への近道！他のバンドに確実に差を付けたい方は ID-JAPAN にお任せ下さい！

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

BugLug
バグラグ
http://www.buglug.jp/
more fun!! more love!!!

昨年12月に、その全貌をあらわにしたニュー・バンド=BugLug（バグラグ）。
3月6日には正式初ライヴにして
初のワンマン・ライヴも敢行している彼らではあるが…
まだまだナゾに満ちたバンドでもある。
その中でもひときわ不思議なオーラを放つ一聖をピックアップ。
彼が音楽を始めたキッカケから、BugLugに出会ういきさつ、
そして彼が描くBugLugの未来などなど、じっくりと話してもらった。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Hair & Make-up:HOSSHI-☆
Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

——まずは、音楽やロックに目覚めた時期やキッカケを教えてください。

「僕は、小学校の頃は、ずっとサッカーをやってて。本気でサッカー選手を目指していたんですけど、中学校に入ってさっそく挫折したんですけど（笑）。中学生になるとレギュラー争いとかがすごく激しくて。そういうところに巻き込まれて嫌になって、そのまま現実逃避したんです（笑）。ゲームセンターに行ったり、髪を染めたり…っていう風に、ヤンチャになりだして。でも、何か違うなと思った時に、J-POPのアコギ系アーティストに惹かれて。それがキッカケでギターを弾くようになったんです。それで、軽音楽部にアコギを持って入部しに行ったんですけど、みんなエレキギターを弾いてるんですよね。〝アコギとか、しょうがねぇよ〟みたいな感じで、もうケチョンケチョンにされて（笑）。その時の先輩たちは、当時流行っていたメロコア系と、X JAPANやLUNA SEA系に分かれてて。僕は、X JAPANやLUNA SEAがカッコいいなと思って。そこから人生が変わりましたね。エレキギターを買って、そのまま高校の途中までギタリストとしてバンドをやっていました」

——歌うようになったのは、少し経ってからだったんですね。

「そう。僕は、ずっと年上の人たちとバンドをやってて、高校の最後の頃にやっと同年代の友達とバンドを組めたんです。そのバンドで文化祭に出ることになったんですけど、ヴォーカルがいなくて。それで、〝じゃあ、俺がヴォーカルやるよ〟っていって。それが、歌うようになったキッカケです」

——歌うようになったのは、自分の中で大きな変化でしたか？

「大きな変化でしたね。ライヴをやった時に、すごく自由を感じたんです。ヴォーカリストは全身を使って表現できるし、縦横無尽に動くことが出来て。その時のライヴは、ダイヴしまくった記憶しかないんですけど（笑）、ダイヴしながら歌ったり、寝転びながら歌ったり。〝これは楽しい！ これだ！〟と思って。そこで一気にリミッターが外れたというか。ここなら自由でいられるなと強く感じたんです。その後、オリジナルをやるバンドでヴォーカルをやるようになるんですけど、それが、BugLugの前のバンドです。そのバンドで得たものは多かったし、いい経験をさせてもらえたなと思っています」

——ずっと音楽一筋の人生だったのに、そのバンドが終わった後、音楽をやめようと思った時期もあったそうですね。

「前のバンドが解散した時は、すぐに次のバンドをやるつもりだったし、それしかないと思っていたんです。でも、時間が空いて、その間一人でいることが多くて。曲を作るにしても、詞を書くにしても、歌うにしても、すごく孤独な時間が続いて。そのうちに、〝そもそも、なぜ自分は歌っているんだろう？〟というところに考えがいって。〝今の自分はどうしたいんだろう？〟とか、〝これからは、どういうものを伝えていきたいんだろう？〟ということを考えたりして。そこで本当に行き詰まってしまったんです。〝俺じゃなくてもいいんじゃないかな？〟と思ったりして。だったら、もうやめてしまおうか…とか。だからその頃は、かなり迷走していましたね」

——それは、どれくらいの間でしょう？

「1年半とか…」

——えっ、そんなに？

「はい。もう、ずっと悩みに悩んでいました。そこから抜け出せたのは、BugLugのメンバーとの出会いがあったからなんです。そこに至るまでの過程で、いろんなバンドに誘われたり、スタジオに入ったりしていたんですけど、どうもシックリこなくて。音楽的なことではなくて、人としての感覚みたいなものが、どうしても合わなくて。でもBugLugのメンバーと出会った時は、すごくナチュラルな自分でいられたんです。それで、〝あぁ、ちょっと違うな〟と思って。その後、音を合わせて曲を作った時に、光が見えてきたんですよね」

BugLugのメンバーと出会って、光が見えた

——焦らずに、いい出会いを待っててよかったですね。BugLugのメンバーの人柄を改めて教えてもらえますか。

「一樹は、謎ですね。もう、〝ザAB型〟みたいな感じで（笑）、超マイワールド、超マイペースなんです。それに、ツボが全く分からない（笑）。全然面白いことを言ったつもりじゃないのに、すごく笑ったりしてて。逆に、僕が狙って言ったことは〝ツマンナイよ〟って、シラッと言われたりするし。よく分からないんですよ（笑）。だけど、いちばんしっかりしてるので。BugLugのまとめ役というか、お兄さん的な存在ですね。優もすごくしっかりしていますけど、彼はお父さんっぽいというか（笑）、荒くれ者みたいな感じがありますね。優は、面白い。僕の中で、人間としてツボです（笑）。だけど、逆にいちばんぶつかる存在でもあって。僕は平和主義者なので、いつも仲良くしていたいんですけど、音楽面では譲れない部分があって。でも、ぶつかった時は気になるんですけど、優は後に引きずらないタイプなので、ちゃんと仲良くやっています。燕は、気さくな感じで、寛大な心を持った人です。動物もすごく好きだし、〝優しい人〟というイメージですね」

——メンバーのバランスのよさもBugLugの魅力です。今のところ、BugLugは〝音楽の楽しさを伝えたい〟ということを押し出していますね。

「僕らは、最初に会った時に〝マジメだな〟みたいなことを、全員が感じたんです。マジメに音楽をやるのは当然だけど、それだけじゃツマラナイ。それで、〝だったら、そこを逆手に取って、音楽でマジメに遊ぼう〟と。それが、BugLugのいちばん大きな軸になっているんです。そういうところで、『SUPER NOVA』と「ASOBIZ」には、BugLugらしい遊び心を思いきり詰め込みたいな…というのがあって。その結果、ああいう作品になりました。自分たちが音楽を楽しみたいし、自分たちの曲を愛したいので、そのために遊ぶ感覚で音楽を作っています。それに、今のBugLugは、すごくポップだったり、キャッチーなイメージだと思うんですけど、それが全てではないので。どんどん幅を拡げていきたいと思っています。キャッチーということでも、もっと違う切り口もあるだろうし。枠を作ったりしないで、いろいろ挑戦していきたいですね」

——期待しています。3月6日には、初のライヴも行ないました。

「ライヴに関しては、正直不安もありました。自分の中では、3月6日のライヴは、みんなが持ってくれた〝BugLugのイメージ〟と本物の対決、みたいな感覚があって。本物のBugLugは、絶対にみんなの期待を上回るものじゃないといけないと思ってて。それに、僕は、ライヴはエンターテイメントも必要だと思っているので。そういう部分も表現したいなと思って臨みました」

——BugLugが目指しているものを正しく伝えたいという想いと、オーディエンスを巻き込んで一緒に楽しみたいという意欲を感じました。

「そこは、あのライヴでうまく表現できたなというのが自分の中にもあって。ライヴ前はいろいろ考えたんですけど、思いきりピュアというか、ありのままでいこうと決めて。その結果、すごく伝わりやすいライヴになりましたね。元がそういう人間なので、今後もそういうライヴをやっていくと思います」

——ステージの一聖さんは、別の世界の住人のような感じもしましたよ。

「僕は、ありのままの自分でいることが生きていく上でのモットーなので。自分の本質を出しているんです。それを見て、別の世界の住人みたいに感じてもらえたとしたら、すごく嬉しいですね」

——生活感とか全くないですけど、自由に過ごせる休日が1日あったとしたら、どんな風に過ごします？

「どうだろう？ 洋服が好きなので、とりあえず買いに行くと思います。あと、ゲームは確実にしますね。いや、ディズニーランドに行くかな。僕は、ディズニーが大好きで、フィギュアとかもいっぱい持っているんです（笑）」

——そうなんですか？ ちなみに、いちばんお気に入りのキャラは？

「ミッキーマウスです。もう、王道です（笑）。ディズニーは、別に子供の頃から好きだったわけじゃなくて、初めてディズニーランドに行った時も、そうはいっても遊園地だろう…くらいの感じだったんです。なのに、ショーを観て、泣いてしまったという（笑）。〝すごすぎる！〟と思って。それからのめり込みました。ミッキーマウスのカリスマ性は、本当にすごい。僕は、彼みたいな存在になりたいと思っているんです」

DOG inThePWO

パラレルワールドオーケストラ

【set list】
1.WONDER×WONDER
2.ハルシオンキャンディ
3.参千世界-夜と音-
4.アルトラ。
5.EVOL-decadance-
6.CALLNUMBER[119]
7.Rainy rain
8.Style Lover
9.奇妙なサァカス。
10.aPPIE[worLd]go-RouNd
11.電脳花壇
<encore Ⅰ>
SE～「-DDT-」
12.コラン
13.声-voicE-
<encore Ⅱ>
13.WONDER×WONDER

「犬コレ」－DOG COLLECTION－

色鮮やかで独創的な新作“コレクション”

2010.3.20 HARAJUKU ASTRO HALL

Photography:EMI NAITOH
Report:MIDORI SAITOH

春の風が心地よい3月20日、原宿アストロホール。ちょうど1周年を迎えたばかりのDOG inTheパラレルワールドオーケストラが、最新シングル『ワンダー×ワンダー』を掲げ、パリコレならぬ“犬コレ”を開催した。カラフルな曲に着替えて、踊り狂うDOGたちのワンマン・ライヴの様子をお伝えします! 7月2日には渋谷O-WESTにて主催イベント「犬小屋#3」の開催も決定!

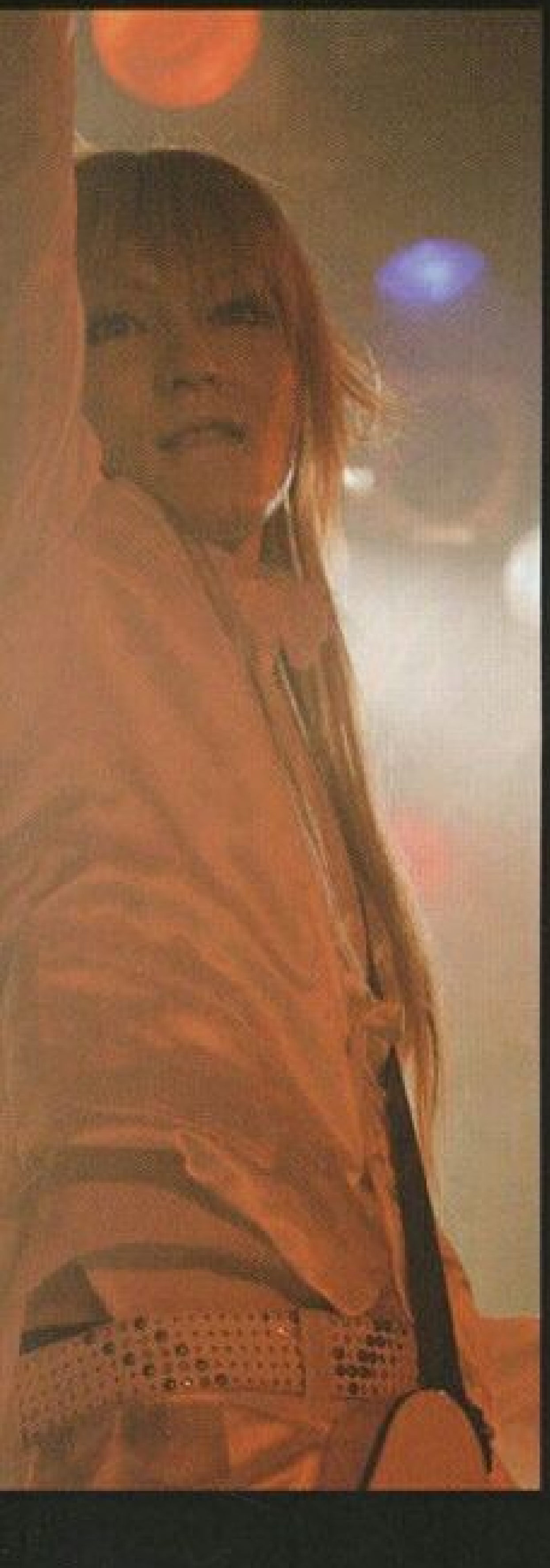
流行の発信地・原宿。そこで、1周年を迎えたDOG inTheパラレルワールドオーケストラが、色鮮やかで独創的な新作コレクションを開催した。スクリーンに「WONDER×WONDER」のPVが映し出されると、まるでPVからそのまま飛び出してきたかのようにメンバーが登場し、ライヴがスタート。「ハルシオンキャンディ」「参千世界-夜と音-」の激しいナンバーで、自分たちのペースに一気に観客を引きずり込む。そして、絶対良いライヴになることを確信していたという力強いMCを挟み、「アルトラ。」「EVOL-decadance-」「CALLNUMBER[119]」でハジけると、会場はあっという間にカオス状態に。

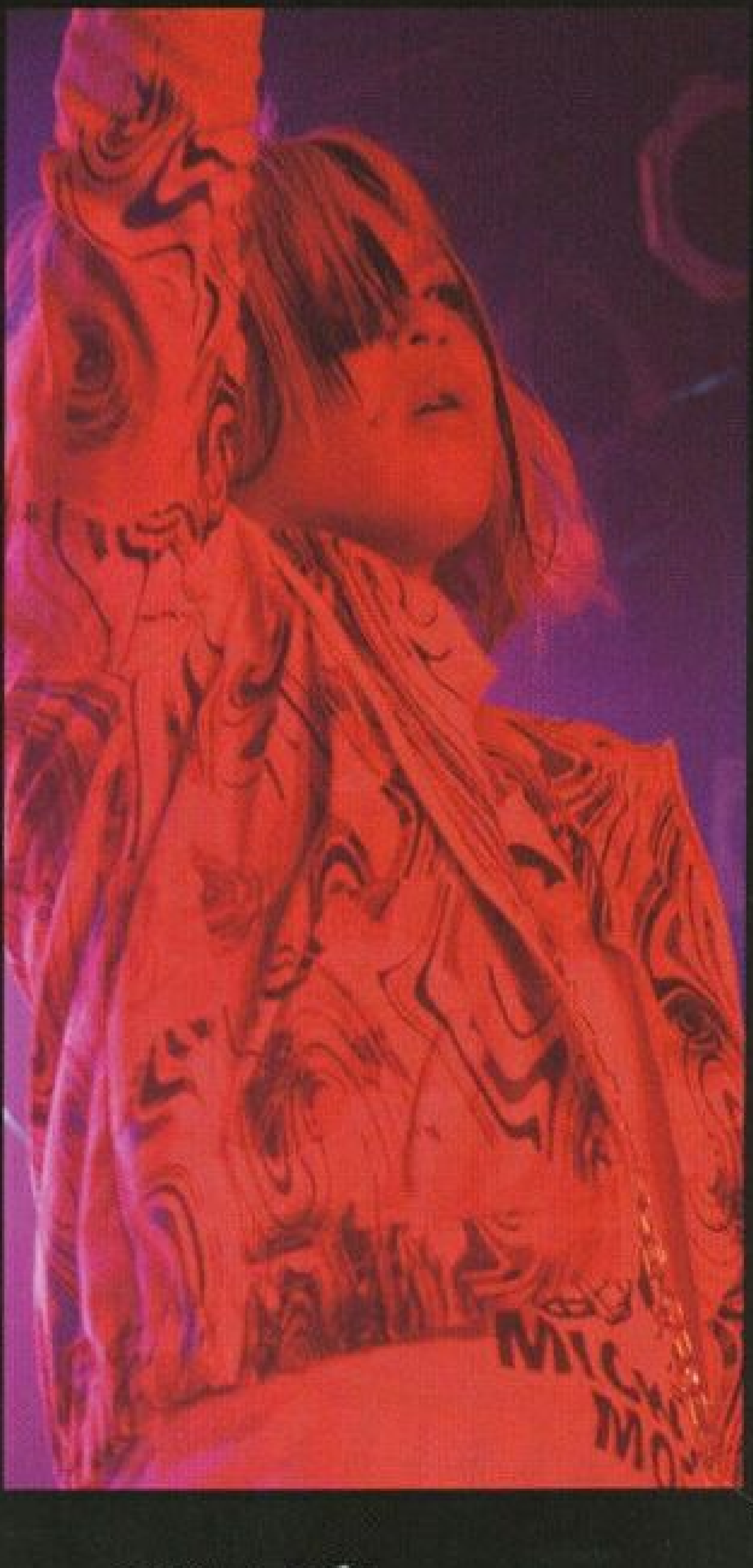
〝DOG、2010年、攻めることしか考えてません。『ワンダー×ワンダー』から〝狂犬病-2010-〟へとどんどん成長していくんで、今日はその第一歩のライヴになるようにしたいです〟

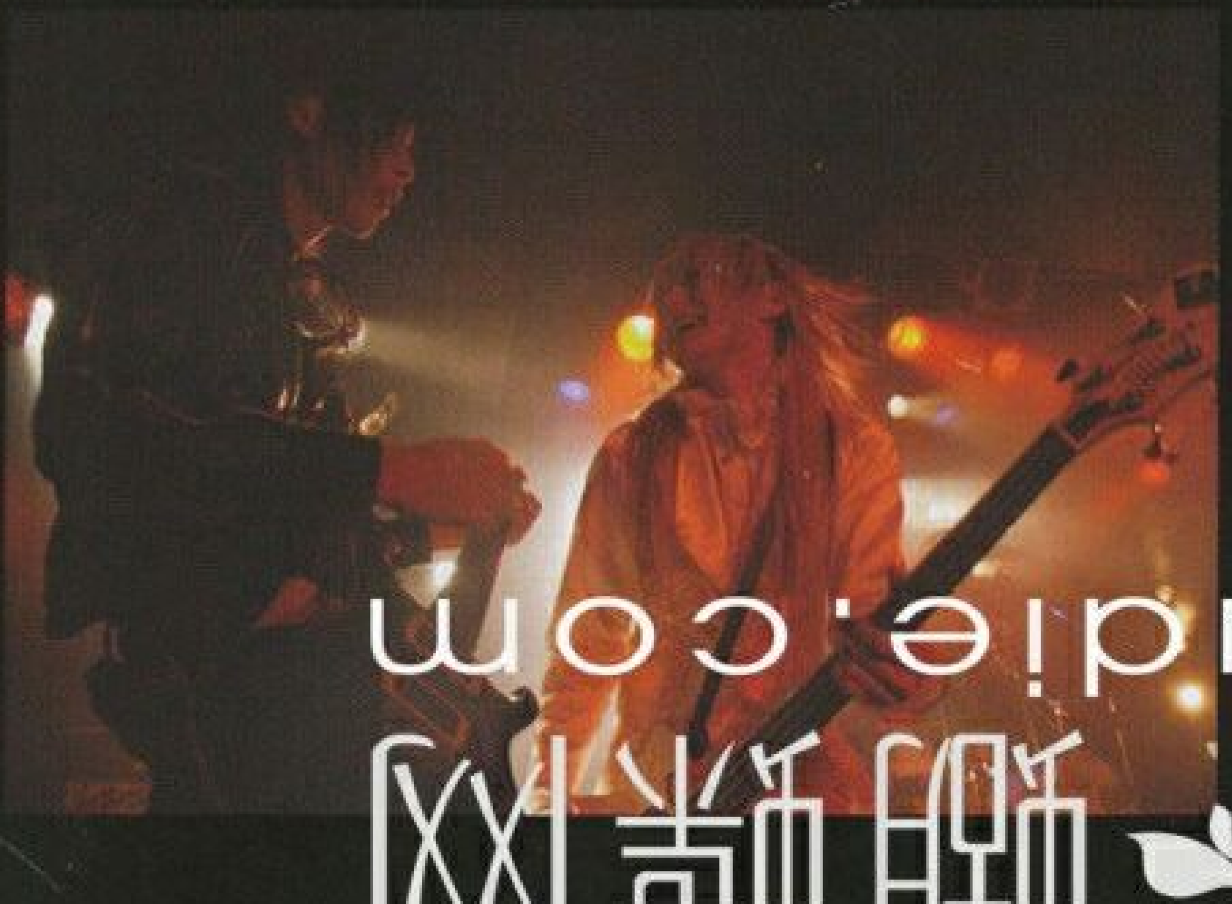
そう攻めの決意表明をしつつも、ステージは感情的なバラード「Rainy rain」で新たな色を見せ、切なげな表情で語るように歌う春の姿に、誰もが言葉を失い惹き込まれた。その落ち着いた空気のまま、春の思いつきでメンバーの一言コーナーに突入。普段のライヴではあまり喋らないメンバーもマイクを取り、おどけた様子で笑いを誘いながら、4人の仲の良さとDOGに対する前向きな想いを伝えた。そんな和やかムードを壊すように、本編後半は「Style Lover」「奇妙なサァカス。」といったハードな曲で全力疾走し、〝祈りなさい!〟という煽りが特徴的なラスト曲「電脳花壇」へ。準々が踊る! メイ王子が微笑みで指差す! ミズキが男らしく煽る! 春が狂い叫ぶ! 4人はここぞとばかりにステージを駆け回り、満足げに退場した。

鳴りやまないアンコールの声の中、突如スクリーンに、結成から今までの軌跡を記した映像が流れ始めた。まさに、遊び心を忘れないDOGならではの演出だ。その後、SE「-DDT-」に乗って再登場したメンバーは、結成当初の衣装に身を包み、当時生まれた名曲「コラン」を披露。春は〝今年1年の狼煙を今日上げたかった。ずっと上だけを見て高く昇っていきたい〟と初心の大切さを語り、続く「声-voicE-」では、ファンとの心の距離を確かめるように〝声は届いてるぞ!〟と熱く叫んだ。最後に、最新シングル曲「WONDER×WONDER」を再び演奏。今日初披露されたとは思えない一体感で、会場は最高潮の盛り上がりを見せ、〝「犬コレ」-DOG COLLECTION-〟は幕を閉じた。

今後も予定が盛り沢山の彼ら。今年も、最先端の刺激を届けてくれるに違いない。







薔美図 vimee.net
蝴蝶図 hudie.com

慧美网
蝴蝶网
hudie.com

OG inThePWO主催LIVE「犬小屋＃3」開催決定！

7月2日(金) Shibuya O-WEST

出演：DOG inTheパラレルワールドオーケストラ / BugLug / 花少年バディーズ / R指定 / ZUCK / spiv states
開場：16:30 / 開演：17:00　チケット：3,500円（D代別）
先行販売：DOG inTheパラレルワールドオーケストラ各LIVE会場物販にて販売中
一般発売：5月15日（土）発売　(問)フリップサイド　03-3466-1100

待の3ヶ月LIVE 集中砲火!!　DOG 狂犬病 -2010-!!

日 (木) 名古屋 E.L.L.【EXTRA-TERRITORIAL】
日 (金) 心斎橋 BIGCAT【EXTRA-TERRITORIAL】
日 (土) HOLIDAY OSAKA
日 (日) HOLIDAY NAGOYA
日 (月) HOLIDAY SHINJUKU
日 (水) SHIBUYA-AX【EXTRA-TERRITORIAL】
日 (木) 名古屋 ell.FITS ALL
日 (金) 渋谷 BOXX
日 (火) 渋谷 BOXX
日 (木) 高田馬場 AREA

5月21日 (金) 池袋 RUIDO-K3
5月29日 (土) ESAKA MUSE
5月30日 (日) 名古屋 E.L.L.
6月 5 日 (土) 池袋 CYBER
6月18日 (金) 仙台 HooK
6月19日 (土) 新宿 Live Space MARZ
6月25日 (金) 名古屋 HEART LAND
6月26日 (土) OSAKA MUSE
6月27日 (日) OSAKA MUSE

A-TERRITORIAL

日 (木) 名古屋 E.L.L
日 (金) 心斎橋 BIGCAT
日 (水) SHIBUYA-AX

nnivalism、12012、大佑と黒の隠者達、boogieman
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
ペシャルセッションあり

追加スケジュール続々更新中!!
詳しくはオフィシャルHPをご覧下さい。

INSTORE EVENT

4月21日（水）ライカエジソン東京店（1時間店員）
4月25日（日）ライカエジソン東京店
4月30日（金）ライカエジソン大阪店
5月 2 日（日）ライカエジソン名古屋店
5月 8 日（土）ブランドエックス

「ハルシオンキャンディ」等の楽曲を配信中!

着うたフル(R)のダウンロードはこちら!
※一部の機種ではご利用いただけません。
情報料：¥315(税込)/曲

メロディコール・待ちうたはこちら!
※一部の機種ではご利用いただけません。
情報料：月額¥105(税込)/曲

OFFICIAL SITE http://www.inu-para.com/

蝴蝶网
hudie.com
4月21日 NEW SINGLE
ワンダー×ワンダー
DOG inThePWO
【初回盤】(CD+DVD) RSCD-012/013 ¥1,890 (tax
01.「-DDT-」
02. WONDER×WONDER
[DVD] WONDER×WONDER Music Clip
DOG inThePWO
【通常盤】(CD) RSCD-014 ¥1,260 (tax in)
01.「-DDT-」
02. WONDER×WONDER
03. 絶頂highスピーカー
発売元：Resistar Re
慧美网
vimee.net

Eccentricity Now On Sale

vimee.net 幽美幕

東京、埼玉、北海道、名古屋、大阪、広島の注目バンド、全11バンドが参加する、Visualise Music Japan
オムニバス第4弾となる、期待のオムニバスCDです。
日本だけでなく、ヨーロッパでも活躍中の「HITT」が音源未発表曲でGuest参加しています！

HITT

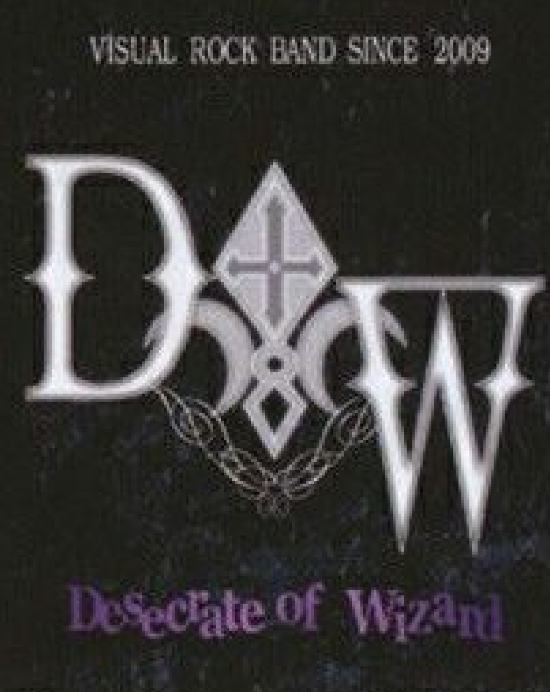
Sarah_SYO-ZYU

evo’L

Trouveres

Discord Cry

ロザミィ



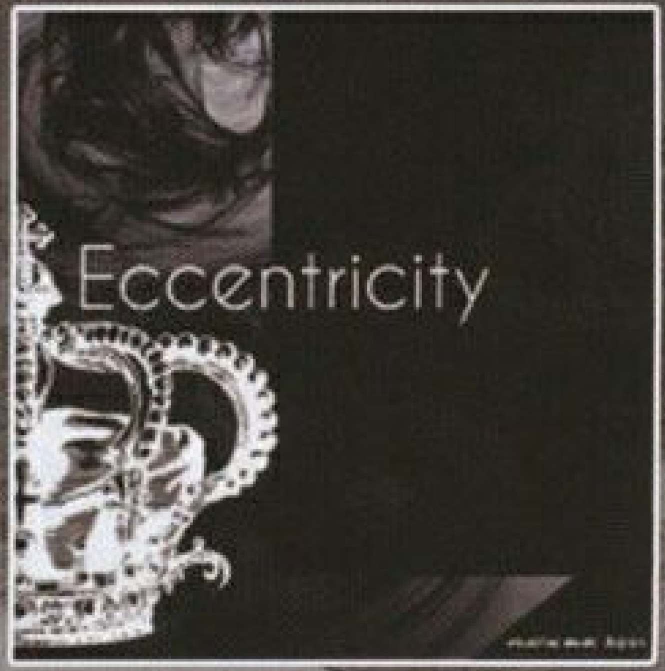
Desecrate of Wizard

M.T.S.

Vernal BlaZ'

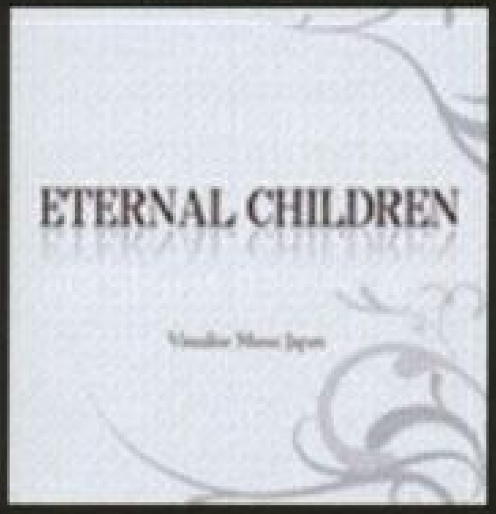
Tyria

α-ray



タイトル：Eccentricity
価格：2625円（税込）
発売日：2010/03/31
参加バンド：Discord Cry（北海道） / evo’L（東京） / M.T.S.（東京） / HITT（Guest）
ロザミィ（名古屋） / α-ray（広島） / Sarah_SYO-ZYU（東京） / Tyria（大阪）
Desecrate ofWizard（東京） / Trouveres（東京） / Vernal BlaZ'（埼玉）

hudie.com 幽蝴蝶



タイトル：ETERNAL CHILDREN（第１弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2008/12/24
参加アーティスト：Amaryllis-アマリリス- / Castle　Vellffaria / Lilac / MICA TYPE /Necrophilia / Pinky / RuCe / RUBBISH RESSURECTION / Steal / 学園ロザリオclass†ZERO / 月華
※記念すべきVisualiseオムニバスの第１弾。すでに初回プレス1000枚は完売。

タイトル：N clever（第2弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/05/31
参加アーティスト：ホワイトパレット / きらぁ / MAIND / Hot Sppepper / 和鶴 / 関西耽美系～Lilyproject～ / Mirage / evo’L / BLUETOPAZ / Alfheim / バレッタ
※名曲揃いのオムニバス第2弾。　完売必須の名盤です。

タイトル：Visual Modernism（第３弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/10/31
参加アーティスト：Chat noiR / 架嬢 / 虎てっちゃん Vernal BlaZ' / Darkness resident /奏楽天使Sary ライチ / SWEET TRANCE / Vitalmagie / Scherzando /極東機械人形 /F-forte-
※東京、埼玉、茨城、仙台、大阪、香川、岡山と全国のバンドさんが参する、注目の第３弾

タイトル：since xxxx（第５弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2010/08/XX
参加アーティスト：ADDICT / Kshatriya / Ma飴-メイ-

ベルベット初のミニアルバム
「閥」
2010年4月21日
発売決定!!
¥2,?00(tax in) / VLBT-005 / ※初回限定2000枚
TRIBUTION
Royal Bunny
全国店頭にて予約開始!!※
数量限定商品の為、完売の際はご了承ください※
インストアイベントも同時決定!!※
単独公演「極東審議」連動企画有り!!※
2010年5月26日発売
オムニバスアルバム「NEO VOLTAGE」参加決定!!
連動サーキットツアー、東京FMにて連動ラジオ番組決定!!
EVENT SCHEDULE
4月21日(水)新宿ZEALLINK
4月24日(土)自主盤倶楽部
5月16日(日)渋谷ZEALLINK
5月21日(金)池袋BRAND X
LIVE SCHEDULE
4月30日(金)渋谷O-WEST
5月14日(金)渋谷BOXX
5月16日(日)高田馬場AREA
5月23日(日)渋谷BOXX単独公演
6月6日(日)仙台darwin
6月10日(木)大阪MUSE
6月11日(金)名古屋ボトムライン
6月18日(金)渋谷O-EAST
第二次単独公演
「極東審議」
2010年5月23日(日)渋谷BOXX
出演:ベルベット
■主催・企画:Royal Bunny ■制作:バックステージプロジェクト
■協力:ZEAL LINK ■問い合わせ先:バックステージプロジェクト
◆4月発売ミニアルバム「閥」連動企画◆ ※封入券をお持ちの方に「　」プレゼント。
※ベルベットより重大拡張発言有り!! ※入場者全員限定特典配布
■チケット発売:
【最速先行販売】SOLD OUT!
【第二次先行販売】
2/20（土）渋谷ZEAL LINK先行発売(No.101～130)(発売初日は整理番号シャッフルにてお一人様2枚まで)
【一般販売】 2/27(土)プレイガイド発売
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:348-080)
ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:77213)
5/23・渋谷BOXX「第二次単独公演・極東審議」特別企画
■当日限定・裏会報（第弐号）配布決定!
（4/21発売CDに封入されている引換券をお持ちの前売り券入場者に限ります。）
■LIVE DVD（2枚組）
【　×地×　】配布決定!
（前売り券にてご入場の方に、当日限定DVDを差し上げます。
☆DISC 1：LIVE＋α収録/ DISC 2：LIVE（メンバーソロアングル）収録
※DISC 2は各メンバーのランダムとなります。
Official site ◆ http://velbet.com/

有村竜太朗(Plastic Tree)

■SHOXX撮影メイキング『撮影秘話』
■アザーカット待ち受け画像

毎年恒例となっている、有村竜太朗バースデー撮影取材の裏側を大公開!! 竜太朗本人が若干興奮気味となったシチュエーションでの最新撮影現場の模様を堪能あれ!!

■撮影メイキング、待ち受け配信、その他企画など配信中
Sadie / heidi. / takuya & 輝喜 / Dolly /
愛狂います。etc...

音楽せんか?

音楽専科社公認公式携帯サイト
http://mobile.ongakusenka.com/

ARENA37℃ とSHOXX に掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん! ここでしか観ることが出来ない撮影メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアクセス!!

月額315円の会員になれば、待ち受け取り放題・ムービー見放題!! その他にも楽曲試聴や、着うた、アーティストのコラムも読めます!!

SHOXX×びじゅけい ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾!
ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね!→→→→

びじゅけいpresents

「Revolutions」- 四面楚歌 2010 -

★5.9(日)高田馬場AREA 開場16:30/開演17:00 前売券¥3,500(D別)/当日券¥4,000(D別)

ALiBi / A&D / ギャロ / SLOD / -ZEROdb / Arc / Hi:BRiD

チケット好評発売中!

TMR電子書籍1月より配信決定!!

詳しい配信スケジュールの
詳細は音楽専科社の WEB ページまで

ARENA 37℃ SPECIALにて撮り下ろしたグラビアのアナザーカットを配信!

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック
「SHOXX FiLE ナイトメア Edition1」が
ケイタイ書籍になったよ!

～グラビア堂書店 Presents～
モバフォト!

QR コードからアクセス!

たった3分で やっぱり憧れはモデルの小顔!

Malibu Full Wig
おしゃれ専門通販の「カラ★パラ」とウィッグの「マリ…」
コラボレーション企画!!

派手ナチュ恋ヘアWig!

小顔に変身!

ツヤツヤゆるロングは恋する女の子の無敵アイテム!

自分で伸ばすには大変な憧れスーパーロングに!ナチュラルでゆるめなカールが守ってあげたくなるモテスタイル♥

ライトアプリコット　明るい黒色にゴールドメッシュ　ブラウン　ディープブラック

耐熱フルタイプ　人工ヒフ　アジャスター付 フリーサイズ

ロイヤルカール
商品番号 NL05
各¥9,975(税込)

ウィッグの長さ／トップ～毛先約73cm、素材／日本製耐熱ファイバー　※ドライヤー・コテ120度～160度使用可能、人工ヒフ付、アジャスター付、カラー：ディープブラック、ブラウン、明るい黒色にゴールドメッシュ、ライトアプリコット

今スグGet!

モデル使用カラー
ライトブラウンオレンジMIX

モデル使用カラー
ココアブラウン

お姫様みたい♥ピュアなロマンティックカール!
ふわふわな大きめカールがまるでプリンセス!髪から春を先取りしよう♥

Side　Back

しなやかカール
商品番号 NL04
各¥9,975(税込)

ウィッグの長さ／トップ～毛先約60cm、素材／日本製耐熱ファイバー※ドライヤー・コテ120度～160度使用可能、人工ヒフ付、アジャスター付
カラー：ライトブラウンオレンジMIX、ハニーブラウン

今スグGet!

ライトブラウンオレンジMIX　ハニーブラウン

完ぺきなふんわりボブはウィッグだからデキる!!
旬なボブスタイルは毛先に空気感を出すのがポイント☆春服に合うのはコレ!!

Side　Back

レトロモダンカール
商品番号 NL22
各¥9,975(税込)

ウィッグの長さ／トップ～毛先約40cm、素材／日本製耐熱ファイバー※ドライヤー・コテ120度～160度使用可能、人工ヒフ付、アジャスター付
カラー：ココアブラウン、チェリーブラウン、ライトアッシュ

今スグGet!

ココアブラウン　チェリーブラウン　ライトアッシュ

人工皮膚付きでバレない!
ワザ有　人工皮膚なしだと…
▲フルタイプウィッグのつむじには全て「人工皮膚」を使用しています。てっぺんから見ても、近くで見てもとっても自然です。

カールアイロンで巻ける!
ワザ有
耐熱素材だからドライヤー、カール&ストレートアイロンも対応可能!!

モデル使用カラー
明るい黒色にゴールドメッシュ

アクセスはコチラから!
ao@007s.jp
空メール✉を送信!

★スペシャル特典★
200円OFF
ご注文の際に必ずクーポン番号を入力してね♥
クーポン番号 7098　有効期限：2010/6/30まで

空メールは ao@007s.jp
※ドメイン指定をされている方は007s.jpを設定してネ!
携帯サイトは http://www.007s.jp/
※サイトにアクセスしにくい場合、お電話にてお問い合わせください。
お電話は 0120-544-804
受付時間／年中無休　9:00～21:00
お客さま相談室 0120-800-491
受付時間／年中無休　9:00～21:00

【PR】
ご注文方法
代金引替（手数料300円）でお届け致します。商品到着後に配達員に現金でお支払いください。送料は全国一律735円、**商品代金14,000円以上で送料無料**となります。※返品・交換は商品到着後10日間であれば承ります。必ずお電話にてご連絡ください。18歳未満のお客さまは保護者許可を得てご購入ください。空メールを送ると知って得するトレンド最新情報がいっぱいゲットできるお得クーポン付メルマガをお送りします。
オシャレ通販なら カラフルパラダイス007
株式会社ネットランドジャパン
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-9第一ビル2F

※お客様から提供された個人情報は、当社規定のガイドラインに準じた厳重な管理の下、商品の発送およびご案内等にのみ利用させていただきます。

2010年、待望のセルフプロデュース作品第一弾!
ニューシングル「Not Found」発売決定!

HERO

NEW SINGLE
2010.6.2「Not Found」
HERO初のPVを収録!
<初回限定盤> CD+DVD ¥2,100(税込) 01.「Not Found」 02.人間定義 DVD:「Not Found」PV
<通常盤> CD ¥1,575(税込) 01.「Not Found」 02.人間定義 03.カゾエウタ。

東名阪ONEMAN TOUR 2010「Critical Hit」

5.07(金)名古屋ell.SIZE SOLD OUT
開場18:30 開演19:00 前売券¥3,000(D別)
[チケット] 4/4(日)より一斉発売!
(問)SWEET LOGIC/TEL:052-979-7047

5.29(土)高田馬場AREA SOLD OUT
開場18:30 開演19:00 前売券¥3,500(D別)
[チケット] 4/4(日)より一斉発売!
(問)高田馬場AREA/TEL:03-3361-1069

8.14(土)大阪RUIDO SOLD OUT
TOUR FINAL「[illegible] Fire」
開場18:30 開演19:00 前売券¥3,000(D別)
[チケット] 4/4(日)より一斉発売!
(問)大阪ウドー音楽事務所/TEL:06-6341-4506

HERO初主催イベント決定「The Impact」

9.04(土)大阪RUIDO
開場17:00/開演17:30 前売券¥3,500(D別)
[チケット] 5/16(日)より一斉発売!
(問)大阪ウドー音楽事務所/TEL:06-6341-4506

9.05(日)名古屋ell.FITS ALL
開場17:00/開演17:30 前売券¥3,500(D別)
[チケット] 5/16(日)より一斉発売!
(問)SWEET LOGIC/TEL:052-979-7047

9.23(祝)高田馬場AREA
開場17:00/開演17:30 前売券¥3,500(D別)
[チケット] 5/16(日)より一斉発売!
(問)高田馬場AREA/TEL:03-3661-1069

Live Schedule

5.21(金)仙台JUNK BOX
6.06(日)仙台darwin
6.10 [illegible]大阪[illegible]
6.11 [illegible]名古屋[illegible]LINE
6.18(金)渋谷[illegible]
7.03 [illegible]新潟JUNK BOX
7.09 [illegible]大阪MUSE
7.10 [illegible]古屋BOTTOM LINE
7.17(土)HRさいたま新都心VJ-3
7.19(月)横浜SUNPHONIX HALL
7.21(水)仙台darwin
7.25(日)高田馬場AREA
7.31(土)京都MUSE
8.01(日)名古屋E.L.L
8.07(土)HR宇都宮VJ-2
8.08(日)水戸ライトハウス

Instore Schedule

6.02(水)自主盤倶楽部
6.05(土)ライカエジソン東京店
6.06(日)仙台little HEARTS.
6.10(木)大阪ID.DEAD ONE
6.11(金)HMV栄店
6.19(土)池袋ブランドX
7.03(土)新潟リスキードラッグストア
7.09(金)ライカエジソン大阪店
7.10(土)ライカエジソン名古屋店
7.24(土)渋谷ZEAL LINK

http://hero-izm.com/

STAR POWDER KnowledgeAlliance

vimee.net

the Riotts.待望の
第二弾リリース決定!!
1st Maxi Single
スターゲイザー
the Riotts.
2010.05.26 IN STORE!!
【初回限定盤】CD+DVD
【CD】収録曲
1. スターゲイザー
2. 星屑と月と灰色の街 (Re:new ver.)
【DVD】
「スターゲイザー」MUSIC CLIP
Steaak Records STKR-0103
¥2,100(tax in)
【通常盤】CD ONLY
【CD】収録曲
1. スターゲイザー
2. 星屑と月と灰色の街 (Re:new ver.)
3. METEOLITE
Steaak Records STKR-0104
¥1,575(tax in)
1st mini album
STARINVITATION
初回特典版
完売御礼
通常通信販売版
好評発売中
詳しくは WEB にて
オリジナル特典直筆サイン入り写真～
をお申し込みの方に直筆サイン入りオリジナル写真を差し上げます。
【お申込方法】郵便局に備付の青い振込用紙にてお申込み下さい。通信欄:①the Riotts.「スターゲイザー」
初回限定盤¥2,100×○枚、通常盤¥1,575×○枚)+ 送料(詳細は下記参照) を下記
00130-0-338162/ 加入者名:Steaak Records 【送料詳細】本州¥600/ 北海道・四国・九州¥700/ 沖縄・
特典は数に限りがございますので先着順となります。無くなり次第終了となりますのでご了承ください。
Steaak Records
[TOTAL INFORMATION] Steaak Records
〒163-8696 日本郵便 新宿支店留 「the Riotts.」
※ファンレターにはメンバー名を必ず明記の上お送り下さい。また、その他お問合せはメールにてお願いします。 mail : info@riotts.com
www.riotts.com

vimee.net

Nightmare

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY
SPECIAL ACT VOL.2

re:Start of tell[all]ifm

7.10 (sat)
三郷市文化会館大ホール
OPEN/16:30 START/17:00 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

7.15 (thu)
広島ステールプラザ大ホール
OPEN/18:00 START/18:30 info.キャンディープロモーション 082-249-8334

7.17 (sat)
福岡市民会館大ホール
OPEN/16:30 START/17:00 info.キョードー西日本 092-714-0159

7.19 (mon)
大阪国際会議場メインホール
OPEN/16:30 START/17:30 info.キョードーインフォメーション 06-7732-8888

7.23 (fri)
新潟市民芸術文化会館劇場
OPEN/18:00 START/18:30 info.キョードー北陸チケットセンター 025-245-5100

8.4 (wed)
愛知県芸術劇場大ホール
OPEN/17:30 START/18:30 info.サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

8.13 (fri)
札幌市教育文化会館大ホール
OPEN/18:00 START/18:30 info.WESS 011-614-9999

8.15 (sun)
東京エレクトロンホール宮城
OPEN/16:30 START/17:00 info.キョードー東北 022-217-7788

【チケット料金】全席指定:¥5,500(tax in) ※3歳以上有料、3歳未満入場不可 【一般発売日】5月22日(土)

SHOXX 先行予約
受付期間
4月21日(水)21:00～5月5日(水)23:00
http://eplus.jp/nmshoxx/ ※お1人様1公演につき4枚まで

Nightmare Official website [http://www.nightmare-web.com/] Nightmare Official mobilesite [http://m.nightmare-web.com/]

hudie.com

SHOXX 208 2010 8月号
平成9年12月5日第3種郵便物許可 平成22年6月1日発行第208号(毎月1回1日発行)
発行人/荒井敏行 編集人/鈴木邦昭 発行/音楽専科社

Printed in Japan
雑誌04531-06
定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社

4910045370609
00933